

日医総研ワーキングペーパー

全国がん登録の概要（2019 年 1 月公表値）を
用いた男女別・年齢別・地域別の分析

No. 433

2019 年 7 月 9 日

日本医師会総合政策研究機構
出口 真弓

「全国がん登録の概要を用いた男女別・年齢別・地域別の分析」

日本医師会総合政策研究機構 主任研究員 出口 真弓

キーワード

- ◆ 全国がん登録
- ◆ 男女別罹患数
- ◆ 年齢別罹患数
- ◆ 都道府県別年齢調整罹患率
- ◆ 喫煙
- ◆ 飲酒
- ◆ がん検診受診率

ポイント

- ◆ 2019 年 1 月に公表された「全国がん登録の概要」を基に、男女別、年齢別にみたがん罹患数と割合、都道府県別にみたがんの年齢階級別罹患率、がん検診受診率や飲酒、喫煙等と都道府県別年齢調整罹患率の相関等について分析を行った。
- ◆ 2016 年に新たに診断された「がん」総数は、過去最高値の 995,132 人。部位別にみた罹患数上位 3 位は、「大腸（結腸・直腸）（158,127 人、15.9%）」、「胃（134,650 人、13.5%）」、「肺（125,454 人、12.6%）」（11P 図 1）。男性の総罹患数は 566,575 人。部位別にみた罹患数上位 3 位は、「胃（92,691 人、16.4%）」、「前立腺（89,717 人、15.8%）」、「大腸（結腸・直腸）（89,641 人、15.8%）」（11P 図 2）。女性の総罹患数は 428,499 人。部位別にみた罹患数上位 5 位は、「乳房（94,848 人、22.1%）」、「大腸（直腸・結腸）（68,476 人、16.0%）」、「胃（41,959 人、9.8%）」、「肺（41,634 人、9.7%）」「子宮（28,076 人、6.6%）」（12P 図 3）。
- ◆ 年齢階級別にみると、総数では、「乳がん」の罹患数は 30 代から増え始め、「45-49 歳」と「65-69 歳」という二つの山がある。「大腸（結腸・直腸）がん」、「胃がん」、「肺がん」、「前立腺がん」は 40 代以降増加（19P 図 14）。男性は、「大腸がん」が 30 代から増加を始める（20P 図 16）。女性は「乳がん」が 30 代から増加し、「45-49 歳」でピークに達するといった減少傾向となるが、50 代後半から再び増加傾向となり、「65-69 歳」で二度目のピークに達する（22P 図 18）。罹患部位別に女性の年齢構成をみると、「子宮がん」、「卵巣がん」、「甲状腺がん」は 45 歳未満が約 2 割で、比較的若年層に多い（22P 図 19）。
- ◆ 15 歳未満の全部位のがん罹患数は総数 2,144 人、男性は 1,211 人、女性は 933 人（23P 図 20）。部位別にみると、総数、男性、女性とも「白血病」が最も多い（24～26P 図 21～図 23）。

- ◆ 思春期・若年世代(AYA 世代:15 歳～40 歳未満)の全部位のがん罹患数総数は 22,448 人、男性は 7,228 人、女性は 15,218 人(27P 図 24)。罹患数を部位別にみると、総数、女性では「乳がん」(28P 図 25、30P 図 27)、男性では「大腸(結腸・直腸)がん」が最も多い(29P 図 26)。
- ◆ 「全部位」の年齢調整罹患率を都道府県別にみると、総数、男性、女性とも西日本で高いが、総数と女性は九州地方(42P 図 37、46P 図 41)、男性は日本海側で高い傾向がみられた(44P 図 39)。
- ◆ 部位別にみていくと、「大腸(結腸・直腸)がん」の総数は北海道・東北地方(48P 図 43)、「乳がん」の総数と女性は九州地方(52P 図 47、56P 図 50)、「胃がん」の総数は日本海側(58P 図 52)、「肺がん」は総数、男性、女性とも西日本で高く、特に女性は九州地方で高い(70P 図 63)、「白血病」は総数、男性、女性とも九州地方が高い(110P 図 103、112P 図 105、114P 図 107)など、がんの罹患部位別にみた都道府県の年齢調整罹患率にはかなりの地域差があり、男女別でも特徴があることが示された。
- ◆ がんの罹患部位ごとの都道府県別年齢調整罹患率の中には、喫煙率や飲酒率との相関があるものもみられた(喫煙率との相関あり;大腸がん、膵臓がん、食道がん 飲酒率との相関あり;大腸がん、乳がん、膵臓がん、食道がん)(119P～141P)。
- ◆ これらの要素とがんの発生との因果関係については、さらなる検証が必要であるが、都道府県は、自分の地域で罹患率が高いがんの特徴を把握することが、これまでよりも可能となった。今後、正確なデータが蓄積されることにより、地域の特性に沿った、より精緻で効果的ながん予防対策が進められていくことが期待される。

目次

はじめに	8
1. 全部位の罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率、累積罹患率（75 歳未満）	10
1.1 罹患数および罹患割合	10
1.2 粗罹患率.....	13
1.3 年齢調整罹患率	15
1.4 75 歳未満の累積罹患率.....	17
2. 年齢階級別がん罹患数およびがん罹患割合	19
2.1 総数（n=995,132）	19
2.2 男性（n=566,575）	20
2.3 女性（n=428,499）	21
2.4 若年層のがん罹患数およびがん罹患割合.....	23
2.4.1 15 歳未満のがん罹患数およびがん罹患割合	23
2.4.2 思春期・若年世代のがん罹患数およびがん罹患割合	27
2.5 65 歳以上のがん罹患数および罹患割合の特徴.....	31
2.5.1 総数（n=733,752）	32
2.5.2 男性（n=446,439）	33
2.5.3 女性（n=287,265）	34
3. 部位別・年齢階級別罹患率.....	35
3.1 総数.....	36
3.2 男性.....	37
3.3 女性.....	38
4. がんの罹患部位別にみた都道府県別年齢調整罹患率	39
4.1 全部位	40
4.2 大腸（直腸・結腸）がん（総数 1 位、男性 1 位、女性 2 位）	47
4.3 乳がん（総数 2 位、男性 19 位、女性 1 位）	51
4.4 胃がん（総数 3 位、男性 2 位、女性 5 位）	57
4.5 肺がん（総数 4 位、男性 4 位、女性 4 位）	65
4.6 前立腺がん（総数 5 位、男性 3 位）	71
4.7 子宮がん（子宮頸がん+子宮体がん）（総数 6 位、女性 3 位）	73

4.8 子宮頸がん.....	77
4.9 子宮体がん.....	81
4.10 肝および肝内胆管がん（総数 7 位、男性 10 位、女性 7 位）	83
4.11 悪性リンパ腫（総数 8 位、男性 9 位、女性 8 位）	89
4.12 膵臓がん（総数 9 位、男性 8 位、女性 9 位）	92
4.13 腎・尿路（膀胱除く）がん（総合 10 位、男性 7 位、女性 12 位）	95
4.14 甲状腺がん（総数 11 位、男性 15 位、女性 6 位）	98
4.15 食道がん（総数 12 位、男性 6 位、女性 16 位）	101
4.16 皮膚がん（総数 14 位、男性 12 位、女性 14 位）	105
4.17 白血病（総数 17 位、男性 13 位、女性 13 位）	109
4.18 胆のうおよび胆管がん（総数 18 位、男性 14 位、女性 14 位）	115
5. がん検診受診率、飲酒、喫煙等と都道府県別がん年齢調整罹患率の相関	119
5.1 大腸がん.....	122
5.1.1 週 3 日以上飲酒する割合と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率の相関	122
5.1.2 喫煙する割合（毎日+時々）と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率の相関 ..	124
5.1.3 毎日喫煙する割合と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率の相関	125
5.2 乳がん	127
5.2.1 週 3 日以上飲酒する割合と都道府県別乳がん年齢調整罹患率との相関	127
5.3 胃がん	128
5.3.1 胃がん検診受診率と都道府県別胃がん年齢調整罹患率の相関	128
5.4 肺がん	130
5.4.1 肺がん検診受診率と都道府県別肺がん年齢調整罹患率の相関	130
5.5 膵臓がん.....	132
5.5.1 週 3 日以上飲酒する割合と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関	132
5.5.2 毎日飲酒する割合と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関	133
5.5.3 喫煙する割合（毎日+時々）と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関 ..	135
5.5.4 毎日喫煙する割合と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関	136
5.6 食道がん.....	137
5.6.1 週 3 日以上飲酒する割合と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関	137
5.6.2 毎日飲酒する割合と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関	139

5.6.3 喫煙する割合（毎日+時々）と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関 ..	140
5.6.4 毎日喫煙する割合と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関	141
6. まとめと考察	142

はじめに

2019 年 1 月に公表された「全国がん登録の概要」は、2016 年に施行された「がん登録等の推進に関する法律」で全病院からのがん患者の報告が義務化されてからは、初めての集計である。

対象者は、2016 年 1 月～12 月に全国の全病院と、都道府県知事に指定された診療所で、新たに「がん」と診断された日本人及び外国人である。一人の患者に 2 種類以上のがんが見つかった場合は、それぞれのがんを独立して数える。

全病院からの登録が義務付けられたことで、より正確ながん患者数が分かることとなった。

「全国がん登録の概要」で示された結果は、以下の通りである。各用語の定義については次頁で述べる。

- ・ 2016 年中に新しくがんと診断された「罹患数」
- ・ 年間のがん総罹患数に占める部位別の年間がん罹患数の割合を示す「部位割合」
- ・ 人口 10 万対で 10 月 1 日現在の総人口に占める年間がん罹患数の割合を示した「粗罹患率」
- ・ 人口 10 万対でその年齢階級の人口に占めるがん罹患数の割合を示した「年齢階級別罹患率」
- ・ 人口構成が異なる集団間での罹患率を比較するために、年齢階級別罹患率を一定の基準人口に当てはめて算出した「年齢調整罹患率」
- ・ 1 人がその年齢別罹患率で一定の年齢までにがんになる割合を示す「累積罹患率」

本報告書では、男女別にみたがん罹患数や年齢階級別のがん罹患数の特徴、およびがんの罹患部位別にみた都道府県別年齢調整罹患率の特徴を示す。また、都道府県別のがん検診の受診率や喫煙率、飲酒率と都道府県別年齢調整罹患率の相関の特徴も併せて示す。

＜用語の定義＞厚生労働省「全国がん登録の概要」より

がん罹患：がんの診断又は治療をした病院等からの届出並びに市区町村からの死亡者情報票を審査整理し、同一人を名寄せし、同一人において同じがんを集約したもの。

部位割合：部位別年間がん罹患数／年間がん罹患数×100

粗罹患率：年間がん罹患数／10月1日現在総人口×100,000

年齢階級別罹患率：

観察集団の各年齢（年齢階級）の罹患数/その年齢（年齢階級）の人口× 100,000

年齢調整罹患率：人口構成の異なる集団間での罹患率を比較するために、年齢階級別罹患率を一定の基準人口（昭和60年モデル日本人口及び世界モデル人口）にあてはめて算出した指標

$$\{ \text{観察集団の各年齢（5歳年齢階級）の罹患率} \times [\text{基準人口集団のその年齢（5歳年齢階級）の人口}] \} \text{の各年齢（5歳年齢階級）の総和} / \text{基準人口集団の総数}$$

累積罹患率：1人がその年齢別罹患率で一定の年齢までにがんにかかる割合

$$\{ [\text{観察集団の各年齢（5歳年齢階級）の粗罹患率}] \times 5 \} \text{の各年齢（5歳年齢階級、0歳から74歳）の総和} / 1,000$$

1. 全部位の罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率、累積罹患率(75歳未満)

1.1 罹患数および罹患割合

2016年に新たに診断された「がん」罹患数¹は総数で995,132人。部位別にみた罹患数上位5位は、「大腸(結腸・直腸)(158,127人, 15.9%)」、「胃(134,650人, 13.5%)」、「肺(125,454人, 12.6%)」、「乳房(95,525人, 9.6%)」、「前立腺(89,717人, 9.0%)」。

男性の総罹患数は566,575人。部位別にみた罹患数上位5位は、「胃(92,691人, 16.4%)」、「前立腺(89,717人, 15.8%)」、「大腸(結腸・直腸)(89,641人, 15.8%)」、「肺(83,790人, 14.8%)」、「肝および肝内胆管(28,480人, 5.0%)」。

女性の総罹患数は428,499人。部位別にみた罹患数上位5位は、「乳房(94,848人, 22.1%)」、「大腸(直腸・結腸)(68,476人, 16.0%)」、「胃(41,959人, 9.8%)」、「肺(41,634人, 9.7%)」、「子宮(28,076人, 6.6%)」。

¹ 対象とする人口集団から、一定の期間に新たにがんと診断された数。同じ人に複数のがんが診断された場合は、それぞれで計上される。総数は性別不詳や年齢不詳も含むため、男女別の合計、年齢別の合計と合わないことがある。出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計の用語集」
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/qa_words/statistics_terminology01.html

図 1 罹患数-部位別、総数 (n=995,132)

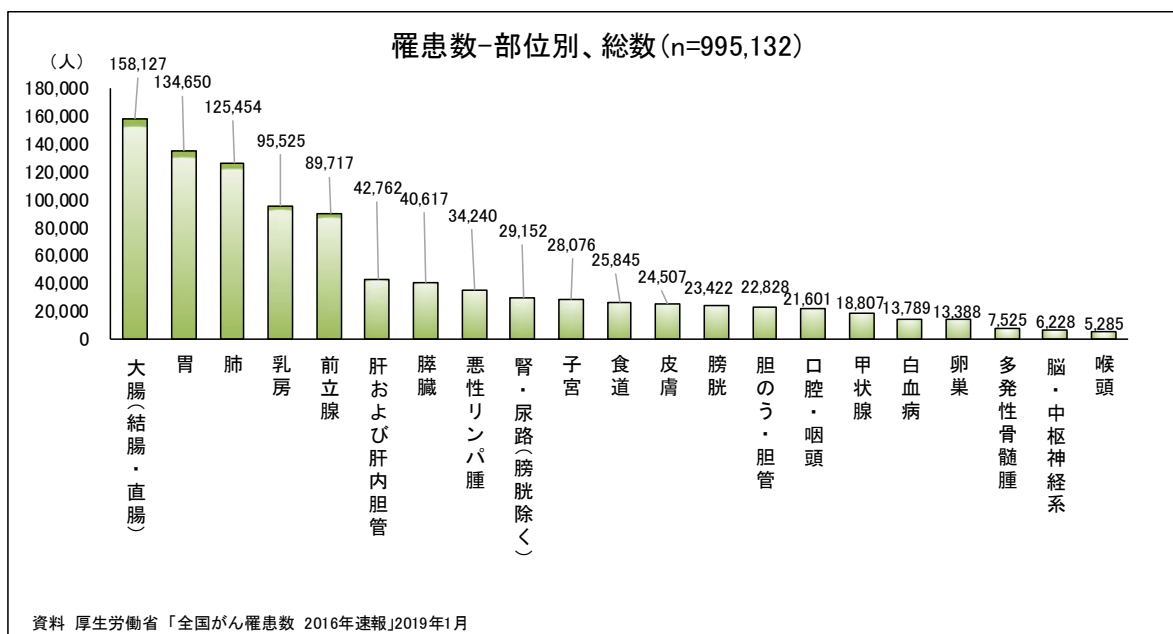


図 2 罹患数-部位別、男性 (n=566,575)

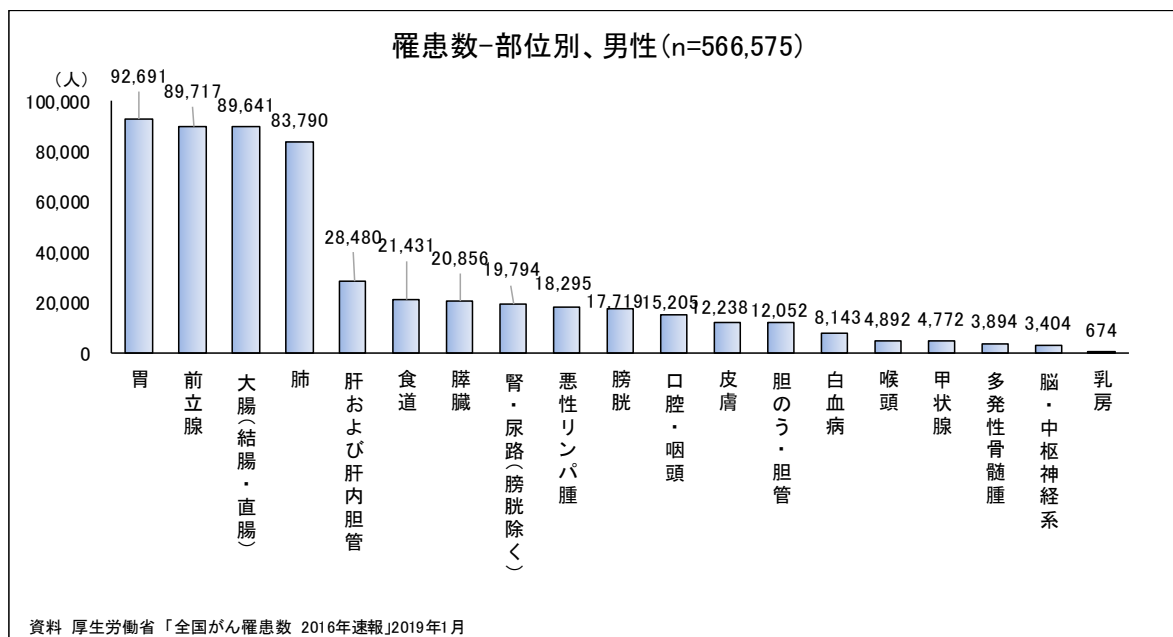


図 3 罹患数-部位別、女性 (n=428, 499)

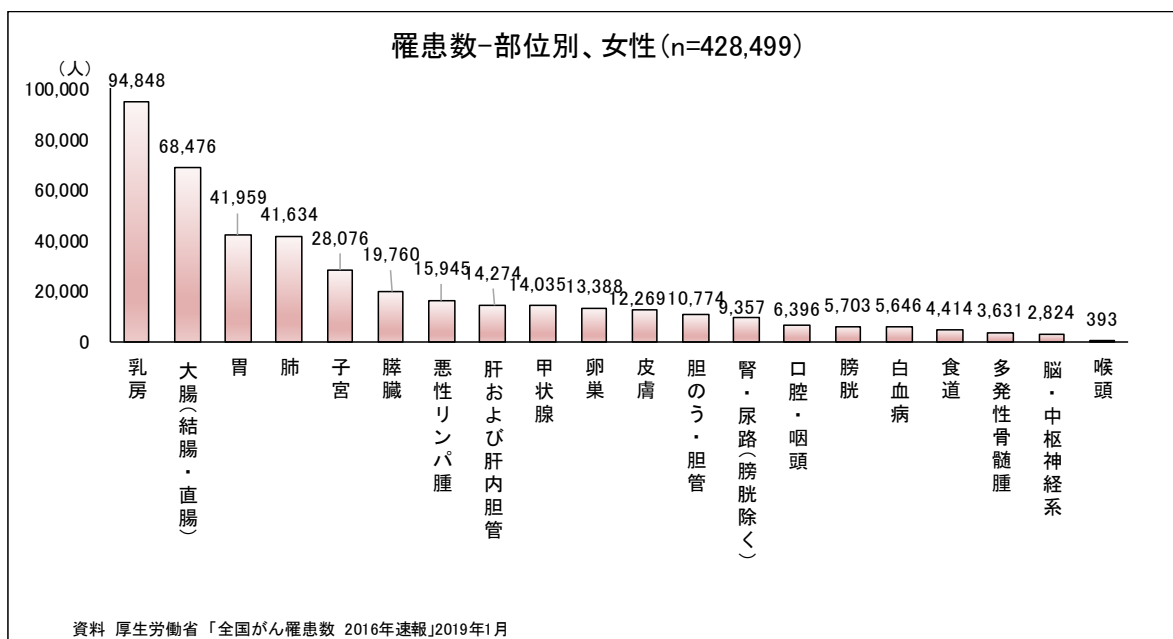
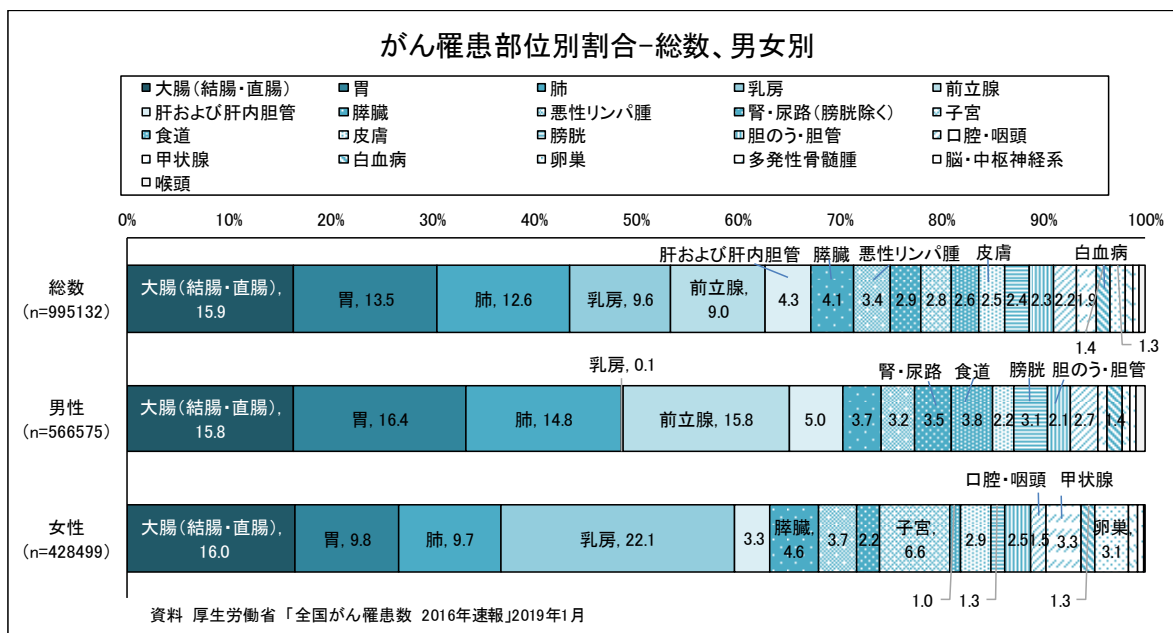


図 4 がん罹患割合-総数、男女別



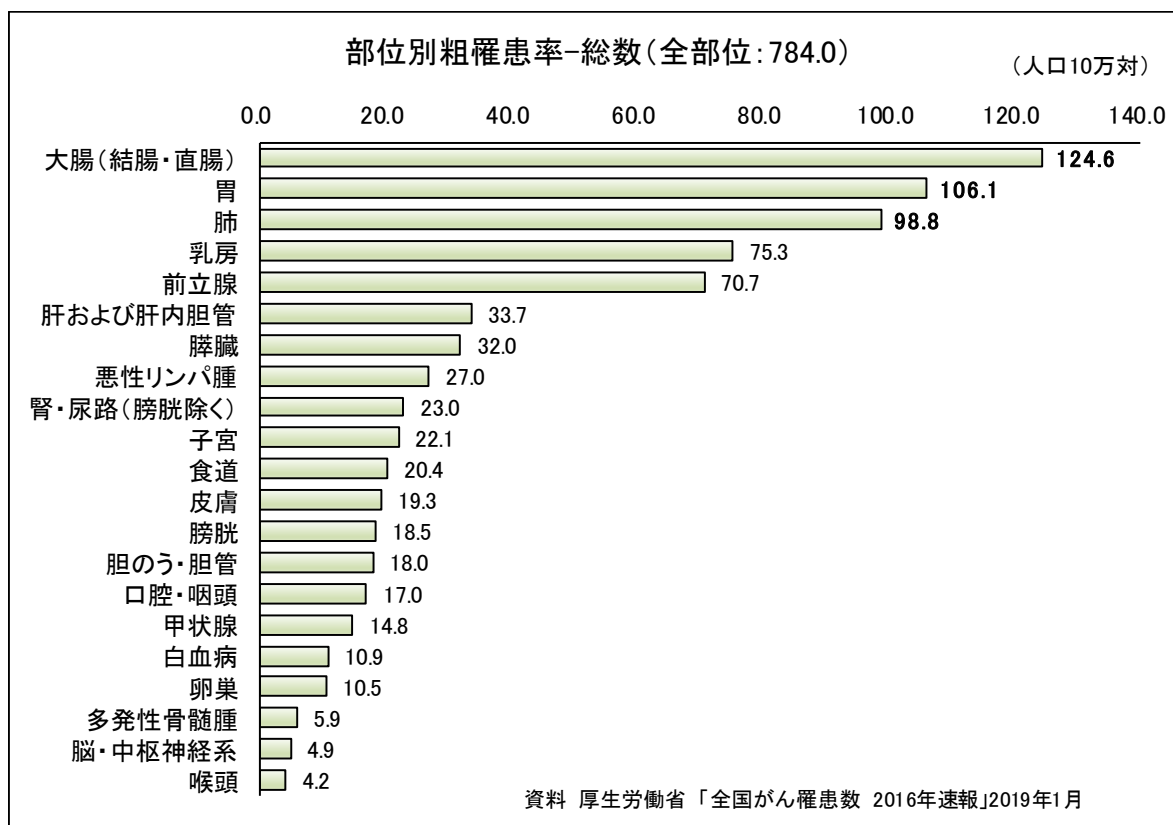
1.2 粗罹患率

人口 10 万対でみた全部位の総数の粗罹患率²は 784.0。部位別では、「大腸（結腸・直腸）（124.6）」、「胃（106.1）」、「肺（98.8）」が上位 3 位。

男性の全部位粗罹患率は 917.3。部位別では、「胃（150.1）」、「前立腺（145.3）」、「大腸（結腸・直腸）（145.1）」が上位 3 位。

女性の全部位粗罹患率は 657.5。部位別では、「乳房（145.5）」、「大腸（結腸・直腸）（105.1）」、「胃（64.4）」が上位 3 位。

図 5 部位別粗罹患率-総数（全部位：784.0）



² ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値。通常 1 年単位で算出され、人口 10 万対で表される。出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計の用語集」
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/qa_words/statistics_terminology01.html

図 6 部位別粗罹患率-男性（全部位：917.3）

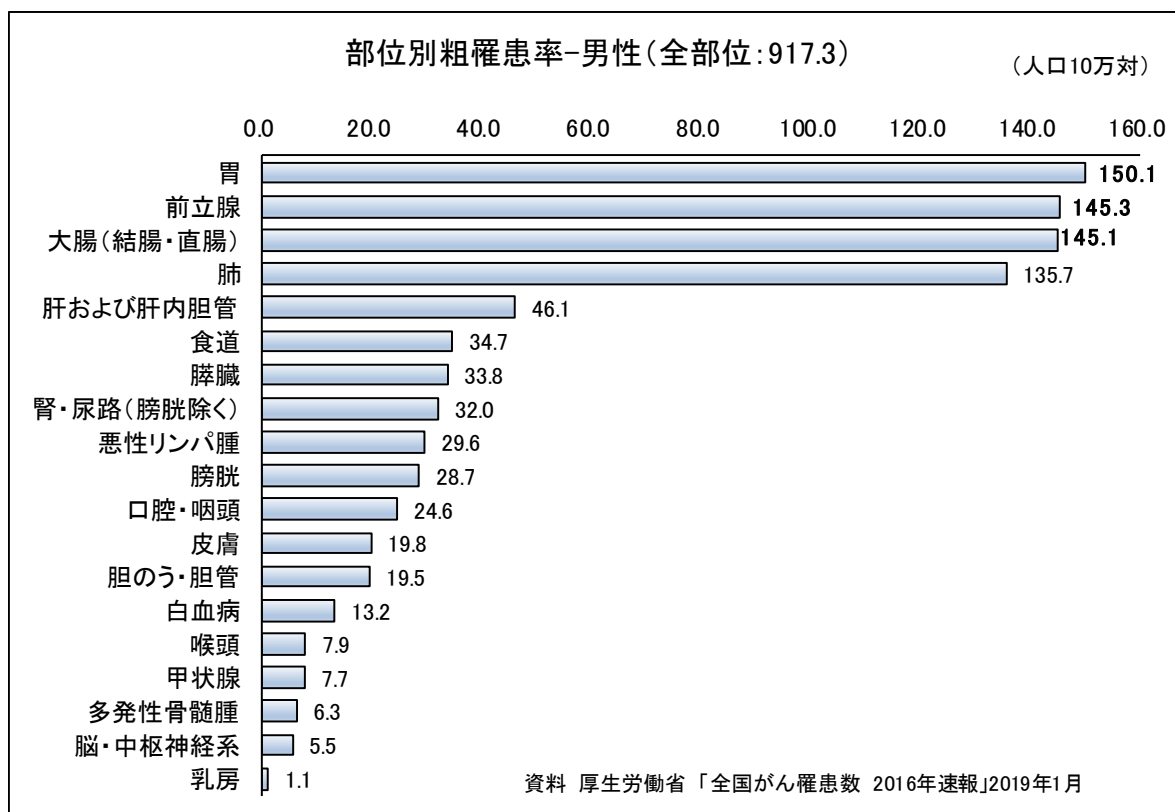
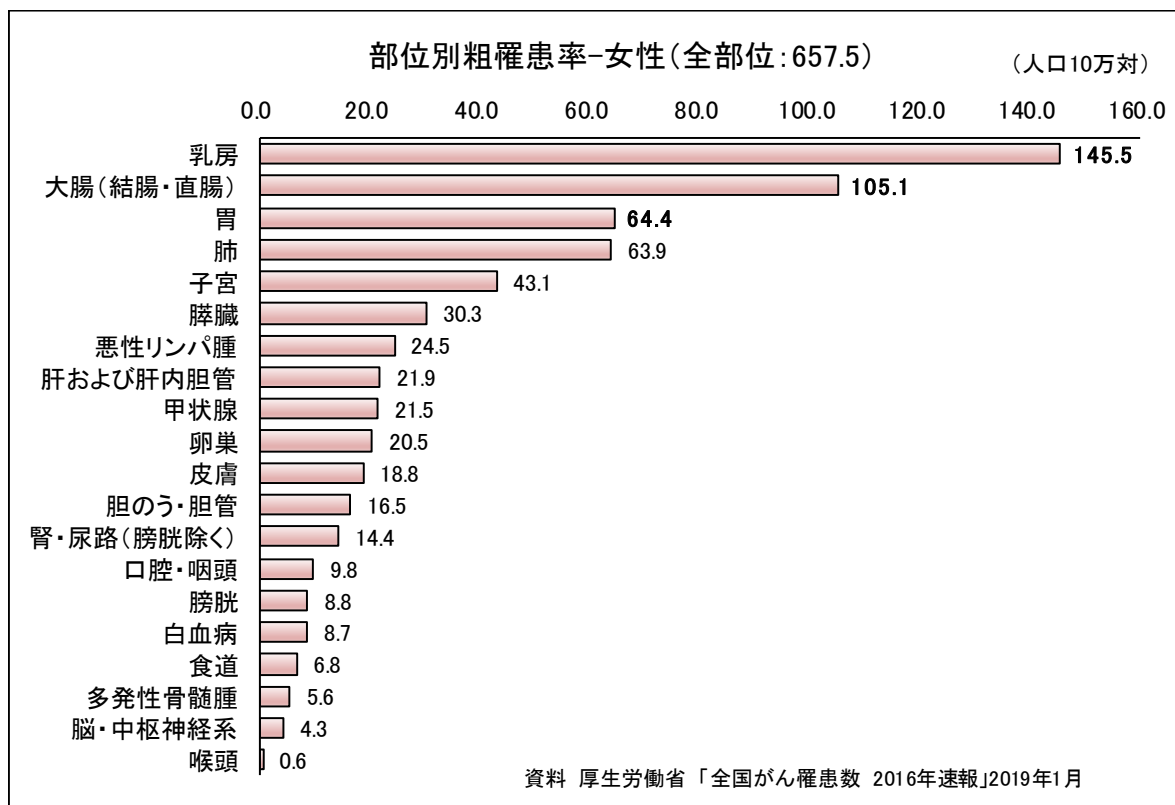


図 7 部位別罹患率-女性（全部位：657.5）



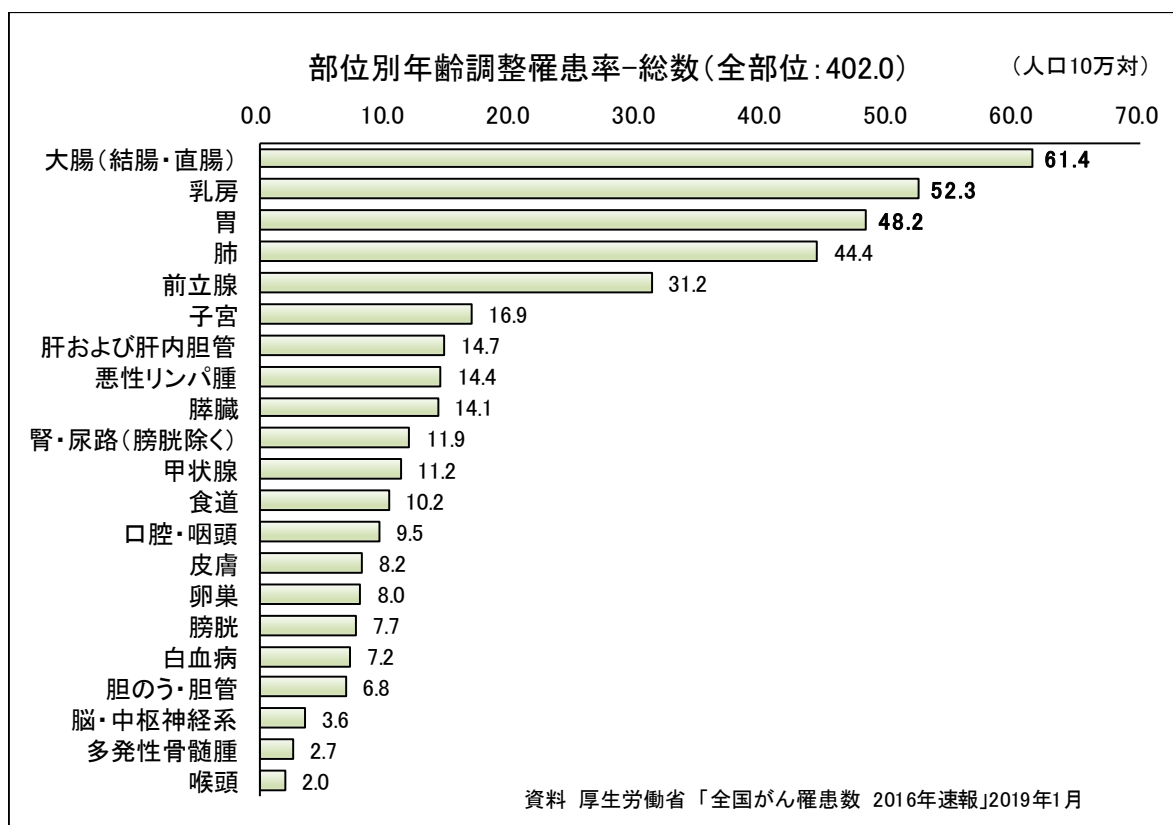
1.3 年齢調整罹患率

日本モデル人口により調整した人口 10 万対の総数の年齢調整罹患率³は、全部位で 402.0。部位別では、「大腸（結腸・直腸）（61.4）」、「乳房（52.3）」、「胃（48.2）」が上位 3 位。

男性の全部位年齢調整罹患率は 469.8。部位別では、「大腸（結腸・直腸）（77.5）」、「胃（73.9）」、「前立腺（68.3）」が上位 3 位。

女性の全部位年齢調整罹患率は 354.1。部位別では、「乳房（102.3）」、「大腸（結腸・直腸）（47.3）」、「子宮（33.3）」が上位 3 位。

図 8 年齢調整罹患率-総数（全部位：402.0）



³ もし人口構成が基準人口と同じだったら実現されたであろう罹患率。国内では通例昭和 60 年（1985 年）モデル人口（昭和 60 年人口をベースに作られた仮想人口モデル）が用いられる。出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計の用語集」

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/qa_words/statistics_terminology01.html

図 9 年齢調整罹患率-男性（全部位：469.8）

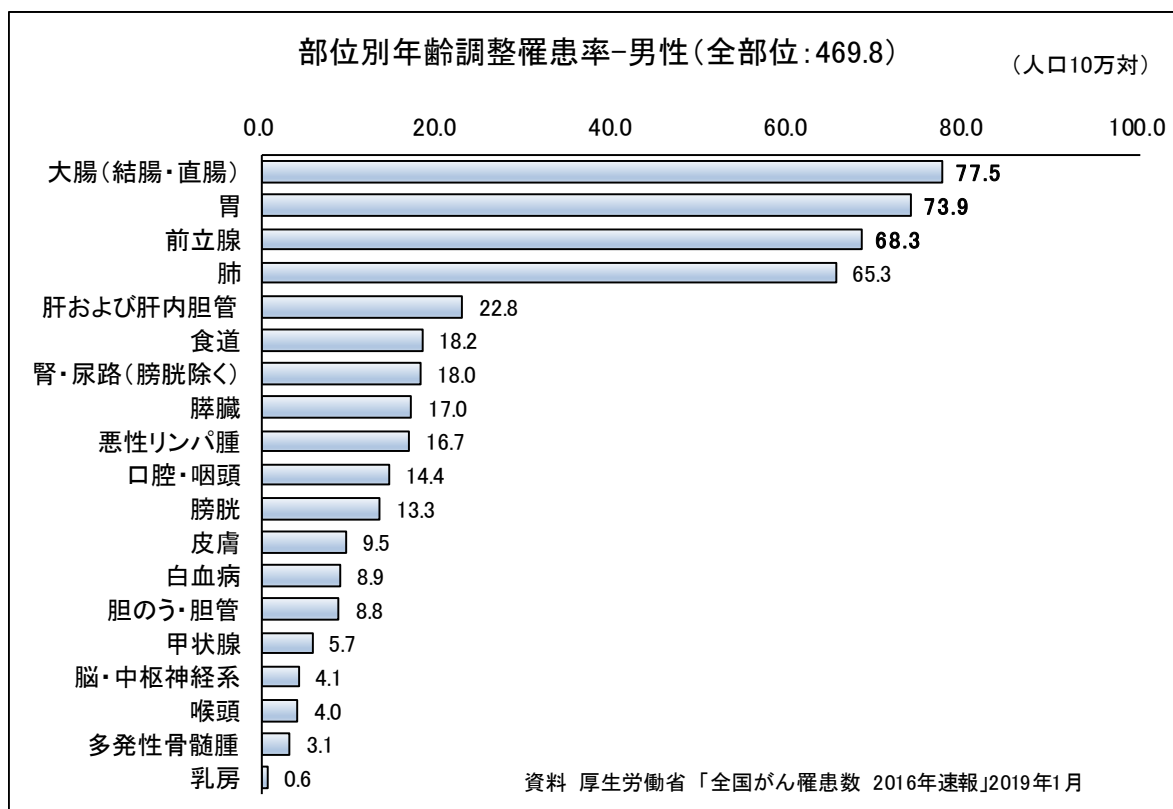
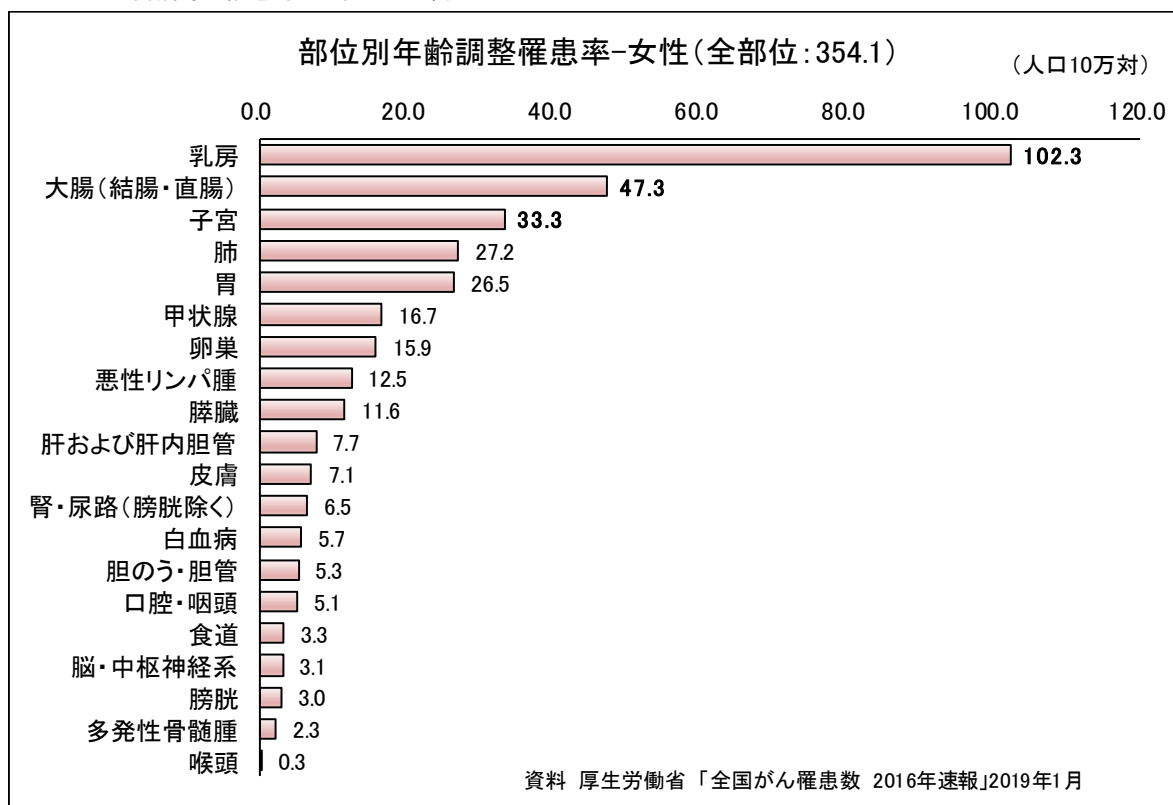


図 10 年齢調整罹患率-女性（全部位：354.1）

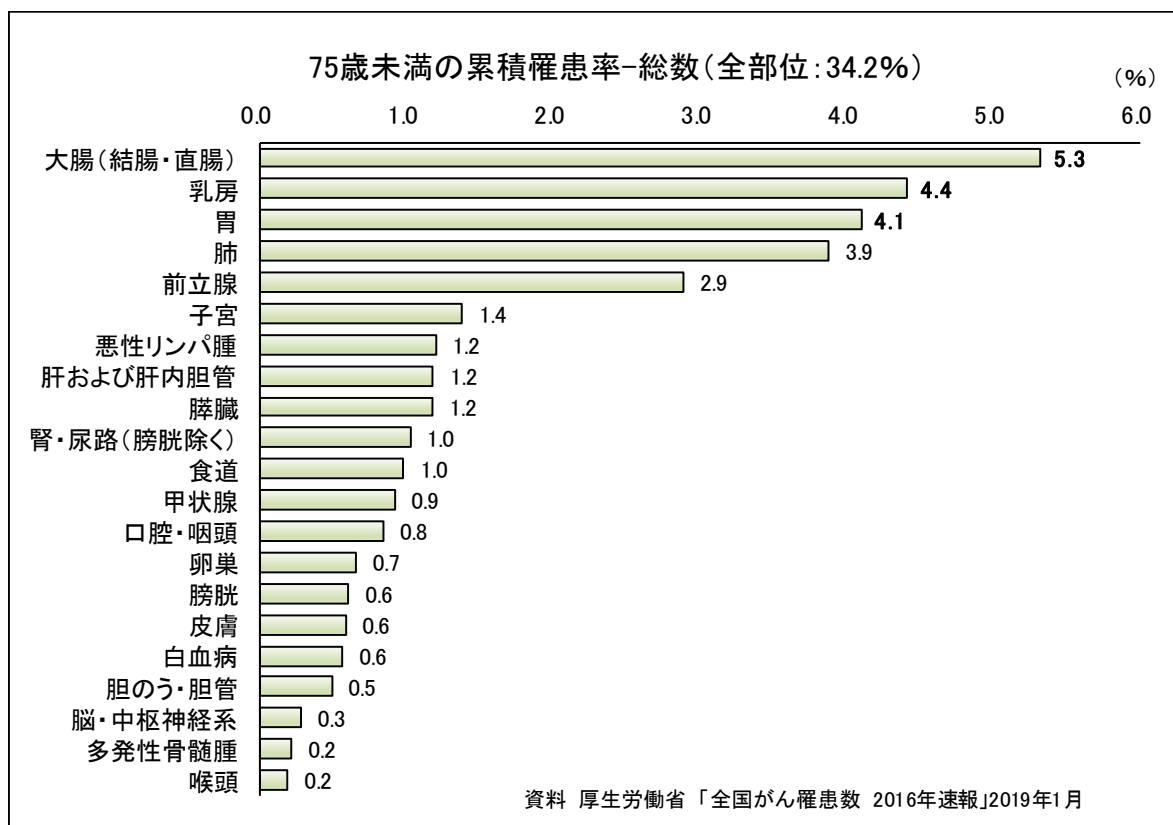


1.4 75歳未満の累積罹患率

75歳未満での全部位の累積罹患率⁴は、総数で34.2%であった。部位別にみると、「大腸（結腸・直腸）（5.3%）」、「乳房（4.4%）」、「胃（4.1%）」の順で高かった。

全部位の累積罹患率は男性で39.9%、女性で29.2%であった。部位別にみると、男性では「大腸（結腸・直腸）（6.8%）」、「胃（6.2%）」、「前立腺（6.0%）」、女性では「乳房（8.7%）」、「大腸（結腸・直腸）（3.9%）」、「子宮（2.7%）」の順で高かった。

図 11 75歳未満の累積罹患率-総数（全部位：34.2%）



⁴ ある年齢までにある病気と診断されるおおよその確率。本稿では74歳までにがんになる確率。出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計の用語集」

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/qa_words/statistics_terminology01.html

図 12 75歳未満の累積罹患率-男性（全部位 39.9%）

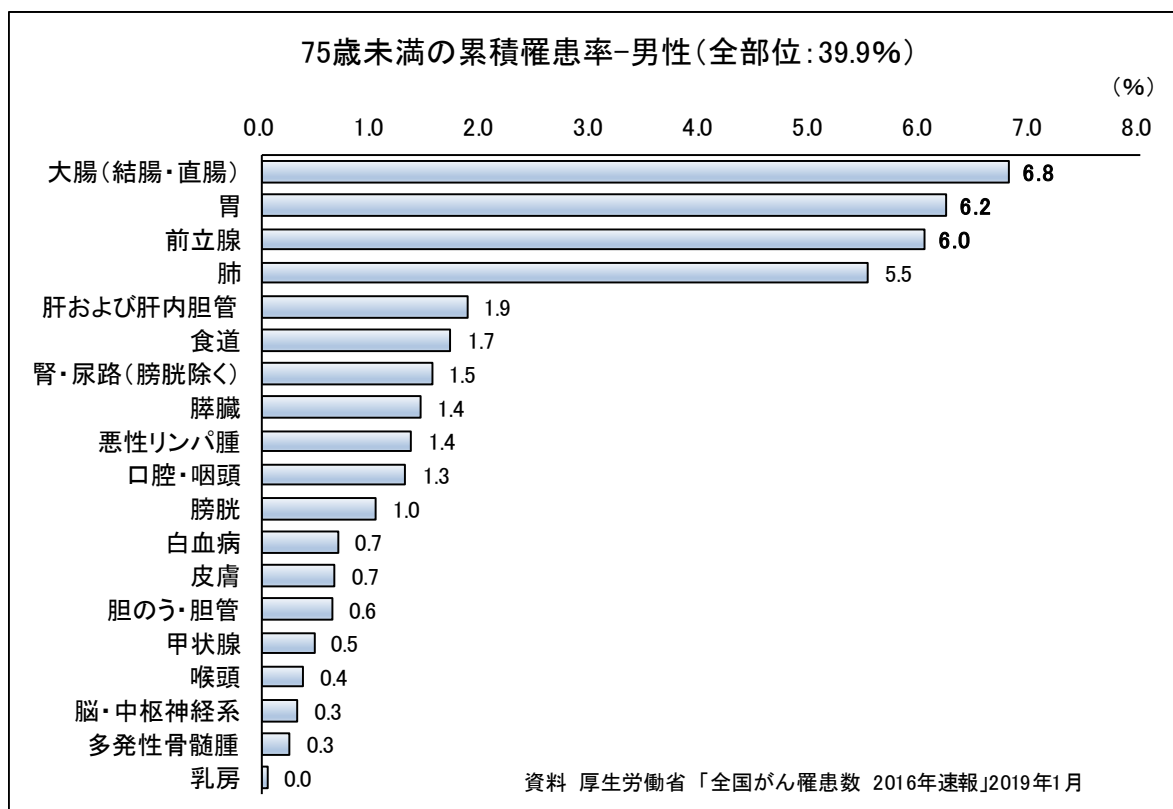
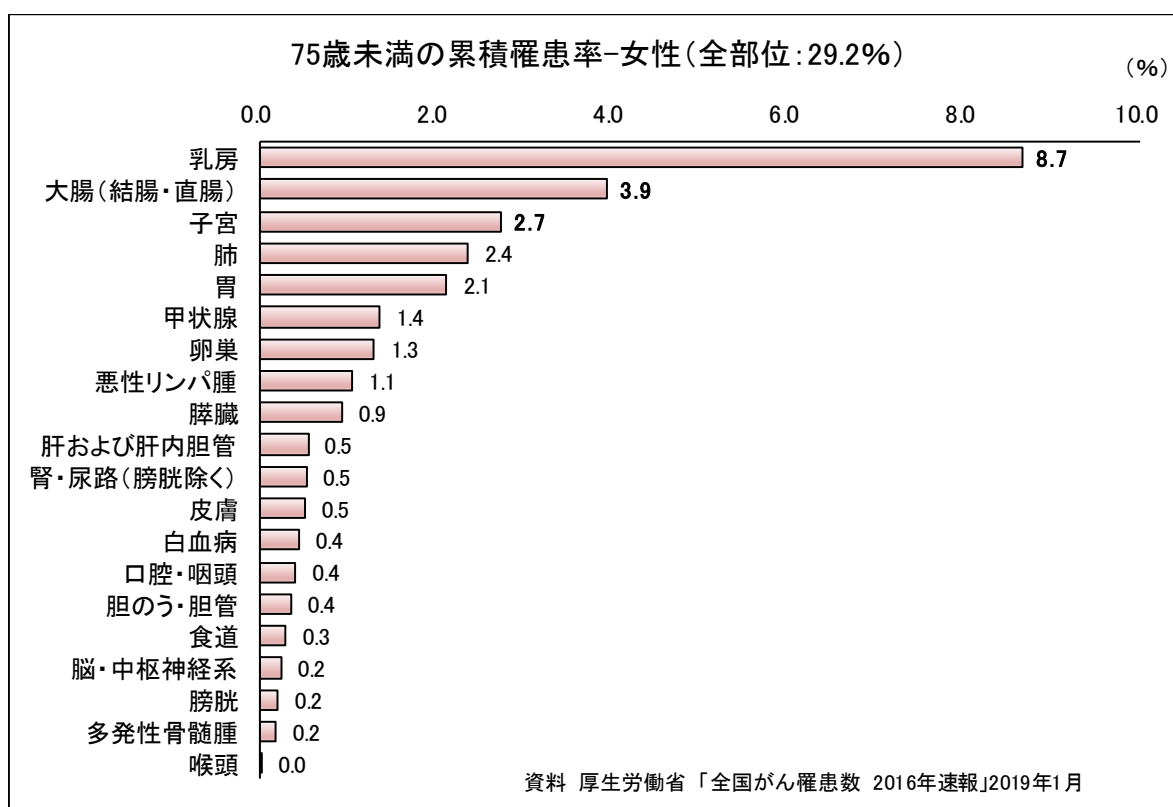


図 13 75歳未満の累積罹患率-女性（全部位 29.2%）



2. 年齢階級別がん罹患数およびがん罹患割合

2.1 総数 (n=995,132)

「乳がん」の罹患数は30代から増え始め、「45-49歳」と「65-69歳」という二つの山がある。「大腸（結腸・直腸）がん」、「胃がん」、「肺がん」、「前立腺がん」は40代以降増加し、「大腸（結腸・直腸）がん」は「65-69歳」、「肺がん」、「前立腺がん」は「70-74歳」、「胃がん」は「75-79歳」でピークに達する。

年齢構成をみると、全体では「45歳未満」が4.7%、「45-64歳」が21.6%、「65-74歳」が31.3%、「75歳以上」が42.5%である。部位別では、「乳がん」、「子宮がん」は45歳未満で1割を超えている。「肝および肝内胆管がん」、「膵臓がん」は75歳以上の高齢者が半数以上を占めている。

<総数>

図14 年齢階級別・部位別がん罹患数 (n=995,132)

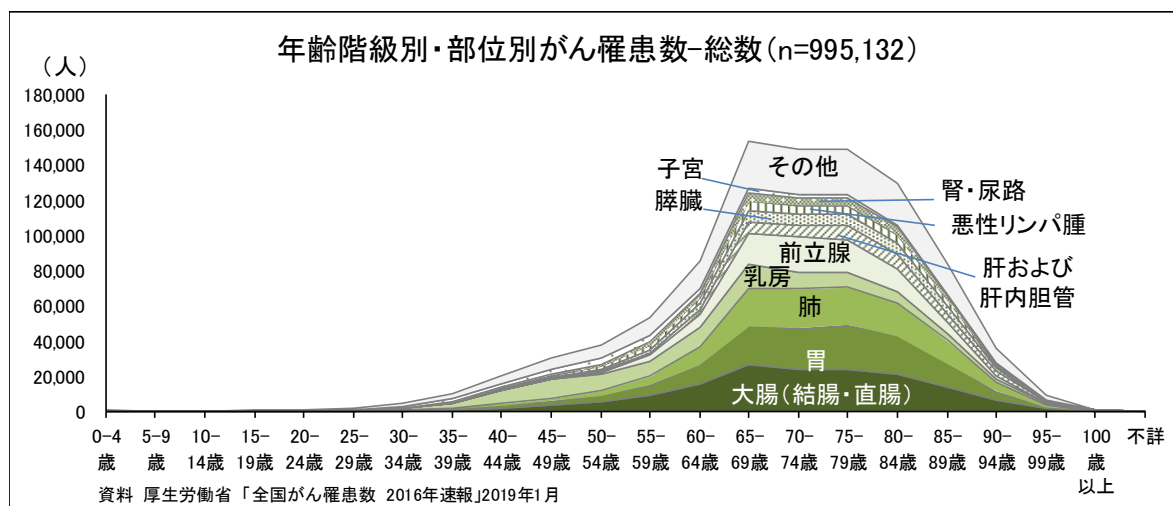
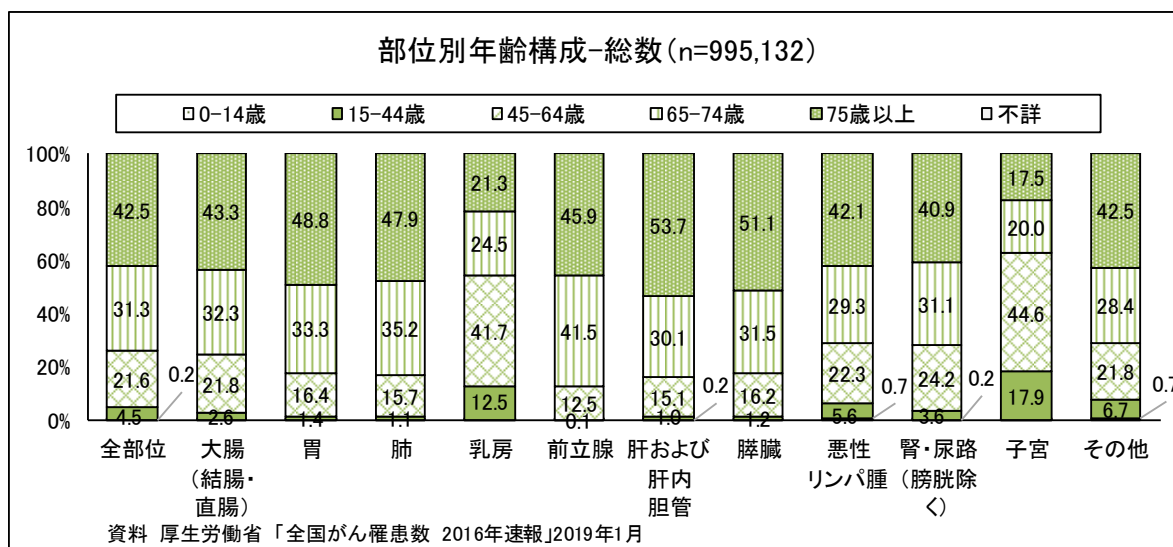


図 15 部位別年齢構成-総数 (n=995, 132)



2.2 男性 (n=566, 575)

罹患数をみると、「大腸（結腸・直腸）がん」は、30代後半から増加を始め、「65-69歳」でピークに達する。「前立腺がん」、「胃がん」、「肺がん」の罹患数のピークは70代である。

年齢構成をみると、全体では「45歳未満」は2.6%、「45-64歳」は18.6%、「65-74歳」は35.7%、「75歳以上」は43.1%である。部位別では「前立腺がん」は高齢者の割合が高く、65歳以上では87.4%と、9割近くに達する。

図 16 年齢階級別・部位別がん罹患数-男性 (n=566, 575)

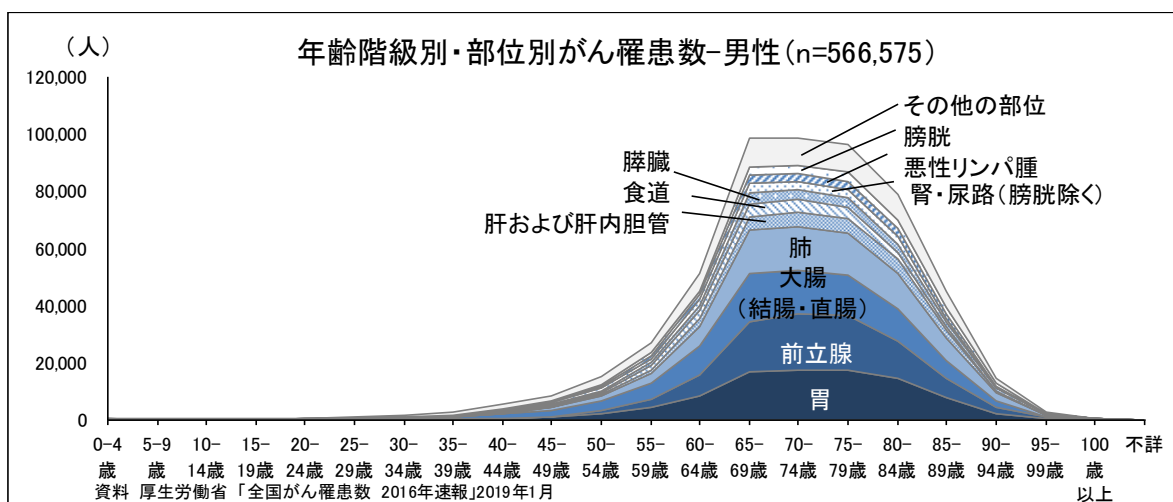
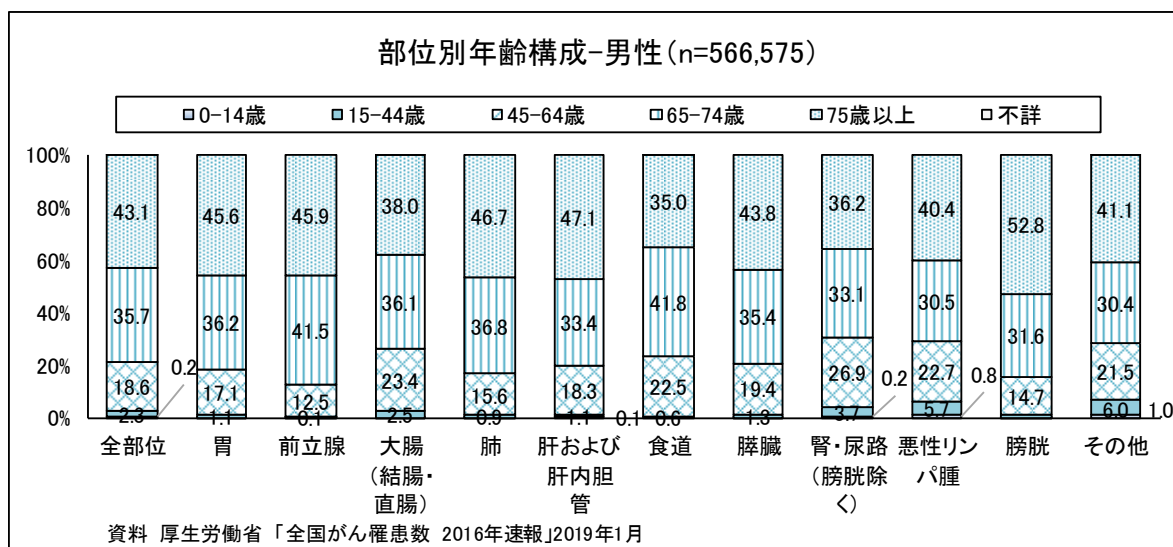


図 17 部位別年齢構成-男性



2.3 女性 (n=428,499)

罹患数をみると、「乳がん」は30代から罹患数が増加し、「45-49歳」でピークに達すると、いったん減少傾向となるが50代後半から再び増加傾向となり、「65-69歳」で二度目のピークに達する。「大腸(結腸・直腸)がん」は40代から増加を始め、「65-69歳」でピークに達すると、「80-84歳」まで、横ばいの分布をみせる。

年齢構成をみると、全体では「45歳未満」が7.5%、「45-64歳」が25.5%、「65-74歳」が25.4%、「75歳以上」が41.6%である。部位別にみると、「胃がん」、「膵臓がん」、「肝および肝内胆管がん」は「75歳以上」が6割弱〜7割弱を占める。一方、「子宮がん」、「卵巣がん」、「甲状腺がん」は、45歳未満が2割弱〜2割以上と、比較的若年層に多い。

図 18 年齢階級別・部位別がん罹患数-女性 (n=428,499)

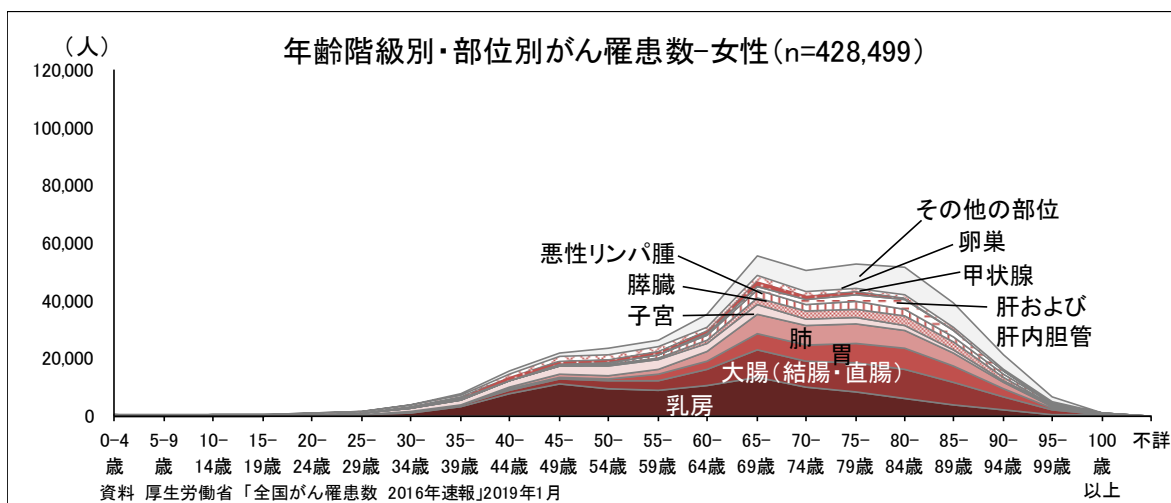
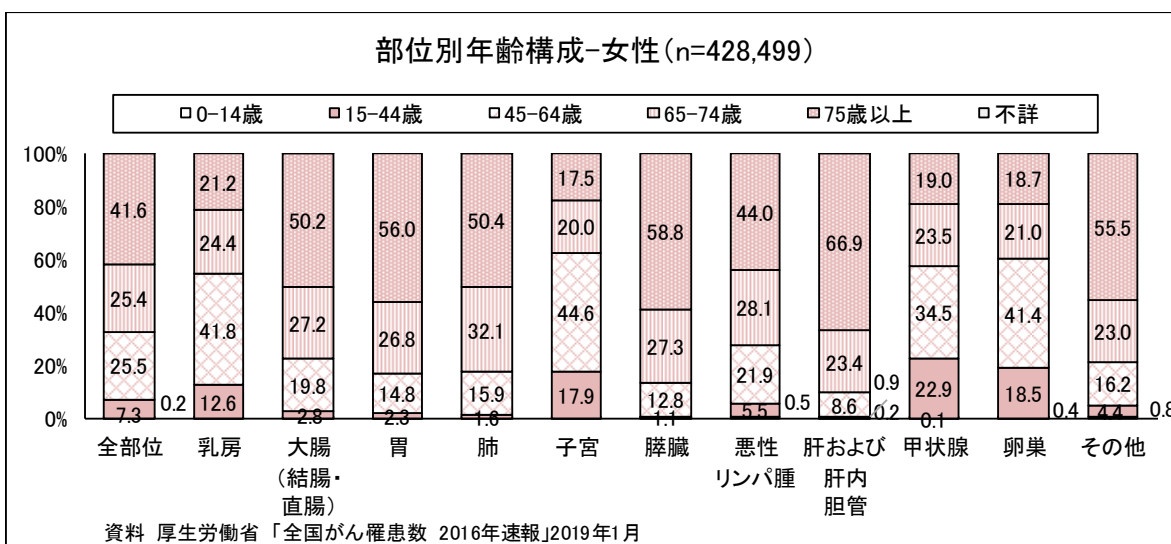


図 19 部位別年齢構成-女性

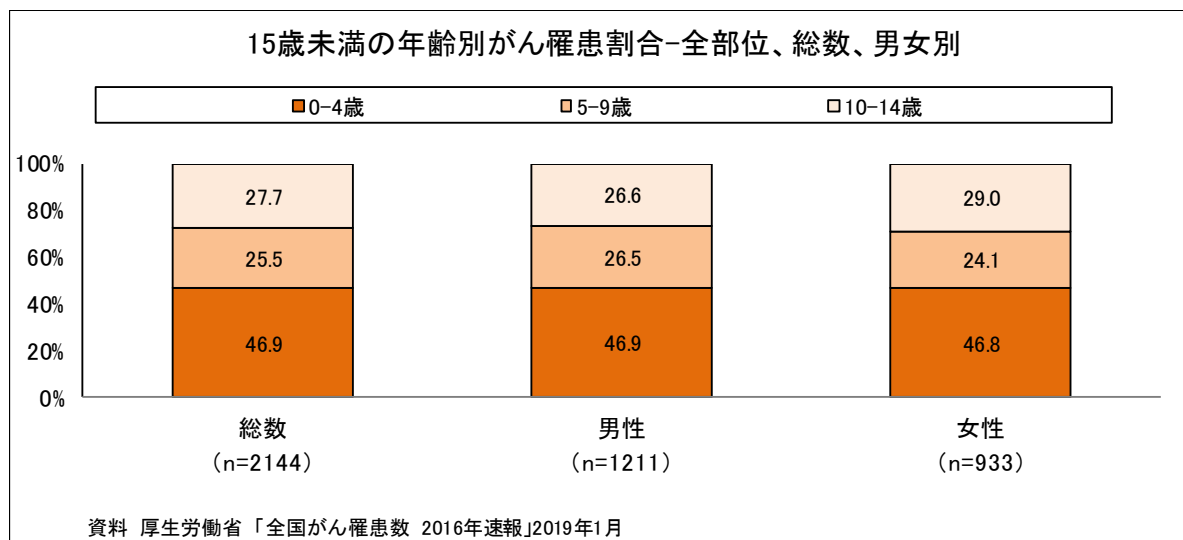
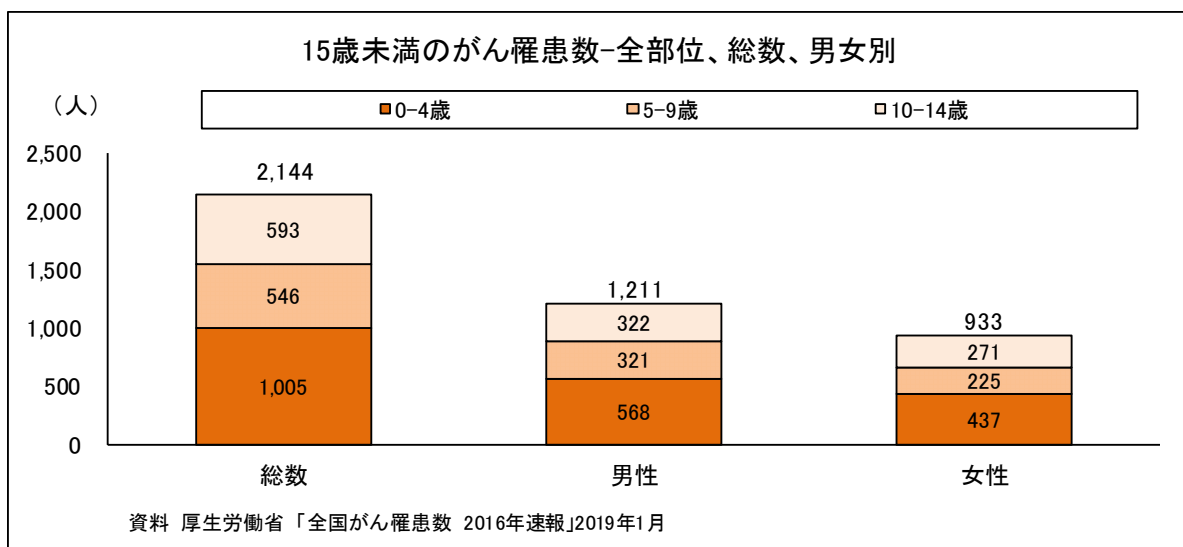


2.4 若年層のがん罹患数およびがん罹患割合の特徴

2.4.1 15歳未満のがん罹患数およびがん罹患割合

15歳未満の全部位のがん罹患数は総数 2,144 人、男性は 1,211 人、女性は 933 人で、それぞれ罹患数総数の 0.2% に当たる。年齢別の構成割合をみると、総数、男女とも「0-4歳」が半数弱を占める。

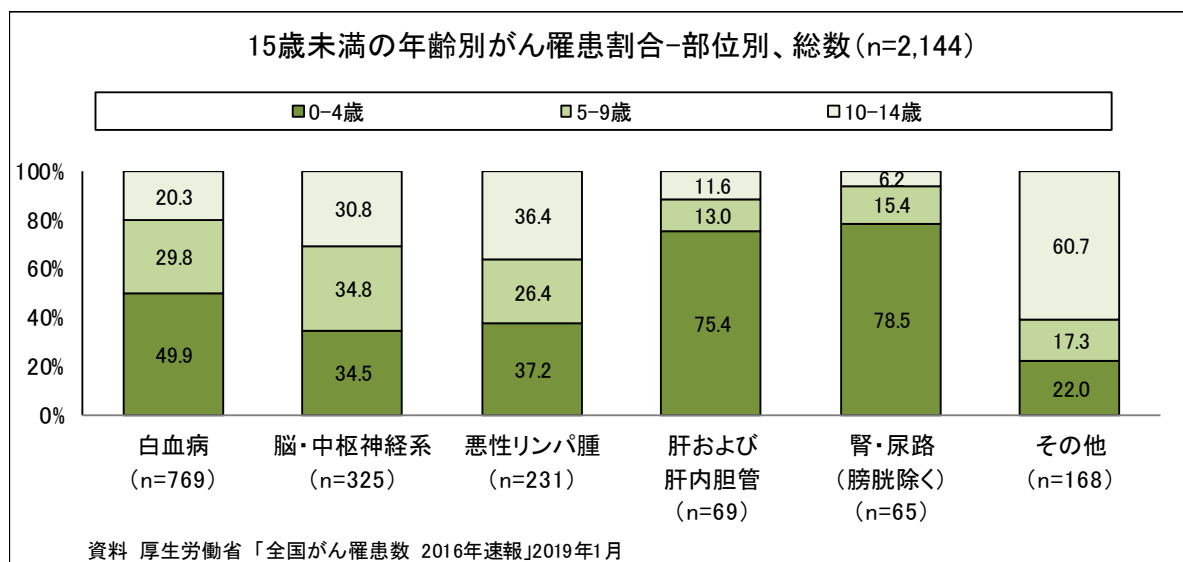
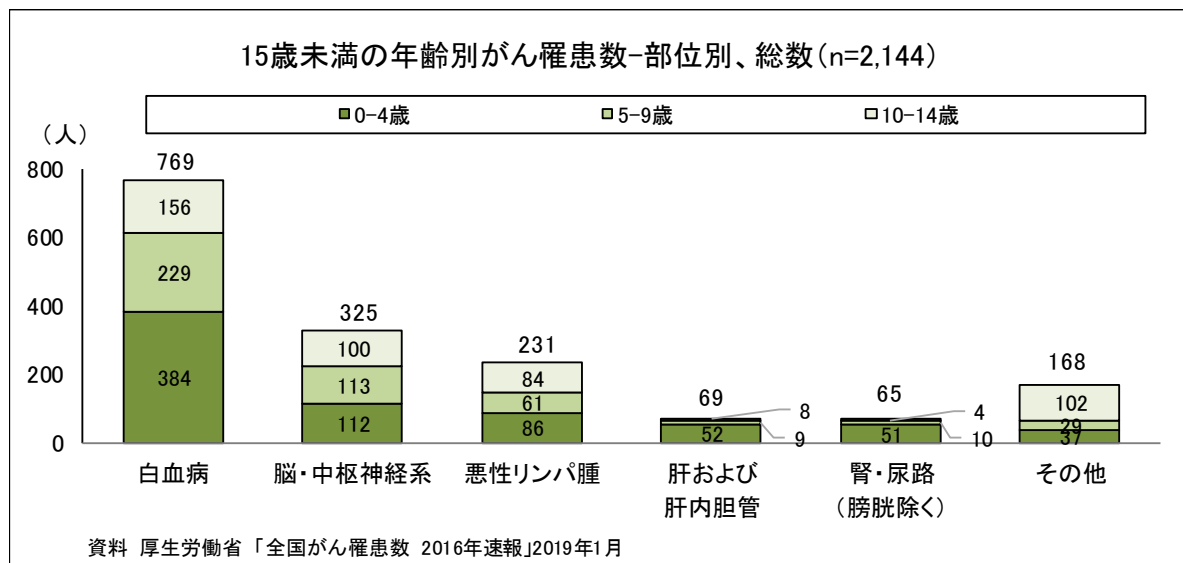
図 20 15歳未満の年齢別がん罹患数および罹患割合-全部位、総数、男女別



①総数

15歳未満のがん罹患数総数を部位別にみると、「白血病」が最も多く、769人。年齢別の割合をみると、「0-4歳」は、「白血病」で約5割、「肝および肝内胆管がん」、「腎・尿路がん（膀胱除く）」で75%以上を占める。

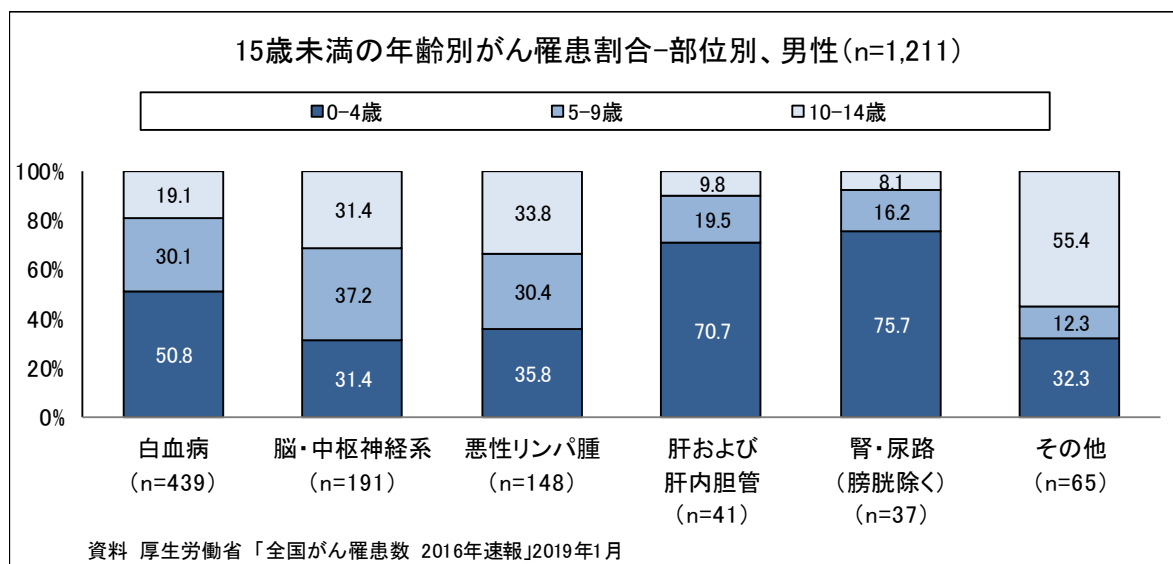
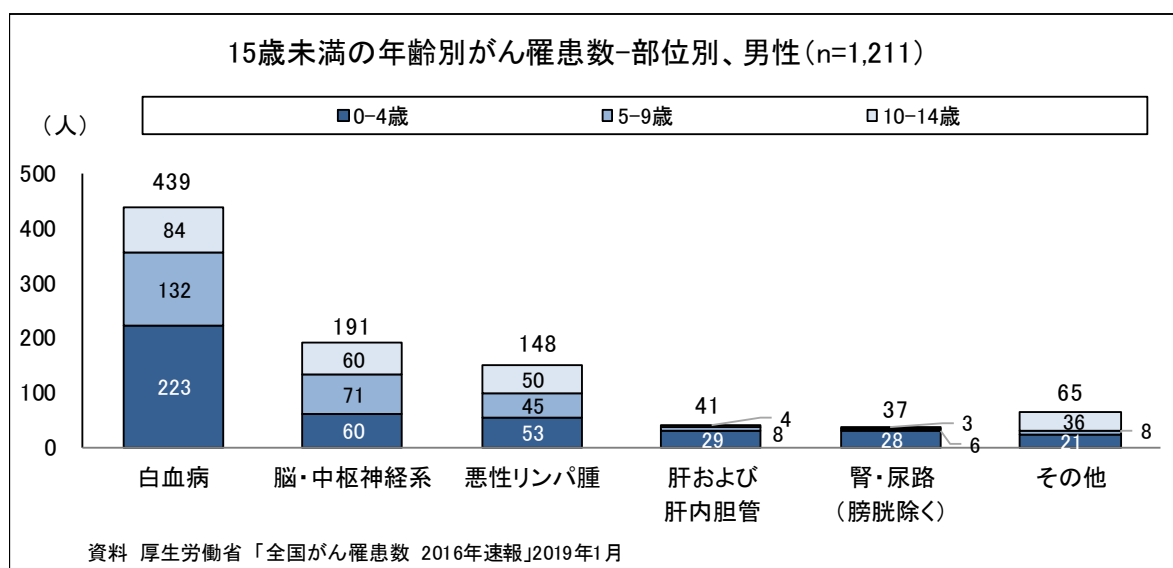
図 21 15歳未満の年齢別罹患数および罹患割合-部位別、総数（n=2,144）



②男性

15歳未満の男性のがん罹患数を部位別で見ると、最も多いものは「白血病」の439人。年齢別の割合をみると、「0-4歳」は、「白血病」で5割、「肝および肝内胆管がん」、「腎・尿路がん（膀胱除く）」で70%以上を占める。

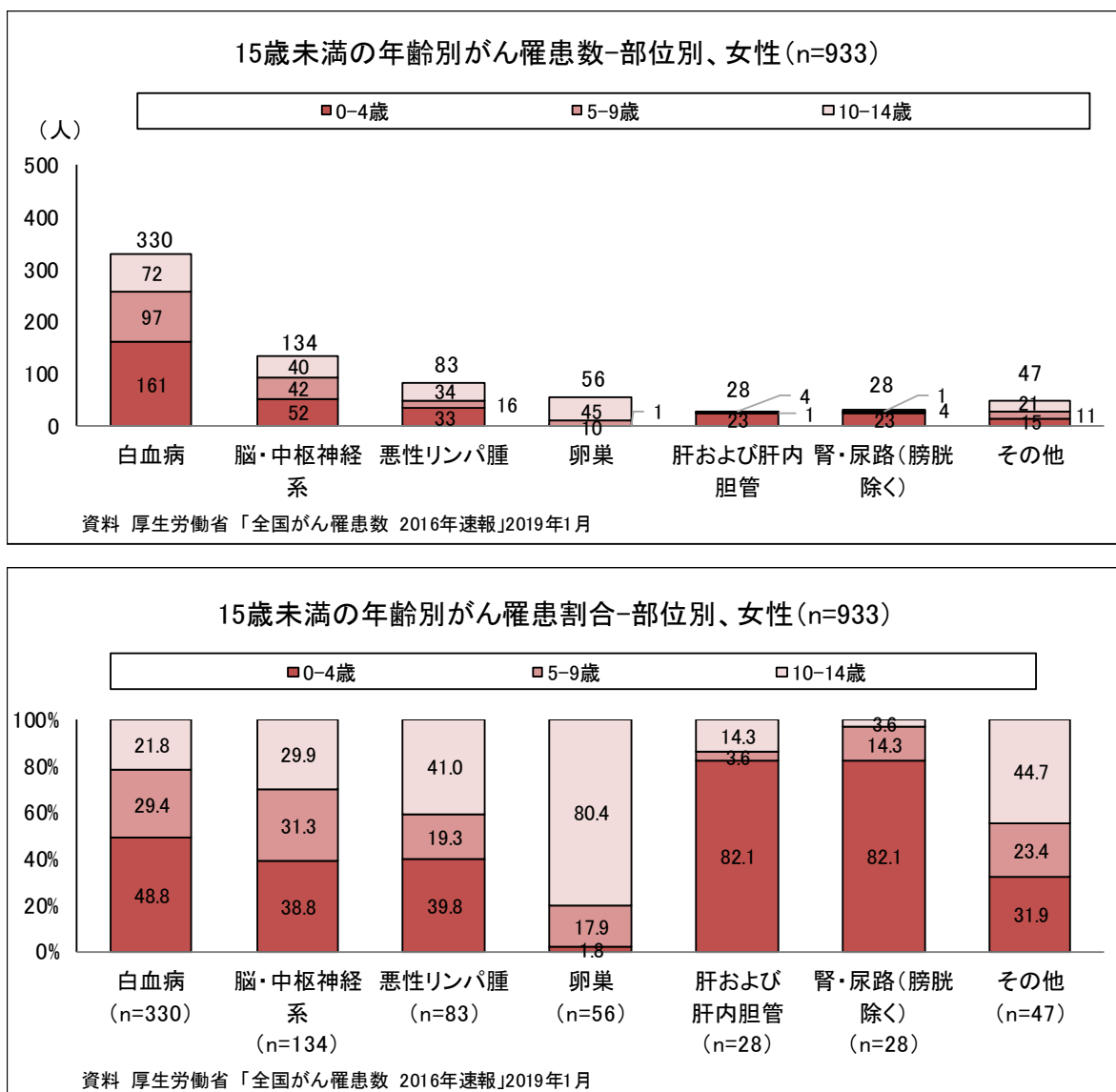
図 22 15歳未満の年齢別罹患数および罹患割合-部位別、男性（n=1,211）



③女性

15歳未満の女性のがん罹患数を部位別にみると、最も多いものは「白血病」の330人。「総数」、「男性」と異なり、4番目に罹患数が多いものは「卵巣がん」（56人）である。年齢別の割合をみると、「肝および肝内胆管がん」、「腎・尿路がん（膀胱除く）」は「0-4歳」の罹患数が8割以上であるが、「卵巣がん」は「10-14歳」の罹患数が8割を占めている。

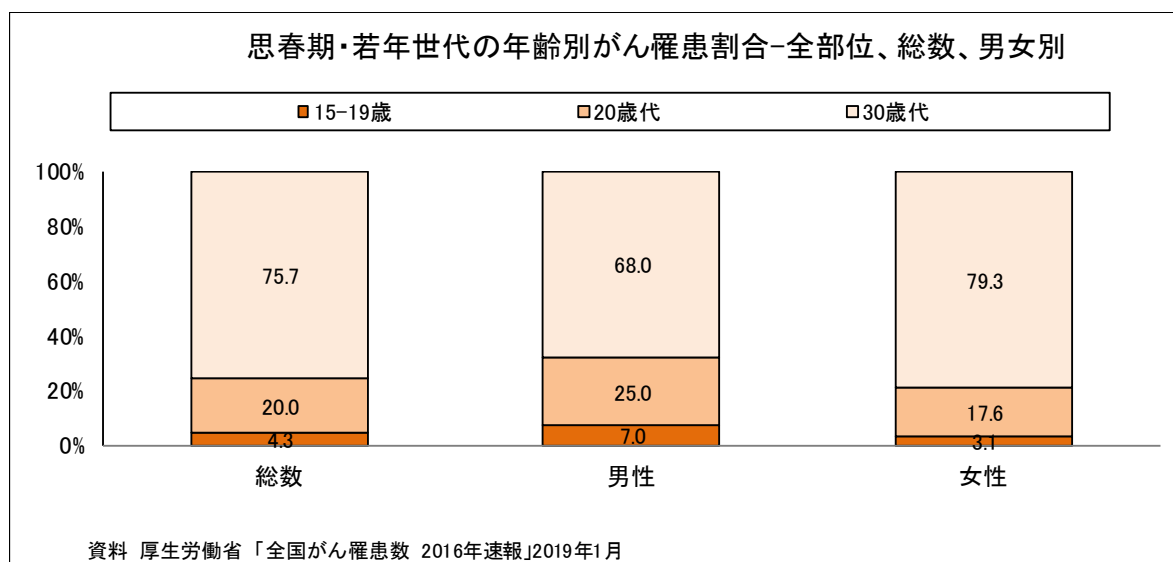
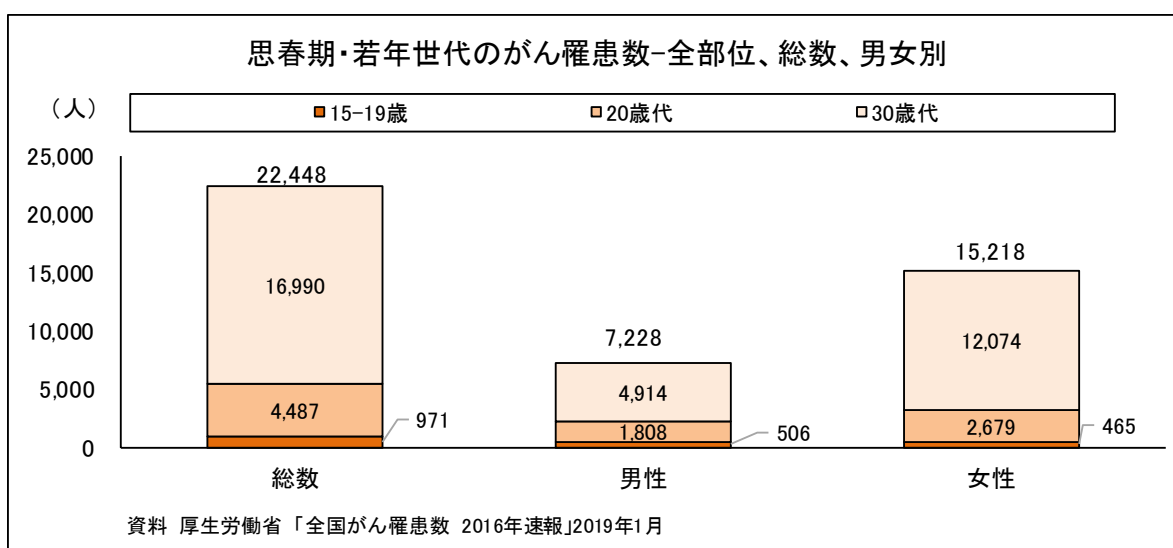
図 23 15歳未満の年齢別がん罹患数および罹患割合-部位別、女性（n=933）



2.4.2 思春期・若年世代のがん罹患数およびがん罹患割合

思春期・若年世代（AYA 世代：15 歳～40 歳未満）の全部位のがん罹患数総数は 22,448 人で、総罹患数の 2.3%に当たる。男性は 7,228 人で、男性総罹患数の 1.3%、女性は 15,218 人で、女性総罹患数の 3.6%に当たる。年齢別の割合をみると、男性は 20 代までが約 3 割を占めているが、女性は 30 代が約 8 割を占めている。

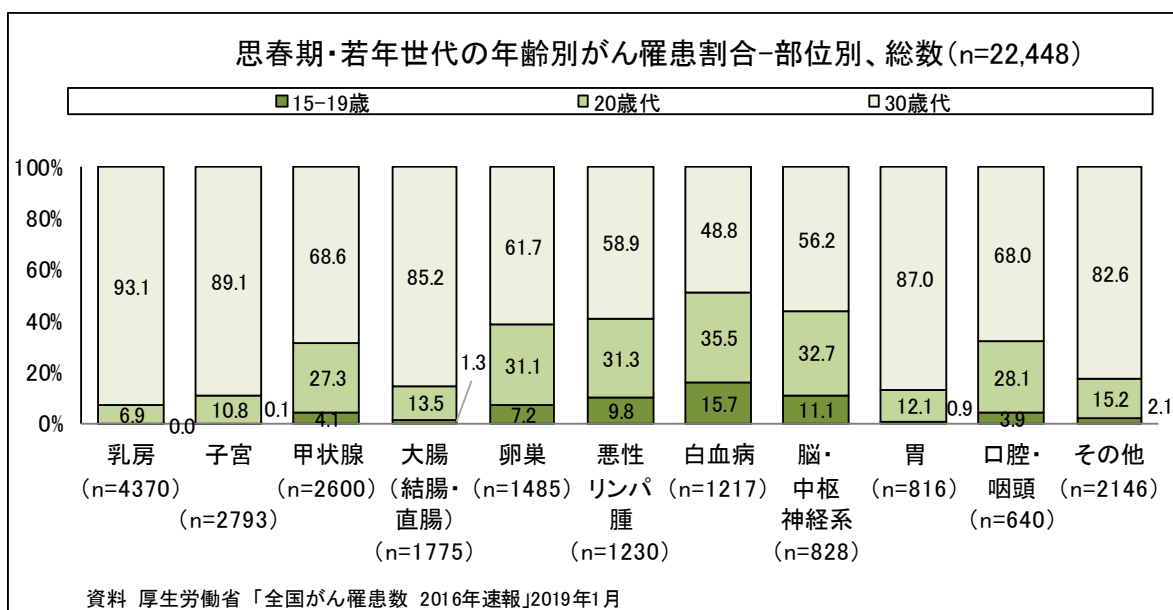
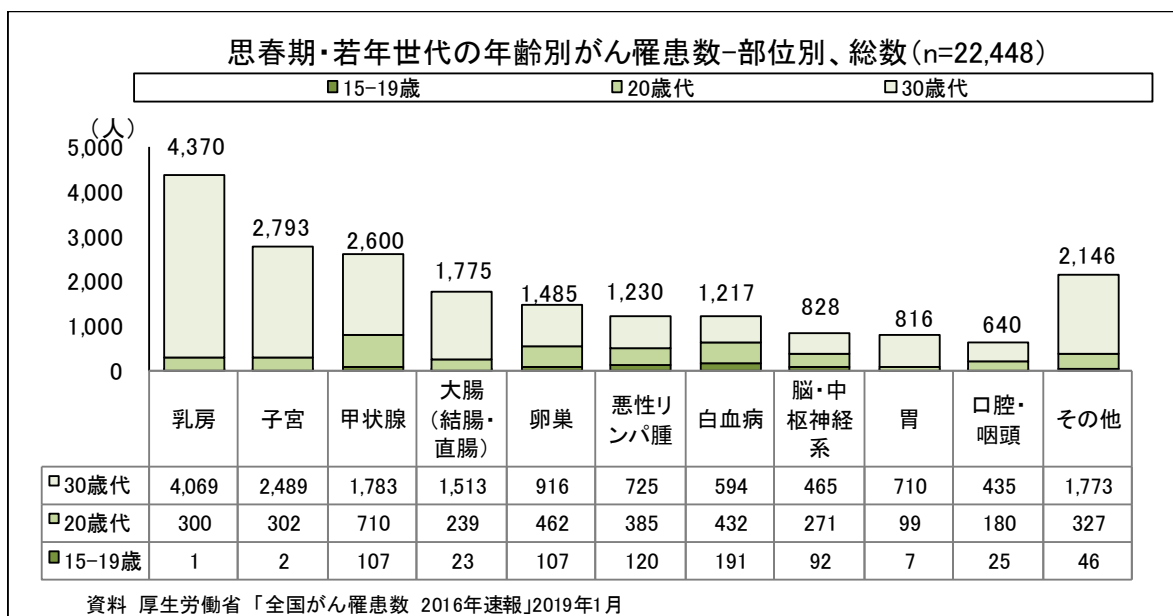
図 24 思春期・若年世代のがん罹患数および罹患割合-全部位、総数、男女別



①総数

罹患数を部位別にみると「乳がん」が4,370人で最も多く、「子宮がん」(2,793人)、「甲状腺がん」(2,600人)と続く。年齢別の割合を部位別にみると、「卵巣がん」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「脳・中枢神経系」は、20代までの罹患数が約4～5割を占めるが、「乳がん」、「子宮がん」、「大腸(結腸・直腸)がん」、「胃がん」は30代の罹患数が約9割に上る。

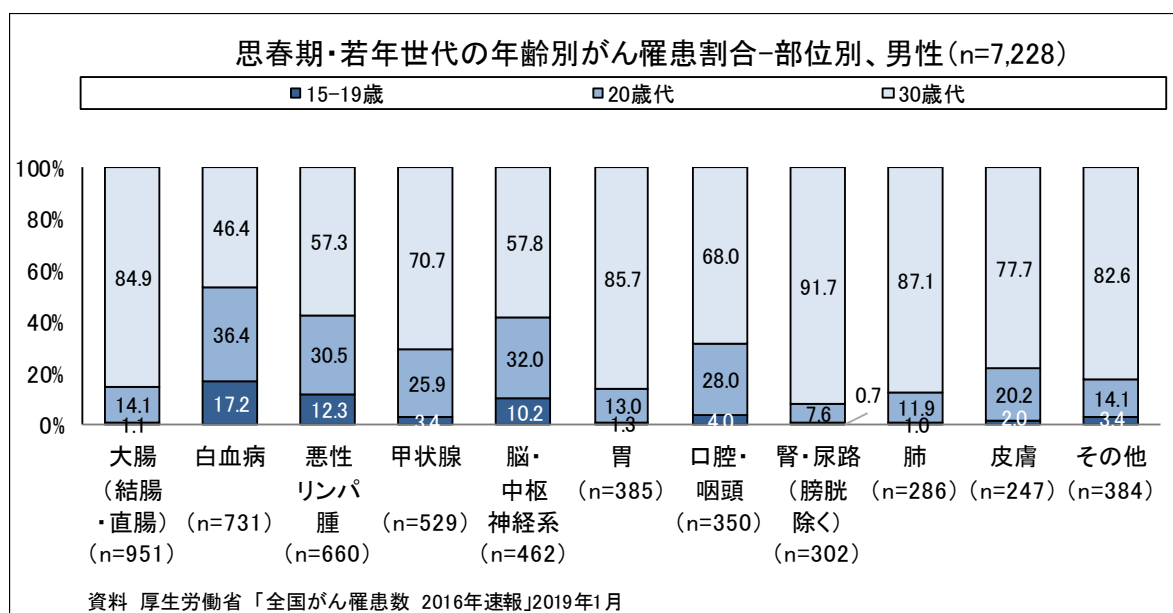
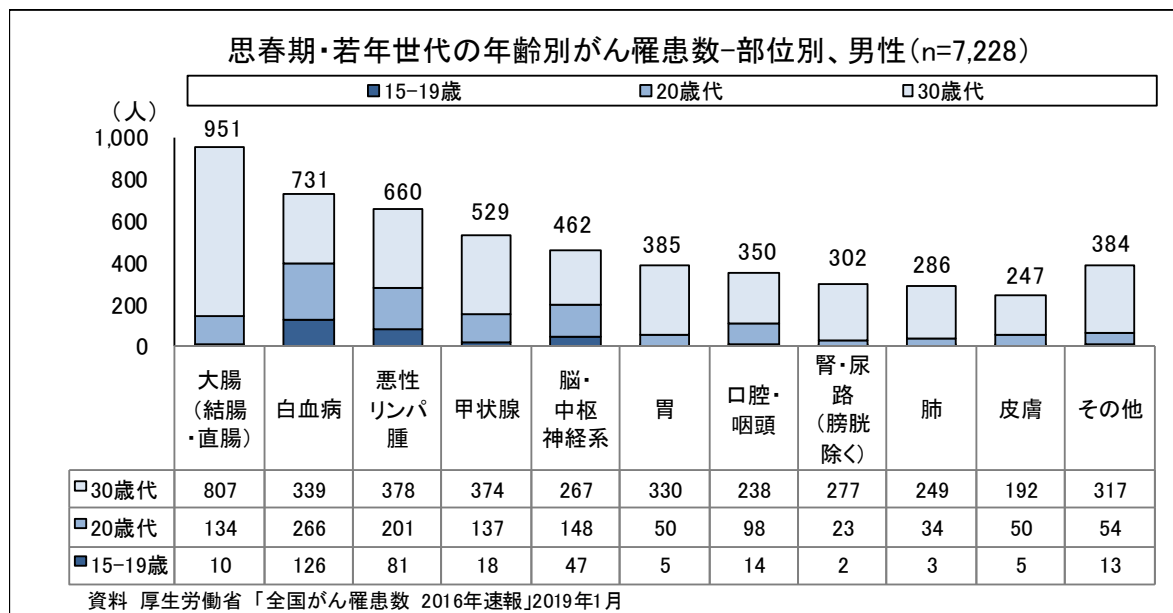
図 25 思春期・若年世代の年齢別がん罹患数および罹患割合-部位別、総数 (n=22,448)



②男性

罹患数を部位別にみると、「大腸（結腸・直腸）がん」が951人で最も多い。「白血病」（731人）、「悪性リンパ腫」（660人）と続き、「肺がん」が9位に入る。年齢別の割合を部位別にみると、「白血病」、「悪性リンパ腫」、「脳・中枢神経系」は20代までの罹患数が4割～5割超を占めるが、「大腸（結腸・直腸）がん」、「胃がん」、「腎・尿路がん（膀胱除く）」、「肺がん」は30代の罹患数が8割以上を占め、「腎・尿路がん（膀胱除く）」は9割を超える。

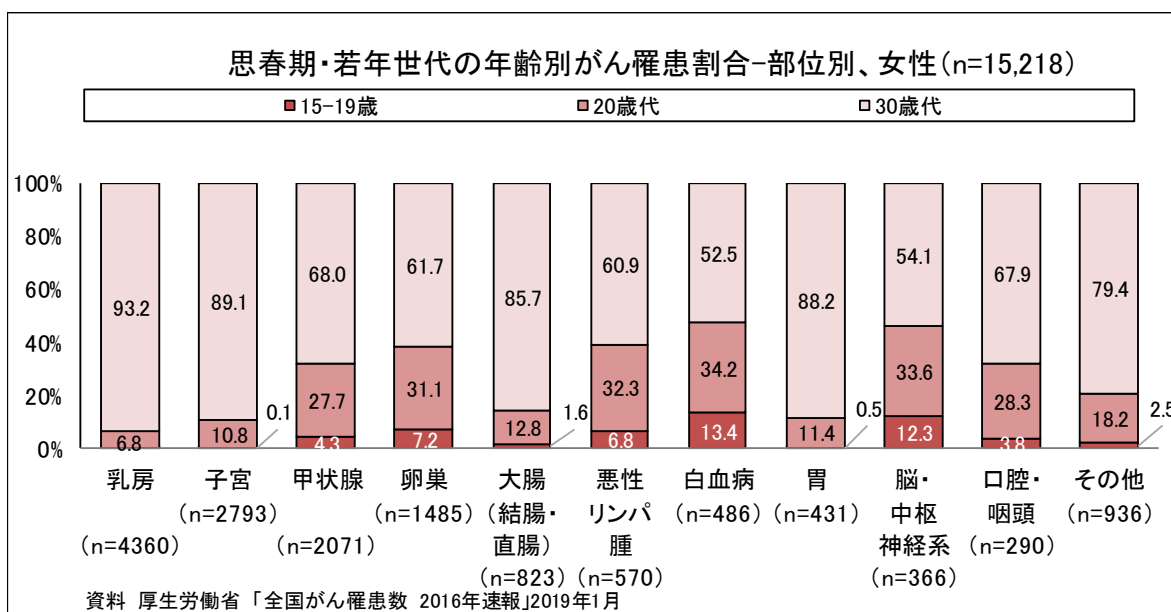
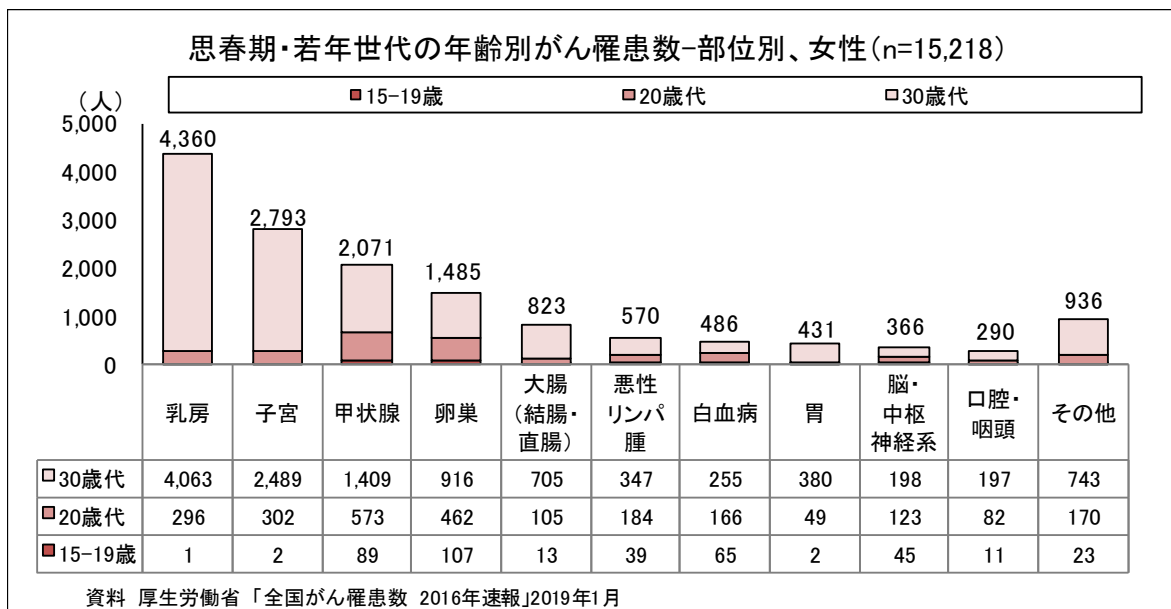
図 26 思春期・若年世代の年齢別がん罹患数-部位別、男性（n=7,228）



③女性

罹患数を部位別にみると、「乳がん」が4,360人で最も多く、「子宮がん」(2,793人)、「甲状腺がん」(2,071人)と続く。年齢別の割合を部位別にみると、「白血病」、「脳・中枢神経系」は10代後半が1割超で、他のがんと比べると比較的高い。「乳がん」、「子宮がん」、「大腸(結腸・直腸)がん」「胃がん」は30代の罹患数の割合が高く、約9割を占める。

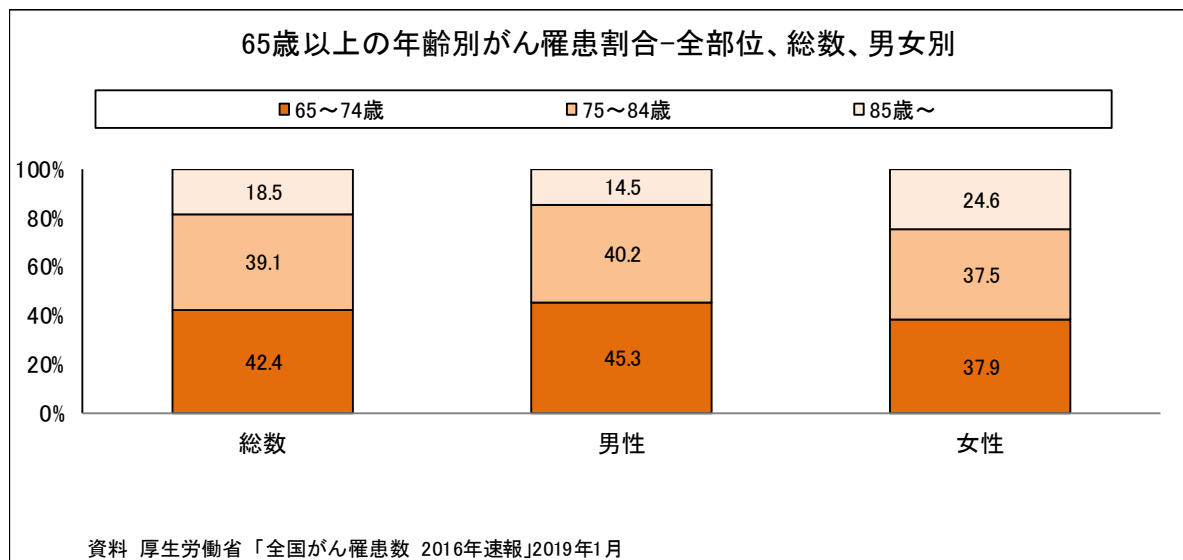
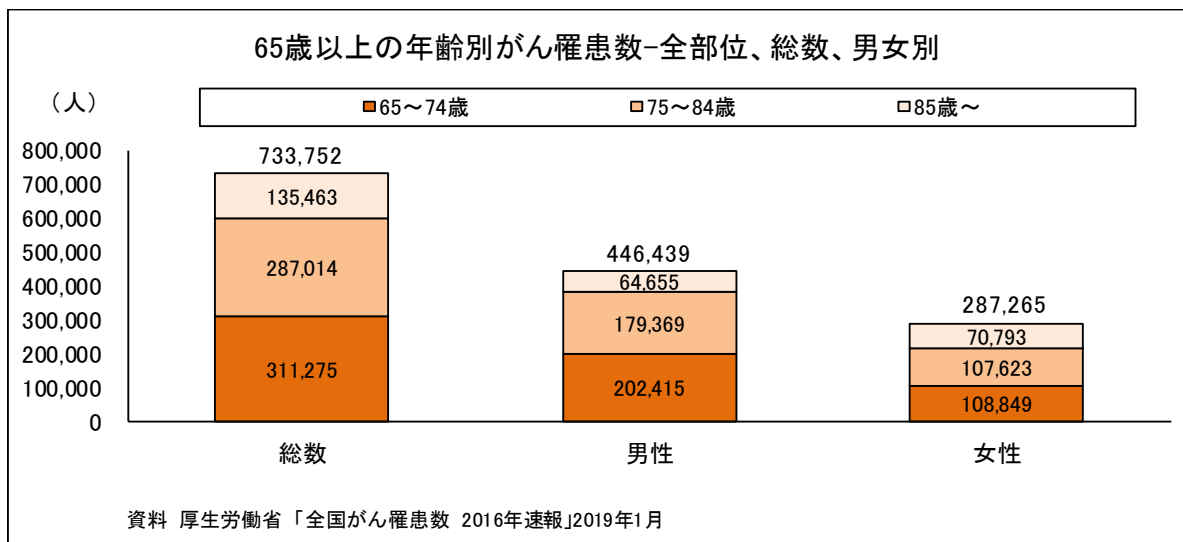
図 27 思春期・若年世代の年齢別がん罹患数および罹患割合-女性 (n=15,218)



2.5 65歳以上のがん罹患数および罹患割合の特徴

65歳以上のがん罹患数（全部位）は、男女合わせた総数で733,752人、男性446,439人、女性は287,265人で、それぞれ全罹患数の73.7%、78.8%、67.0%を占める。年齢別にみると、女性は約4分の1が85歳以上である。

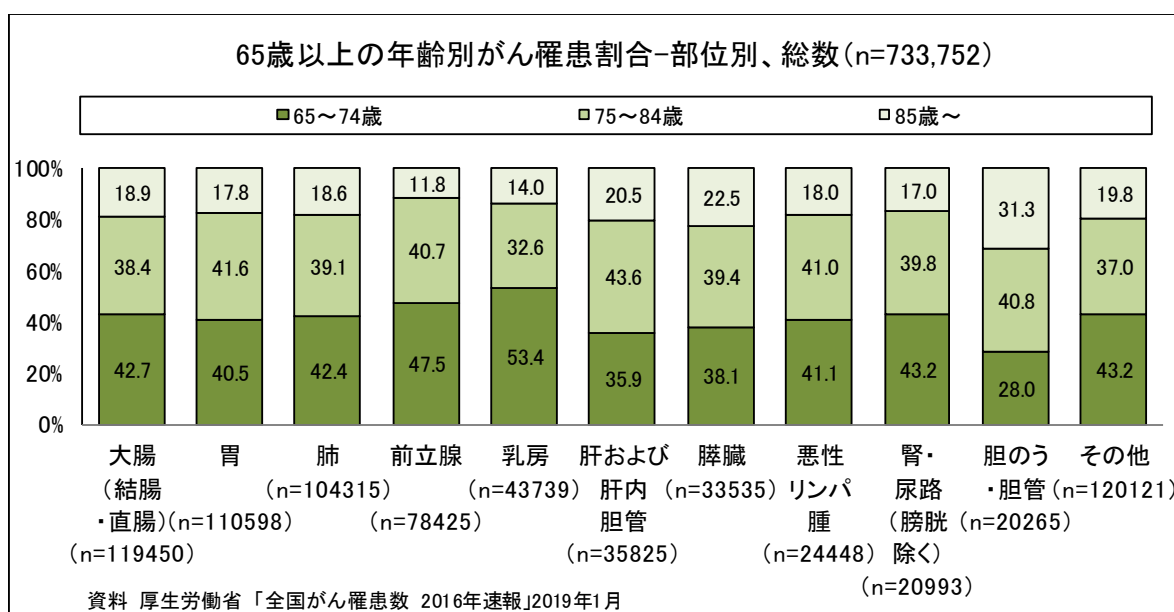
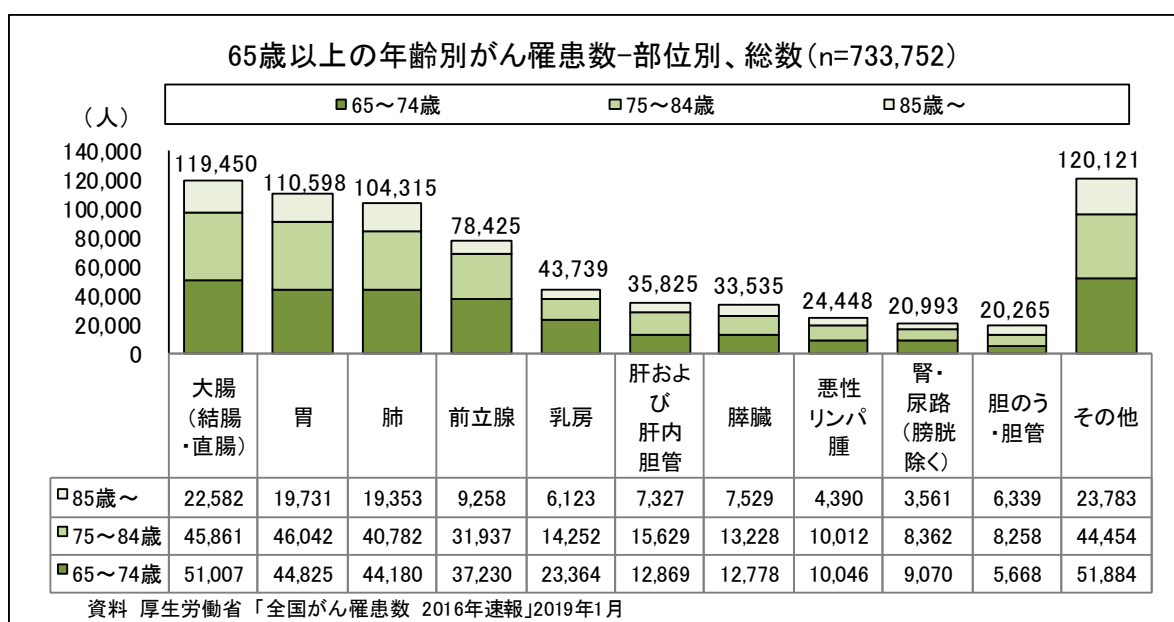
図 28 65歳以上の年齢別がん罹患数および罹患割合-全部位、総数、男女別



2.5.1 総数 (n=733,752)

罹患数を部位別にみると「大腸（結腸・直腸）がん」が119,450人で最も多く、「胃がん」（110,598人）、「肺がん」（104,315人）と続く。年齢別の割合を部位別にみると、「乳がん」、「前立腺がん」は「65～74歳」が約半数を占めているが、「胆のう・胆管がん」は「85歳以上」が3割を超えている。

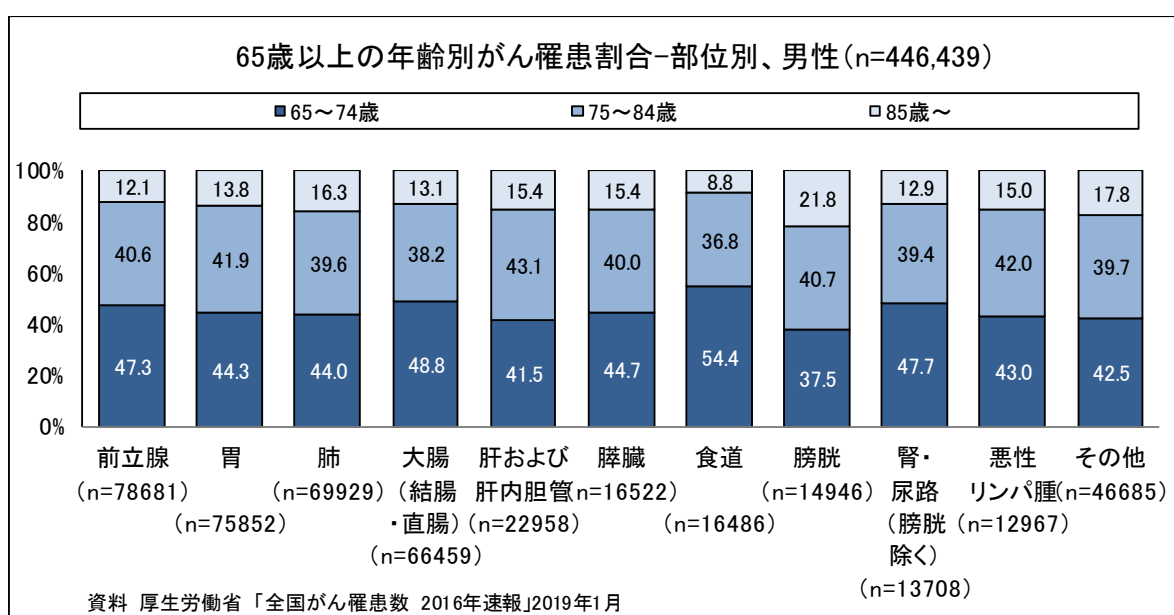
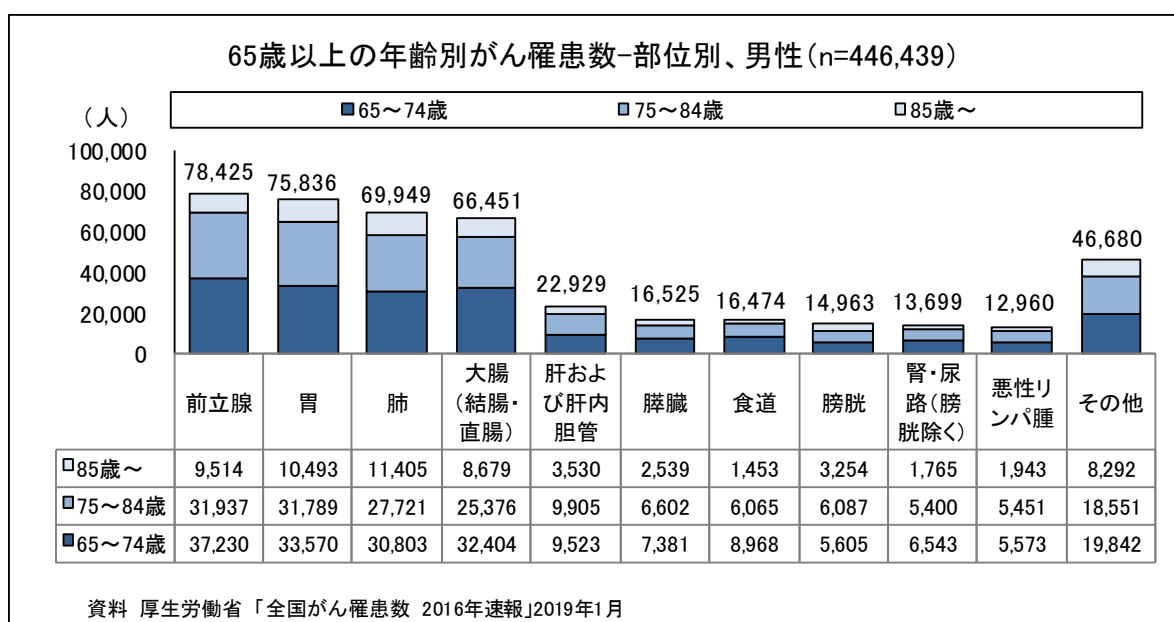
図 29 65歳以上の年齢別がん罹患数およびがん罹患割合-部位別、総数



2.5.2 男性 (n=446,439)

罹患数を部位別にみると、「前立腺がん」が78,425人で最も多く、「胃がん」(75,836人)、「肺がん」(69,949人)と続く。年齢別の割合を部位別にみると、「食道がん」は、「65～74歳」の罹患数が半数を超えている。「膀胱がん」は「85歳以上」が約2割で、他のがんと比べて高い割合を占めている。

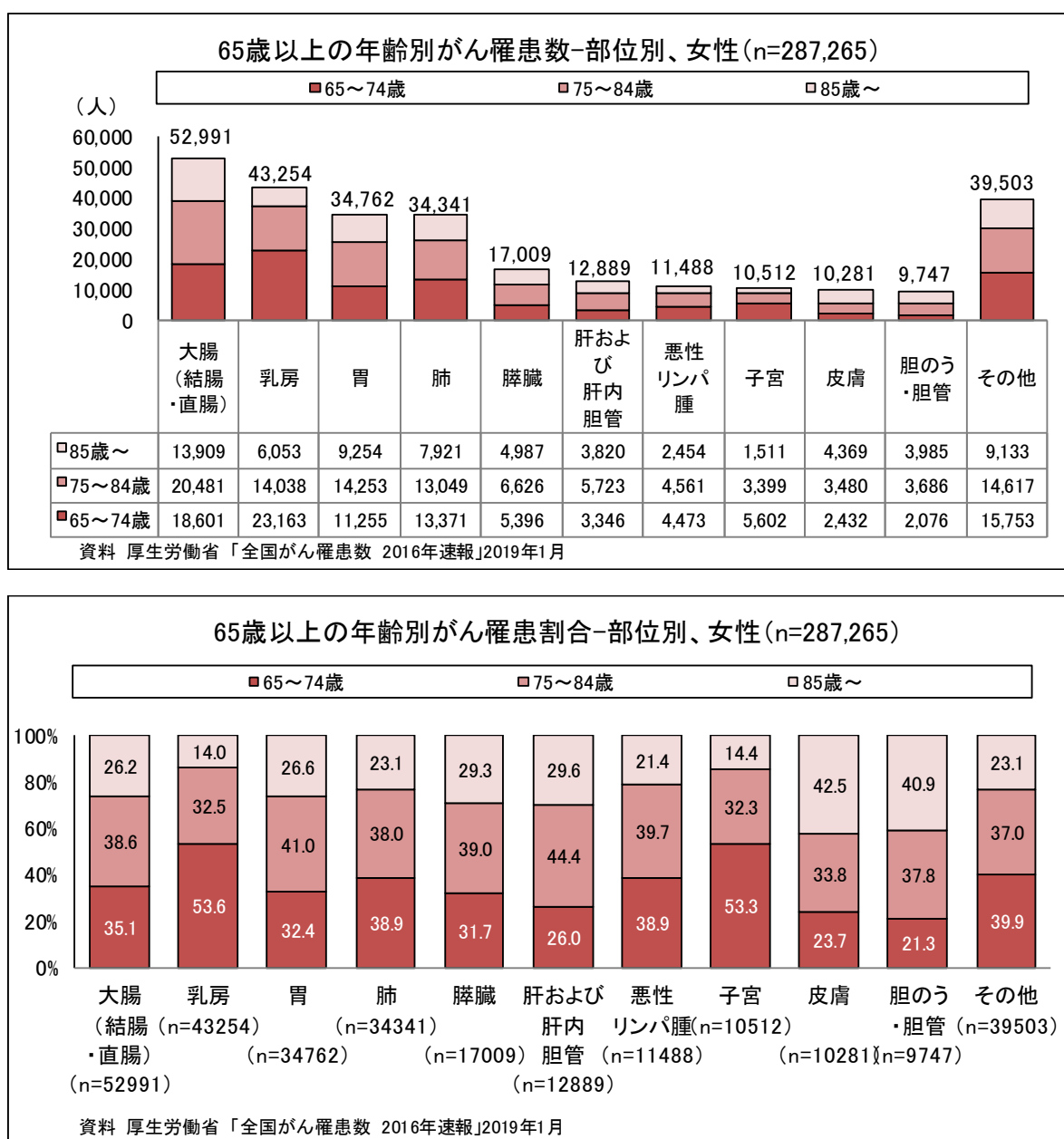
図 30 65歳以上の年齢別がん罹患数およびがん罹患割合-部位別、男性



2.5.3 女性 (n=287,265)

罹患数を部位別にみると、「大腸（結腸・直腸）がん」が52,991人で最も多く、「乳がん」（43,254人）、「胃がん」（34,762人）と続く。年齢別の割合を部位別にみると、「乳がん」、「子宮がん」は「65～74歳」が半数以上を占めている。「皮膚がん」、「胆のう・胆管がん」は「85歳以上」が4割以上である。

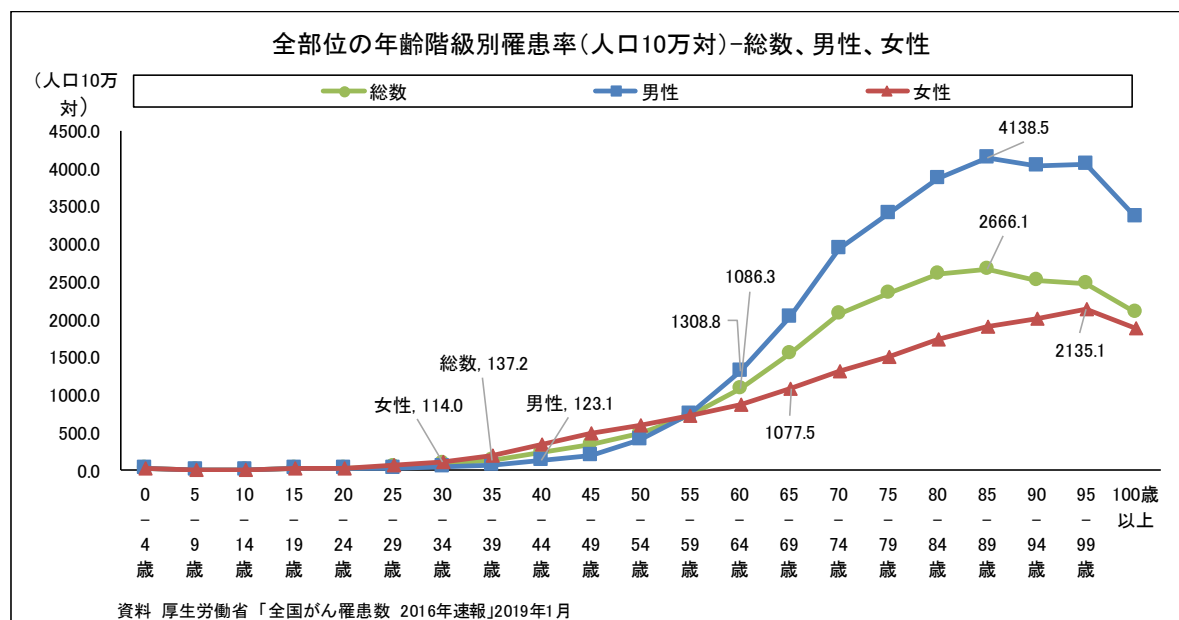
図 31 65歳以上の年齢別がん罹患数およびがん罹患割合-部位別、女性



3. 部位別・年齢階級別罹患率

全部位の年齢階級別罹患率をみると、総数では、35歳未満までは100未満で、60歳以上になると1,000を超過し、「85-89歳」でピークに達する。男性は40歳未満の階級では100未満（人口10万対）で、60歳以上になると1,000を超過し、「85-89歳」でピークに達する。女性は30歳未満の階級では100未満で、65歳以上になると1,000を超過し、「95-99歳」でピークに達する。

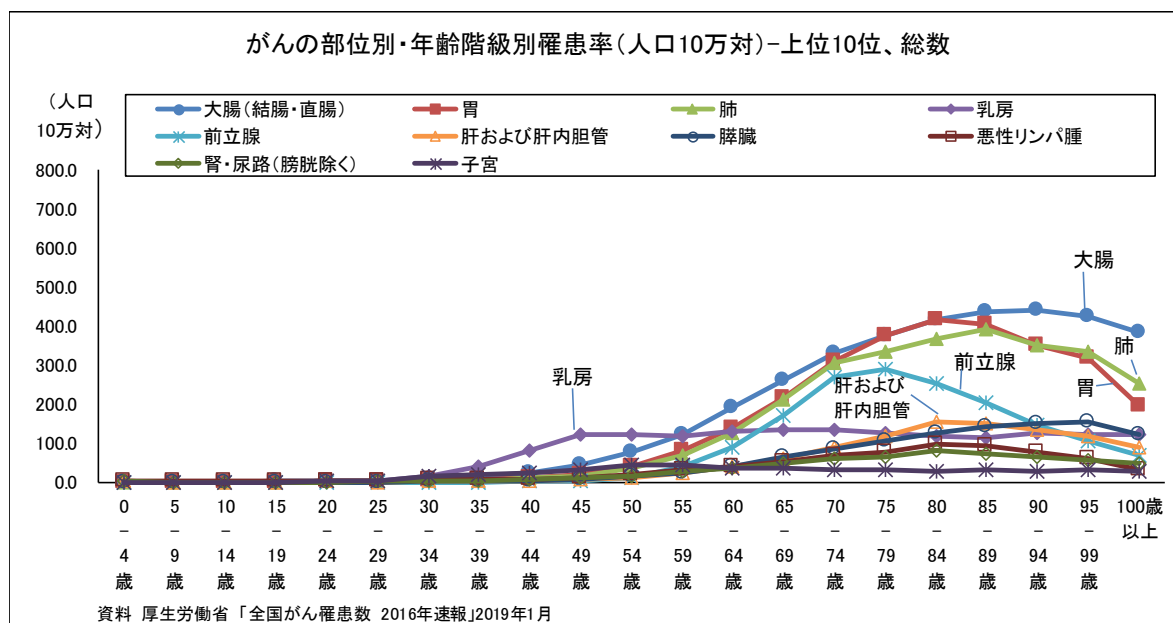
図 32 全部位の年齢階級別罹患率（人口10万対）-総数、男性、女性



3.1 総数

総数の部位別・年齢階級別罹患率をみると、「乳がん」の罹患率（人口10万対）は「45-49歳」で100を超え、全部位のがんの中でもっとも早い。「70-74歳」でピークを迎えた後も、ほぼ横ばいで推移する。「大腸（結腸・直腸）がん」は「55-59歳」で100を超えると年齢と共に罹患率も上昇し、80歳以上からは横ばいに推移する。「胃がん」、「肺がん」は「60-64歳」で罹患率100を超え、共に80代でピークに達する。「前立腺がん」は「65-69歳」で罹患率100を超え、「75-79歳」でピークに達した後は減少する。「前立腺がん」は「65-69歳」で罹患率100を超え、「75-79歳」でピークに達した後は減少する。

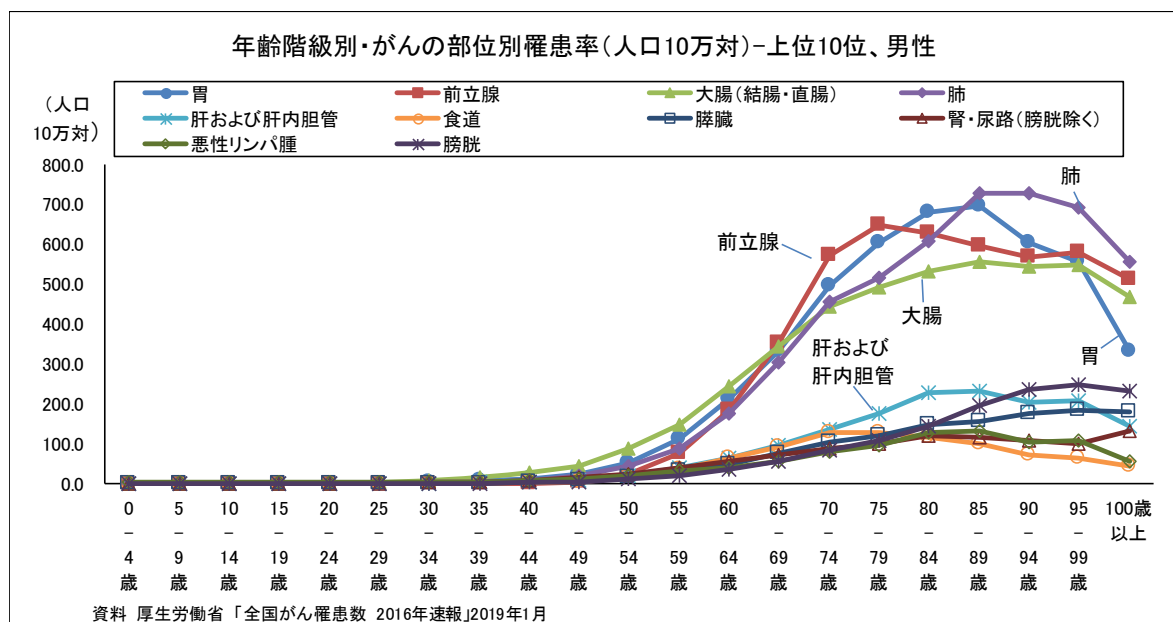
図 33 がんの部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対）-総数



3.2 男性

「胃がん」、「肺がん」は「55-59 歳」で罹患率 100 を超え、「胃がん」は「85-89 歳」、「肺がん」は「90-94 歳」でピークに達する。「大腸（結腸・直腸）がん」は「55-59 歳」で罹患率 100 を超えると 80 代まで上昇を続け、「85-89 歳」でピークを迎えた後もほぼ横ばいである。「前立腺がん」は「60-64 歳」で罹患率 100 を超え、「75-79 歳」でピークを迎えた後は、緩やかに減少していく。

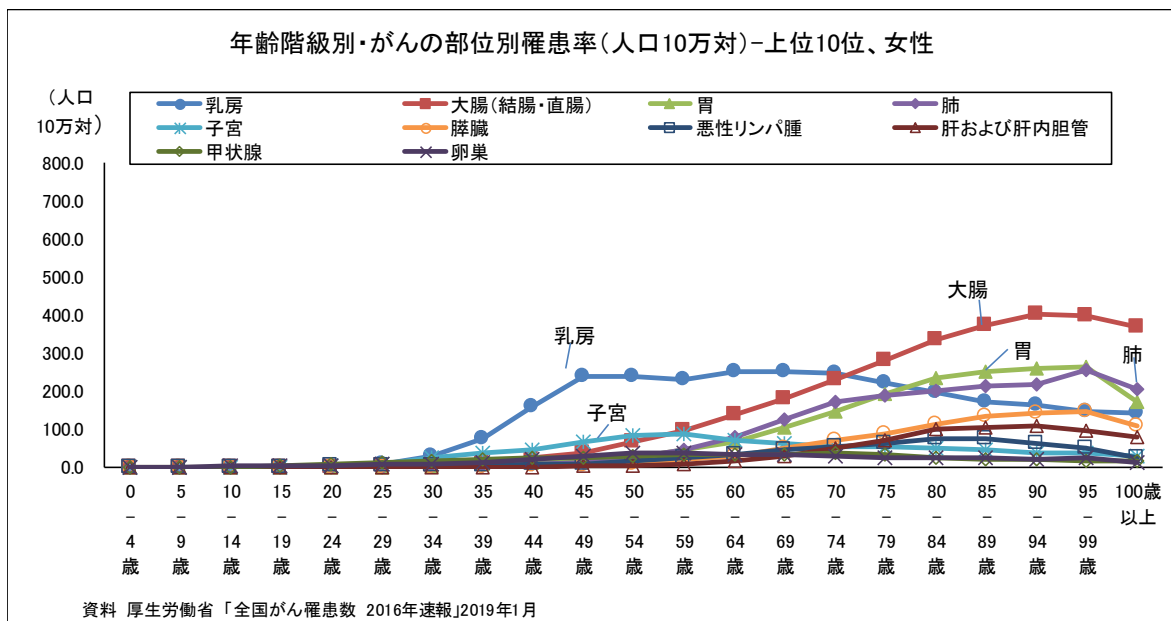
図 34 年齢階級別・がんの部位別罹患率（人口 10 万対）-男性



3.3 女性

「乳がん」は30代から罹患率が上昇し、「45-49歳」で200を超えると、「70-74歳」まではほぼ横ばいに推移している。「大腸（結腸・直腸）がん」は、40代後半から罹患率の上昇を示し、「60-64歳」で罹患率100を超え、「90-94歳」でピークに達する。

図 35 年齢階級別・がんの部位別罹患率（人口10万対）-女性



4. がんの罹患部位別にみた都道府県別年齢調整罹患率

年齢調整罹患率上位 10 位および地域的な特徴がみられたがんを対象に、都道府県別年齢調整罹患率の特徴をみたところ、以下のような結果となった。

- ・全部位の年齢調整罹患率は、「総数」、「女性」は西日本、「男性」は日本海側で高い。特に「女性」は九州地方の県で年齢調整罹患率が高い（42、44、46 ページ）。
- ・「大腸がん」の年齢調整罹患率の「総数」は、北海道・東北が高い傾向にある（48 ページ）。
- ・「乳がん」は、九州地方の年齢調整罹患率が高く、特に熊本県が突出している（52、56 ページ）。
- ・「胃がん」の年齢調整罹患率は、「総数」、「男性」、「女性」とも日本海沿いが高く、九州地方が低い（58 ページ）。
- ・「肺がん」は、「総数」、「男性」、「女性」とも年齢調整罹患率上位 10 都道府県のうち、9 県が西日本地方にある（66、68、70 ページ）。「女性」は九州地方が高い（70 ページ）。
- ・「子宮がん」の年齢調整罹患率上位 10 位は四国・九州に集中し、上位 10 位のうち、「総数」は 9 県、「女性」は 8 県が四国・九州の県である（74、76 ページ）。
- ・「肝および肝内胆管がん」は、「総数」では上位 20 位のうち東日本の都道府県は山梨県のみと、西日本の年齢調整罹患率が高い一方、日本海側で低い傾向がみられた（84 ページ）。一方、「胆のうおよび胆管がん」の「総数」は、東北地方で年齢調整罹患率が高かった（116 ページ）。
- ・「食道がん」の「総数」の年齢調整罹患率が高い都道府県は、一人当たりアルコール消費量も多く、正の相関がみられた（102 ページ）。
- ・「皮膚がん」の「総数」の年齢調整罹患率が高い 10 位の都道府県のうち、秋田県、静岡県以外はすべて西日本にあり、そのうち 5 県は九州にある（106 ページ）。
- ・「白血病」の「総数」の年齢調整罹患率上位 10 位は全て西日本で、このうち、福岡県を除く九州 7 県が含まれている（110 ページ）。

次頁以降で詳細を述べていく。

4.1 全部位

全国の全部位の総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「402.0」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（356.3）」、「愛知県（367.5）」、「長野県（367.6）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「長崎県（454.9）」、「秋田県（446.3）」、「香川県（436.7）」。年齢調整罹患率上位 10 位のうち 3 県は北日本、7 県は西日本地域にあり、そのうち 4 県は九州地方である。

地域によって罹患率が異なる理由は明らかではないが、塩分摂取量や運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣、ある特定のウイルスの感染率の高さなど、複合的な要因が影響しているという見方もある⁵。

⁵ 「がん罹患率に地域差 16 年分集計 生活習慣など影響か」読売新聞朝刊 2019 年 1 月 17 日

図 36 年齢調整罹患率-都道府県別、総数、全部位

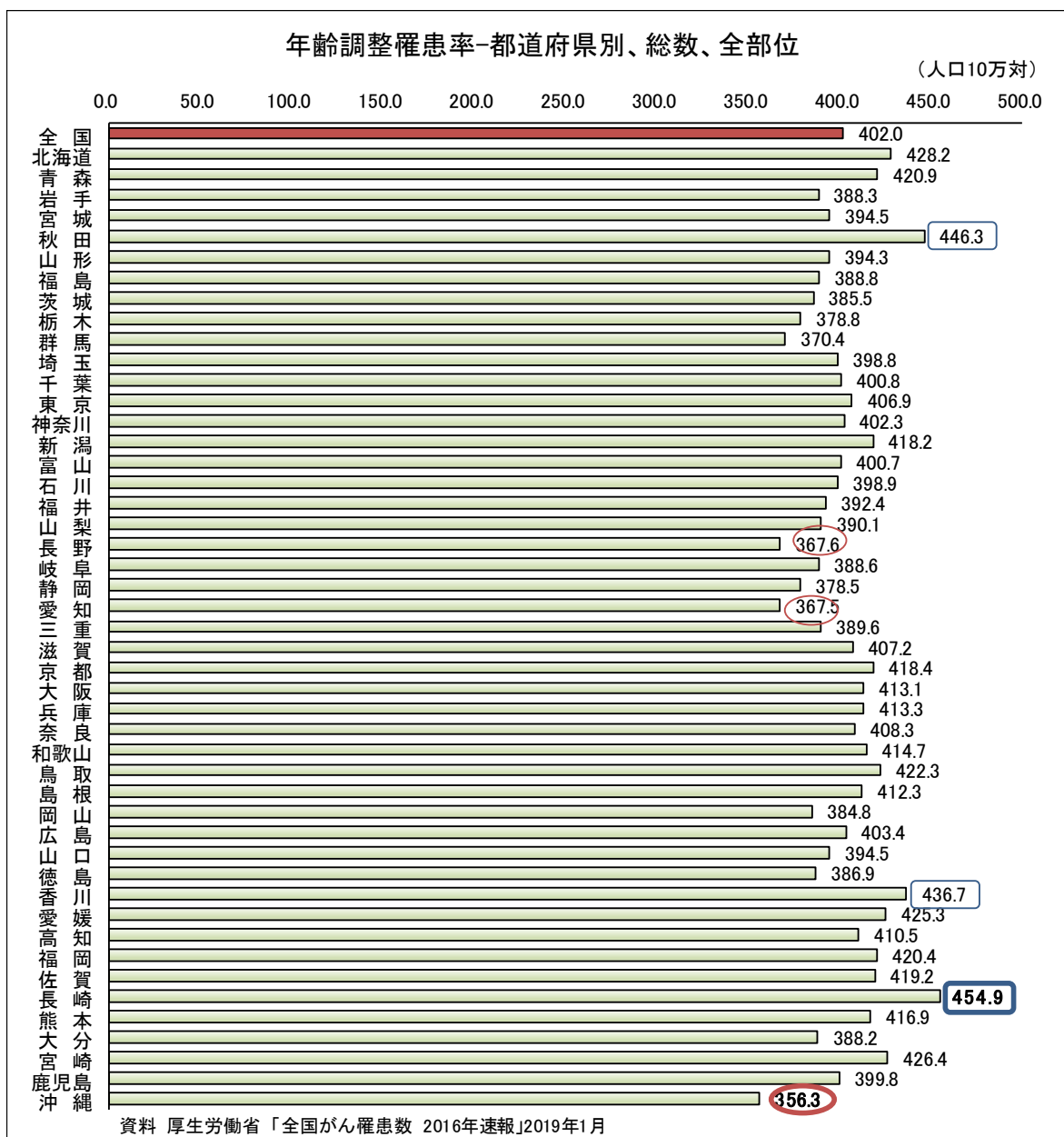


図 37 全部位の都道府県別年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-総数



全国の男性の全部位年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「469.8」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（390.4）」、「長野県（418.9）」、「群馬県（429.4）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「長崎県（540.5）」、「秋田県（539.3）」、「鳥取県（522.3）」で、日本海側の県で年齢調整罹患率が高い傾向にあった。

図 38 年齢調整罹患率-都道府県別、男性、全部位

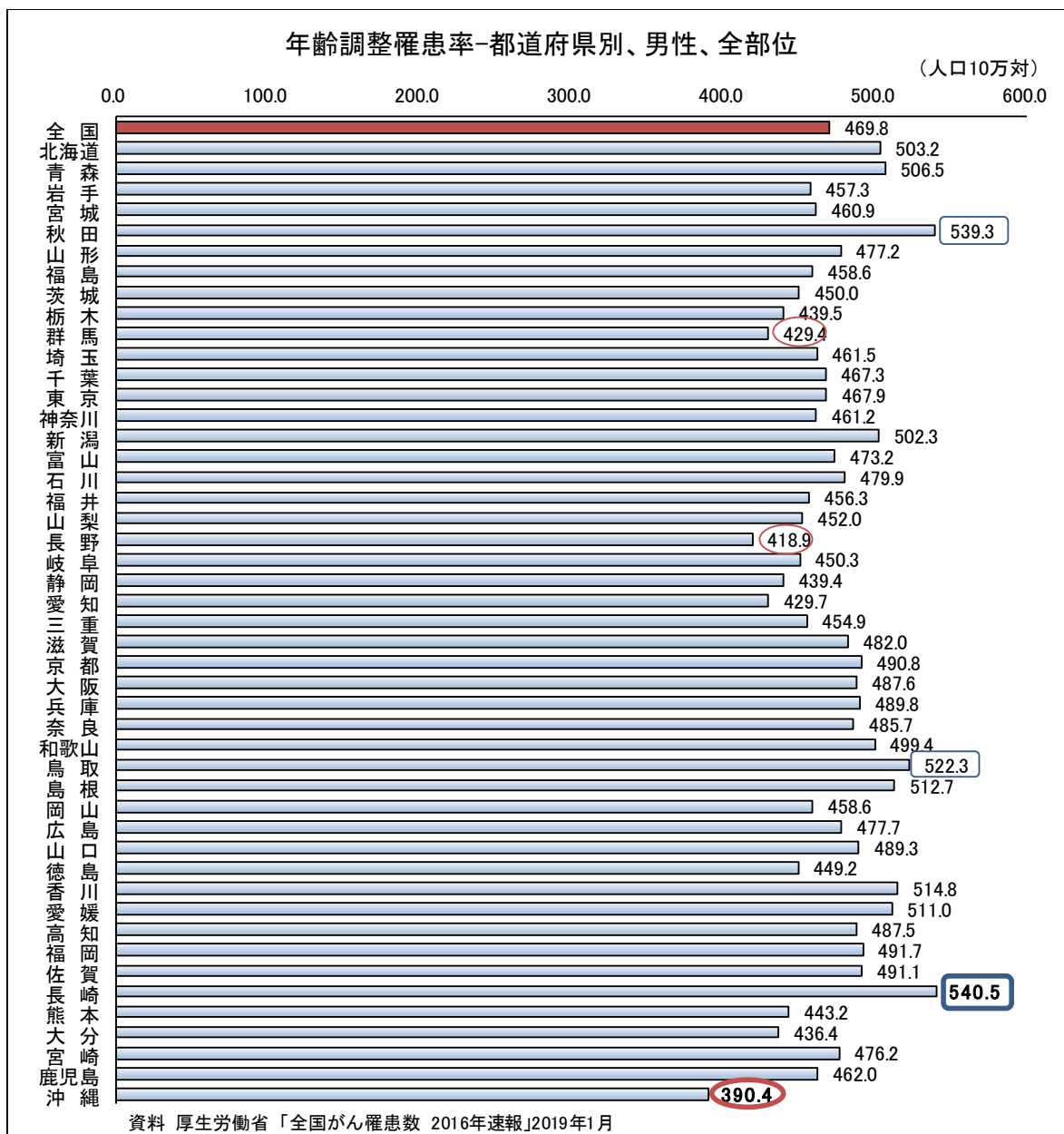
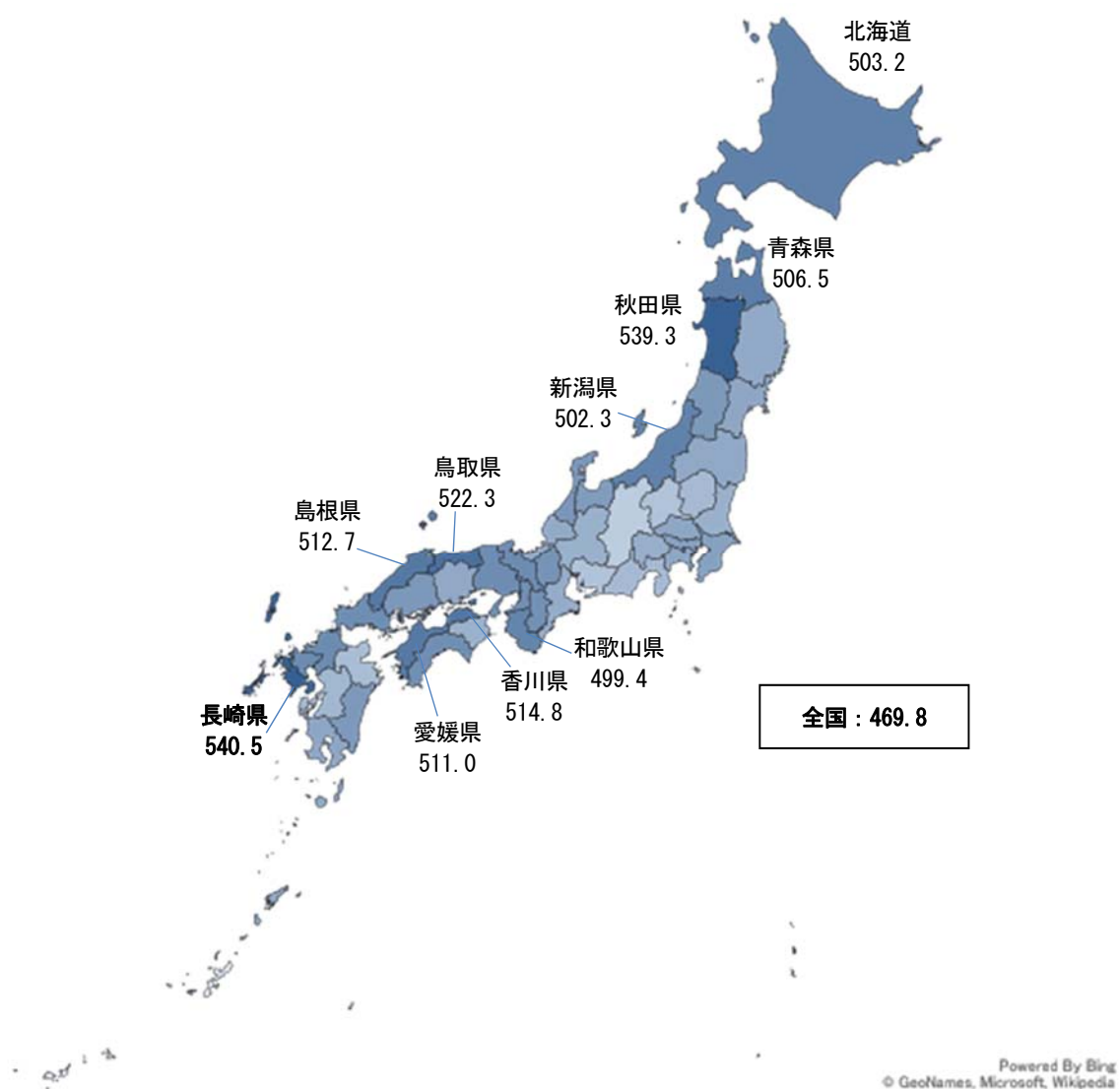


図 39 全部位の都道府県別年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-男性



全国の女性の全部位年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「354.1」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「愛知県（321.9）」、「山口県（327.2）」、「群馬県（328.3）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「熊本県（406.9）」、「長崎県（397.6）」、「宮崎県（394.7）」。
上位 3 位を九州地方が占め、合わせて 5 県が 10 位以内に入っていた。

図 40 年齢調整罹患率-都道府県別、女性、全部位

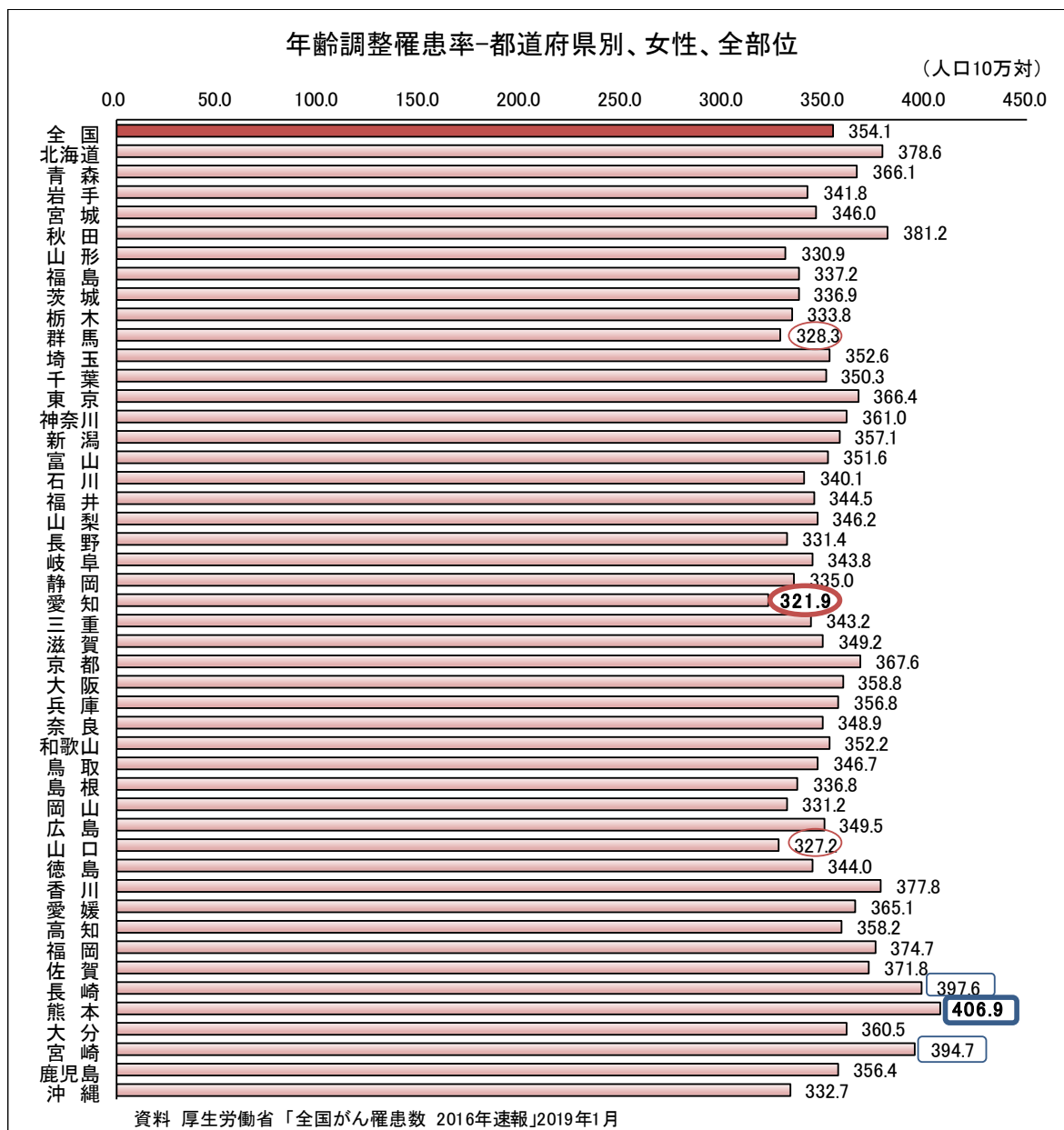
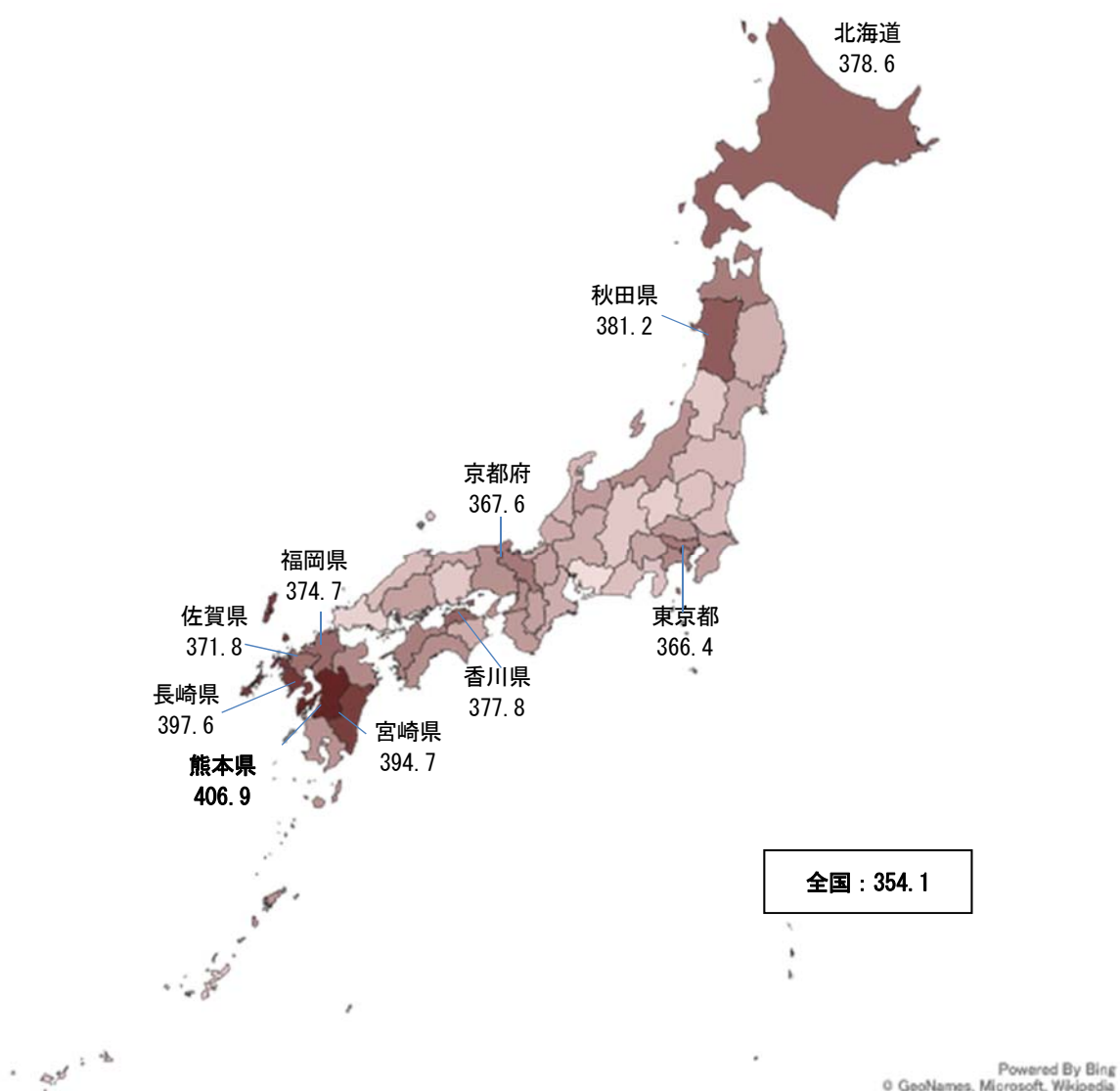


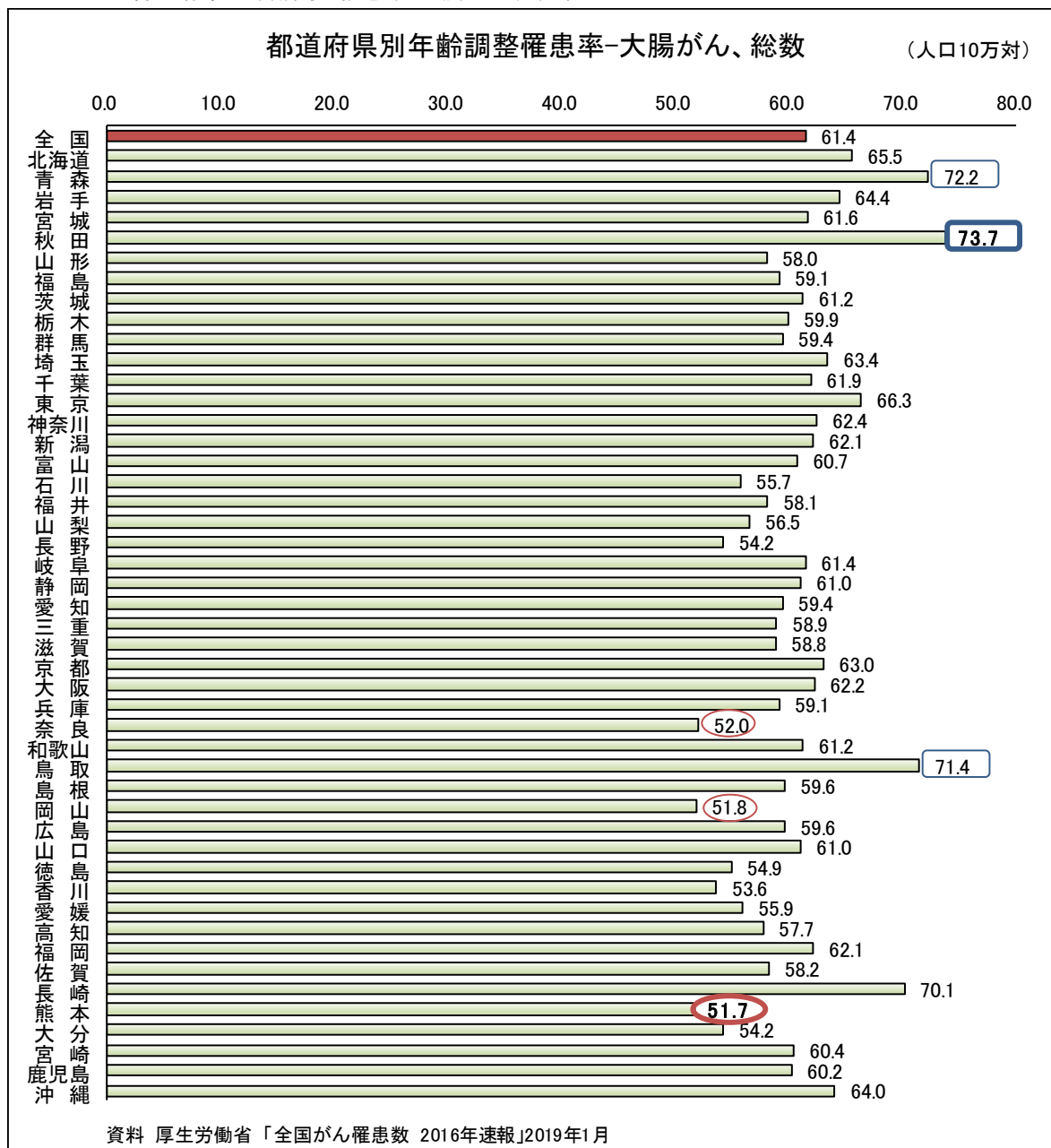
図 41 全部位の都道府県別年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-女性



4.2 大腸（直腸・結腸）がん（総数1位、男性1位、女性2位）

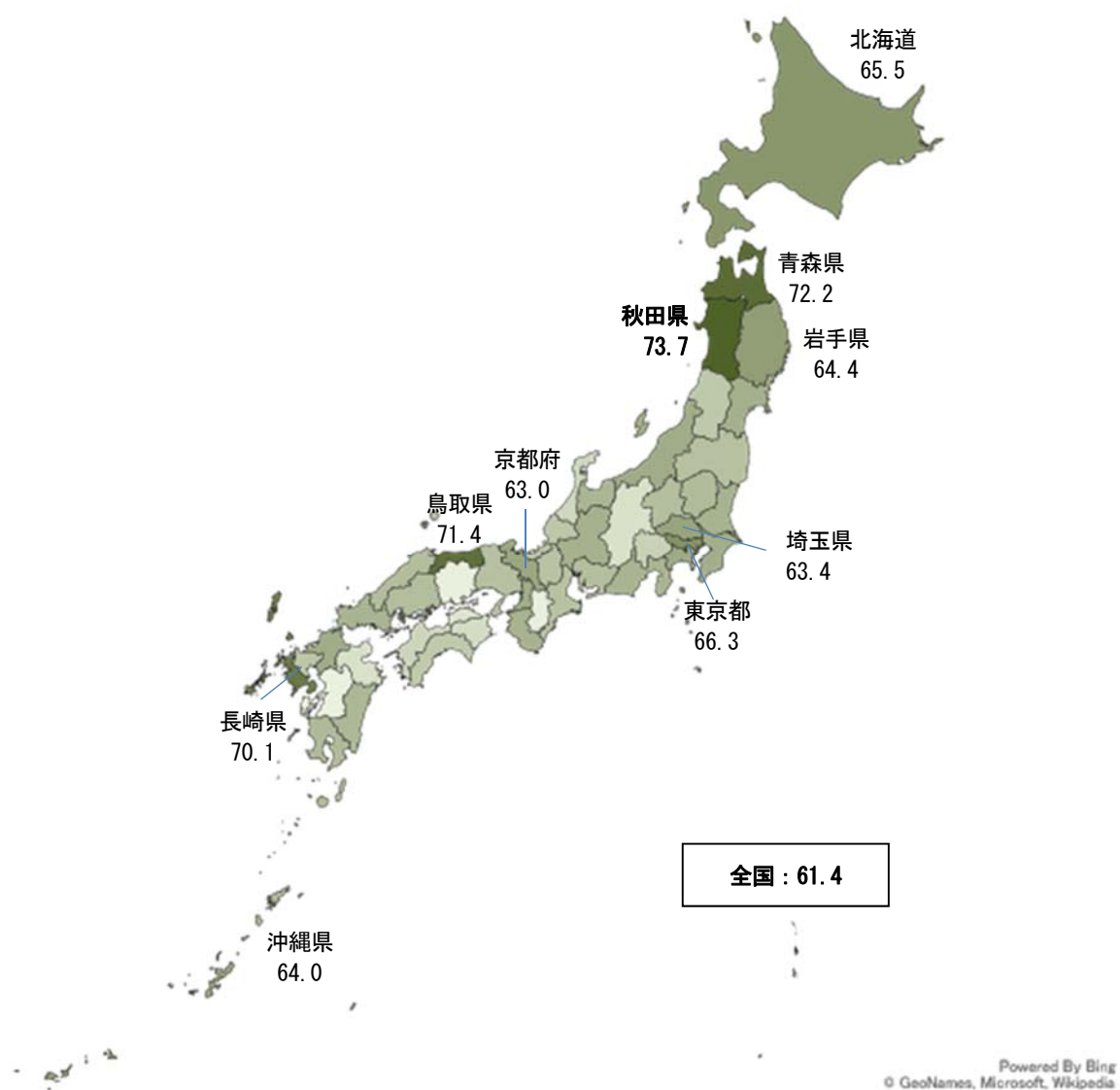
全国の大腸がんの総数の年齢調整罹患率（人口10万対）は「61.4」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「熊本県（51.7）」、「岡山県（51.8）」、「奈良県（52.0）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「秋田県（73.7）」、「青森県（72.2）」、「鳥取県（71.4）」。北海道・東北は年齢調整罹患率が高い傾向にあり、飲酒率、喫煙率も高い⁶。

図 42 都道府県別年齢調整罹患率-大腸がん、総数



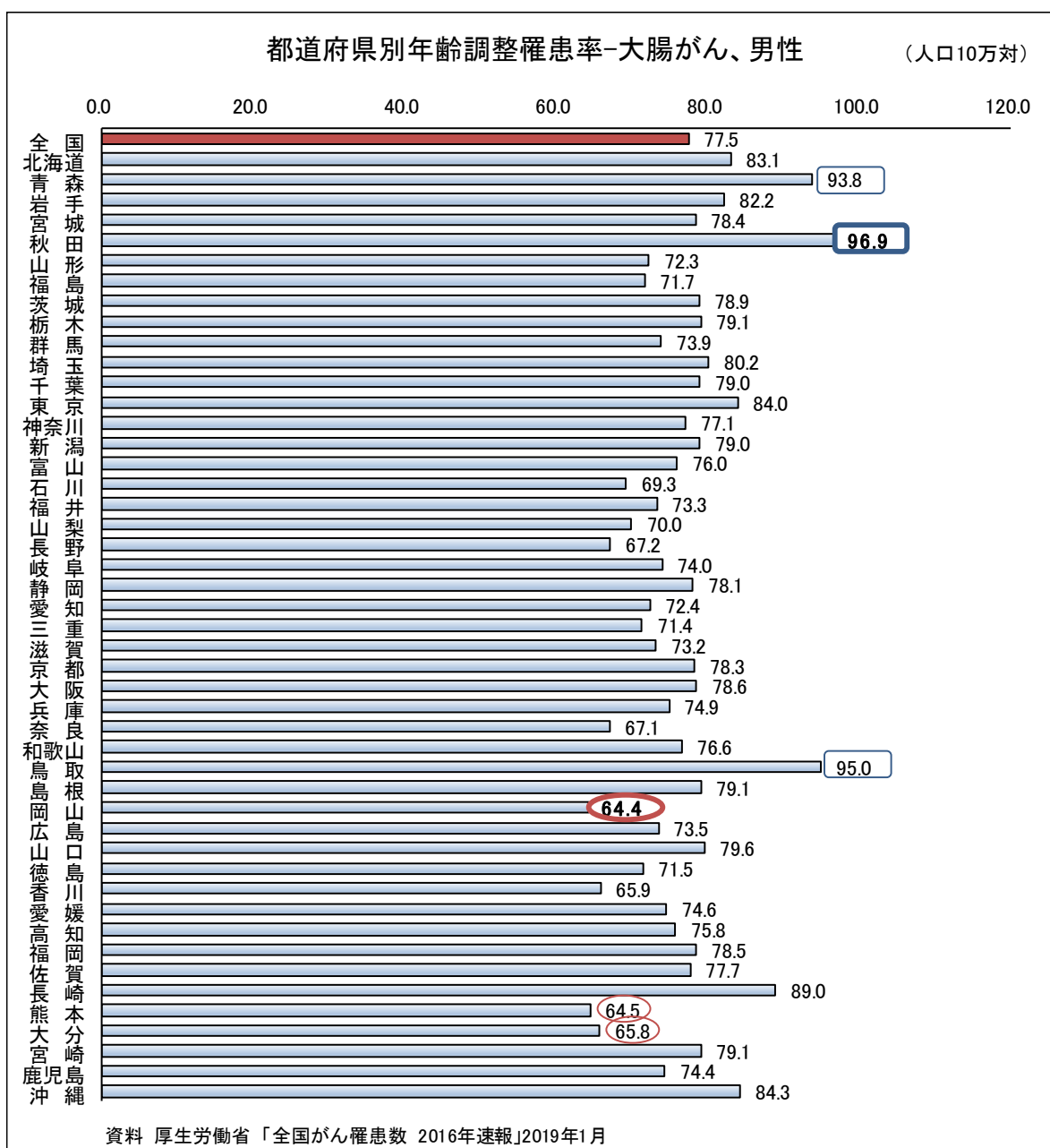
⁶ 詳細は122ページ参照。

図 43 大腸（結腸+直腸）がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-総数



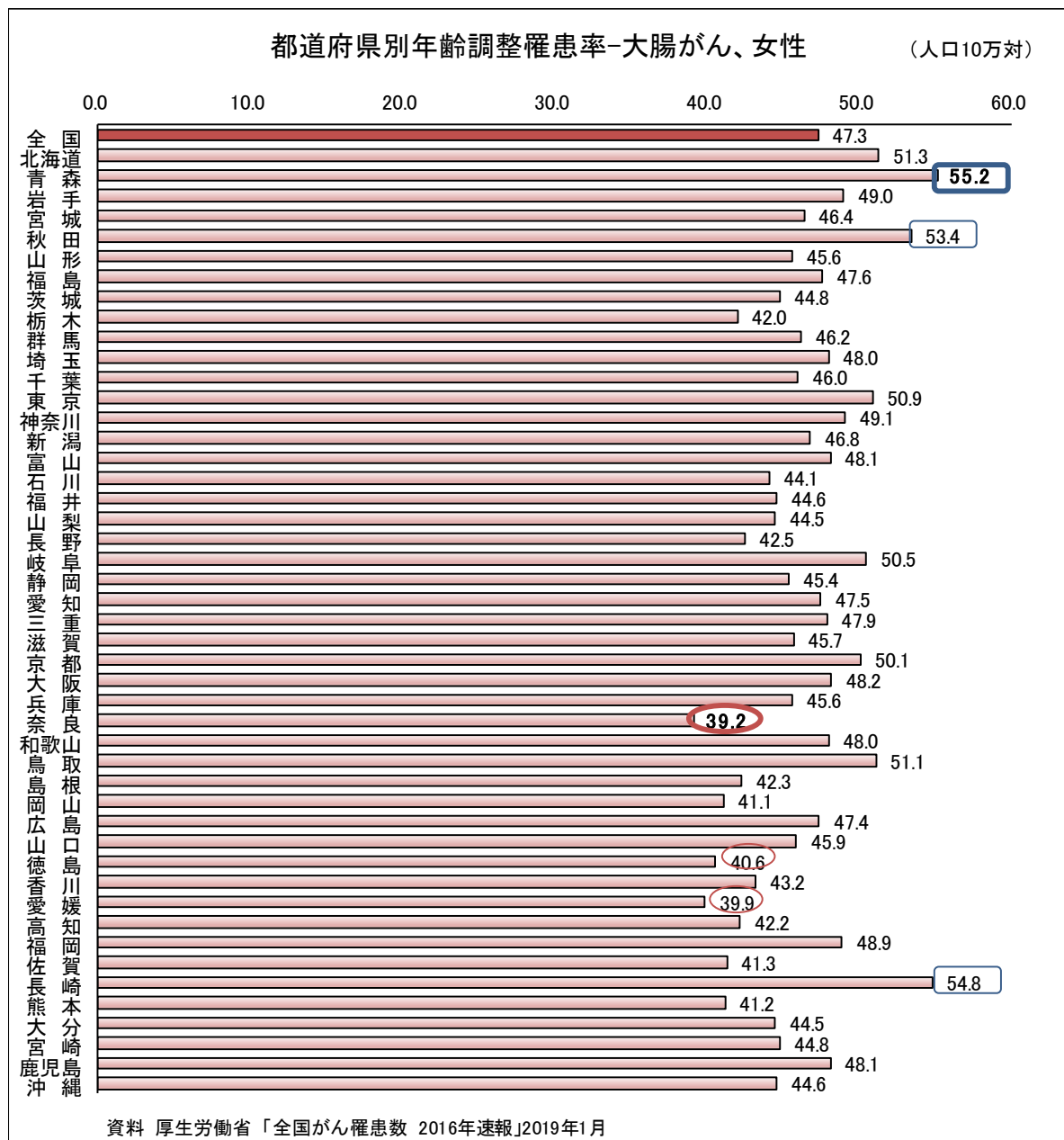
全国の大腸がんの年齢調整罹患率（人口10万対）は「77.5」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「岡山県（64.4）」、「熊本県（64.5）」、「大分県（65.8）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「秋田県（96.9）」、「鳥取県（95.0）」、「青森県（93.8）」。北海道・東北は年齢調整罹患率が高い傾向にあり、飲酒率、喫煙率も高い⁶。

図 44 都道府県別年齢調整罹患率-大腸がん、男性



全国の女性の大腸がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「47.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「奈良県（39.2）」、「愛媛県（39.9）」、「徳島県（40.6）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「青森県（55.2）」、「長崎県（54.8）」、「秋田県（53.4）」。

図 45 都道府県別年齢調整罹患率-大腸がん、女性



4.3 乳がん（総数 2 位、男性 19 位、女性 1 位）

全国の乳がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「52.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「島根県（41.7）」、「福島県（43.7）」、「愛知県（44.5）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「熊本県（81.8）」、「福岡県（58.0）」、「熊本県（56.7）」。年齢調整罹患率上位 10 位のうち 5 県は九州の県で、熊本県が突出して高い。

図 46 年齢調整罹患率-乳がん、総数

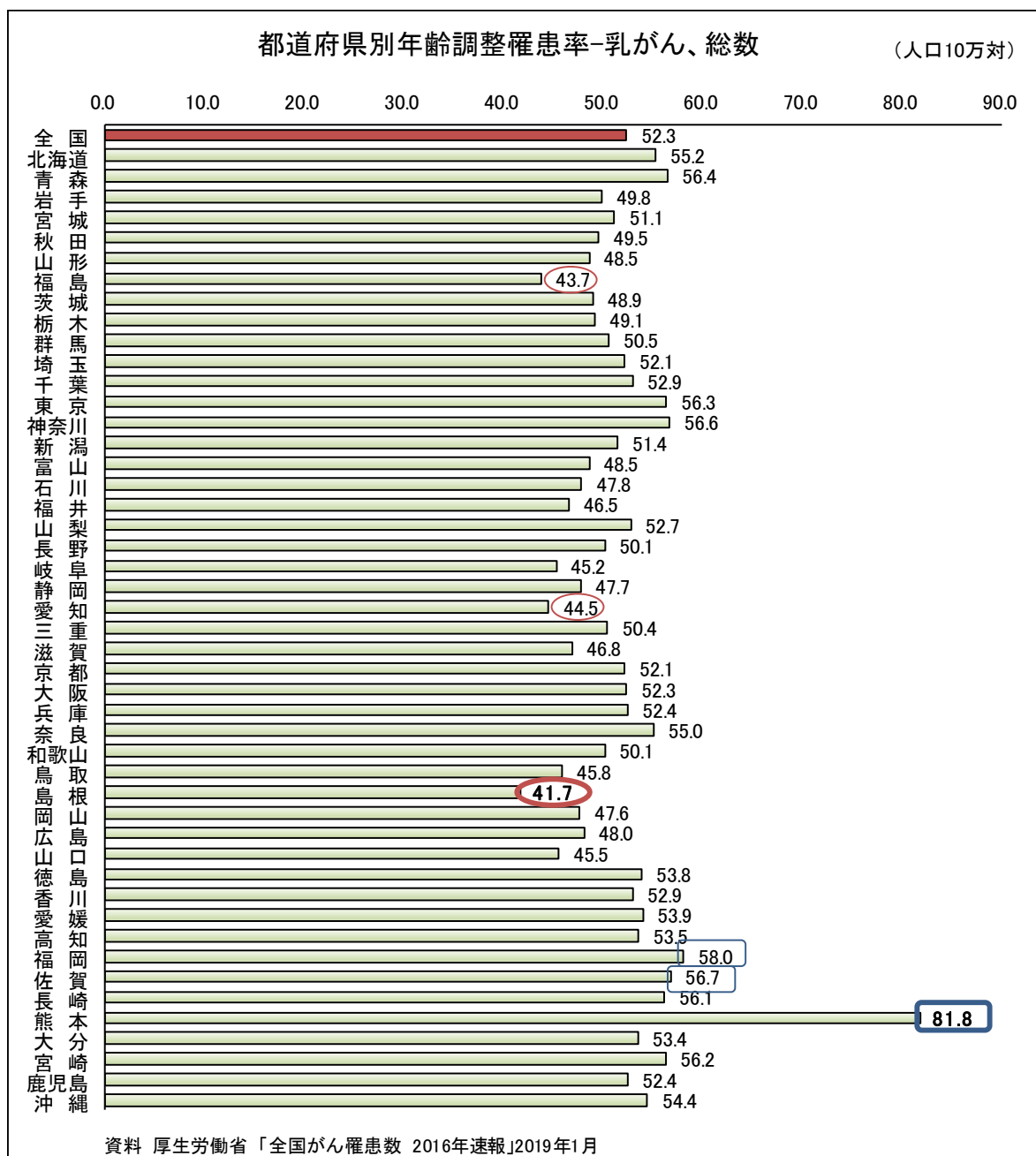


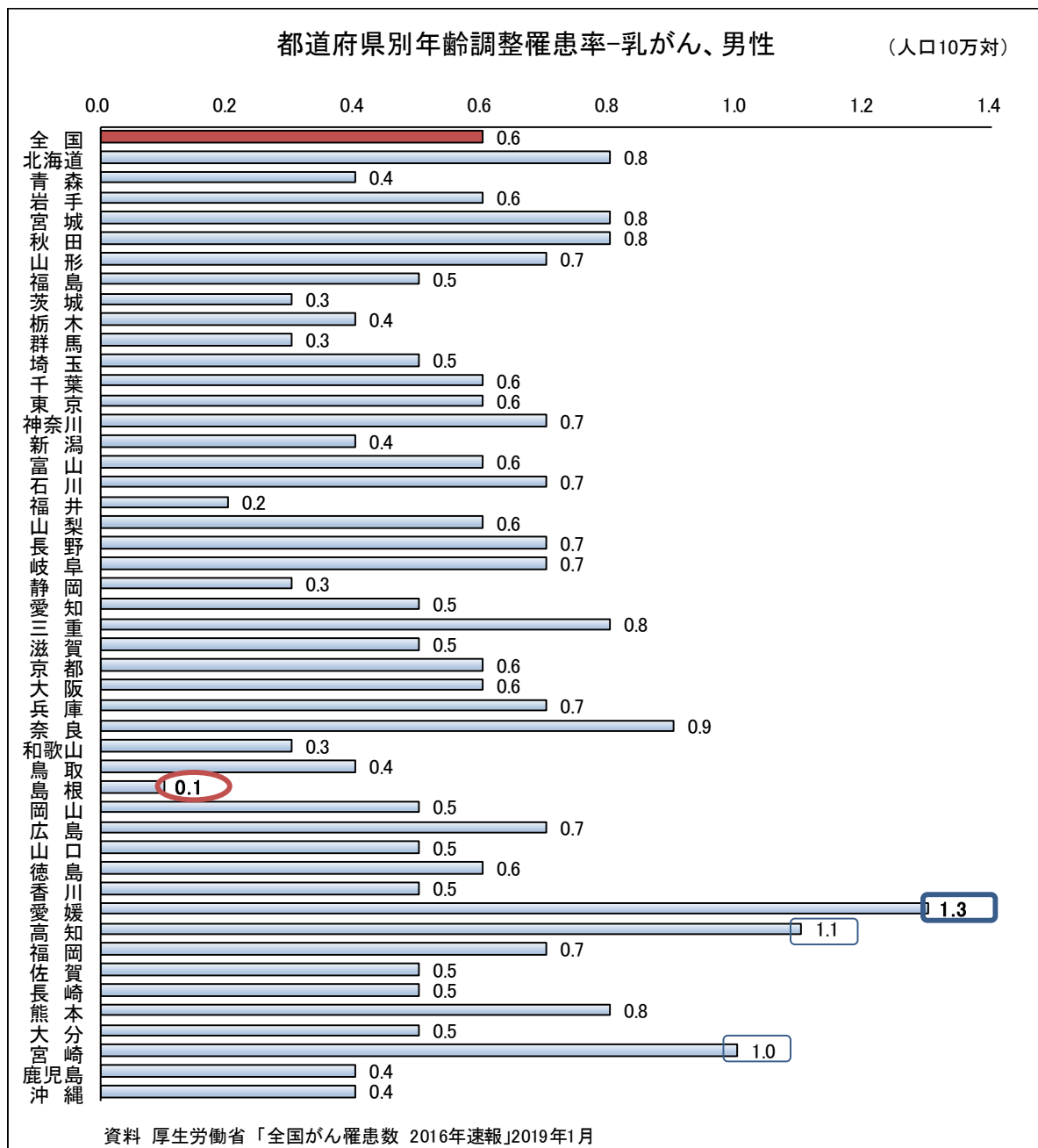
図 47 乳がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位都道府県の分布-総数



Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, Wikipedia

全国の男性の乳がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「0.6」。都道府県別にみると、年齢調整罹患率がもっとも低い都道府県は「島根県（0.1）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「愛媛県（1.3）」、「高知県（1.1）」、「宮崎県（1.0）」。

図 48 都道府県別年齢調整罹患率-乳がん、男性



全国の女性の乳がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「102.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「島根県（82.2）」、「山口県（86.6）」、「岐阜県（87.5）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「熊本県（155.2）」、「神奈川県（113.1）」、「東京都（111.5）」。九州は年齢調整罹患率が高い上位 10 位に 6 県が入っており、熊本県が突出して高い。

図 49 都道府県別年齢調整罹患率-乳がん、女性

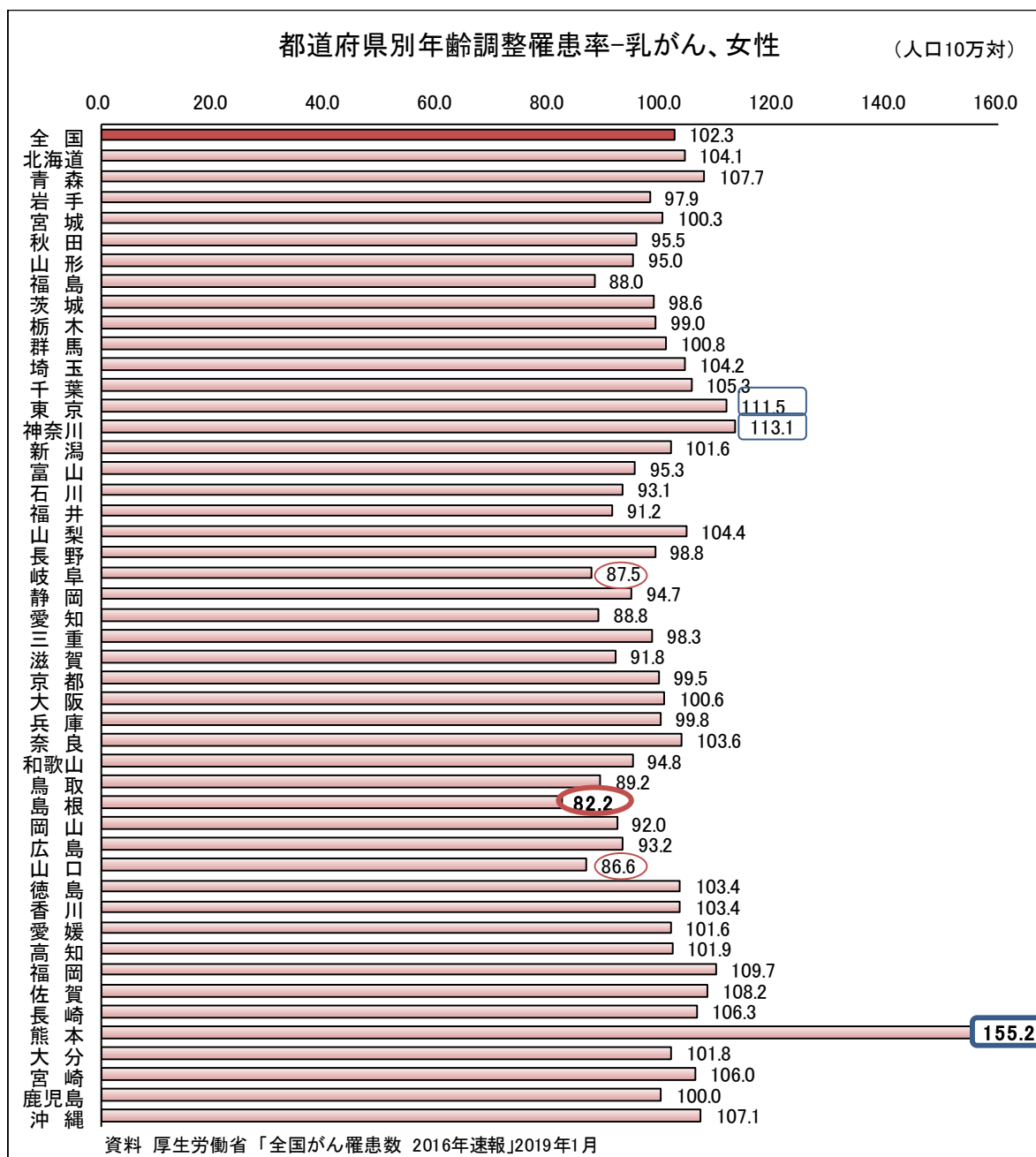
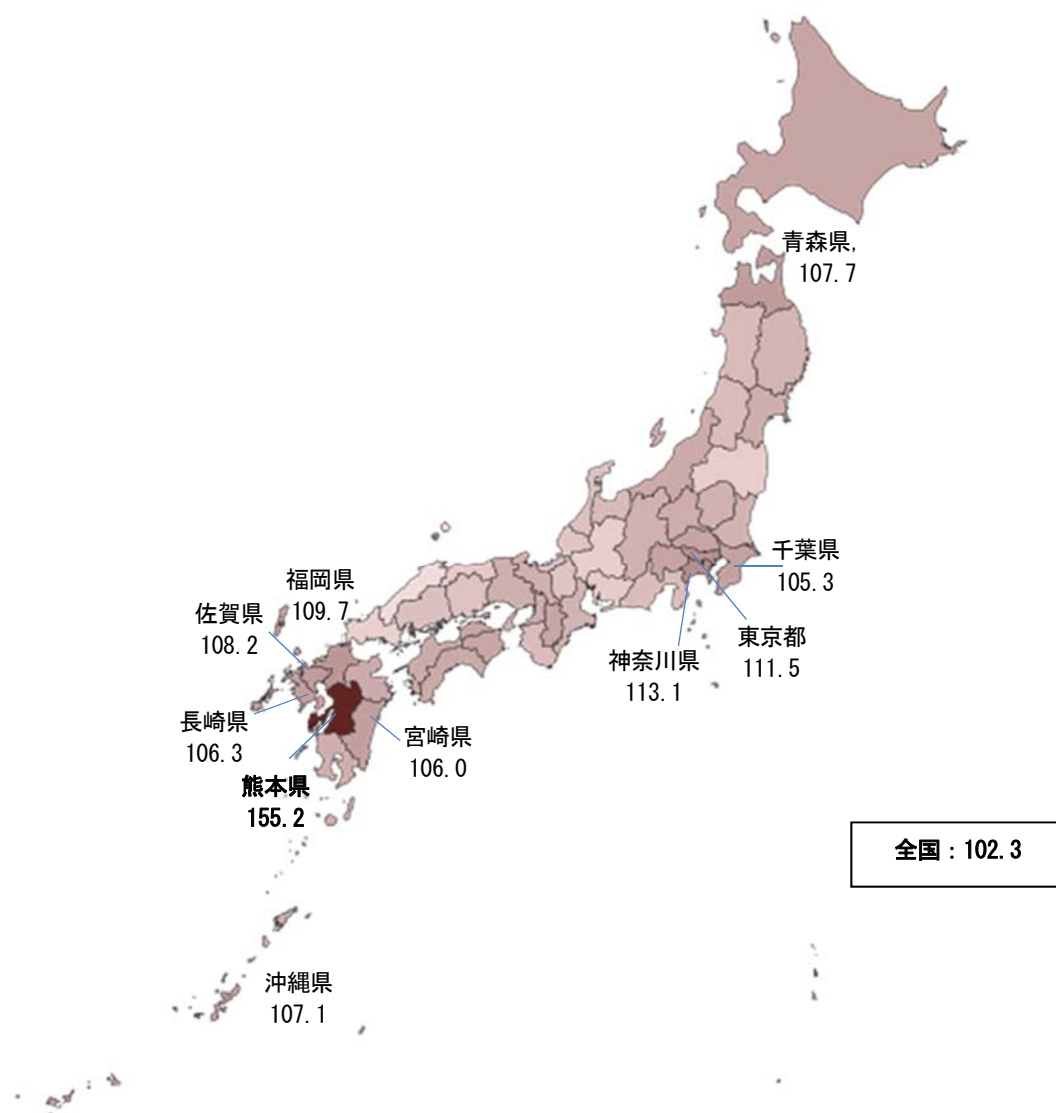


図 50 乳がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位都道府県の分布-女性



Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, Wikipedia

4.4 胃がん（総数 3 位、男性 2 位、女性 5 位）

全国の胃がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「48.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（20.6）」、「鹿児島県（34.2）」、「熊本県（35.5）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「新潟県（74.7）」、「秋田県（70.3）」、「山形県（63.2）」。

日本海沿いで年齢調整罹患率が高い一方、九州は年齢調整罹患率下位 5 位を占めている。

図 51 都道府県別年齢調整罹患率-胃がん、総数

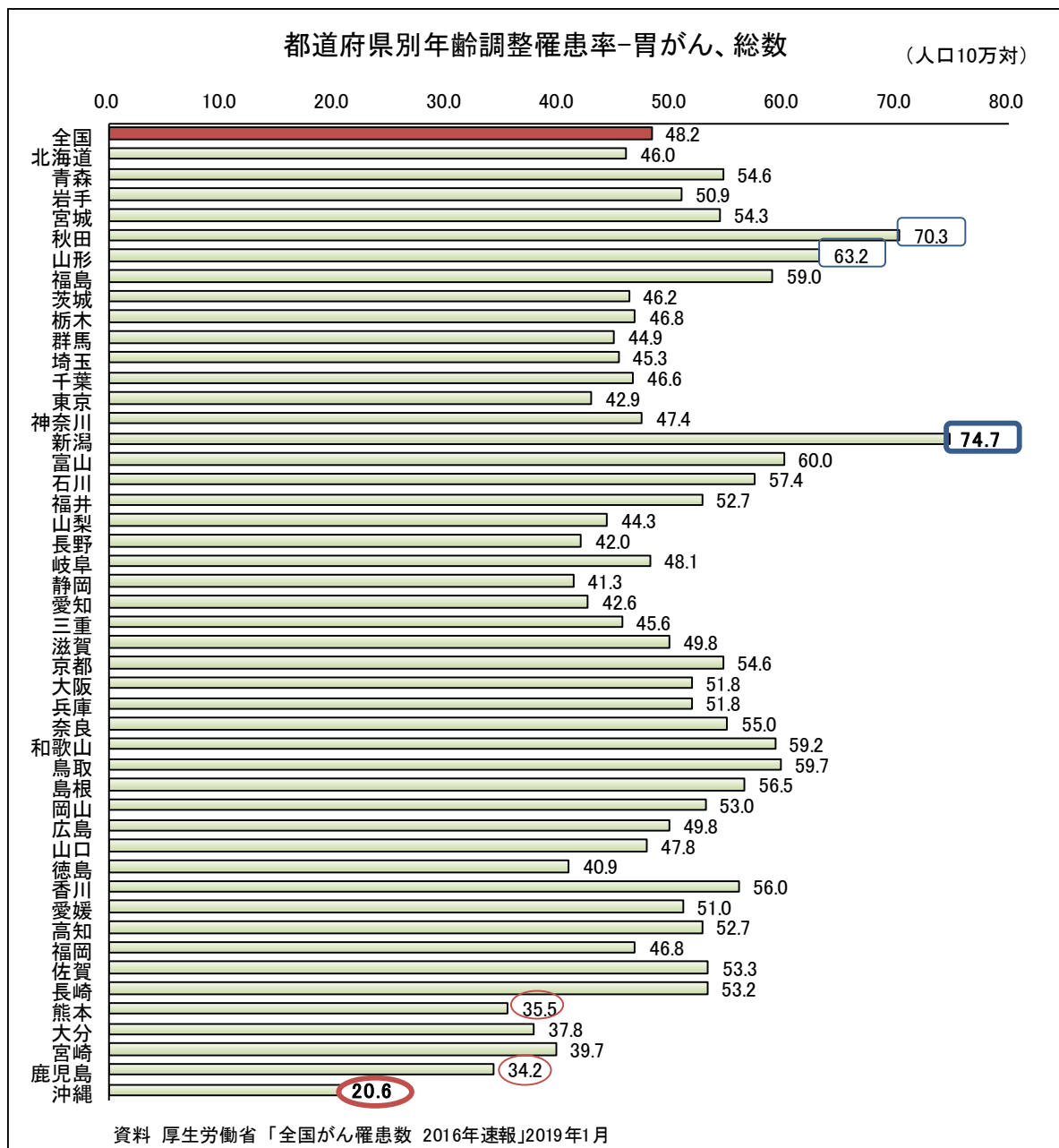


図 52 胃がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 5 位都道府県および下位 5 位都道府県の分布-総数



全国の男性の胃がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「73.9」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（29.3）」、「鹿児島県（52.9）」、「熊本県（53.7）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「新潟県（114.6）」、「秋田県（111.0）」、「山形県（97.7）」。

日本海側で高く、食塩の平均摂取量と年齢調整罹患率との間では弱い正の相関がみられた。

図 53 都道府県別年齢調整罹患率-胃がん、男性

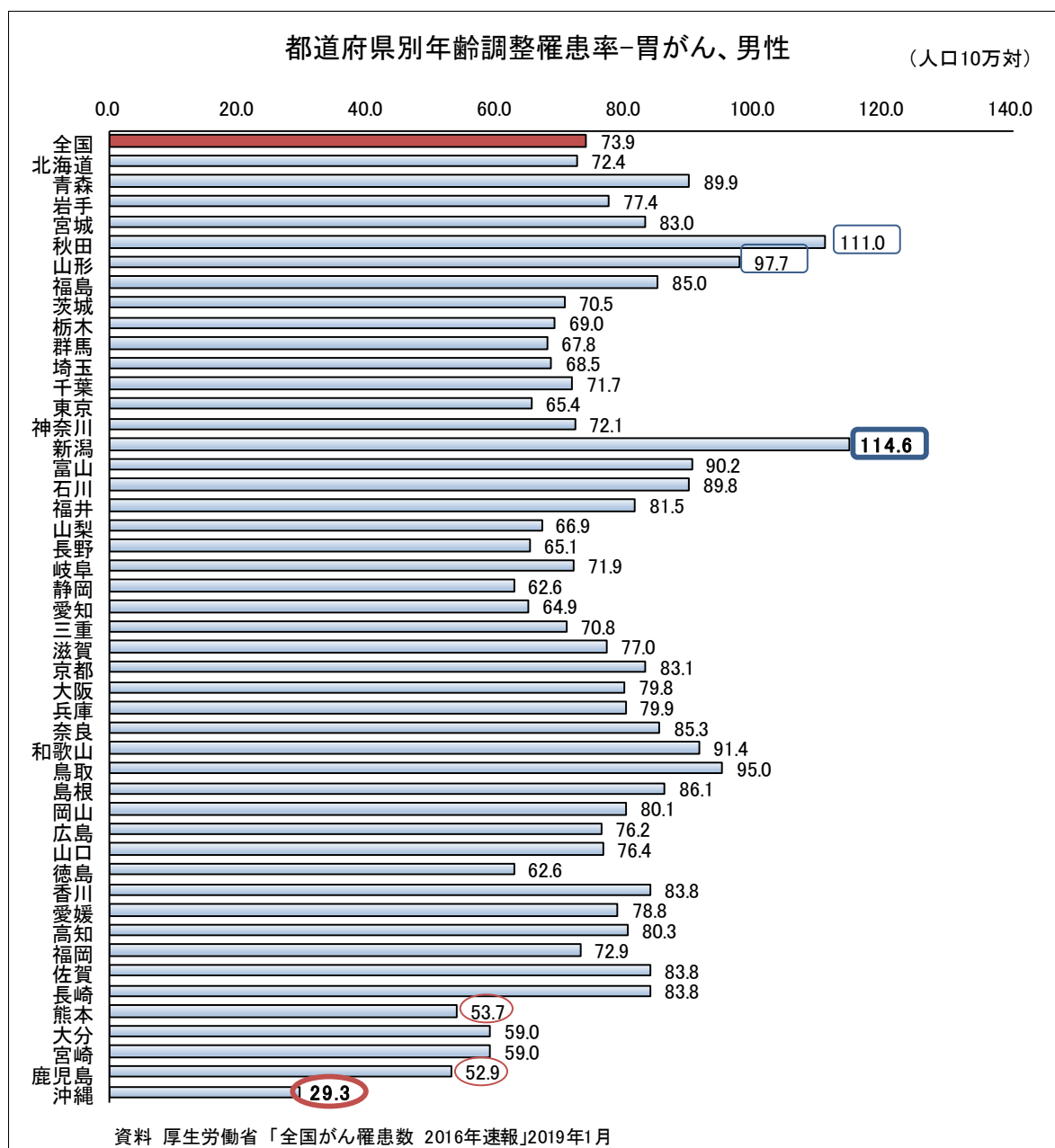
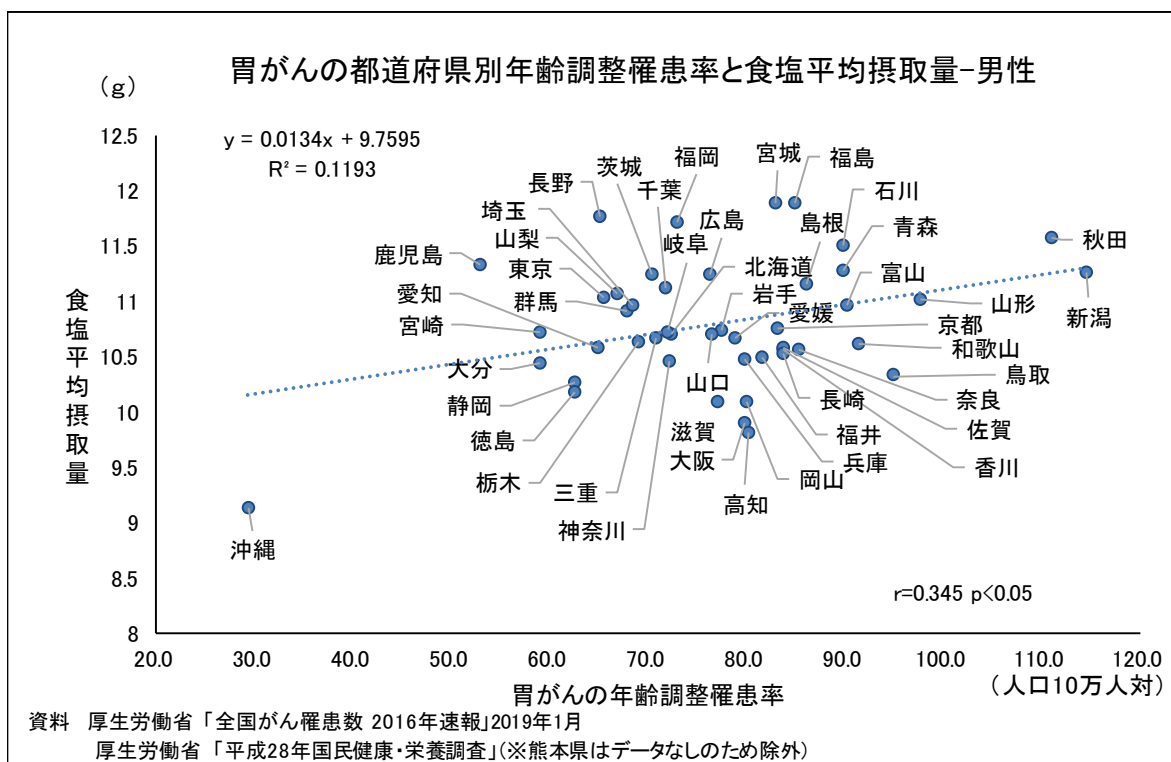


図 54 胃がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 5 位都道府県および下位 5 位都道府県の分布-男性



図 55 胃がんの都道府県別年齢調整罹患率と食塩平均摂取量の相関-男性、都道府県別



全国の女性の胃がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「26.5」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（12.8）」、「鹿児島県（18.9）」、「熊本県（20.9）」。「年齢調整罹患率が高い都道府県は「新潟県（40.3）」、「秋田県（37.2）」、「福島県（35.6）」。「上位 5 位は東北地方と中部地方、下位 5 位のうち 4 県は九州地方にある。

図 56 都道府県別年齢調整罹患率-胃がん、女性

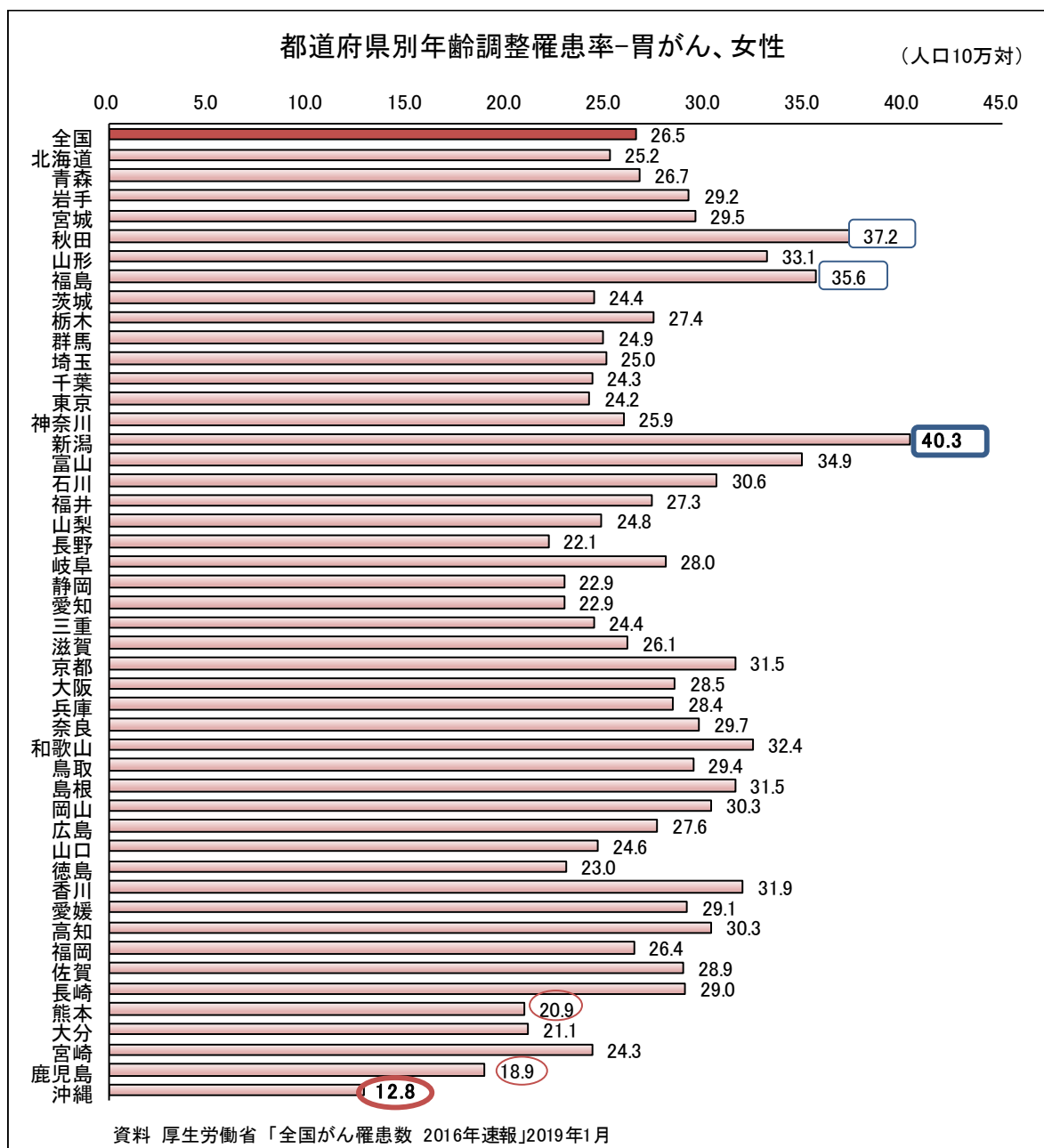
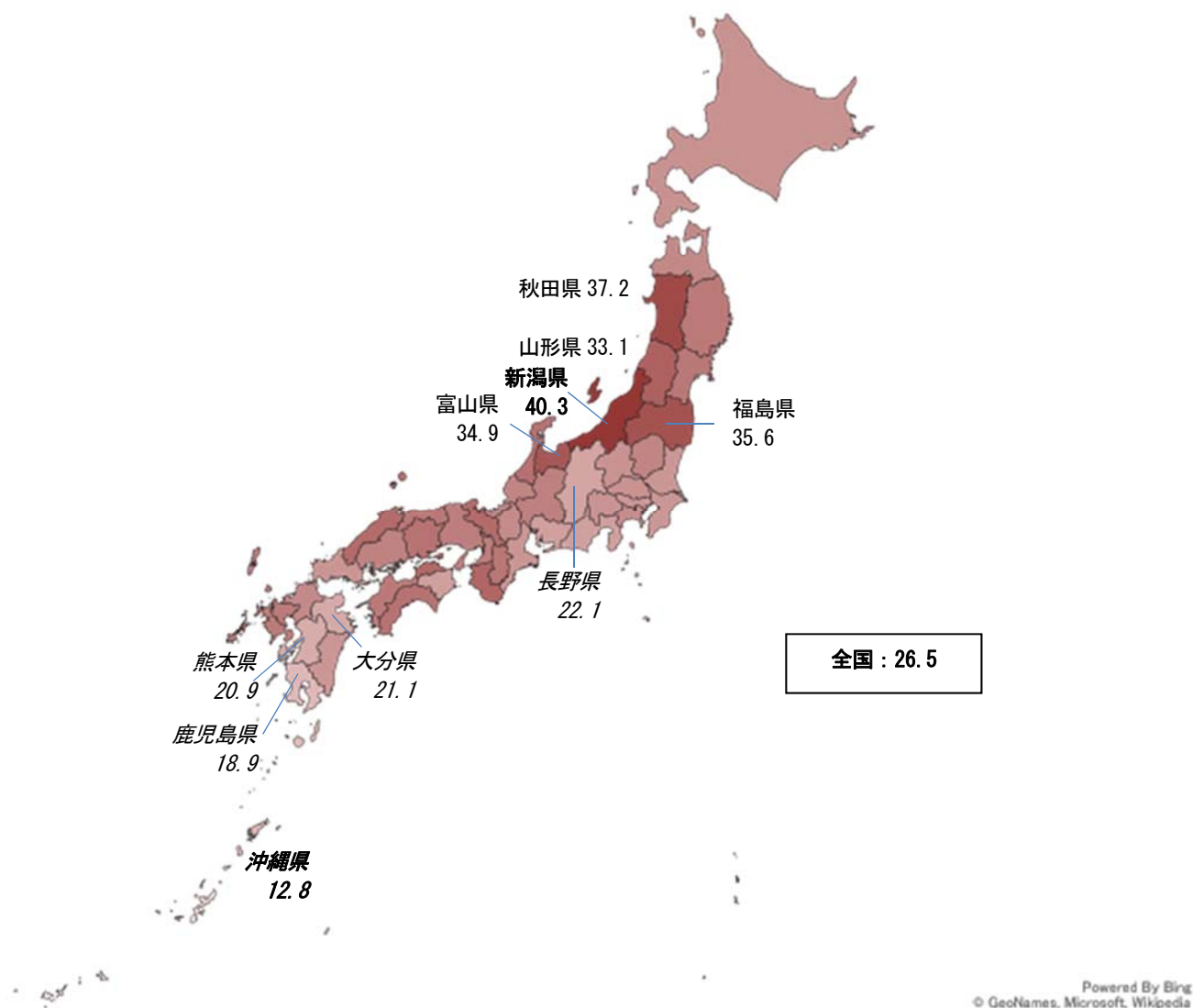


図 57 胃がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 5 位都道府県および下位 5 位都道府県の分布-女性



4.5 肺がん（総数 4 位、男性 4 位、女性 4 位）

全国の肺がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「44.4」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「長野県（35.5）」、「岩手県（36.3）」、「沖縄県（36.4）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「長崎県（55.5）」、「北海道（51.4）」、「愛媛県（51.0）」。年齢調整罹患率上位 10 位のうち 9 県が西日本地域にある。

図 58 都道府県別年齢調整罹患率-肺がん、総数

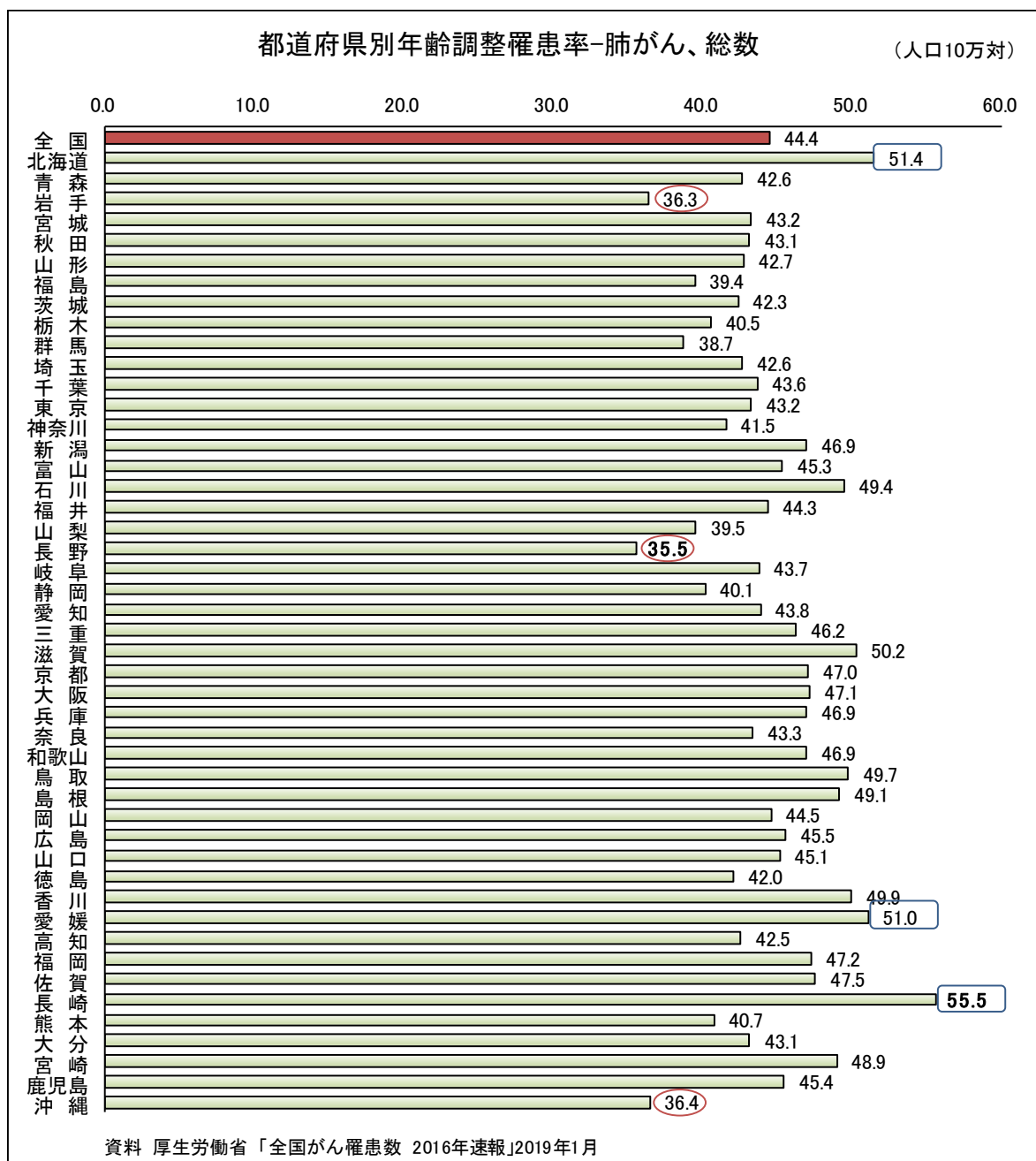
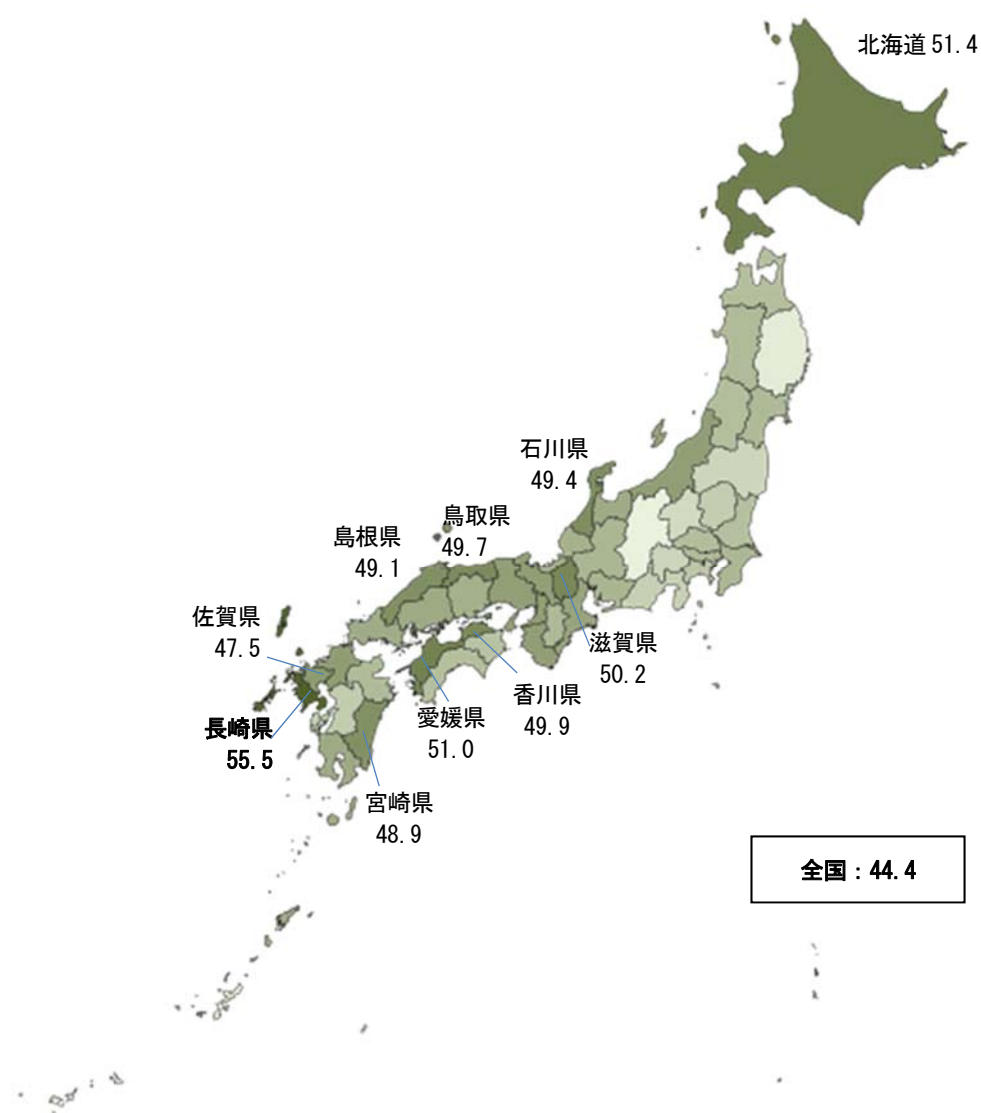


図 59 肺がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位都道府県の分布-総数



全国の男性の肺がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「65.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「長野県（47.6）」、「岩手県（56.2）」、「群馬県（56.4）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「長崎県（79.2）」、「北海道（76.9）」、「島根県（76.6）」。年齢調整罹患率上位 10 位のうち 9 県が西日本地域にある。

図 60 都道府県別年齢調整罹患率-肺がん、男性

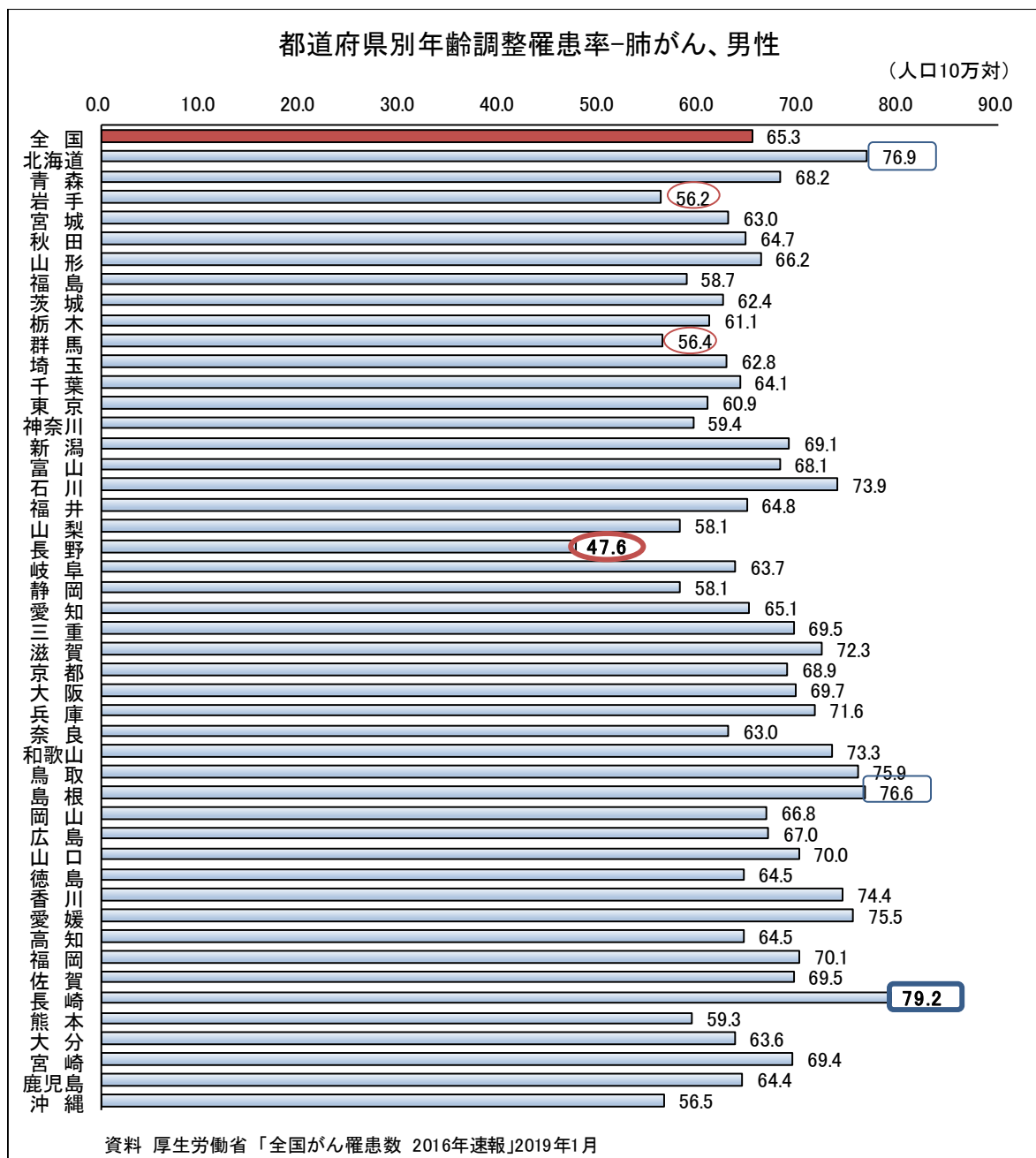
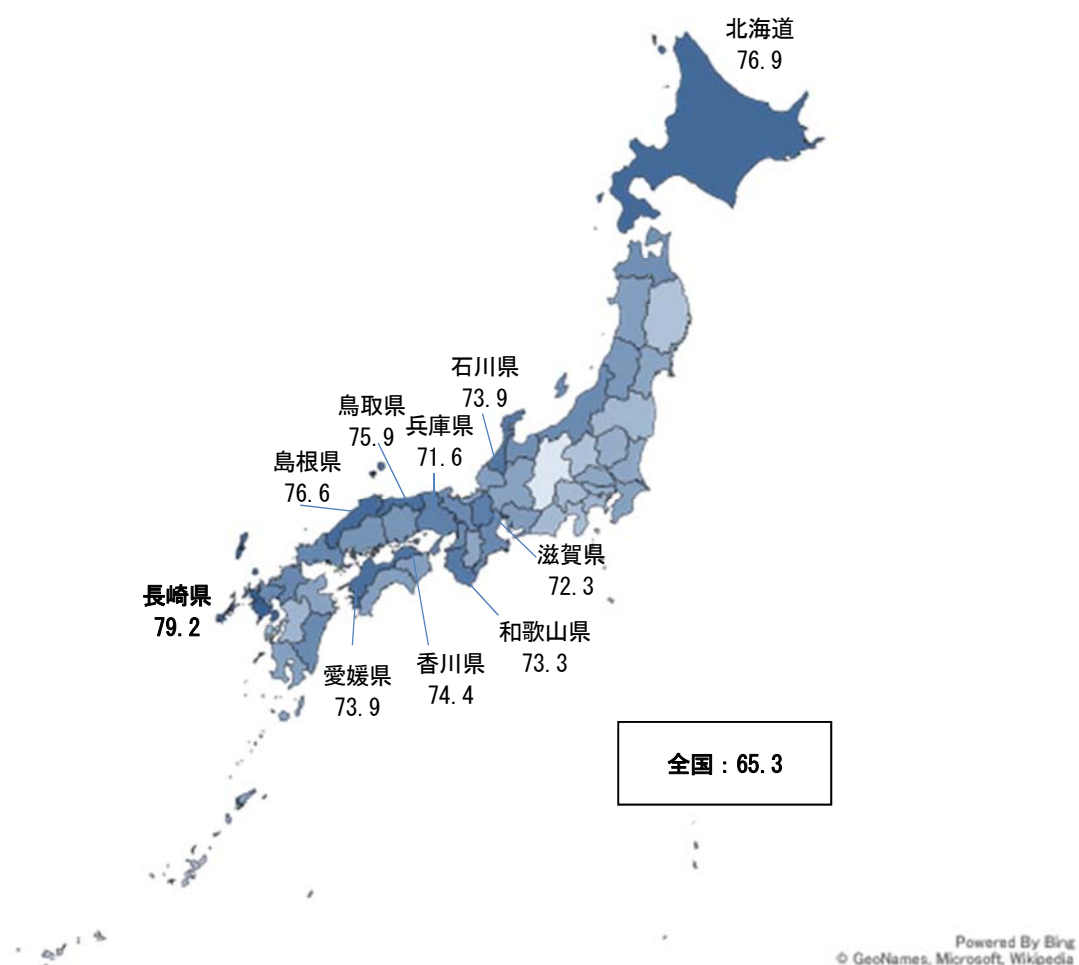


図 61 肺がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位都道府県の分布-男性



全国の女性の肺がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「27.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（19.3）」、「岩手県（20.1）」、「栃木県（22.9）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「長崎県（37.3）」、「鹿児島県（32.7）」、「愛媛県（31.9）」。年齢調整罹患率上位 10 位のうち 5 県が九州地方である。

図 62 都道府県別年齢調整罹患率-肺がん、女性

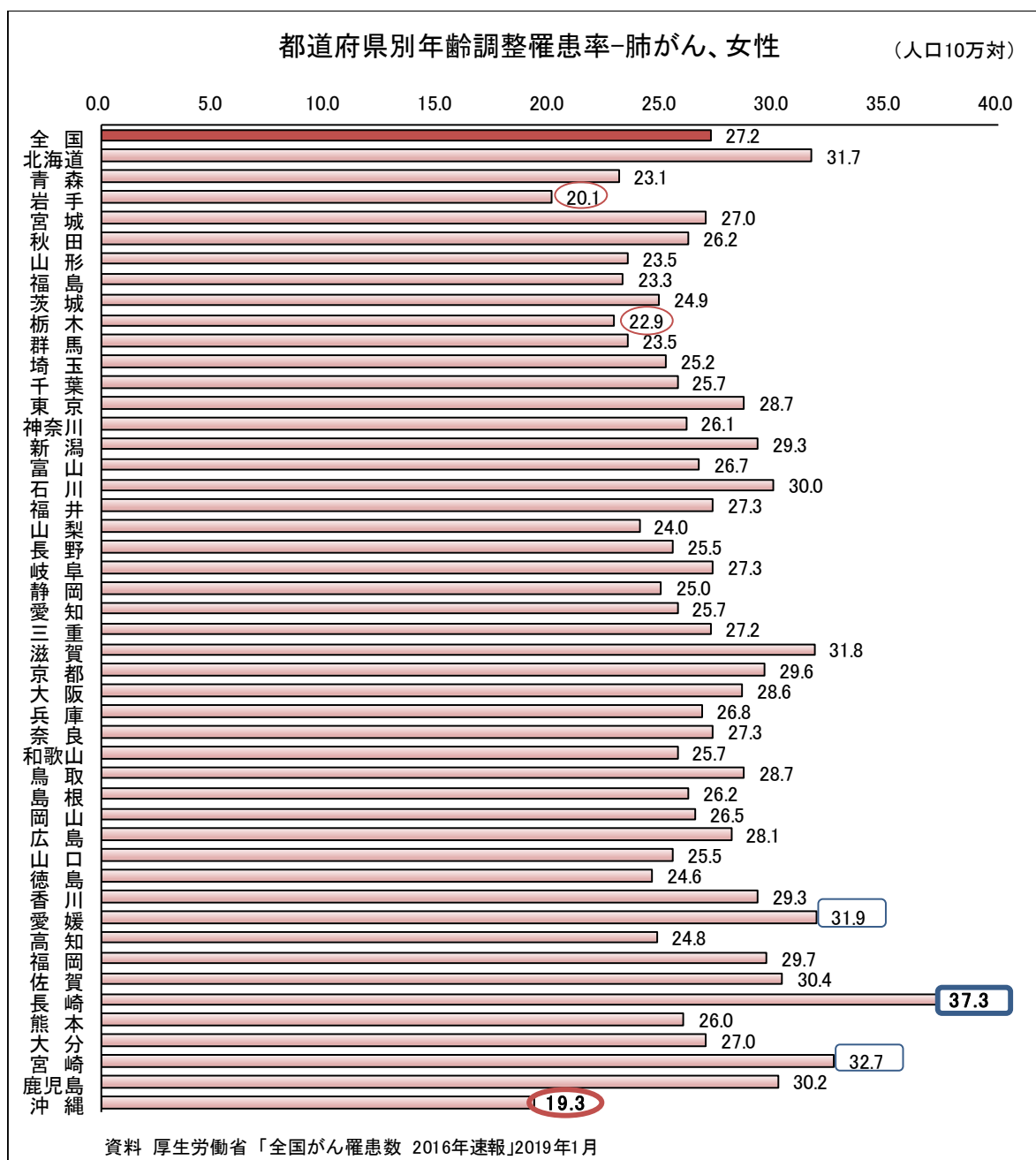
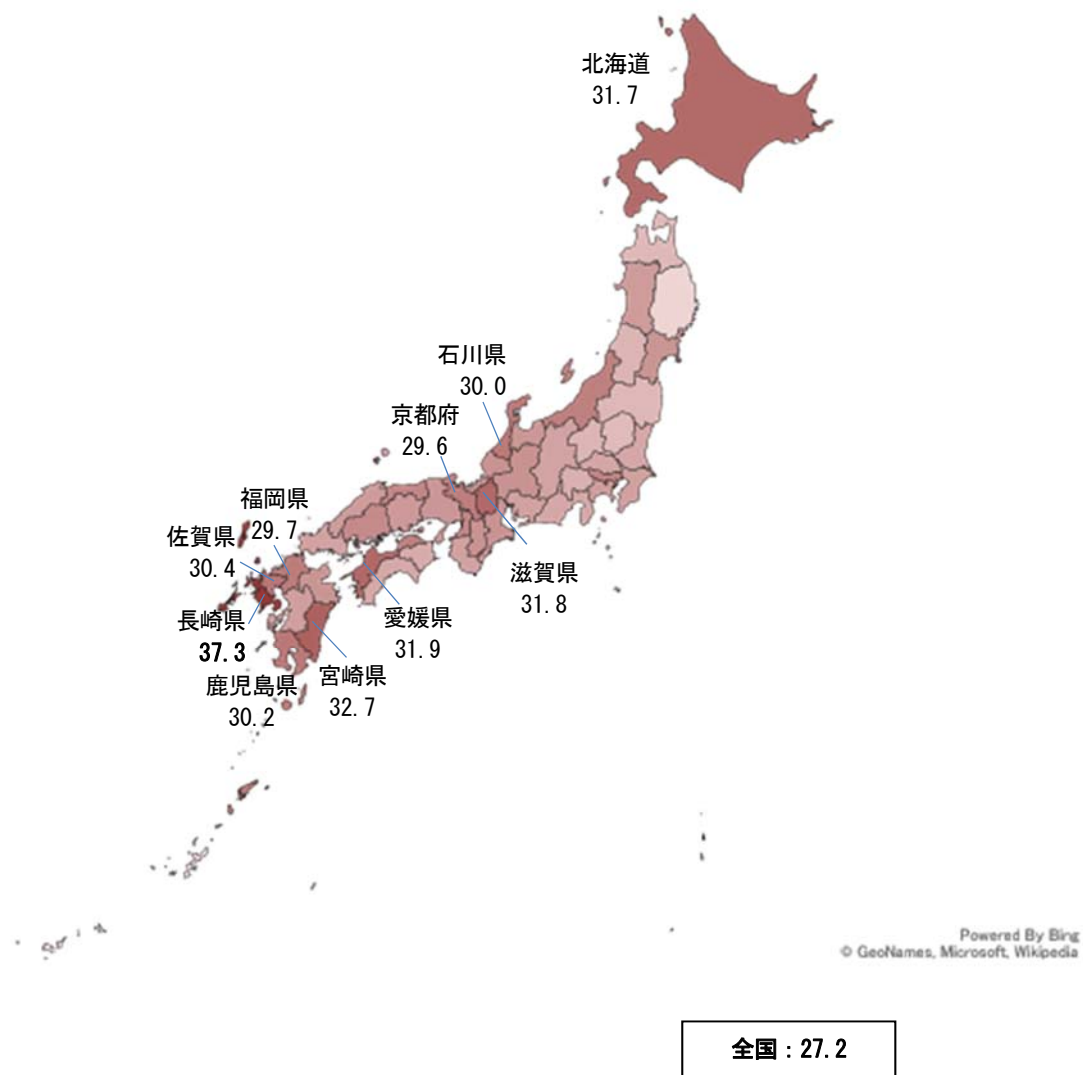


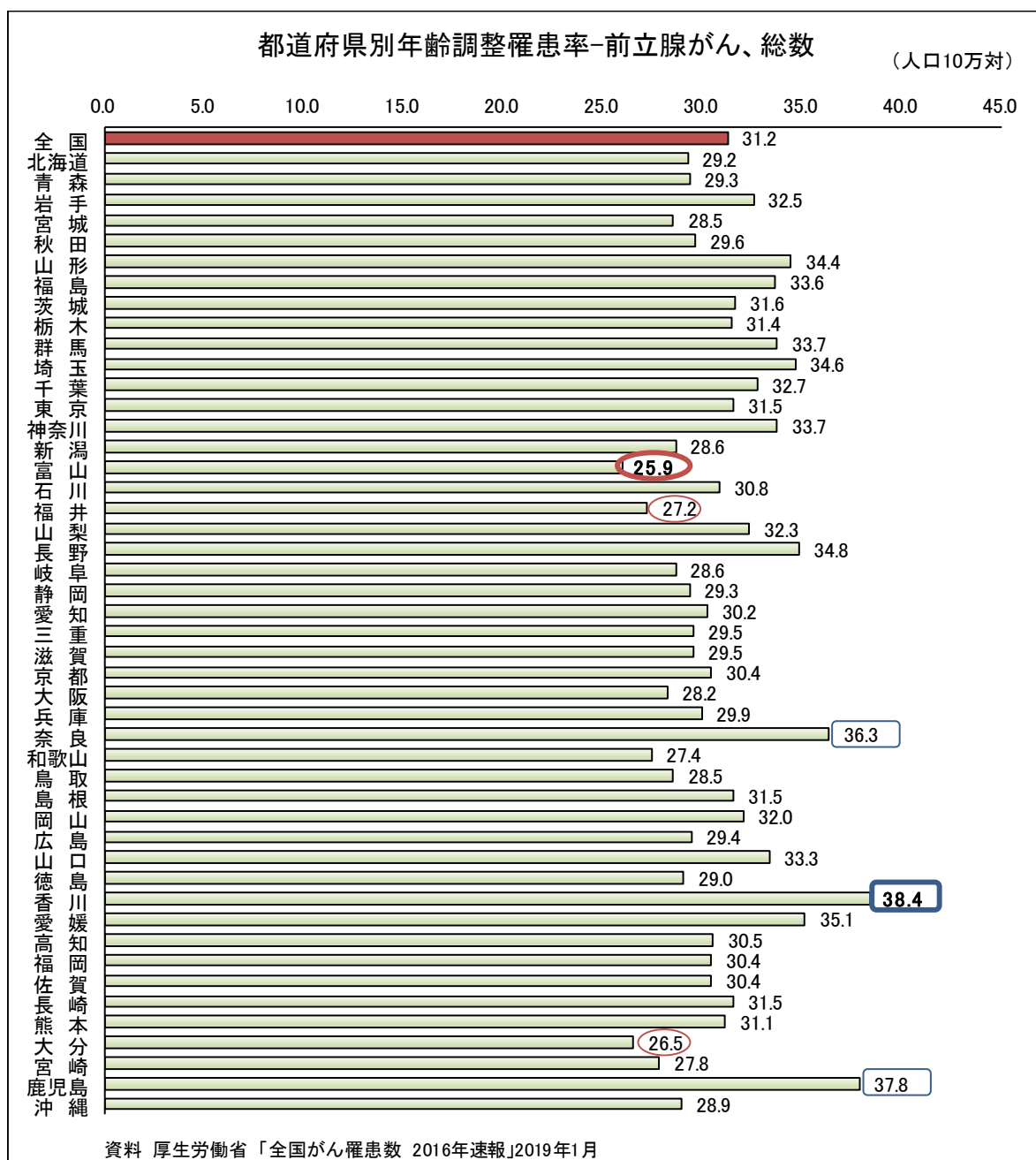
図 63 肺がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位都道府県の分布-女性



4.6 前立腺がん（総数 5 位、男性 3 位）

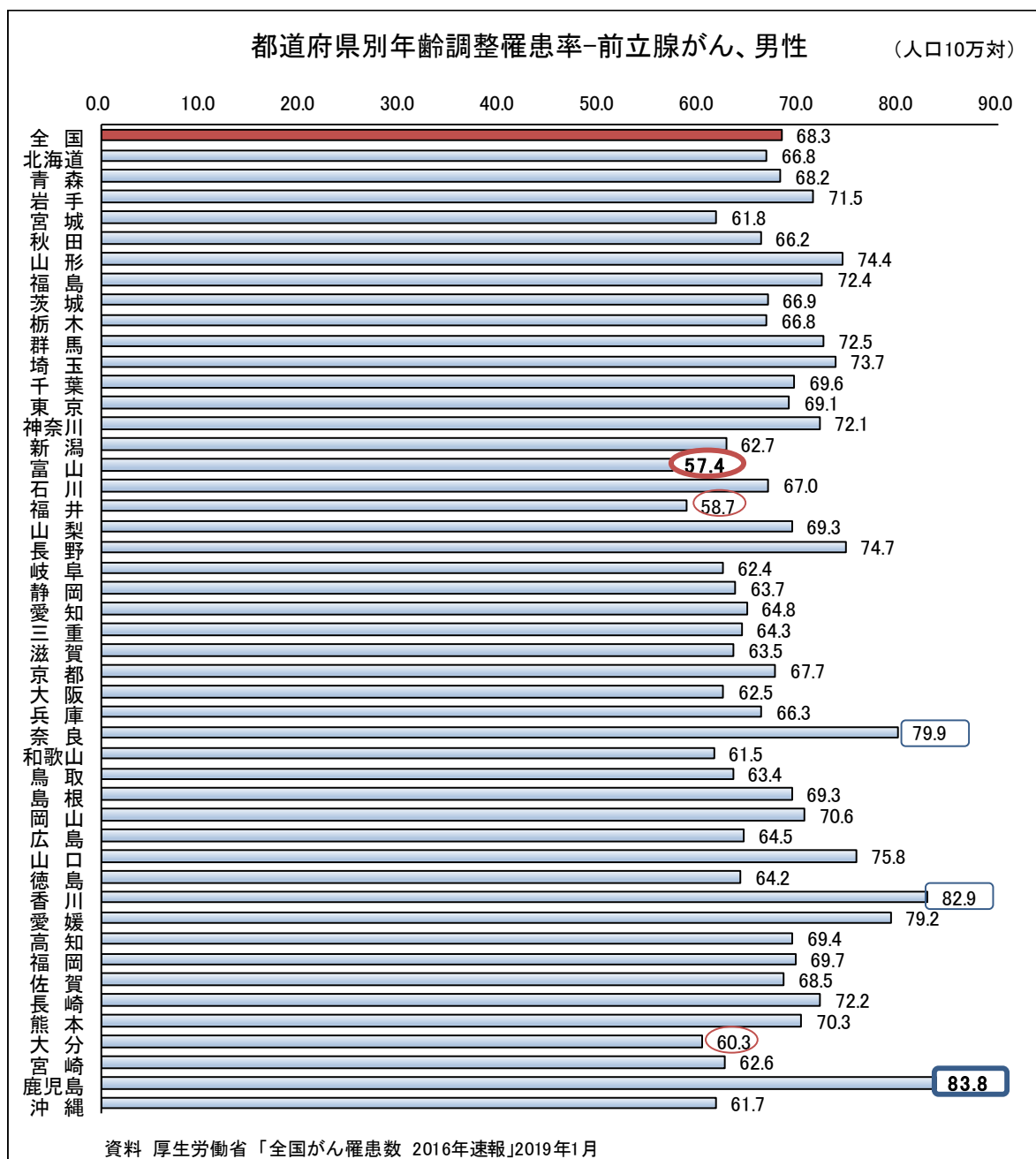
全国の前立腺がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「31.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「富山県（25.9）」、「大分県（26.5）」、「福井県（27.2）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「香川県（38.4）」、「鹿児島県（37.8）」、「奈良県（36.3）」。

図 64 都道府県別年齢調整罹患率-前立腺がん、総数



全国の男性の前立腺がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「68.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「富山県（57.4）」、「福井県（58.7）」、「大分県（60.3）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「鹿児島県（83.8）」、「香川県（82.9）」、「奈良県（79.9）」。

図 65 都道府県別年齢調整罹患率-前立腺がん、男性



4.7 子宮がん（子宮頸がん+子宮体がん）（総数 6 位、女性 3 位）

全国の子宮がん（子宮頸がん+子宮体がん）の総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「16.9」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「岡山県（12.9）」、「石川県（13.7）」、「福井県（13.8）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「宮崎県（21.1）」、「長崎県（20.6）」、「鹿児島県（20.6）」。年齢調整罹患率上位 10 位のうち、9 県が四国、九州の県である。

図 66 都道府県別年齢調整罹患率-子宮がん（子宮頸がん+子宮体がん）、総数

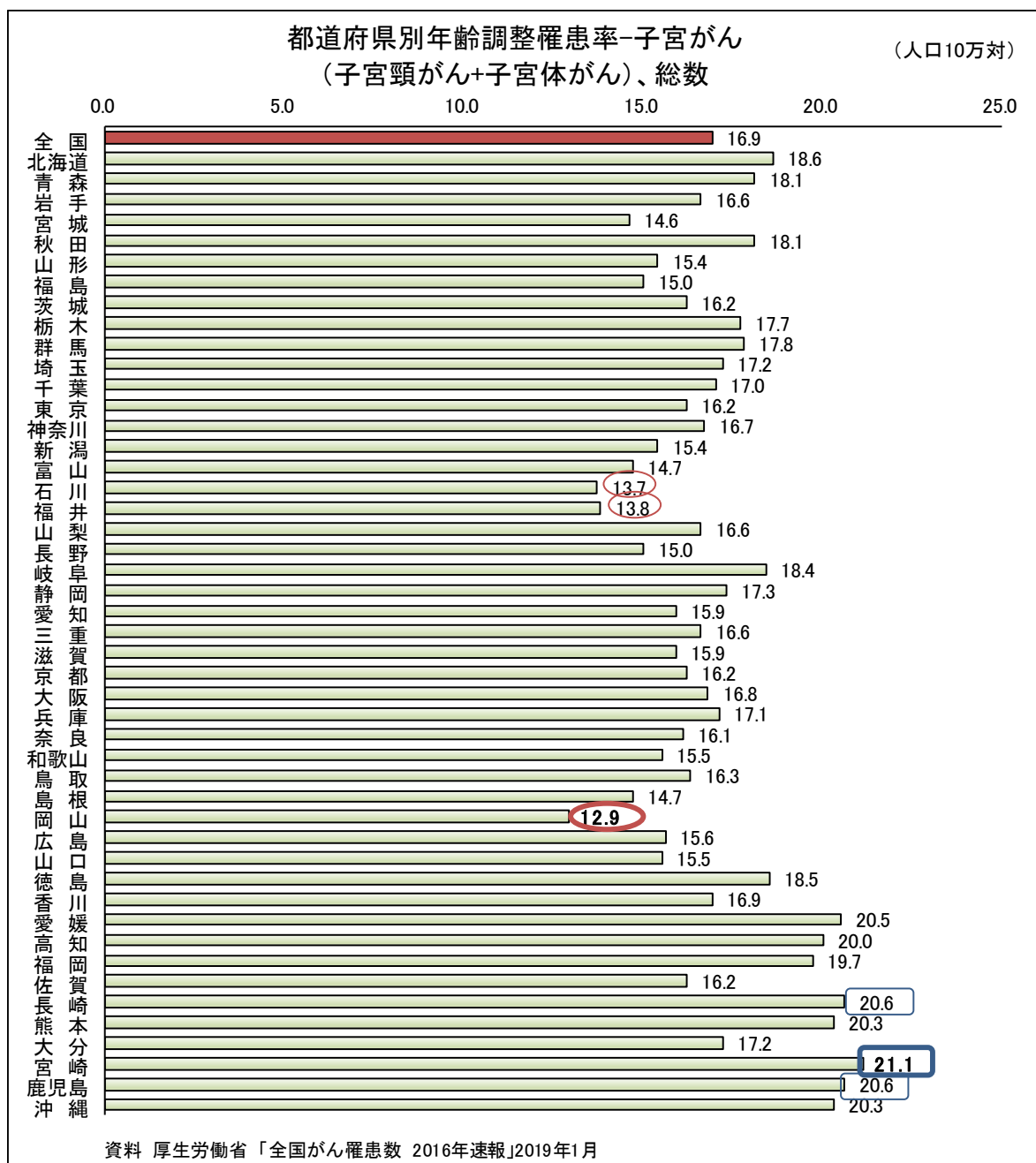
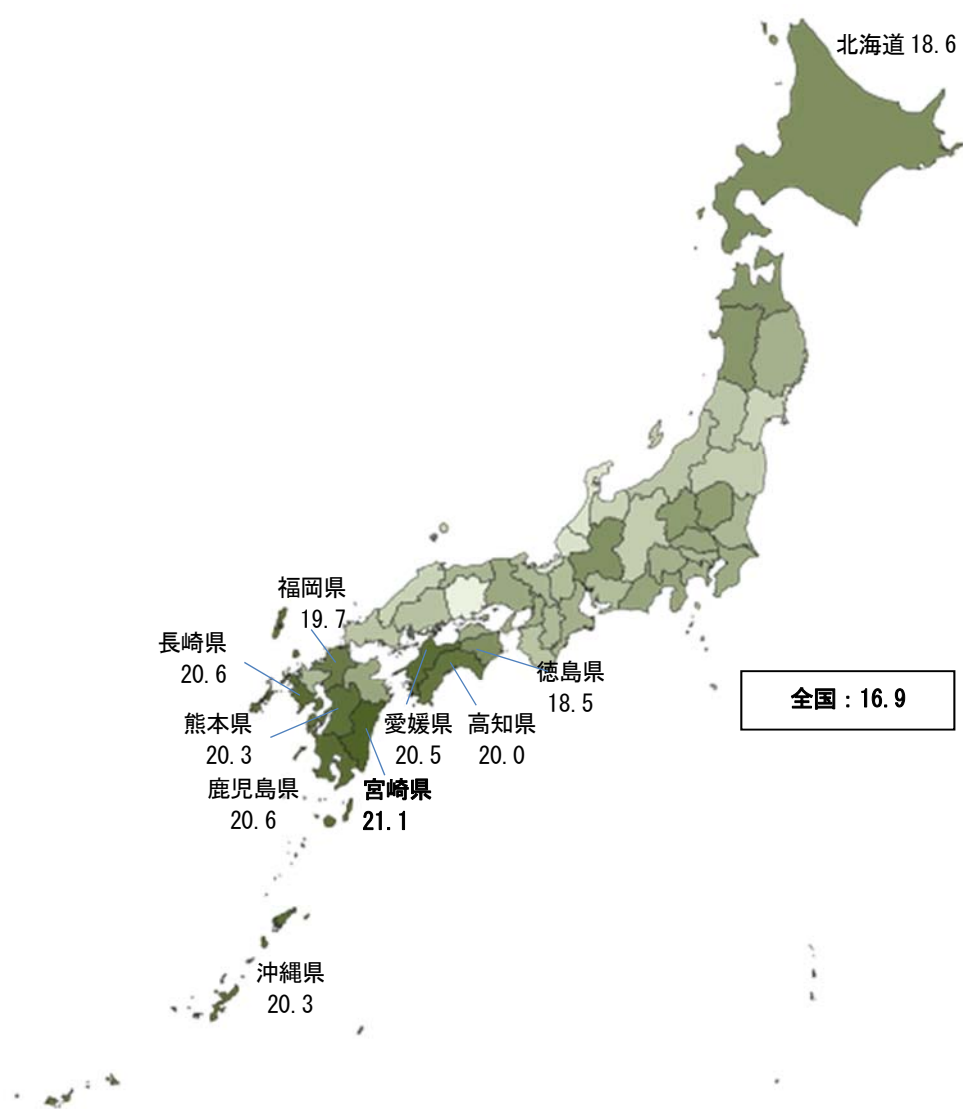


図 67 子宮がん（子宮頸がん+子宮体がん）の年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-総数



Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, Wikipedia

全国の女性の子宮がん（子宮頸がん+子宮体がん）の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「33.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「岡山県（25.2）」、「石川県（27.0）」、「福井県（27.3）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「沖縄県（40.3）」、「宮崎県（40.3）」、「鹿児島県（39.6）」、「長崎県（39.6）」。年齢調整罹患率上位 10 位のうち、8 位までが四国、九州の県である。

図 68 都道府県別年齢調整罹患率-子宮がん、女性

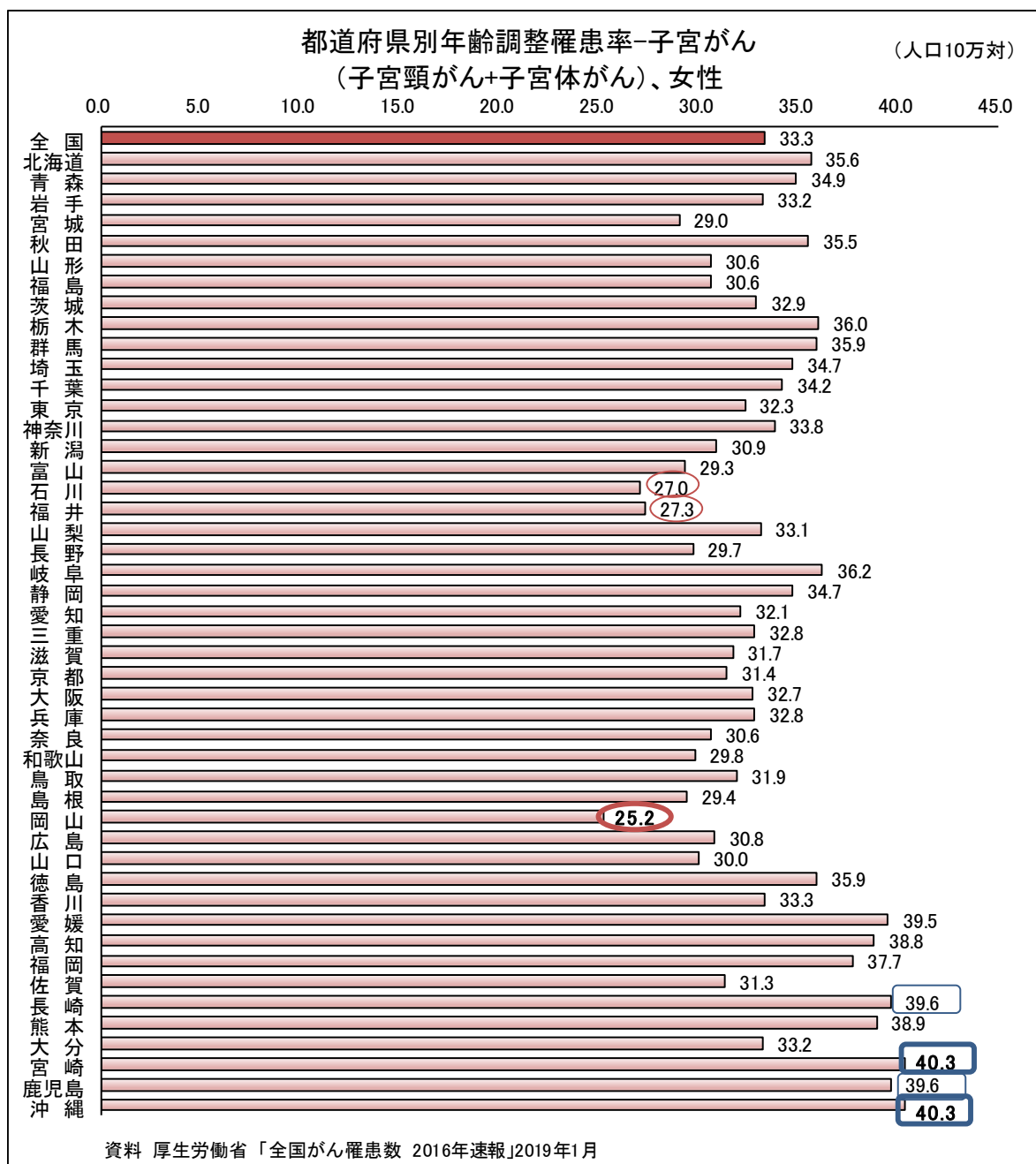
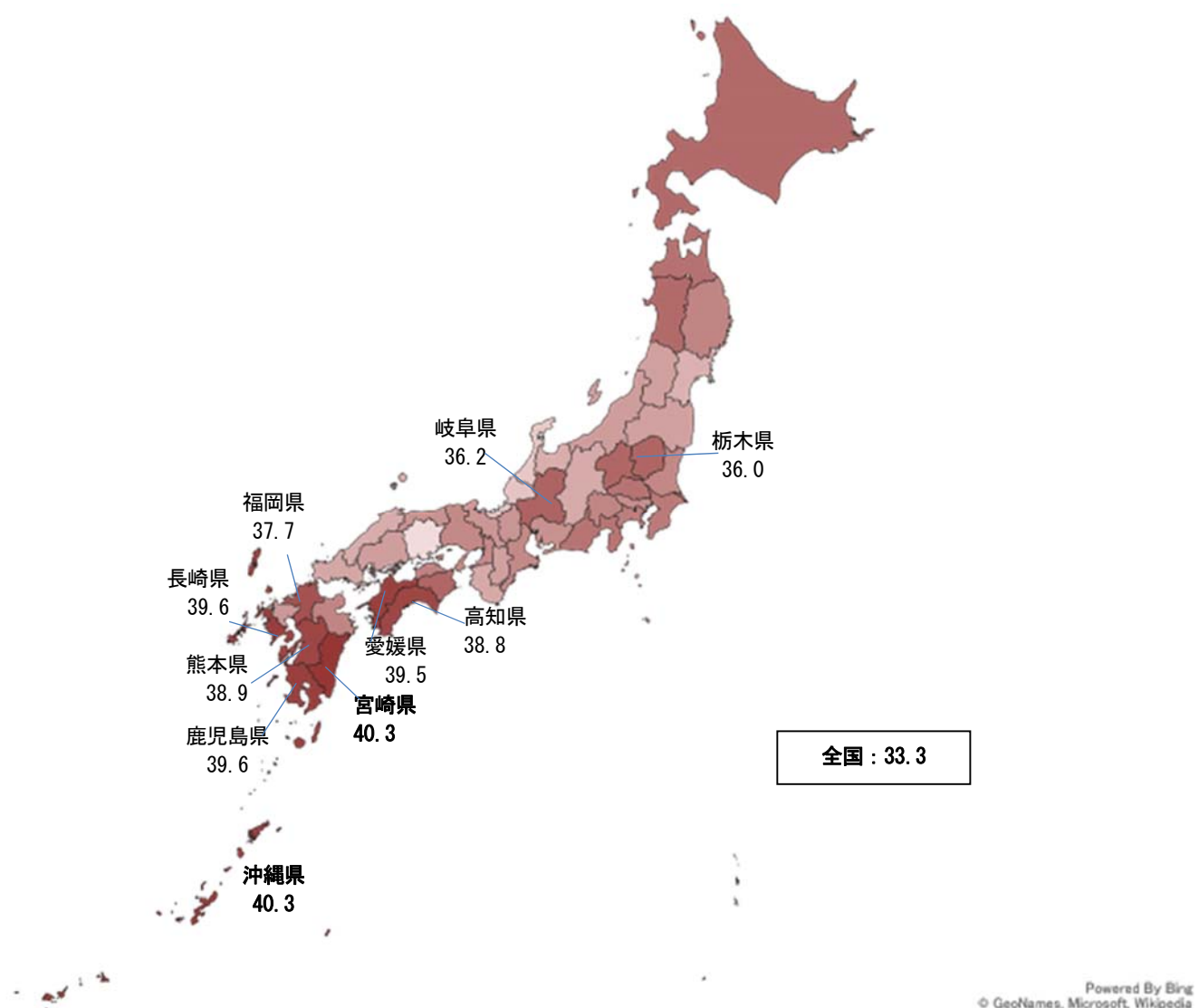


図 69 子宮がん（子宮頸がん+子宮体がん）の年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-女性



4.8 子宮頸がん

全国の子宮頸がんの総数の年齢調整罹患率（人口10万対）は「7.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「岡山県（4.8）」、「石川県（5.1）」、「富山県（5.1）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「宮崎県（11.8）」、「長崎県（10.4）」、「沖縄県（10.0）」。年齢調整罹患率上位10位のうち、7県が九州の県である。

図 70 都道府県別年齢調整罹患率-子宮頸がん、総数

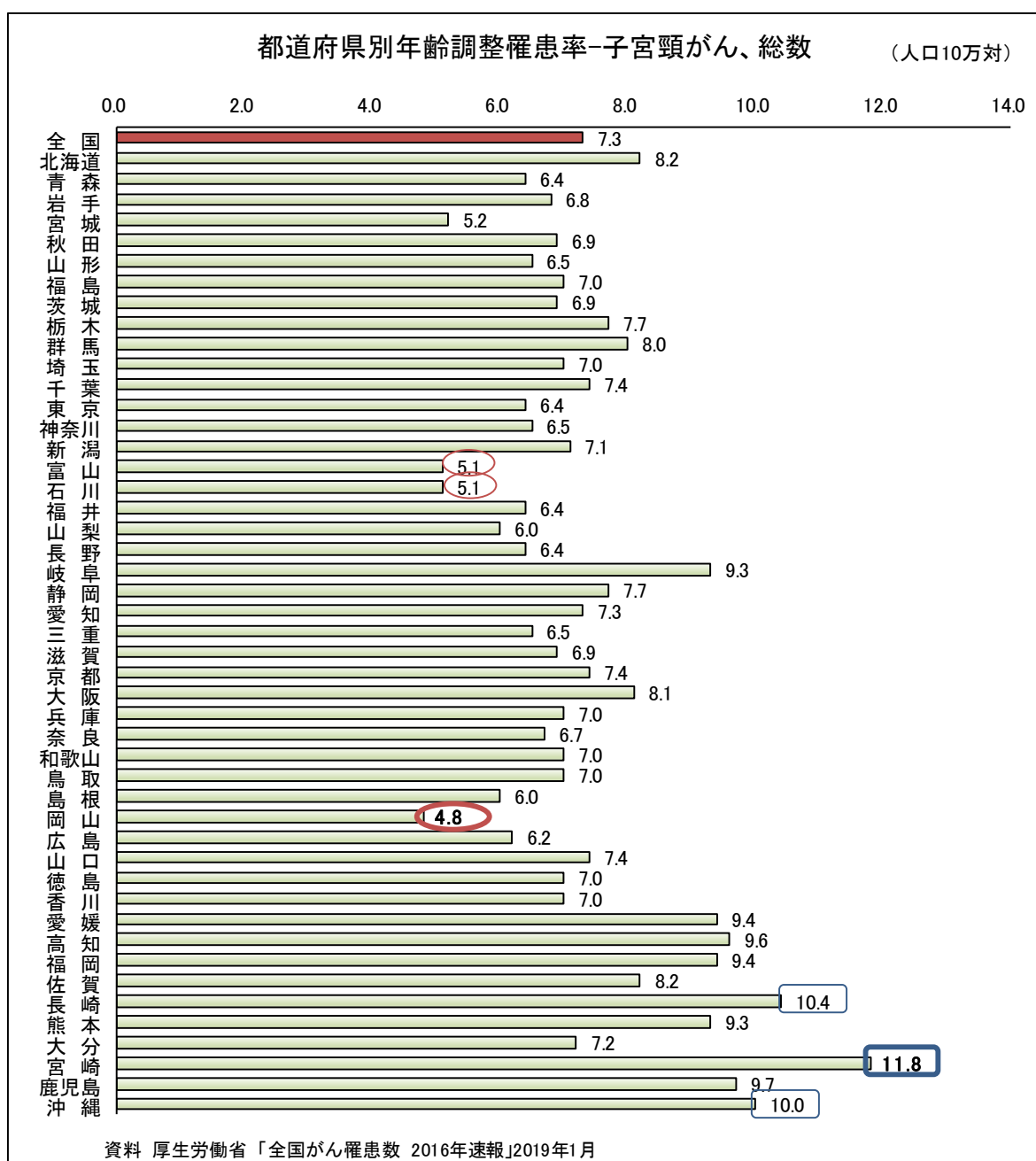
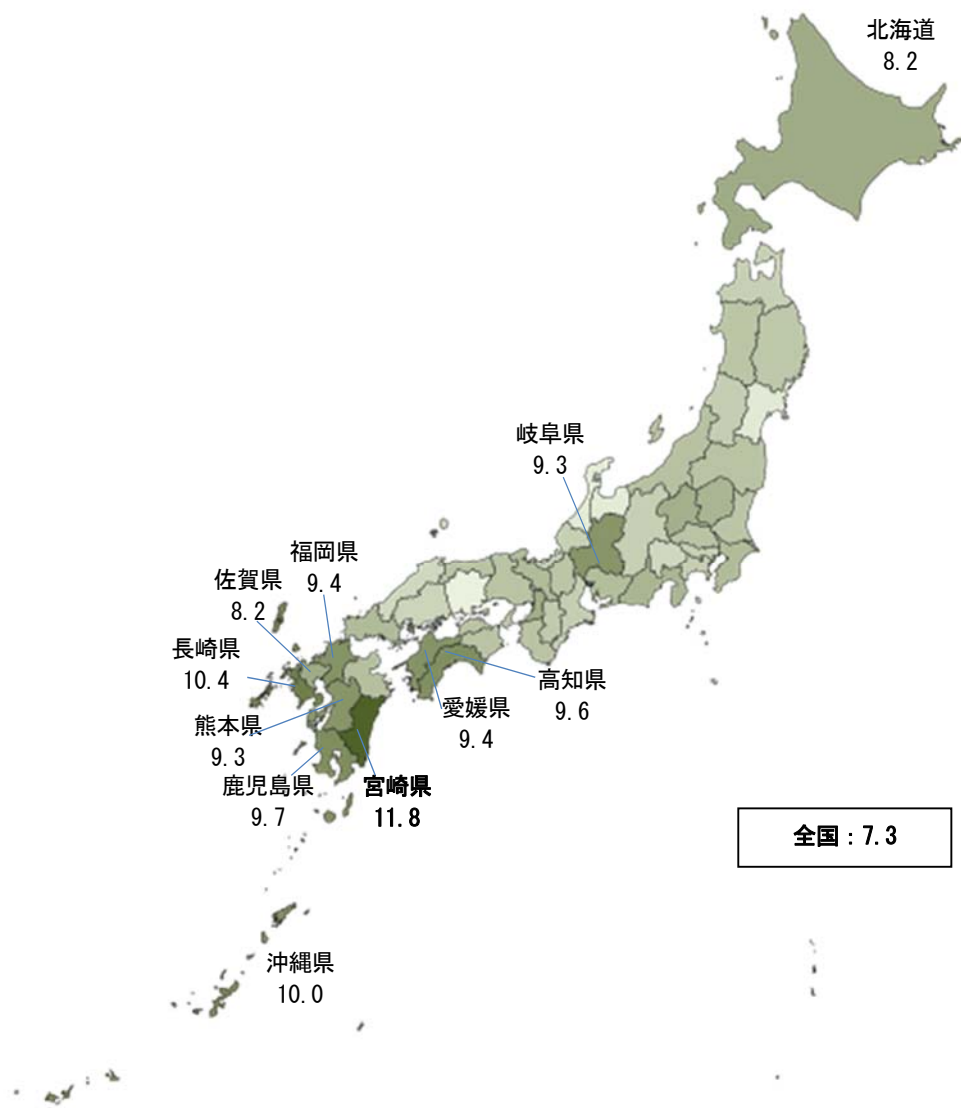


図 71 子宮頸がんの年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-総数



Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, Wikipedia

全国の女性の子宮頸がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「14.5」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「岡山県（9.4）」、「石川県（10.2）」、「富山県（10.2）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「宮崎県（22.6）」、「長崎県（20.1）」、「沖縄県（19.8）」。年齢調整罹患率上位 5 位のうち、4 県が九州の県である。

図 72 都道府県別年齢調整罹患率-子宮頸がん、女性

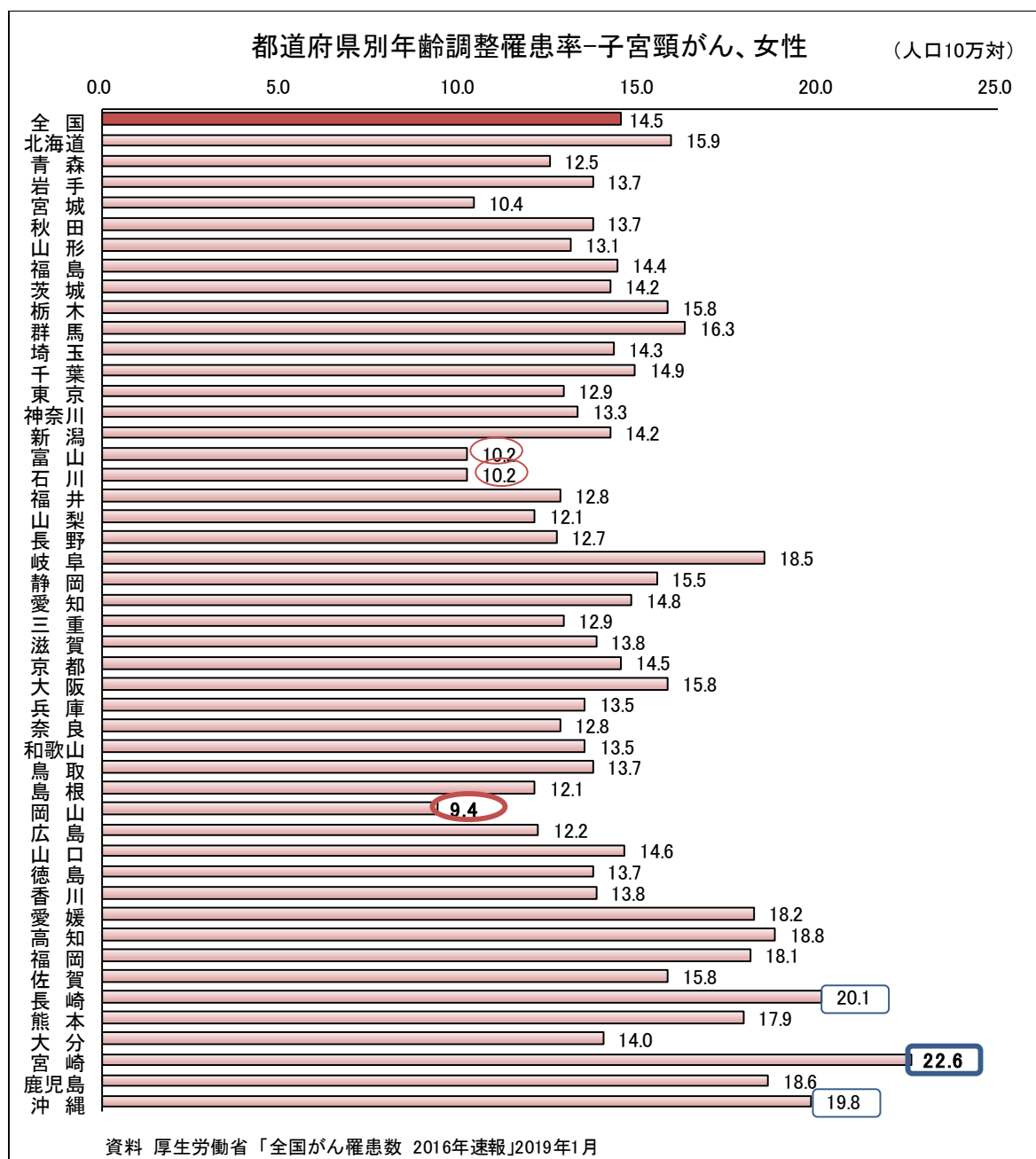
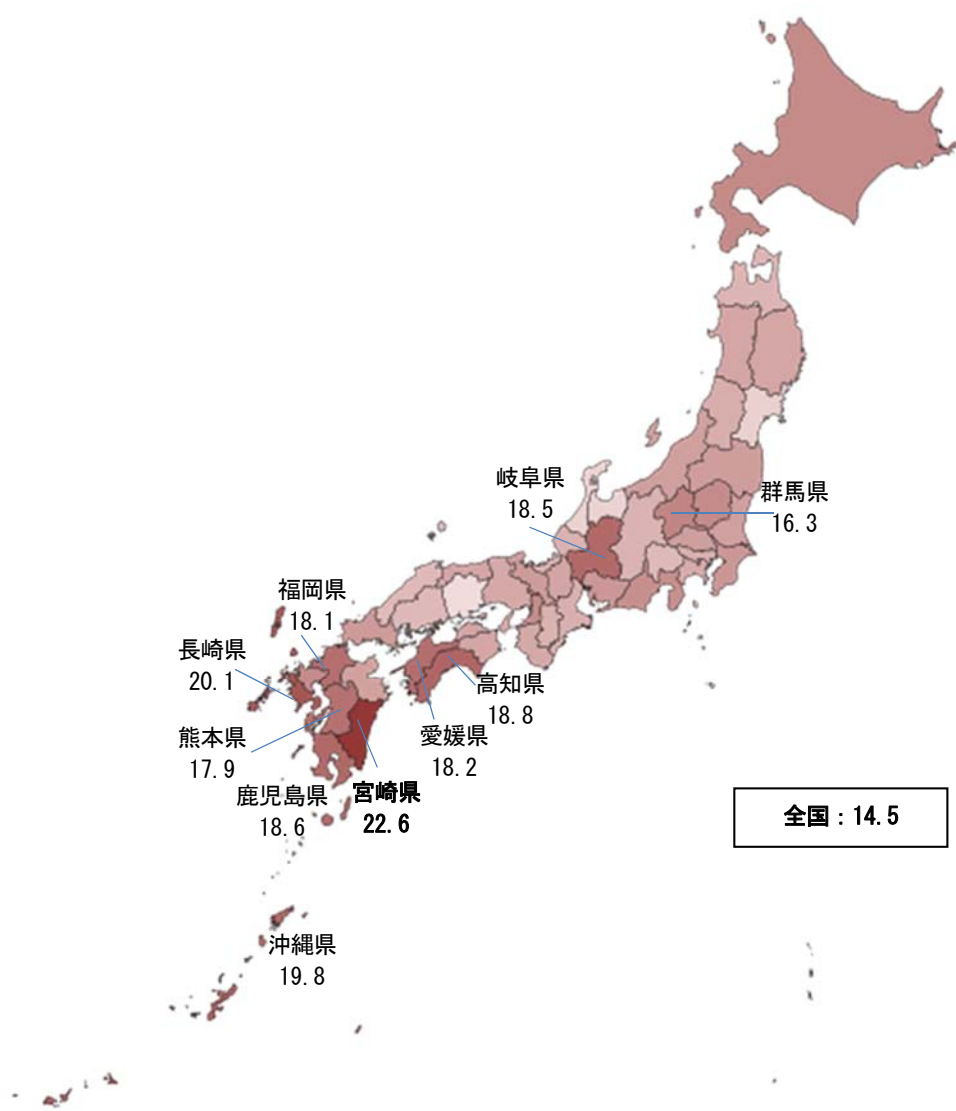


図 73 子宮頸がんの年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-女性

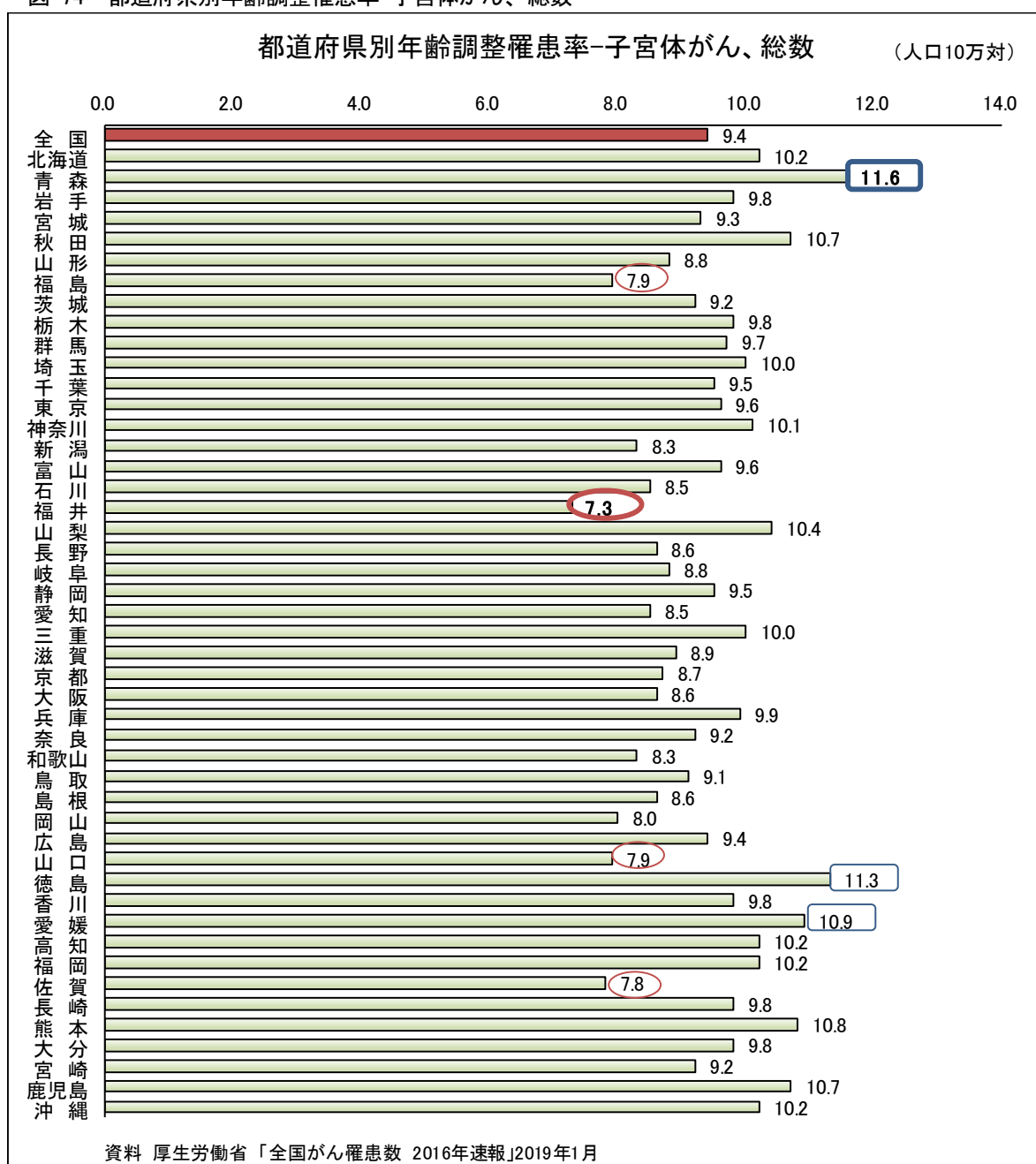


Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, Wikipedia

4.9 子宮体がん

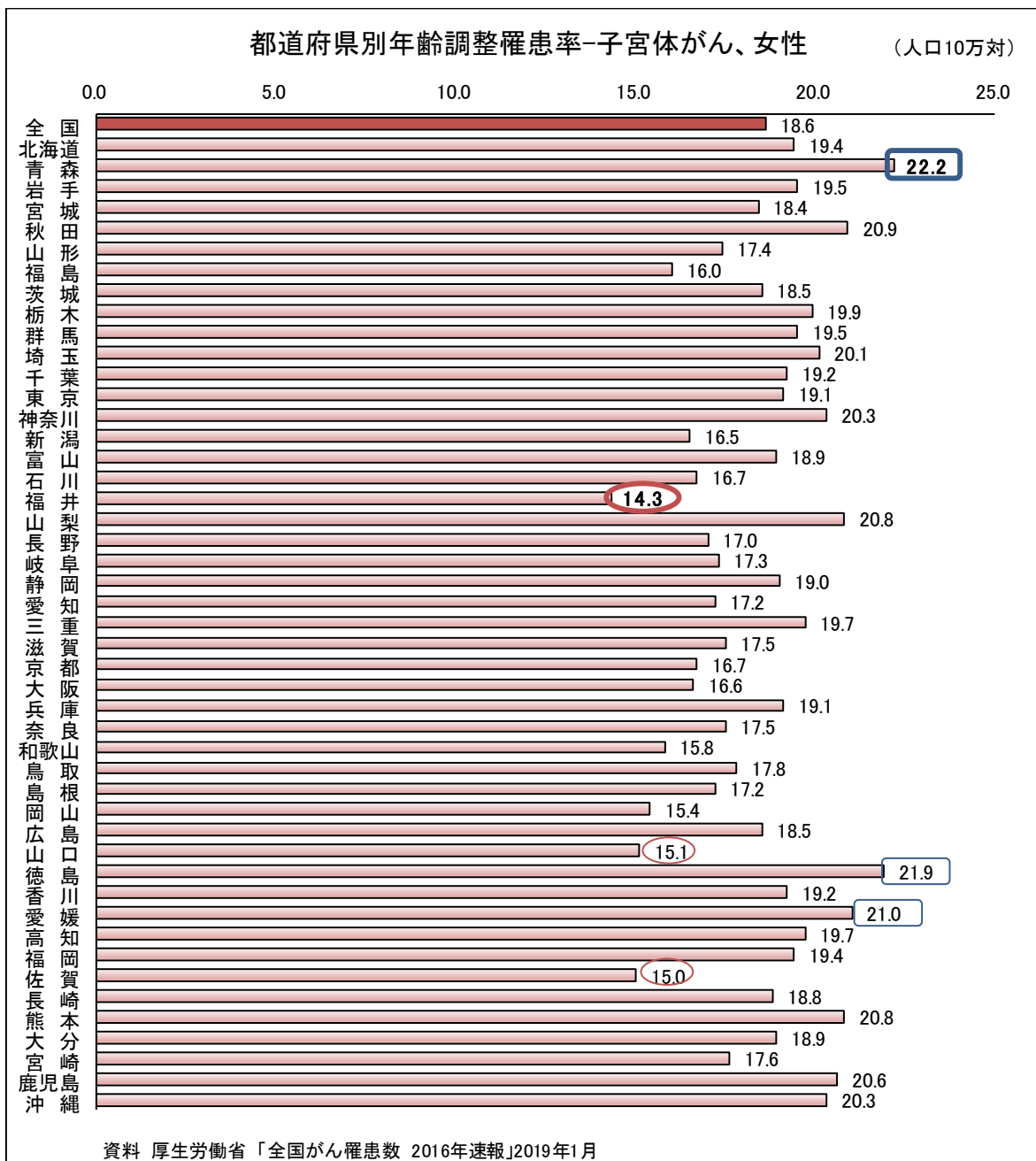
全国の子宮体がんの総数の年齢調整罹患率（人口10万対）は「9.4」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「福井県（7.3）」、「佐賀県（7.8）」、「山口県（7.9）」、「福島県（7.9）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「青森県（11.6）」、「徳島県（11.3）」、「愛媛県（10.9）」。

図 74 都道府県別年齢調整罹患率-子宮体がん、総数



全国の子宮体がんの女性の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「18.6」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「福井県（14.3）」、「佐賀県（15.0）」、「山口県（15.1）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「青森県（22.2）」、「徳島県（21.9）」、「愛媛県（21.0）」。

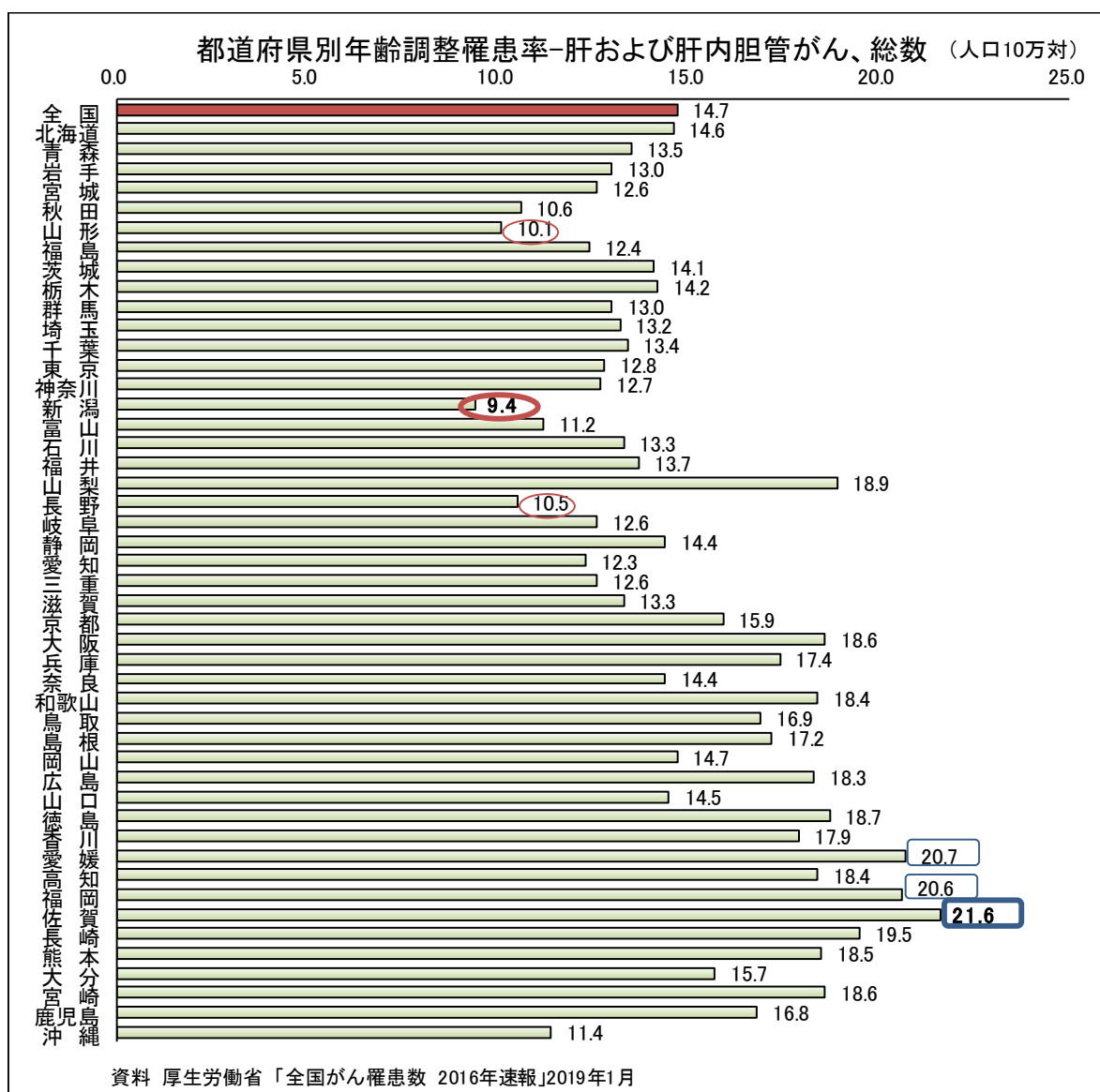
図 75 都道府県別年齢調整罹患率-子宮体がん、女性



4.10 肝および肝内胆管がん（総数 7 位、男性 10 位、女性 7 位）

全国の肝および肝内胆管がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「14.7」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「新潟県（9.4）」、「山形県（10.1）」、「長野県（10.5）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「佐賀県（21.6）」、「愛媛県（20.7）」、「福岡県（20.6）」。西日本は年齢調整罹患率が高く、上位 20 位のうち、東日本は山梨県のみである⁷。東日本の日本海側は年齢調整罹患率が低い傾向がみられた。

図 76 都道府県別年齢調整罹患率-肝および肝内胆管がん、総数



⁷ 西日本で肝臓がんが多い理由として、西日本地区の C 型肝炎ウイルス感染者数の多さが一因に挙げられる。
「肝がん がんの知識」https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/12knowledge/iroirona_gan/04kan.html 愛知県がんセンター

図 77 肝及び肝内胆管がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位および下位 5 位の分布-総数



全国の男性の肝および肝内胆管がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「22.8」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「山形県（14.6）」、「新潟県（14.6）」、「長野県（15.5）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「愛媛県（33.7）」、「福岡県（32.4）」、「長崎県（31.9）」。総数と同様に、東日本の日本海側で年齢調整罹患率が低く、西日本に年齢調整罹患率が高い地域が集中している。

図 78 都道府県別年齢調整罹患率-肝および肝内胆管がん、男性

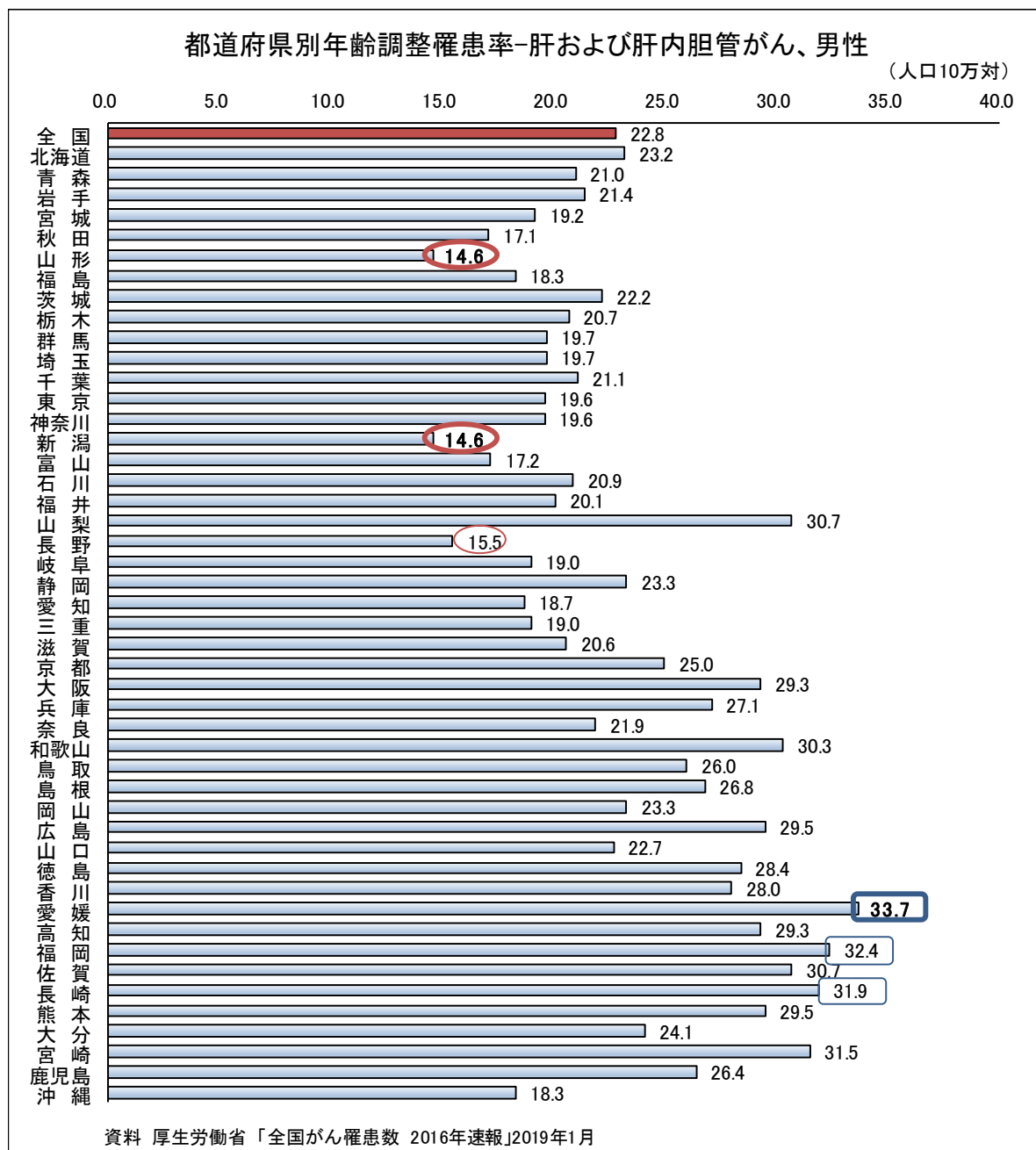


図 79 肝及び肝内胆管がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位および下位 5 位の分布-男性



全国の女性の肝および肝内胆管がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「7.7」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「新潟県（4.8）」、「沖縄県（5.2）」、「秋田県（5.2）」。「年齢調整罹患率が高い都道府県は「佐賀県（14.6）」、「福岡県（11.1）」、「徳島県（10.5）」。「上位 10 位は全て西日本の府県である。

図 80 都道府県別年齢調整罹患率-肝および肝内胆管がん、女性

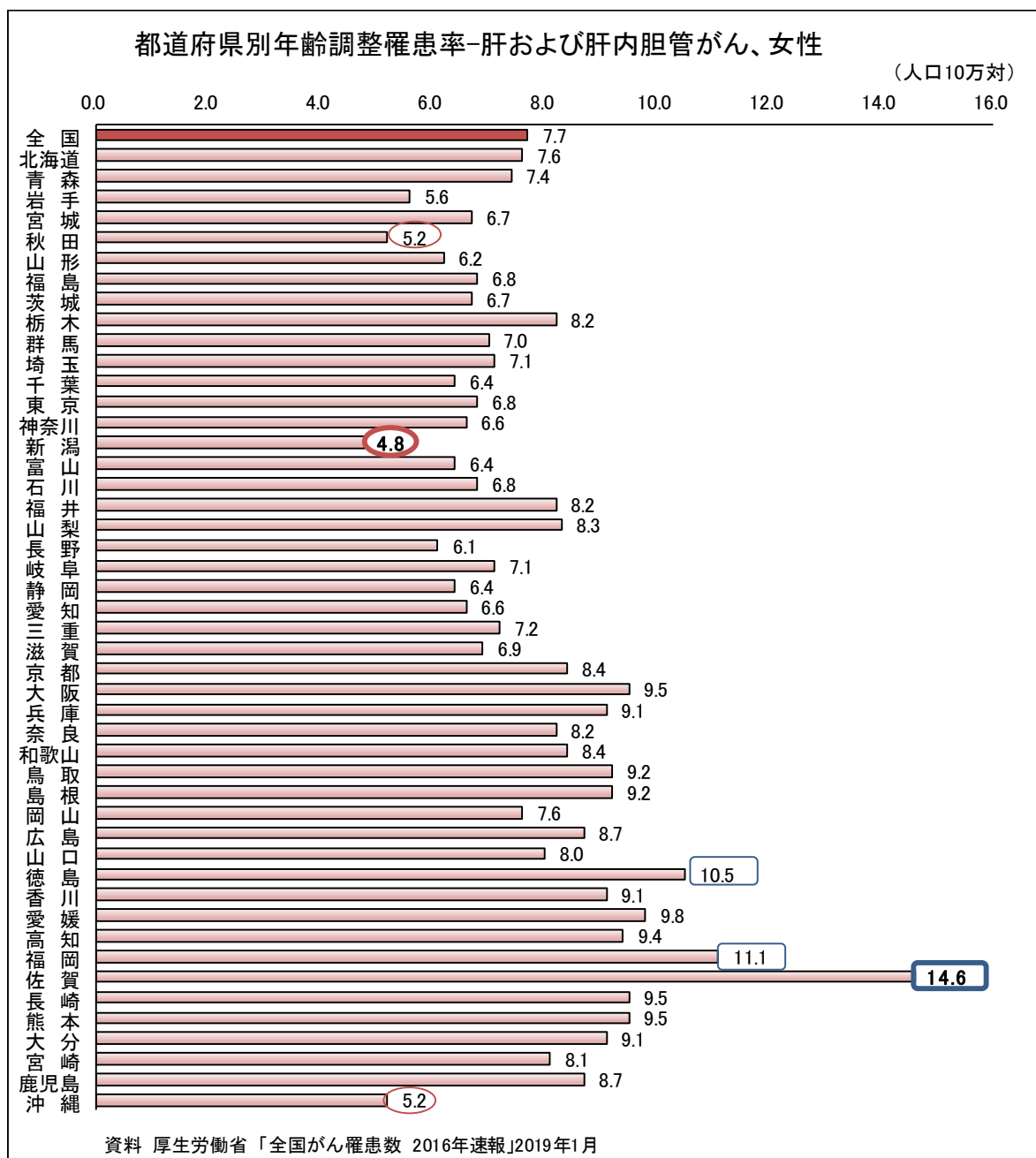
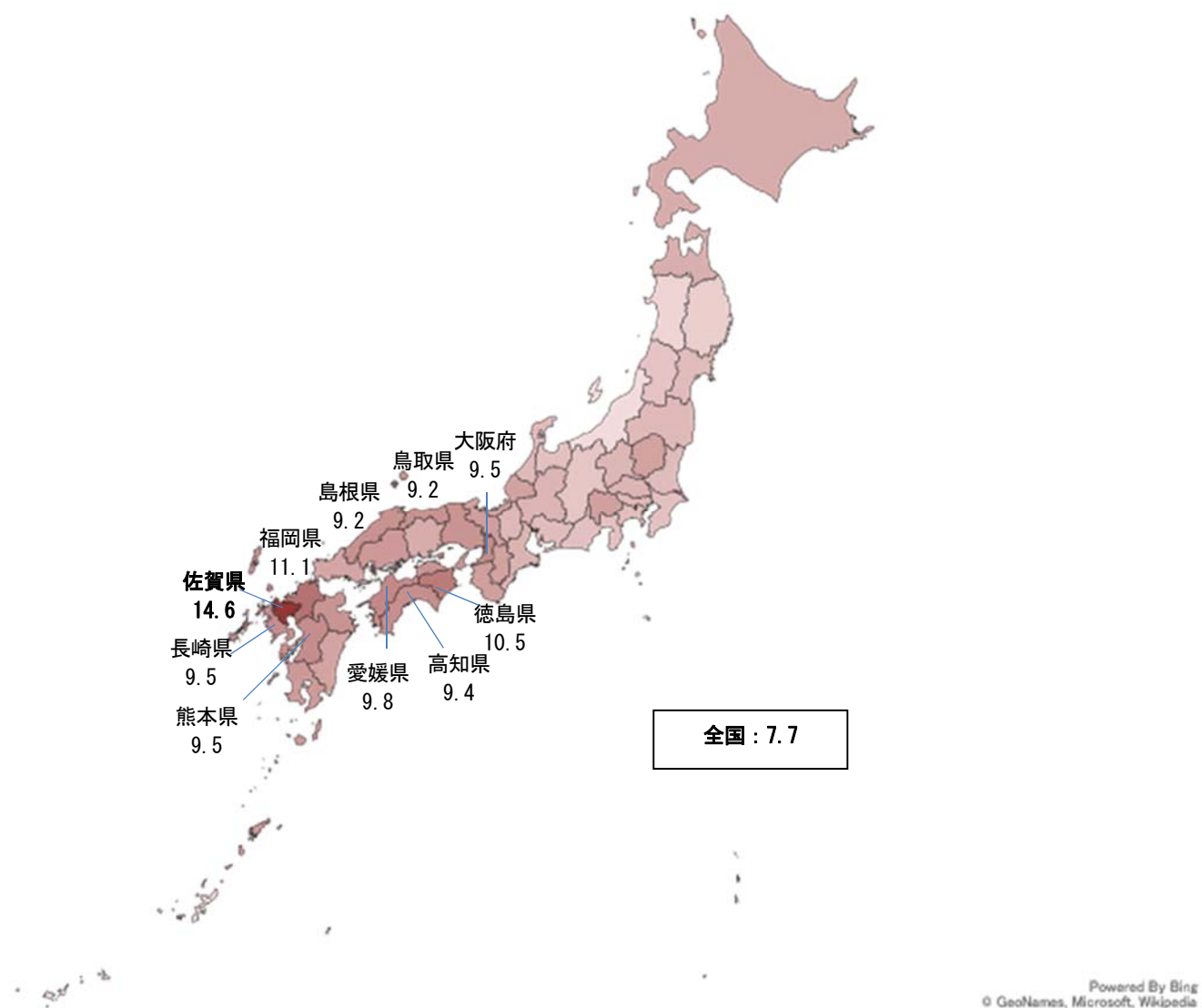


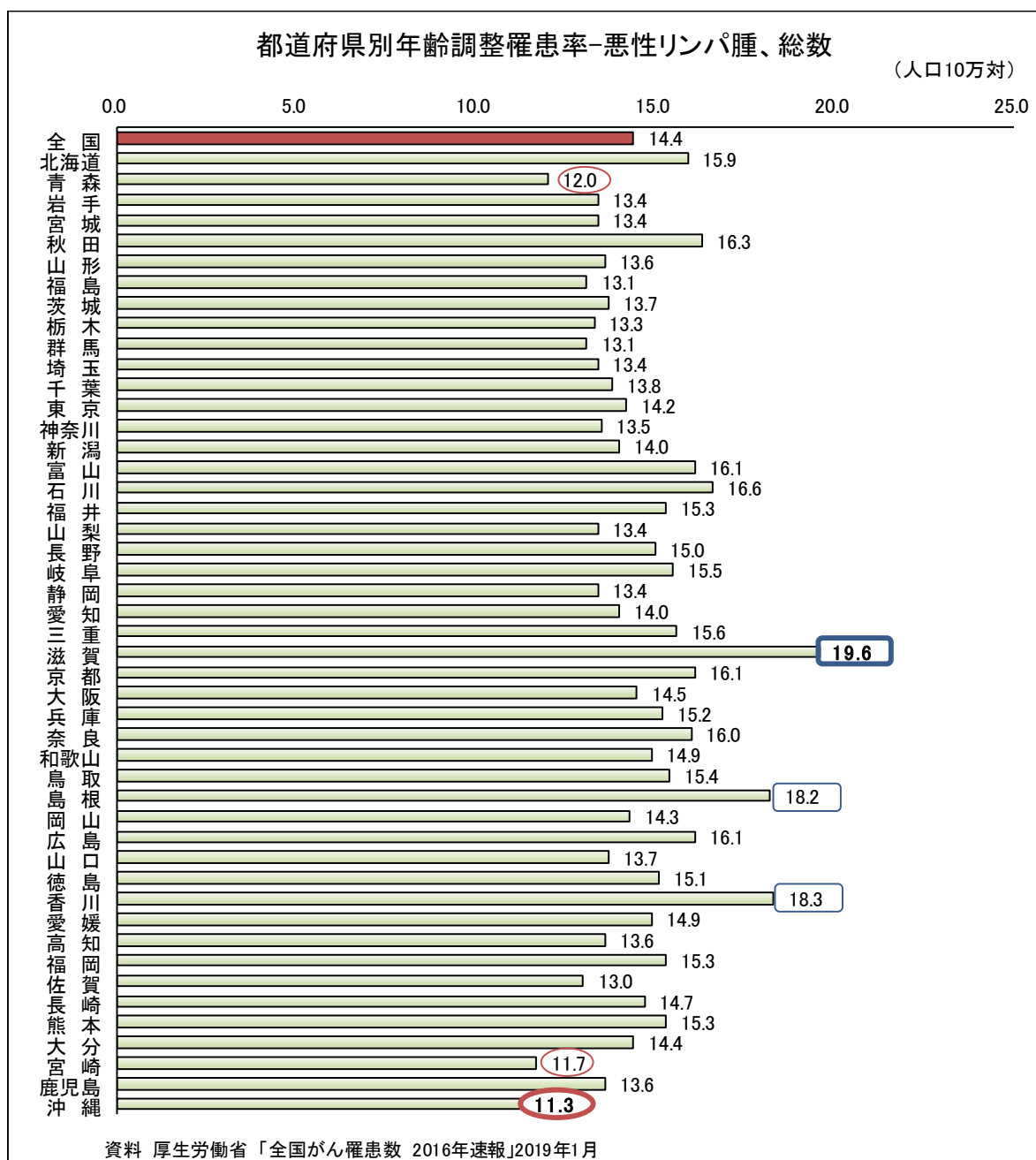
図 81 肝及び肝内胆管がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位の分布-女性



4.11 悪性リンパ腫（総数 8 位、男性 9 位、女性 8 位）

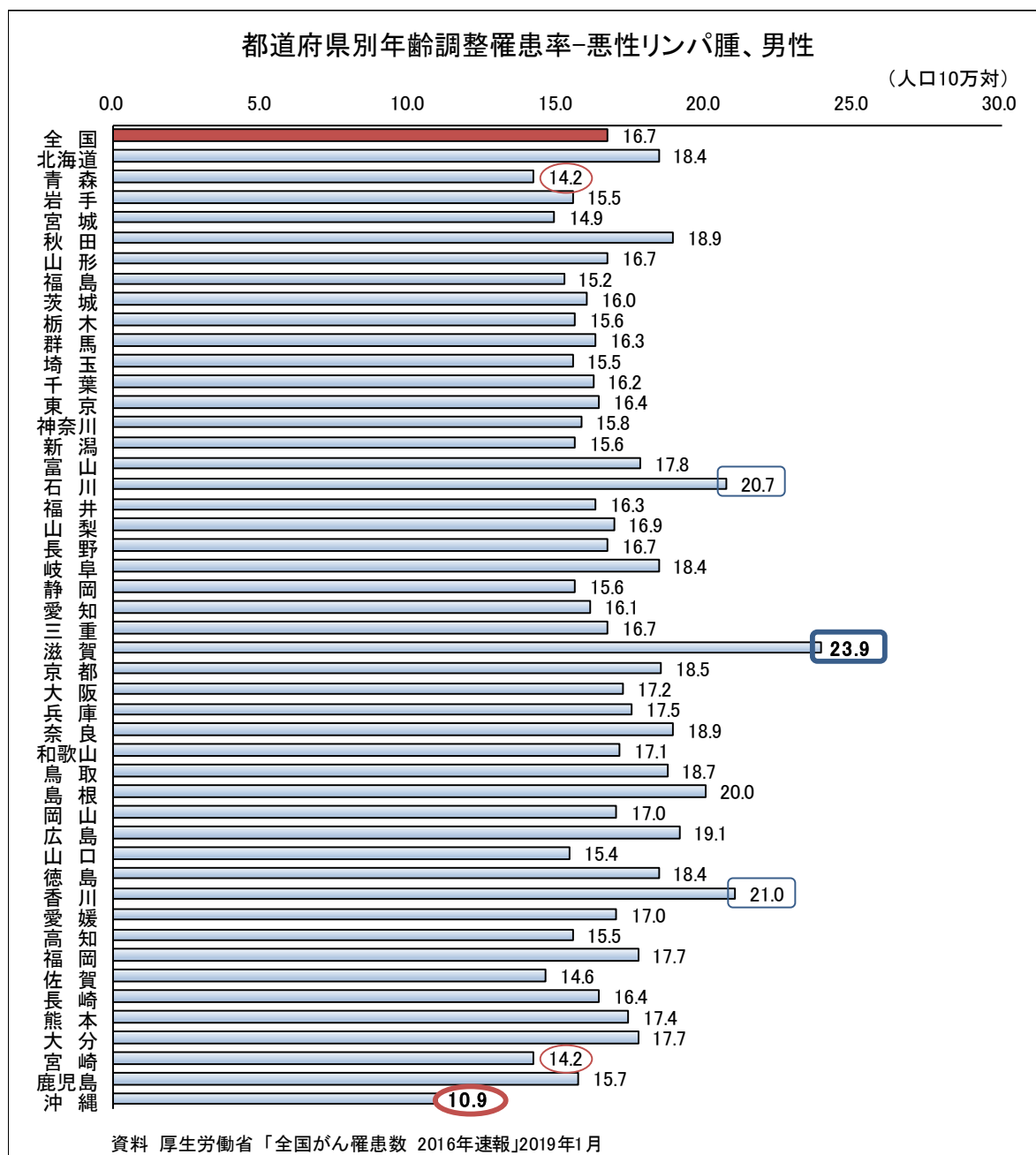
全国の悪性リンパ腫の総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「14.4」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（11.3）」、「宮崎県（11.7）」、「青森県（12.0）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「滋賀県（19.6）」、「香川県（18.3）」、「島根県（18.2）」。

図 82 都道府県別年齢調整罹患率-悪性リンパ腫、総数



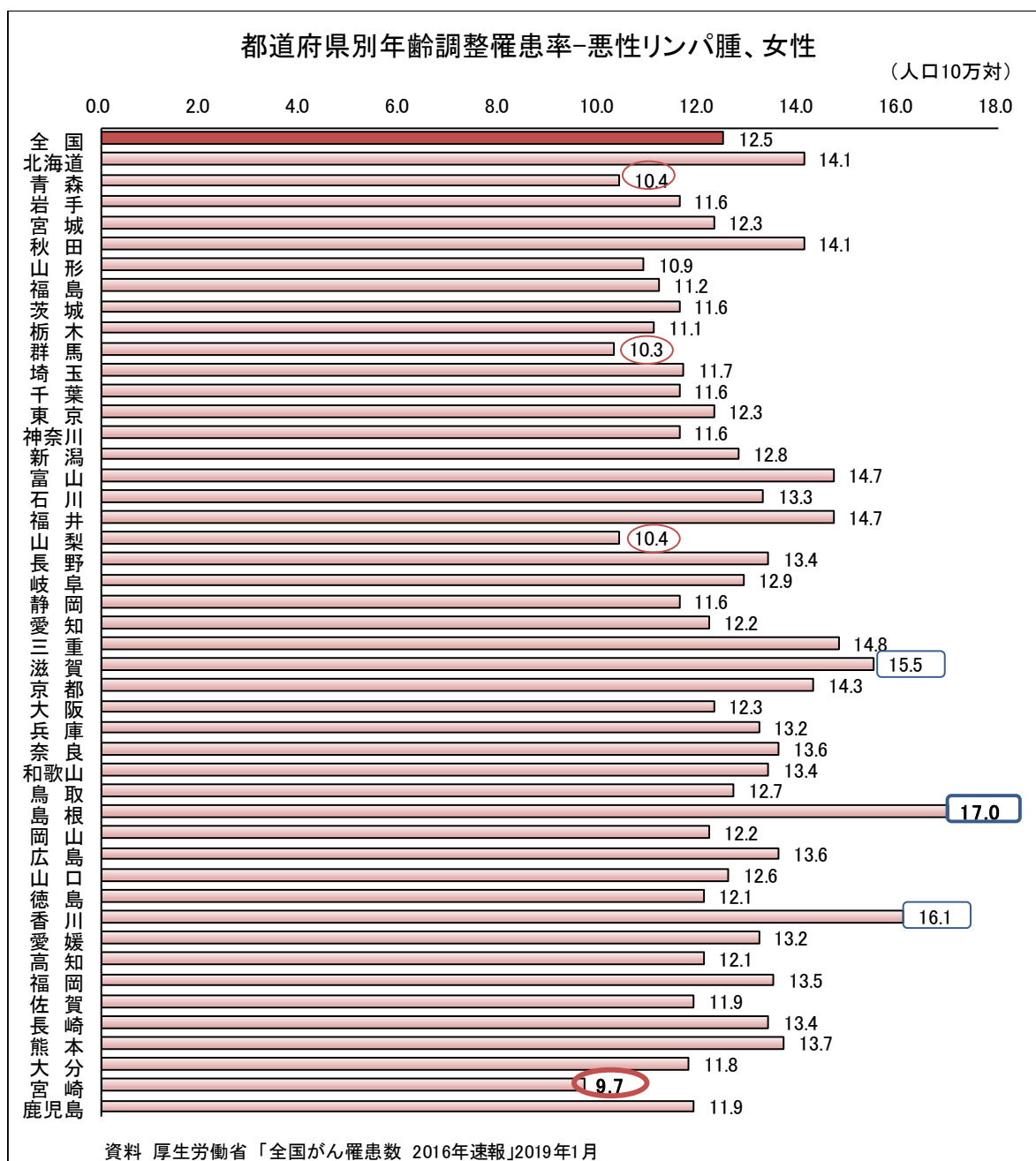
全国の男性の悪性リンパ腫の年齢調整罹患率（人口10万対）は「16.7」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（10.9）」、「宮崎県（14.2）」、「青森県（14.2）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「滋賀県（23.9）」、「香川県（21.0）」、「石川県（20.7）」。

図 83 都道府県別年齢調整罹患率-悪性リンパ腫、男性



全国の女性の悪性リンパ腫の年齢調整罹患率（人口10万対）は「12.5」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「宮崎県（9.7）」、「群馬県（10.3）」、「山梨県（10.4）」、「青森県（10.4）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「島根県（17.0）」、「香川県（16.1）」、「滋賀県（15.5）」。

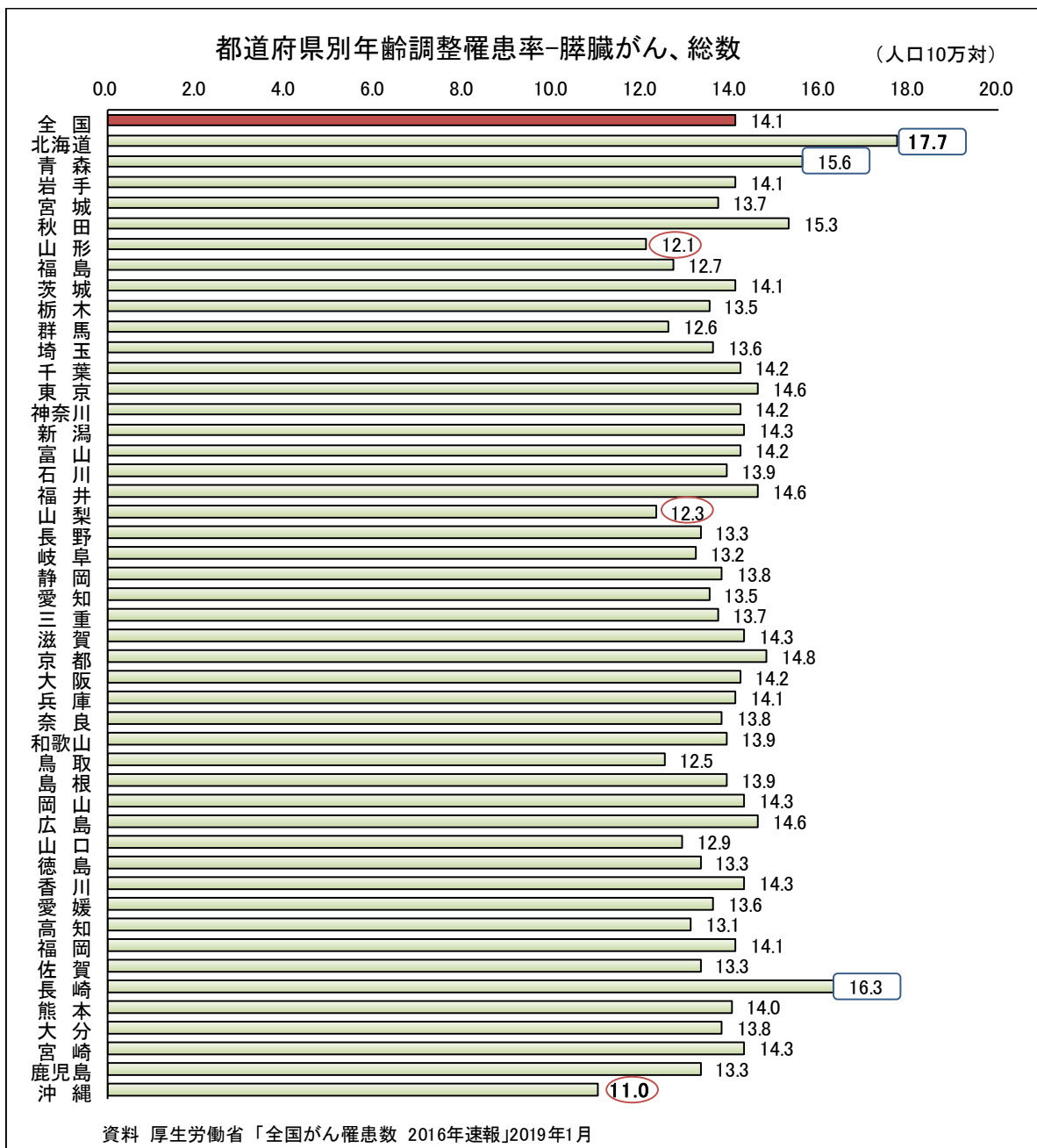
図 84 都道府県別年齢調整罹患率-悪性リンパ腫、女性



4.12 膵臓がん（総数 9 位、男性 8 位、女性 9 位）

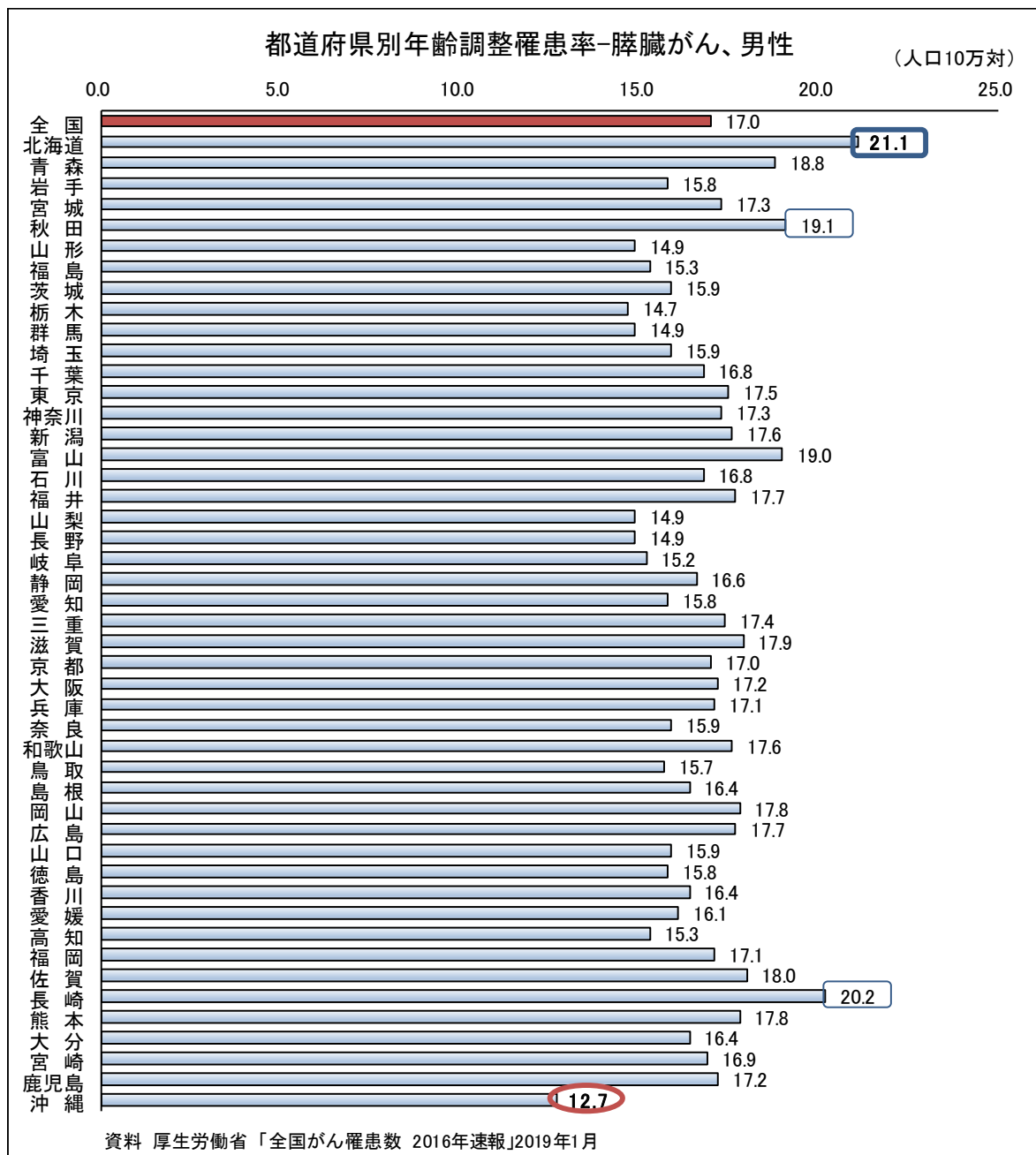
全国の膵臓がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「14.1」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（11.0）」、「山形県（12.1）」、「山梨県（12.3）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「北海道（17.7）」、「長崎県（16.3）」、「青森県（15.6）」。

図 85 都道府県別年齢調整罹患率-膵臓がん、総数



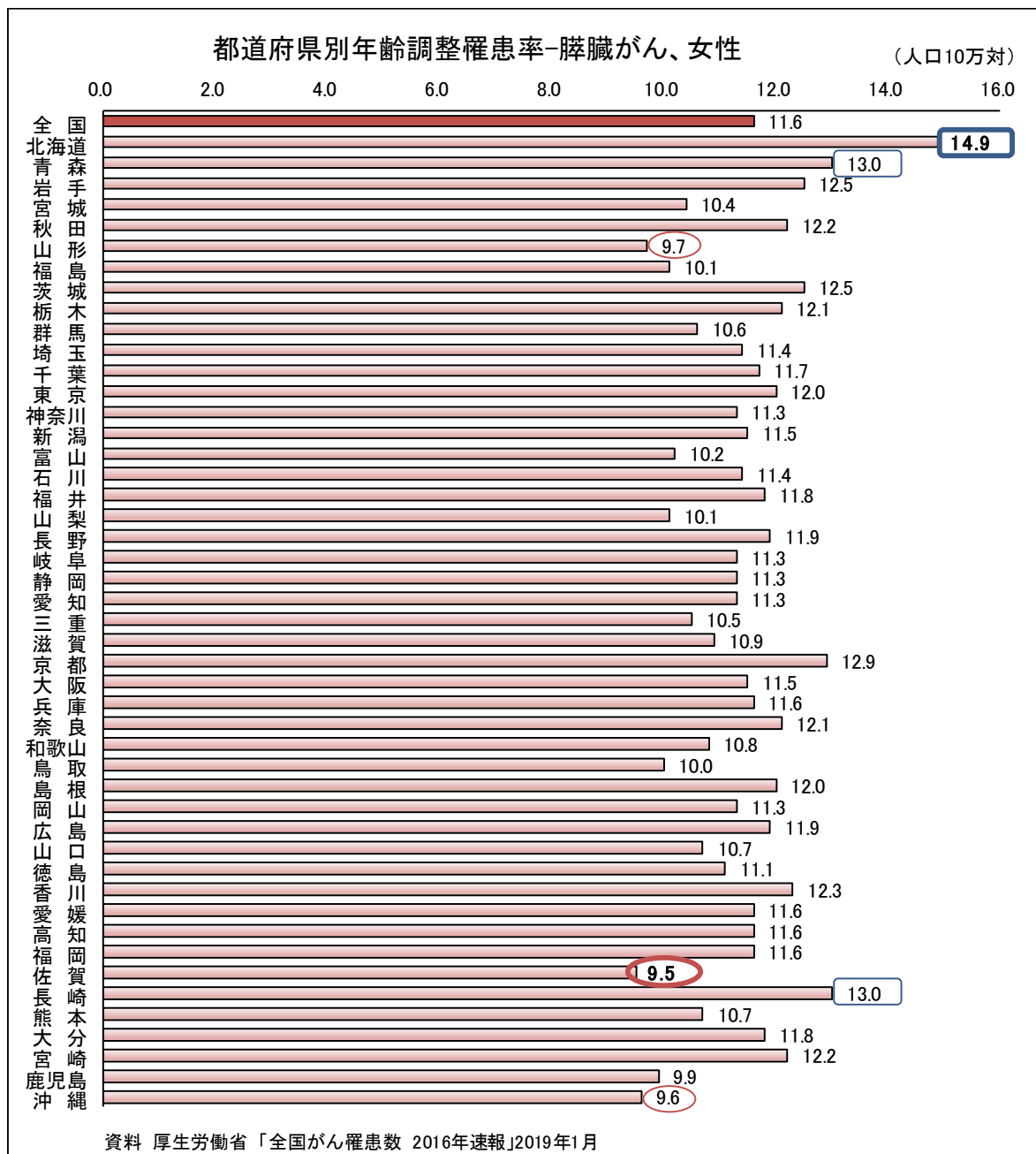
全国の男性の膵臓がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「17.0」。年齢調整罹患率が最も低い都道府県は「沖縄県（12.7）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「北海道（21.1）」、「長崎県（20.2）」、「秋田県（19.1）」。

図 86 都道府県別年齢調整罹患率-膵臓がん、男性



全国の女性の膵臓がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「11.6」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「佐賀県（9.5）」、「沖縄県（9.6）」、「山形県（9.7）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「北海道（14.9）」、「長崎県（13.0）」、「青森県（13.0）」。

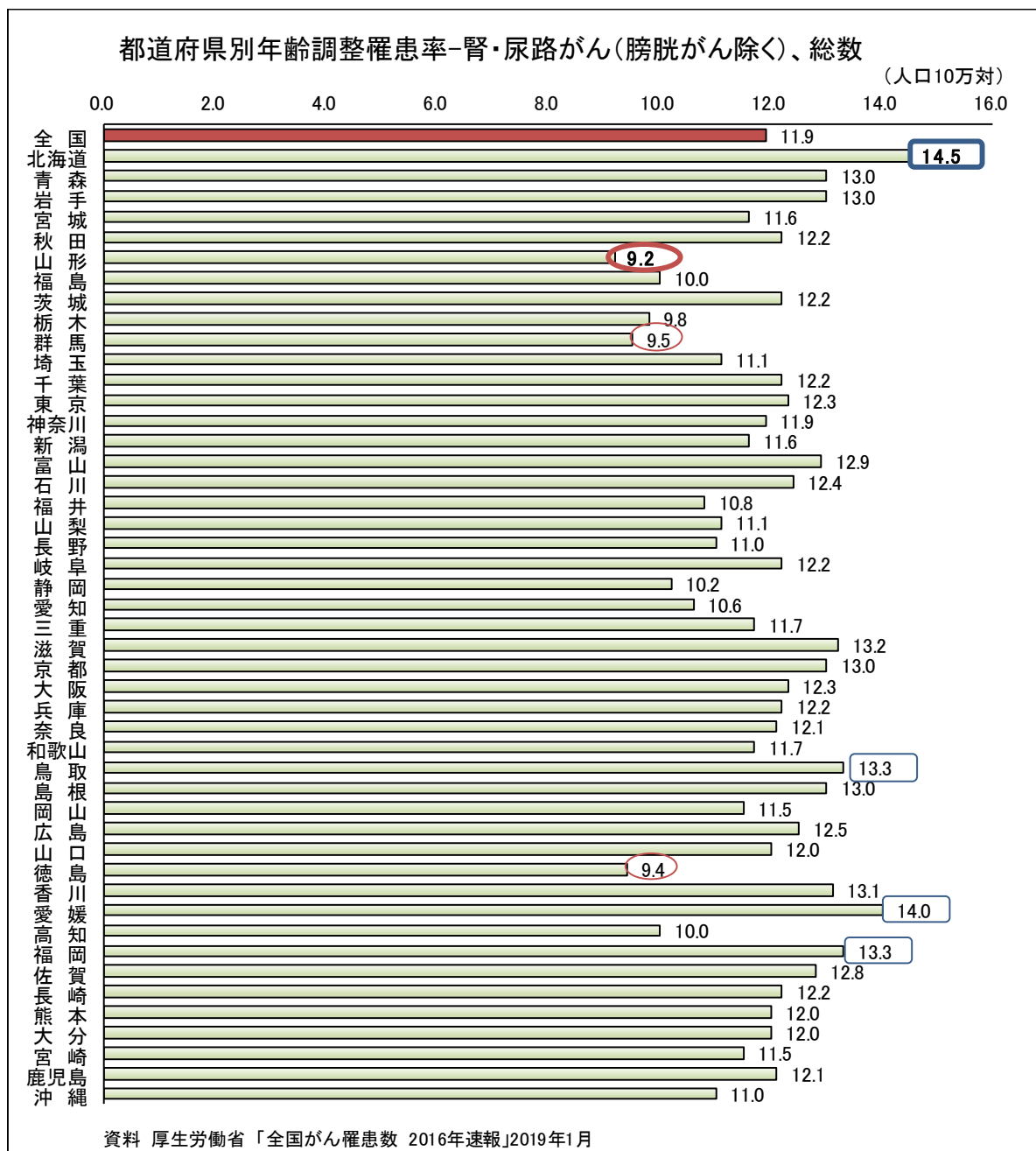
図 87 都道府県別年齢調整罹患率-膵臓がん、女性



4.13 腎・尿路（膀胱除く）がん（総合 10 位、男性 7 位、女性 12 位）

全国の腎・尿路がん（膀胱がん除く）の総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「11.9」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「山形県（9.2）」、「徳島県（9.4）」、「群馬県（9.5）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「北海道（14.5）」、「愛媛県（14.0）」、「鳥取県（13.3）」、「福岡県（13.3）」。

図 88 都道府県別年齢調整罹患率-腎・尿路がん（膀胱がん除く）、総数

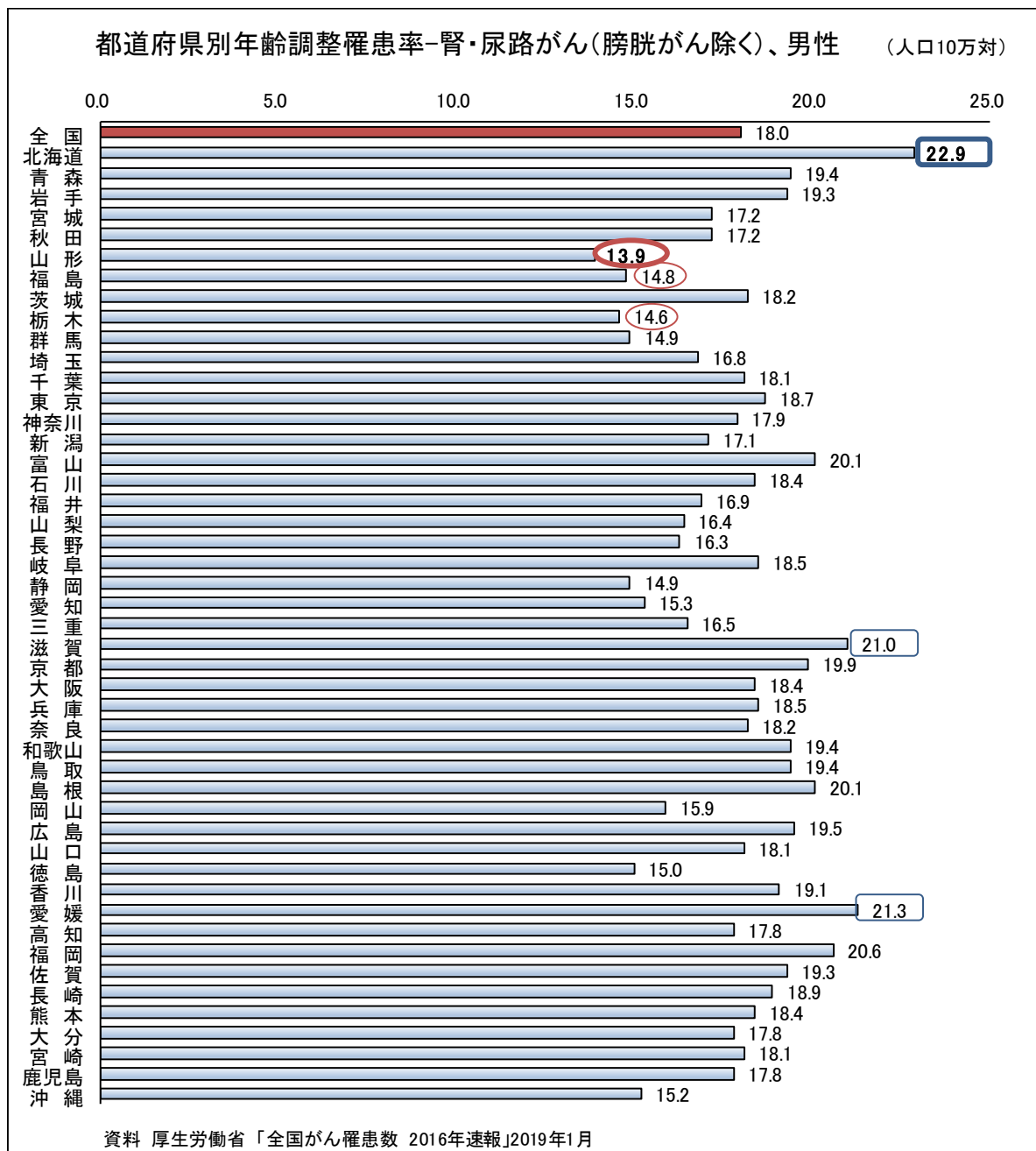


全国の男性の腎・尿路がん（膀胱がん除く）の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「18.0」。

年齢調整罹患率が低い都道府県は「山形県（13.9）」、「栃木県（14.6）」、「福島県（14.8）」。

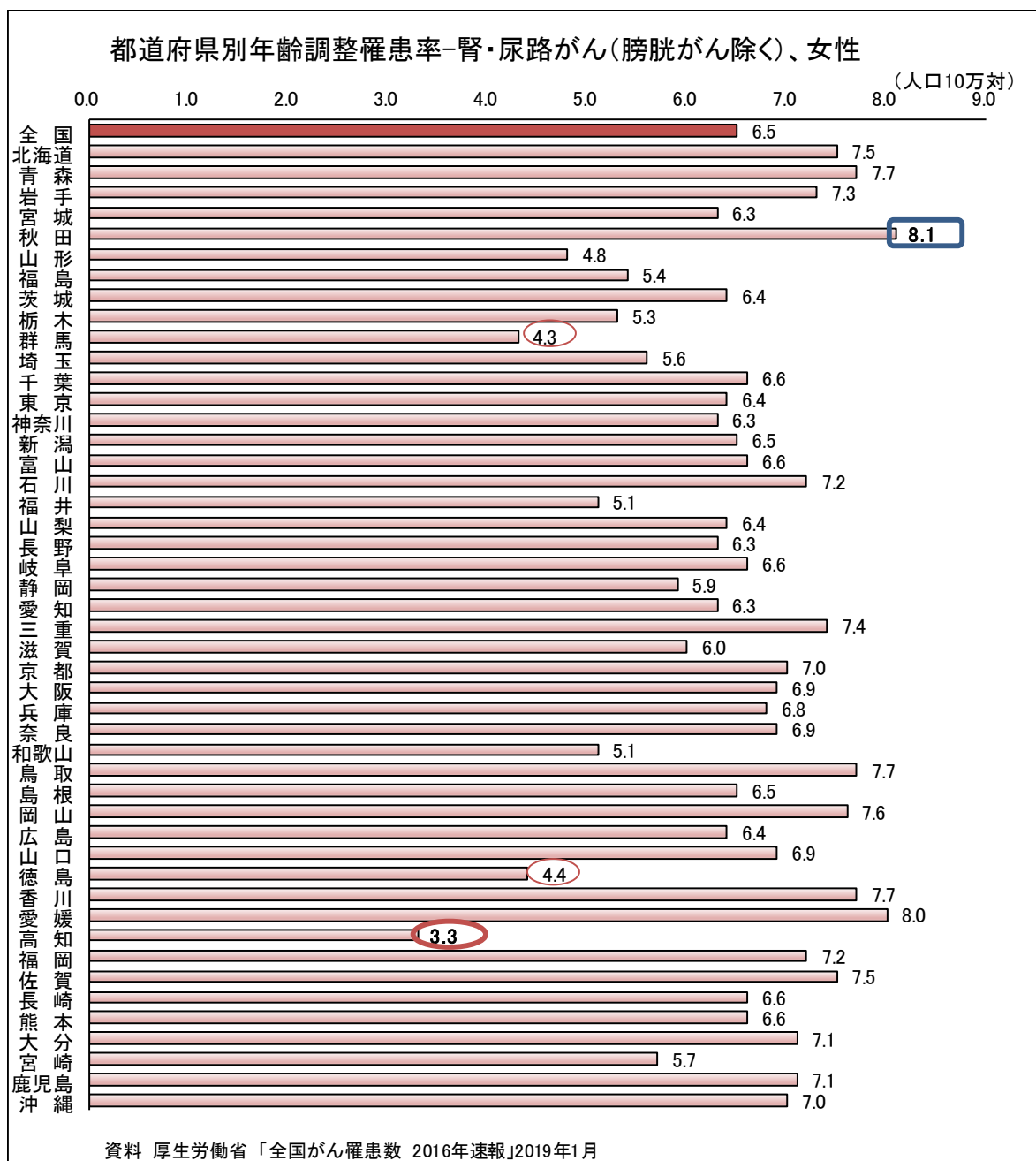
年齢調整罹患率が高い都道府県は「北海道（22.9）」、「愛媛県（21.3）」、「滋賀県（21.0）」。

図 89 都道府県別年齢調整罹患率-腎・尿路がん（膀胱がん除く）、男性



全国の女性の腎・尿路がん（膀胱がん除く）の年齢調整罹患率（人口10万対）は「6.5」。
 年齢調整罹患率が低い都道府県は「高知県（3.3）」、「群馬県（4.3）」、「徳島県（4.4）」。
 年齢調整罹患率が最も高い都道府県は「秋田県（8.1）」。

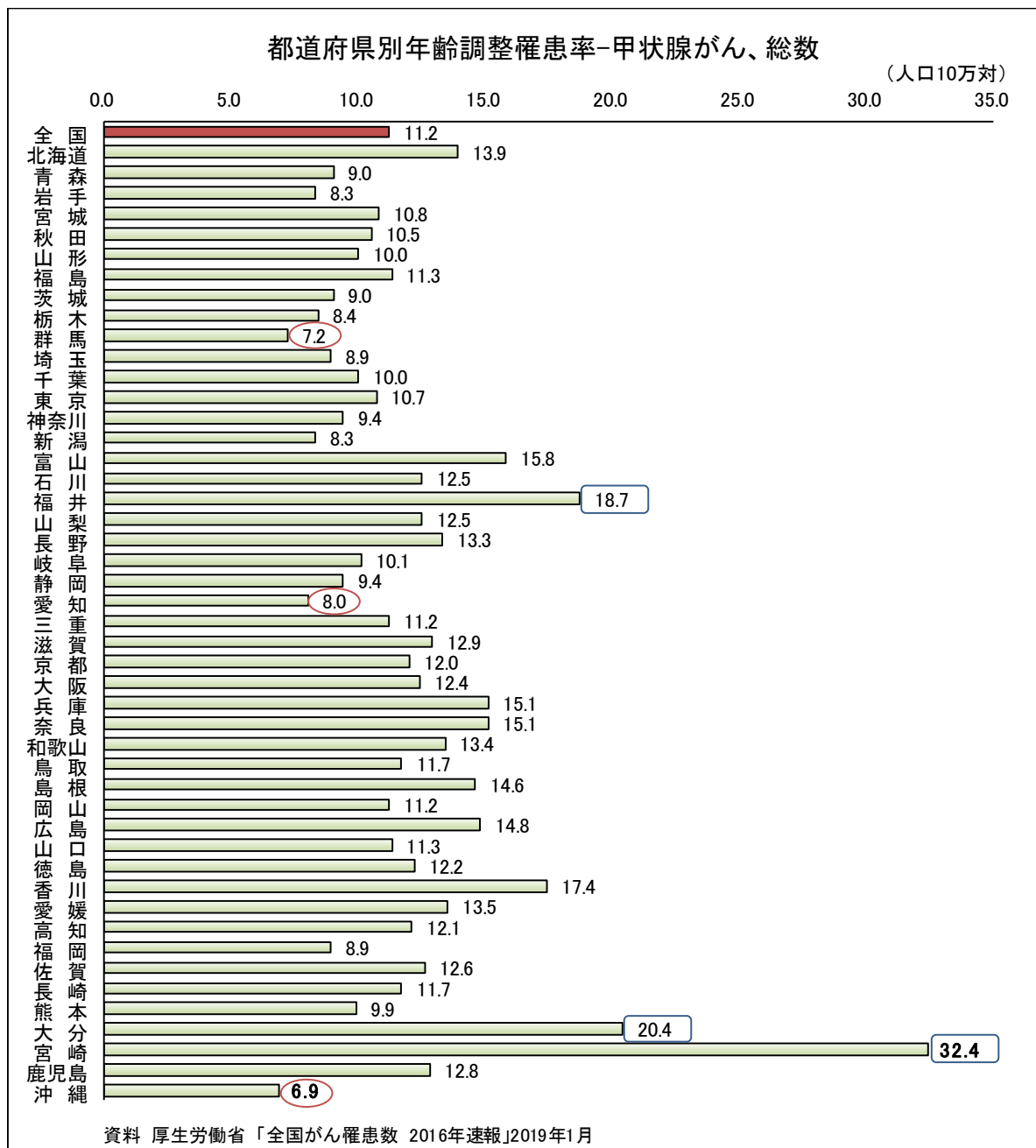
図 90 都道府県別年齢調整罹患率-腎・尿路がん（膀胱がん除く）、女性



4.14 甲状腺がん（総数 11 位、男性 15 位、女性 6 位）

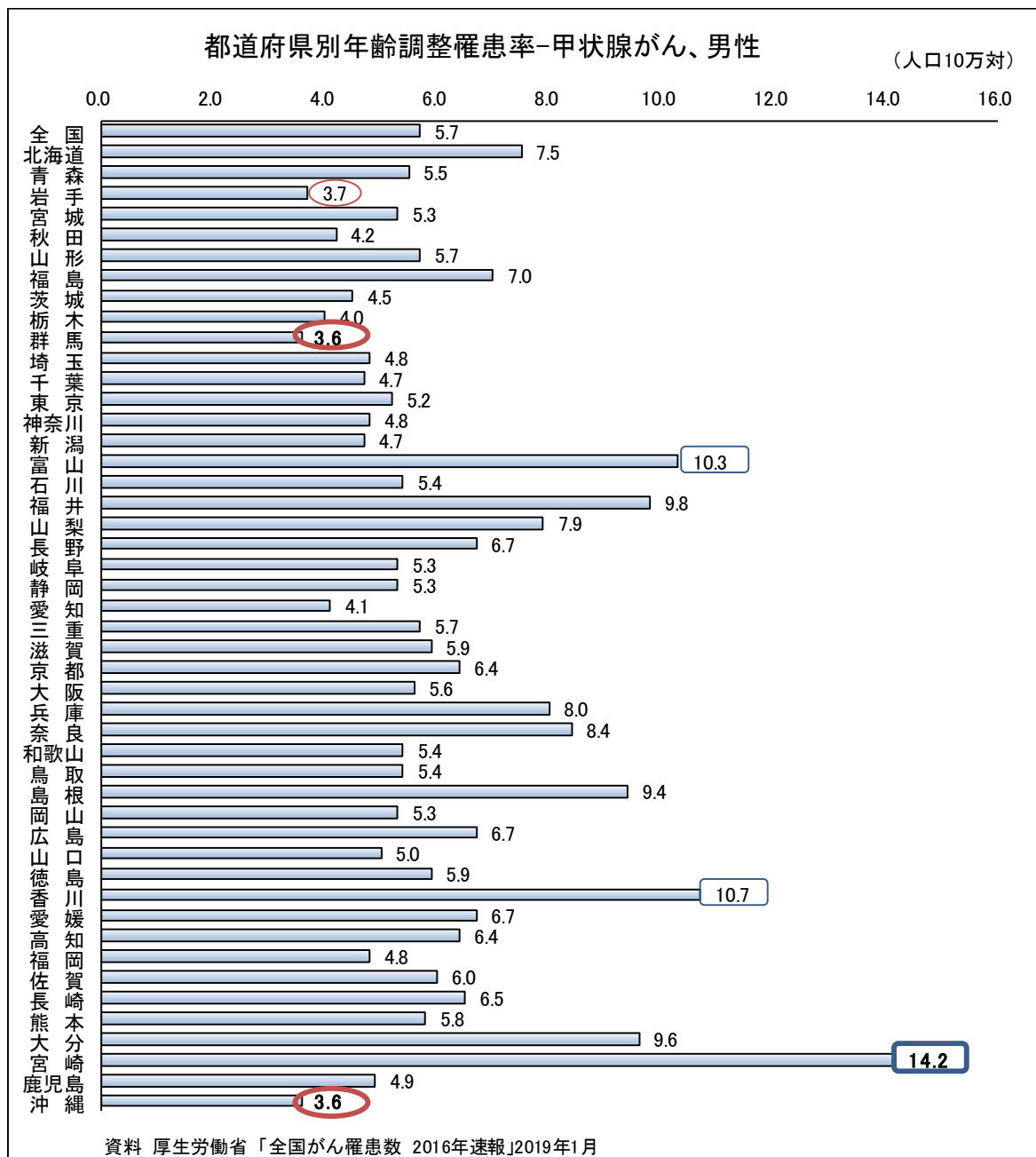
全国の甲状腺がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「11.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（6.9）」、「群馬県（7.2）」、「愛知県（8.0）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「宮崎県（32.4）」、「大分県（20.4）」、「福井県（18.7）」。宮崎県の年齢調整罹患率が極めて高い。

図 91 都道府県別年齢調整罹患率-甲状腺がん、総数



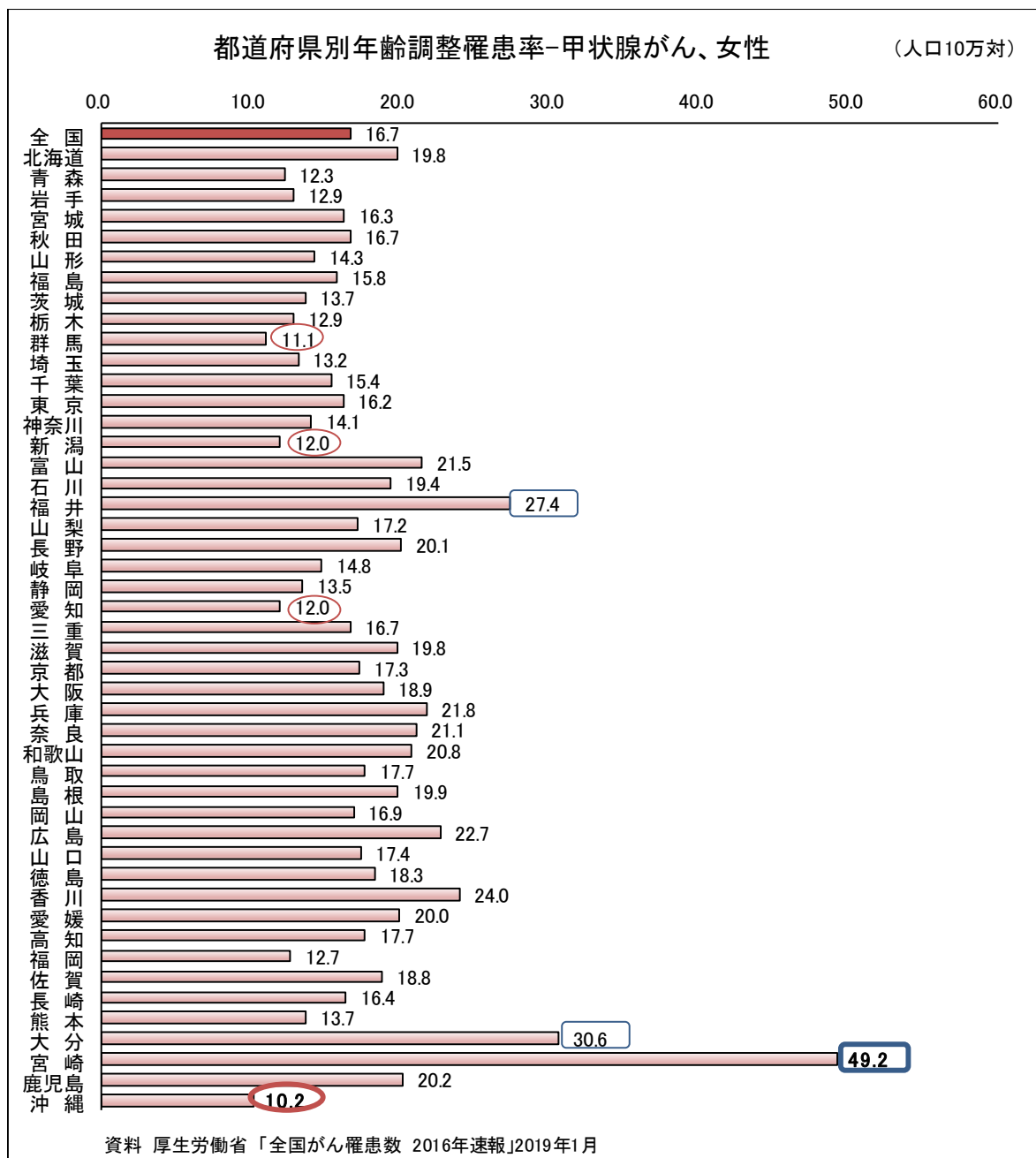
全国の男性の甲状腺がんの年齢調整罹患率（人口10万対）は「5.7」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（3.6）」、「群馬県（3.6）」、「岩手県（3.7）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「宮崎県（14.2）」、「香川県（10.7）」、「富山県（10.3）」。

図 92 都道府県別年齢調整罹患率-甲状腺がん、男性



全国の女性の甲状腺がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「16.7」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（10.2）」、「群馬県（11.1）」、「愛知県（12.0）」、「新潟県（12.0）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「宮崎県（49.2）」、「大分県（30.6）」、「福井県（27.4）」で、宮崎県が突出している。

図 93 都道府県別年齢調整罹患率-甲状腺がん、女性



4.15 食道がん（総数 12 位、男性 6 位、女性 16 位）

全国の食道がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「10.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（6.6）」、「三重県（7.2）」、「徳島県（7.3）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「秋田県（14.4）」、「高知県（13.1）」、「東京都（12.7）」。1 人当たりアルコール消費量とは、正の相関がみられた。

図 94 都道府県別年齢調整罹患率-食道がん、総数

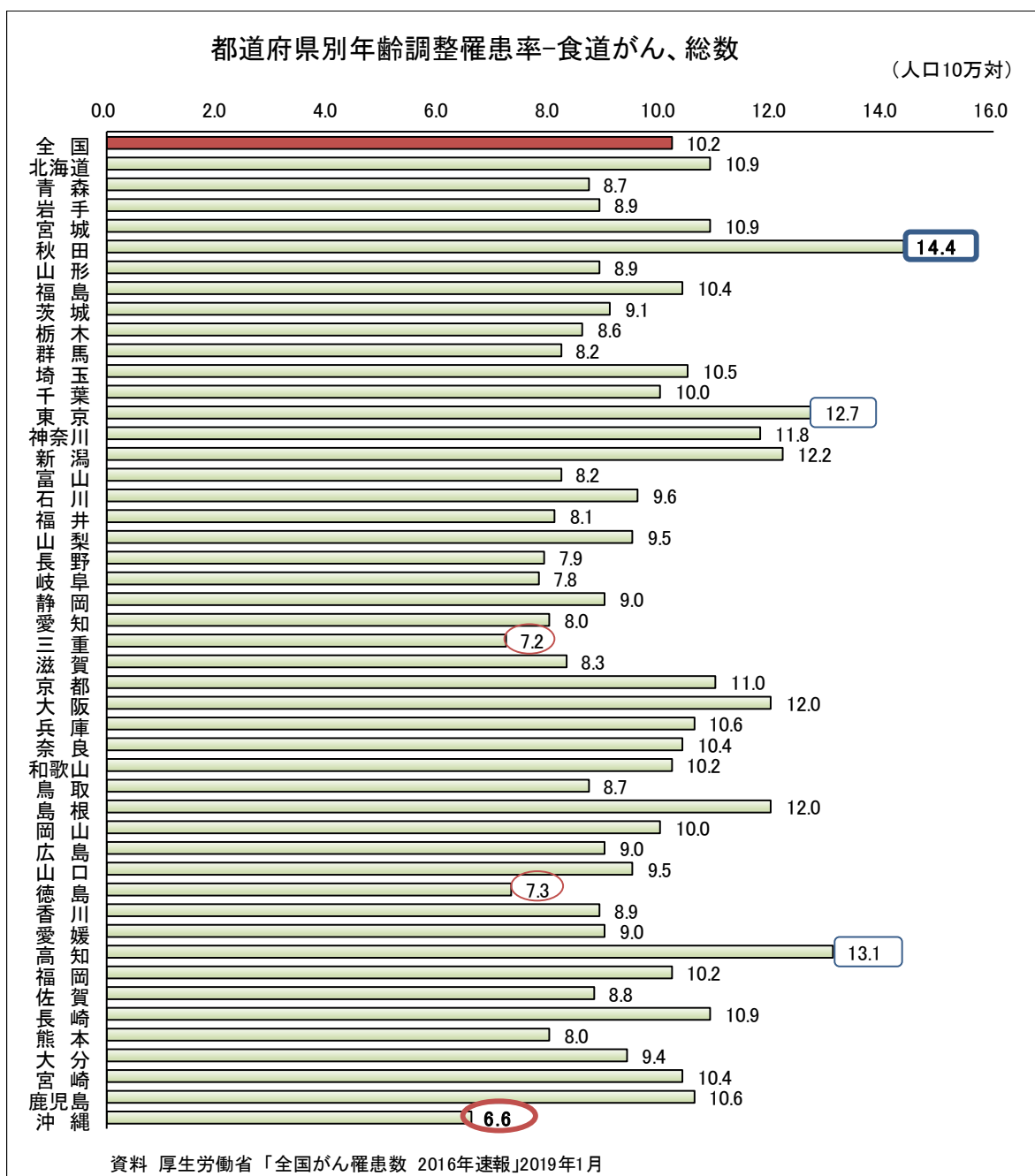
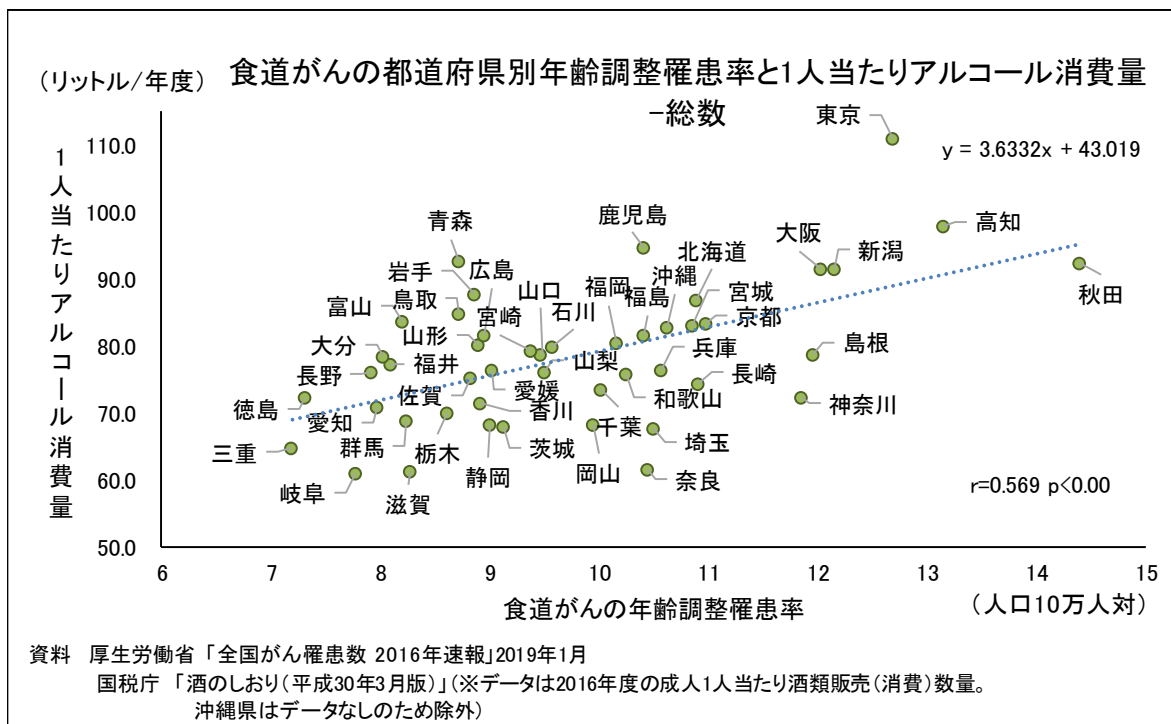
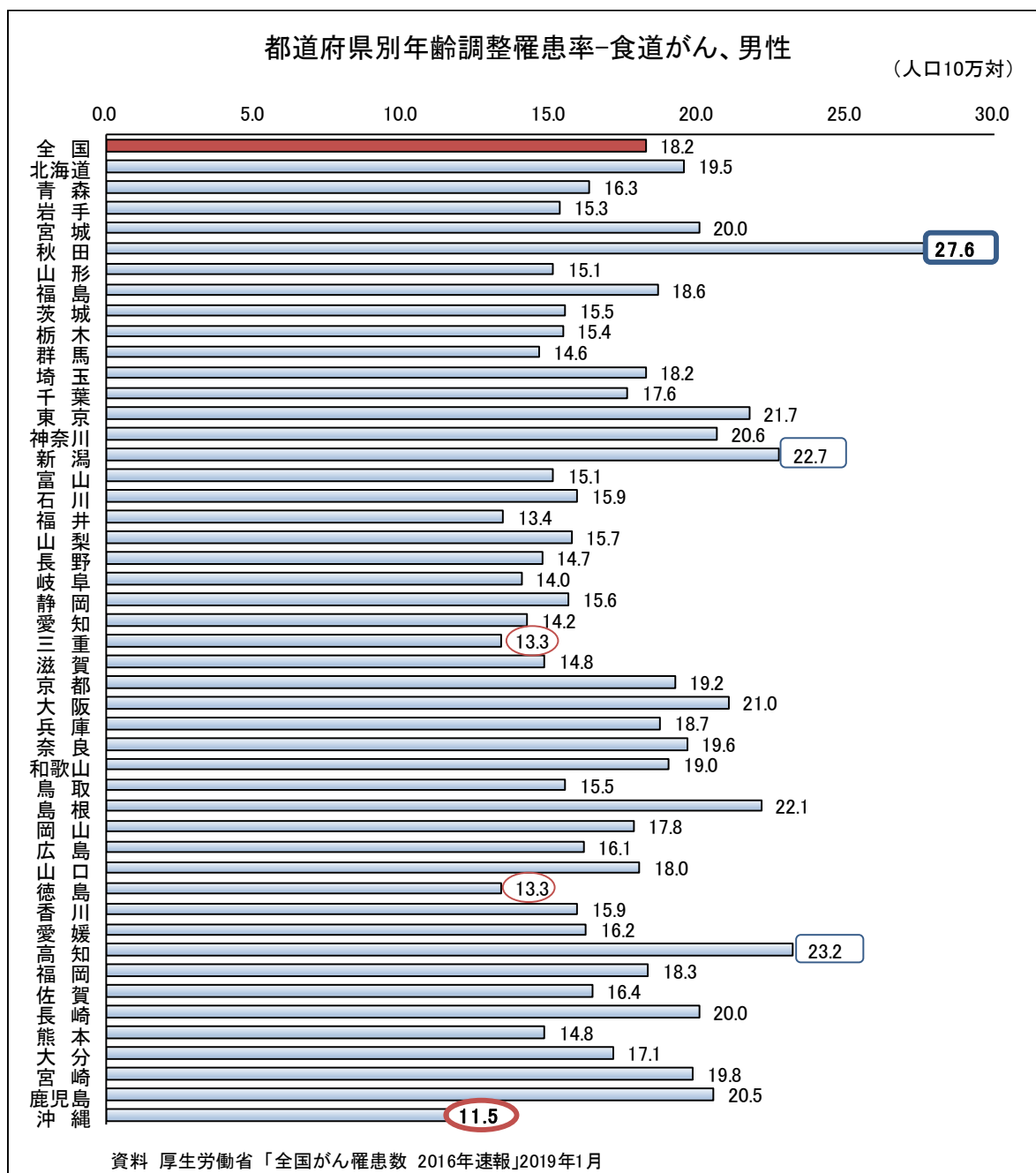


図 95 食道がんの年齢調整罹患率（総数）と1人当たりアルコール消費量の相関



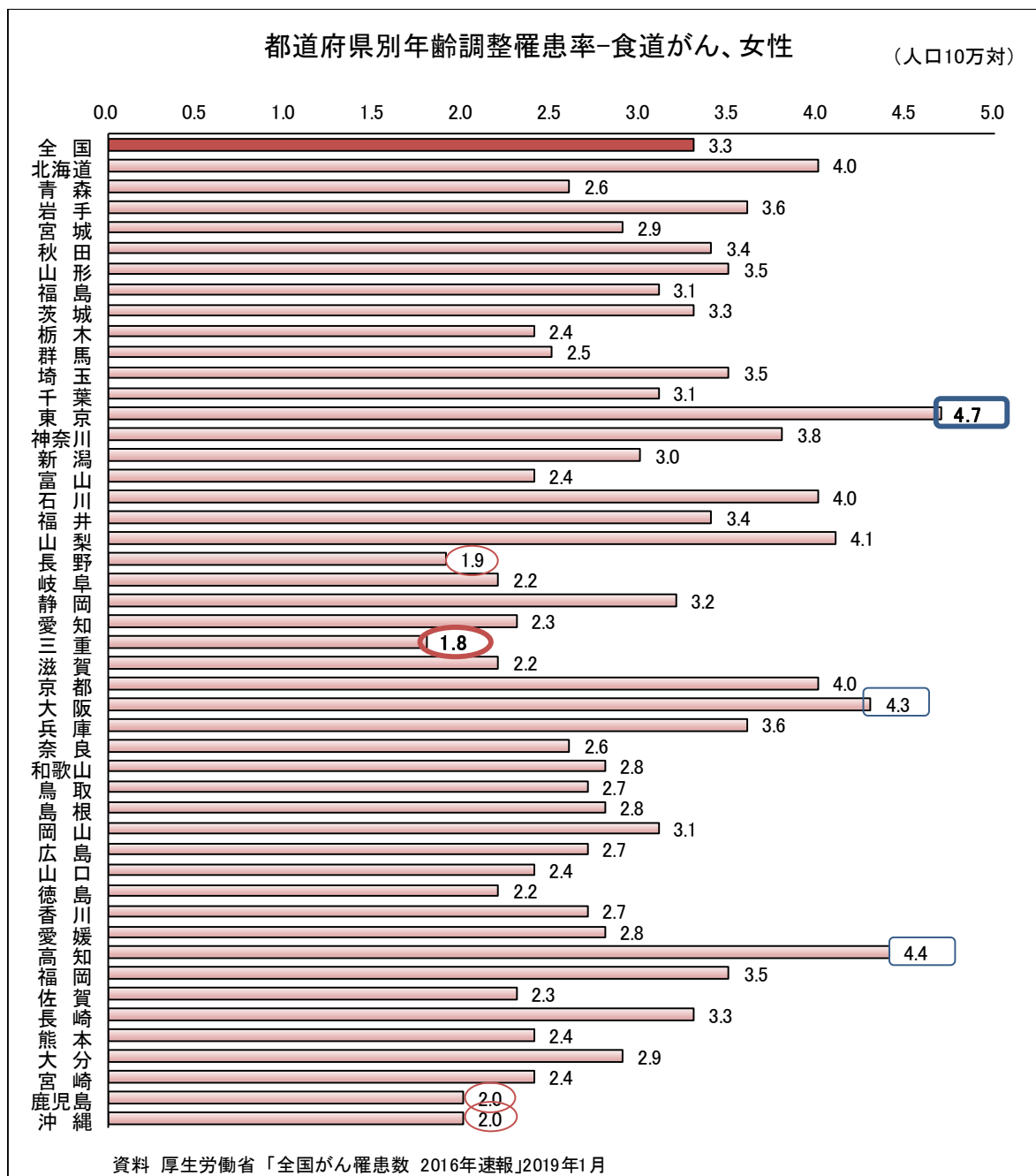
全国の男性の食道がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「18.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「沖縄県（11.5）」、「徳島県（13.3）」、「三重県（13.3）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「秋田県（27.6）」、「高知県（23.2）」、「新潟県（22.7）」。

図 96 都道府県別年齢調整罹患率-食道がん、男性



全国の女性の食道がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「3.3」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「三重県（1.8）」、「長野県（1.9）」、「鹿児島県（2.0）」、「沖縄県（2.0）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「東京都（4.7）」、「高知県（4.4）」、「大阪府（4.3）」。

図 97 都道府県別年齢調整罹患率-食道がん、女性



4.16 皮膚がん（総数 14 位、男性 12 位、女性 14 位）

全国の皮膚がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「8.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「石川県（6.1）」、「富山県（6.3）」、「島根県（6.8）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「秋田県（11.7）」、「長崎県（10.9）」、「沖縄県（10.6）」。年齢調整罹患率上位 10 位の都道府県のうち、秋田県、静岡県以外はすべて西日本にあり、そのうち 5 県は九州にある。

図 98 都道府県別年齢調整罹患率-皮膚がん、総数

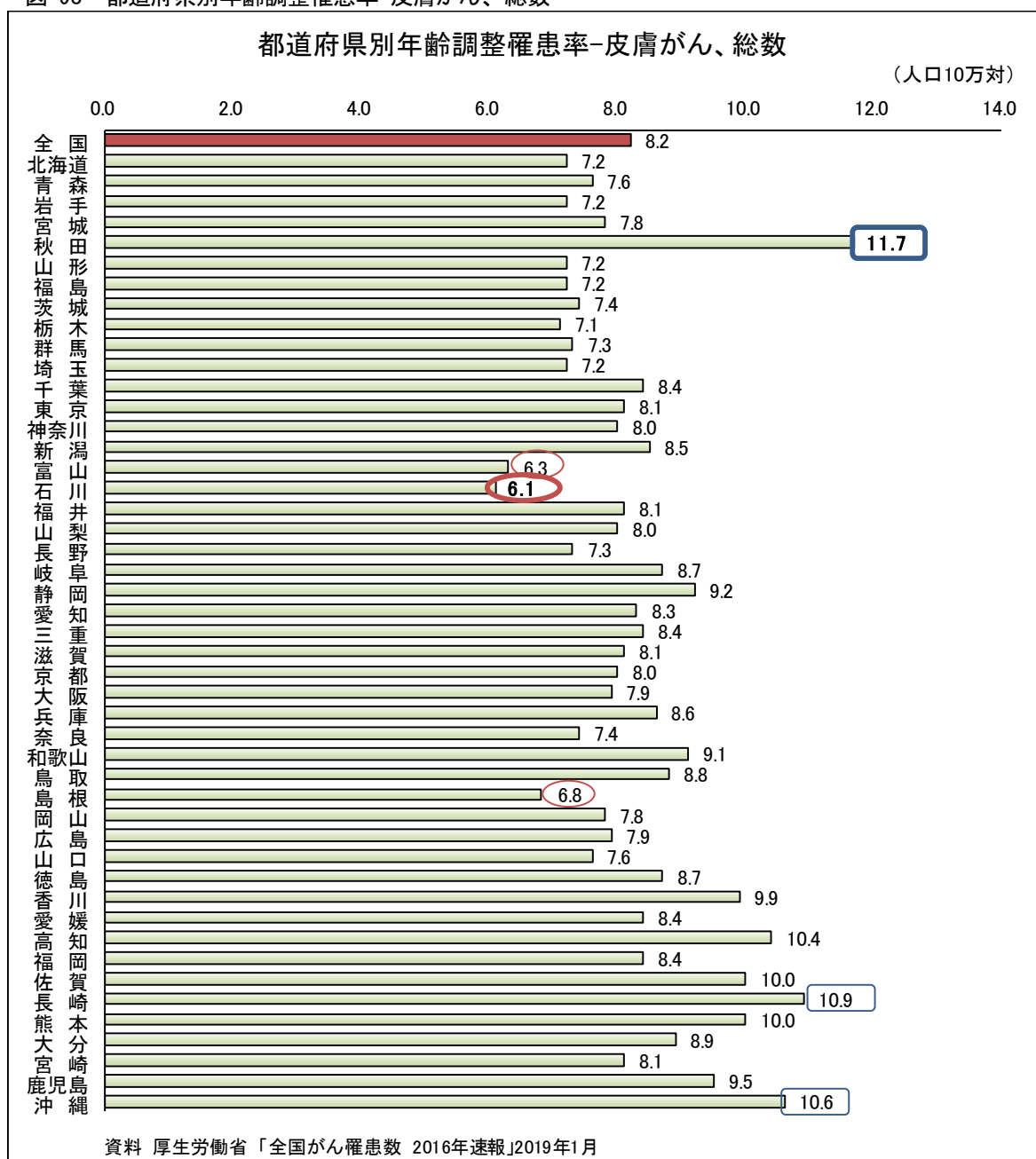
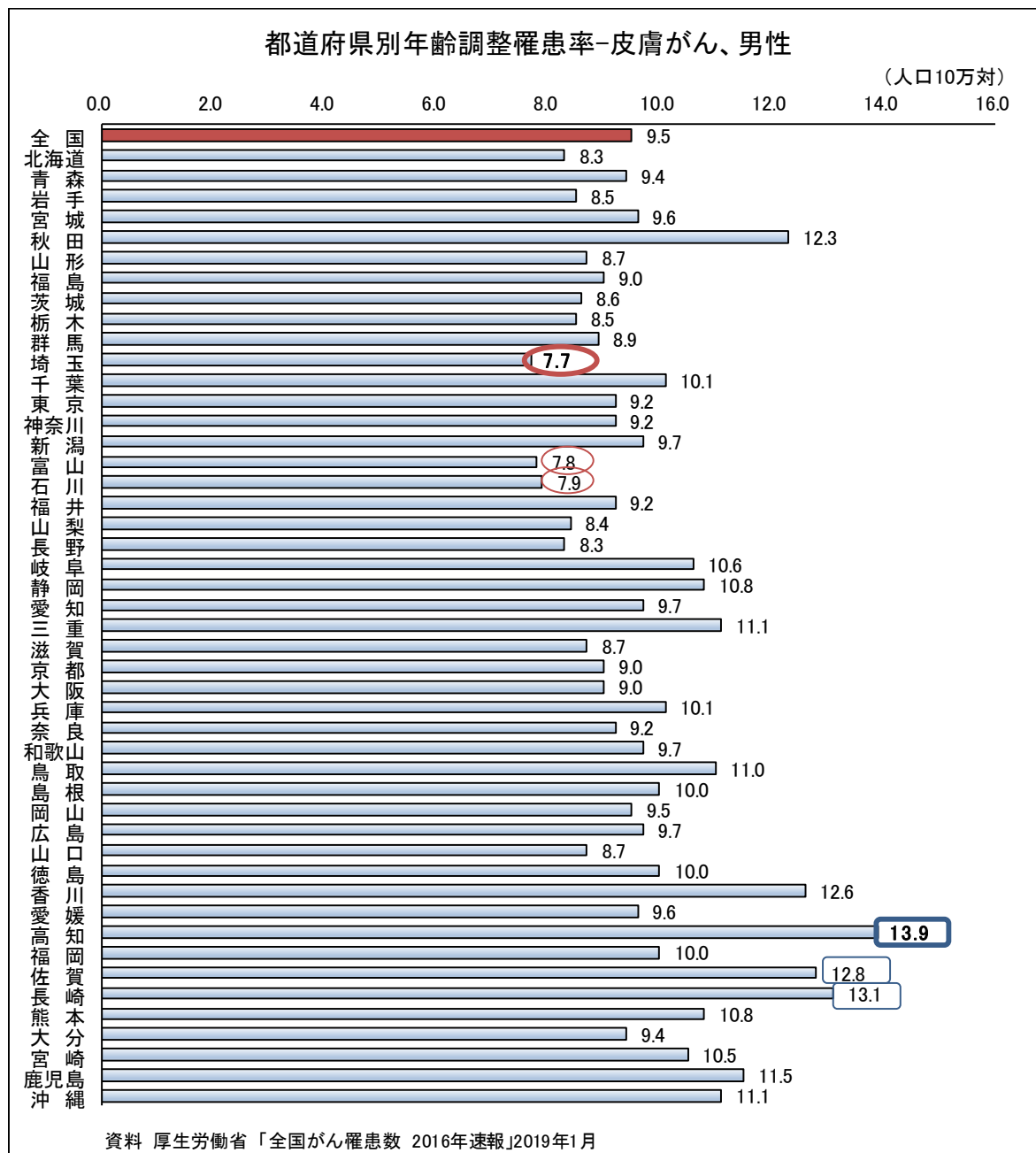


図 99 皮膚がんの年齢調整罹患率上位 10 都道府県の分布-総数



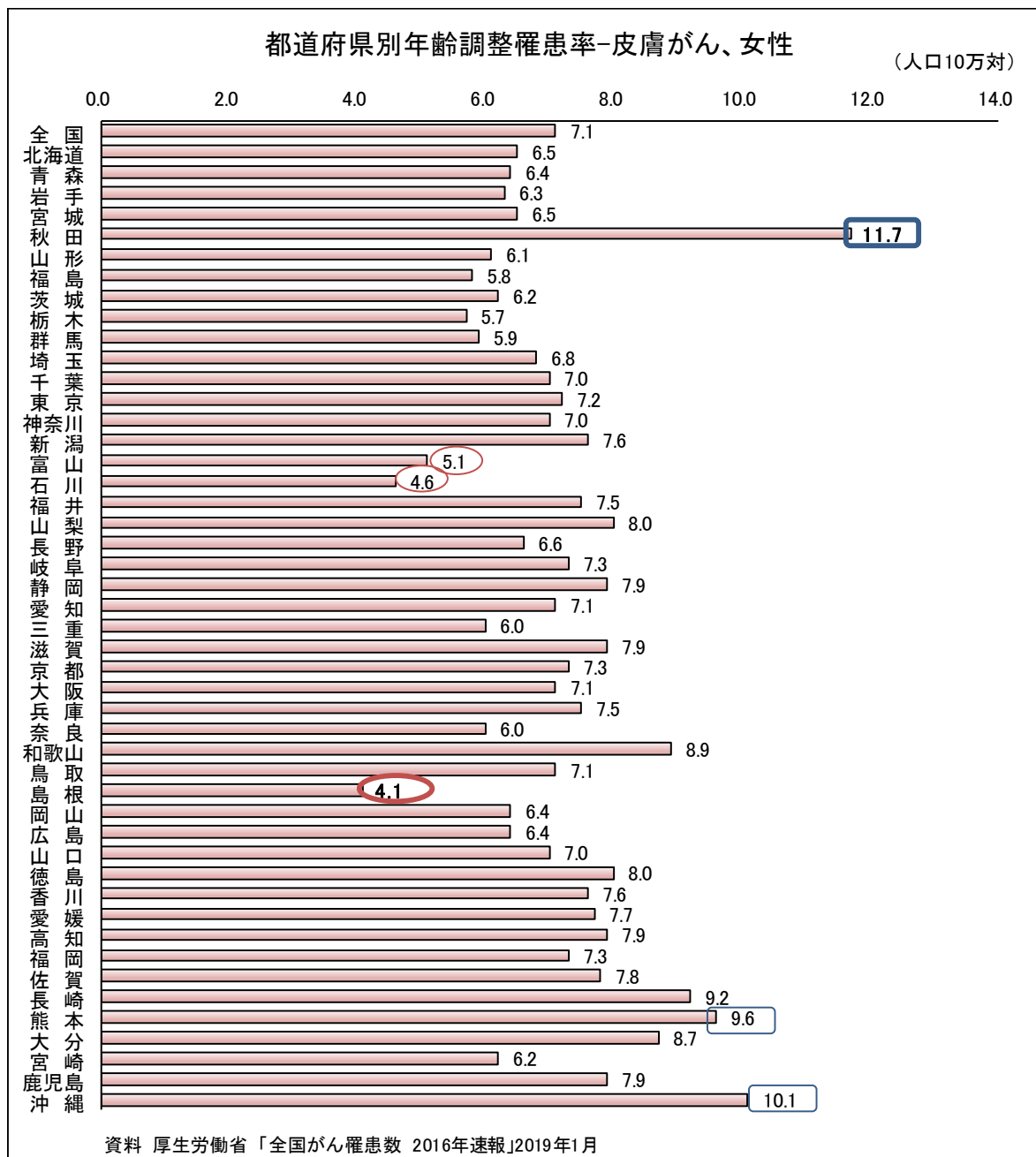
全国の男性の皮膚がんの年齢調整罹患率（人口10万対）は「9.5」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「埼玉県（7.7）」、「富山県（7.8）」、「石川県（7.9）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「高知県（13.9）」、「長崎県（13.1）」、「佐賀県（12.8）」。

図 100 都道府県別年齢調整罹患率-皮膚がん、男性



全国の女性の皮膚がんの年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「7.1」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「島根県（4.1）」、「石川県（4.6）」、「富山県（5.1）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「秋田県（11.7）」、「沖縄県（10.1）」、「熊本県（9.6）」。

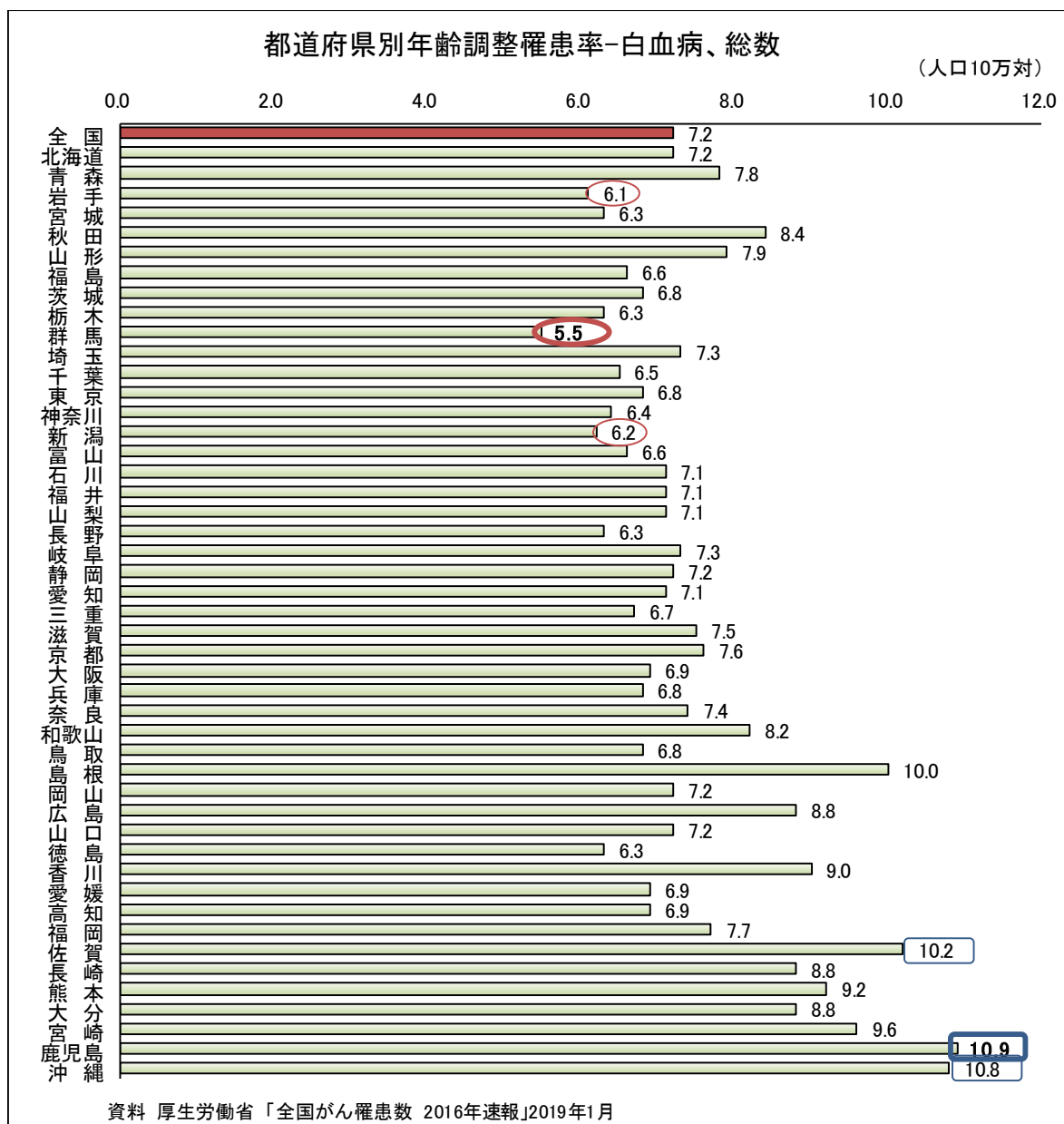
図 101 都道府県別年齢調整罹患率-皮膚がん、女性



4.17 白血病（総数 17 位、男性 13 位、女性 13 位）

全国の白血病の総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「7.2」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「群馬県（5.5）」、「岩手県（6.1）」、「新潟県（6.2）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「鹿児島県（10.9）」、「沖縄県（10.8）」、「佐賀県（10.2）」。年齢調整罹患率上位 10 位は全て西日本で、福岡県を除く九州 7 県が含まれている⁸。

図 102 都道府県別年齢調整罹患率-白血病、総数



⁸ 厚生労働省「HTLV-I キャリアのみなさまへ」 (https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dl/htlv-1_e.pdf) には、T 細胞白血病ウイルス-I 型 (HTLV-I) は九州を含む西日本に感染者が多いことが記されている。

図 103 白血病の都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位の分布-総数



全国の男性の白血病の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「8.9」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「岩手県（6.9）」、「群馬県（7.2）」、「栃木県（7.3）」、「徳島県（7.3）」。

年齢調整罹患率が高い都道府県は「鹿児島県（13.1）」、「沖縄県（12.7）」、「島根県（11.8）」。

年齢調整罹患率上位 10 位のうち、山形県以外、全て西日本の県である。

図 104 都道府県別年齢調整罹患率-白血病、男性

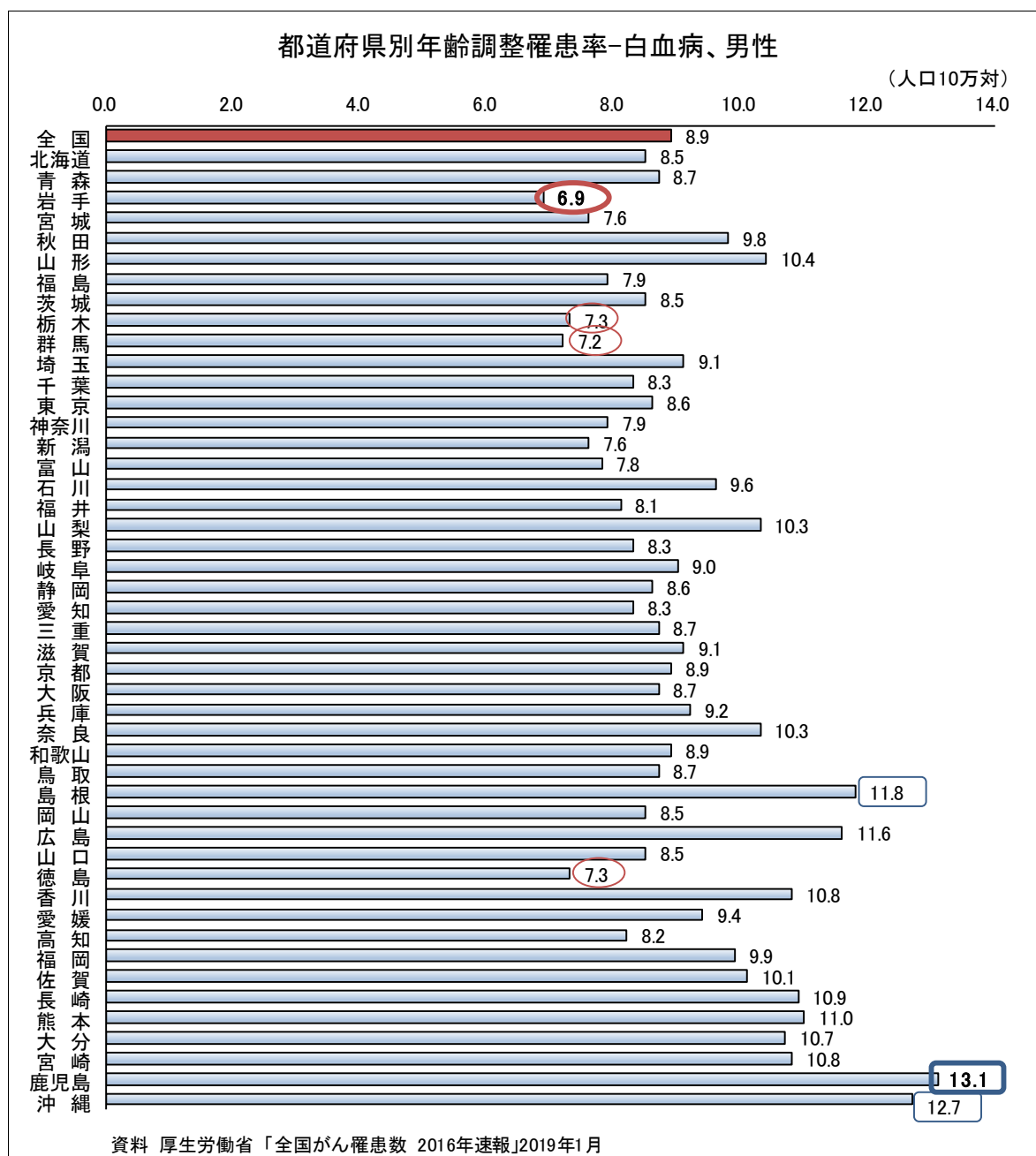
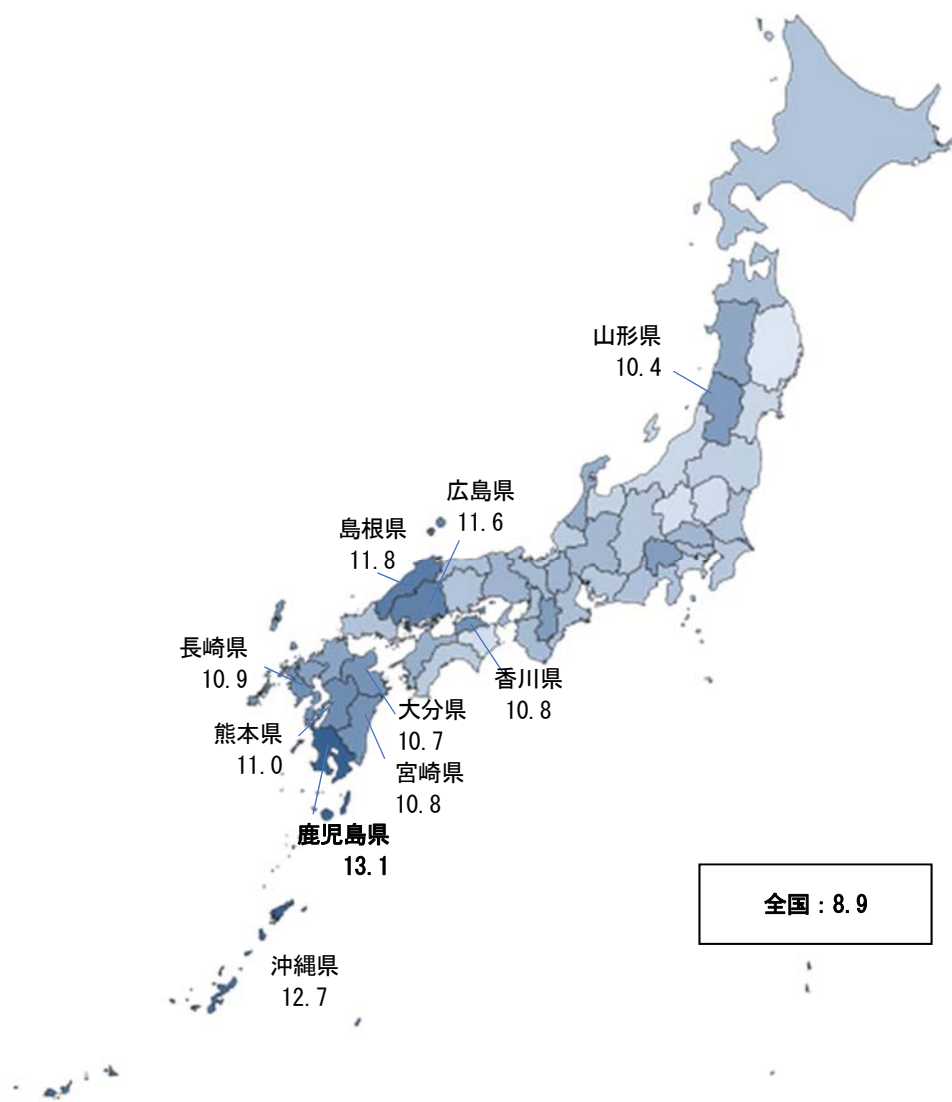


図 105 白血病の都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位の分布-男性



Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, Wikipedia

全国の女性の白血病の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「5.7」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「群馬県（3.9）」、「山梨県（4.0）」、「長野県（4.6）」、「愛媛県（4.6）」。
年齢調整罹患率が高い都道府県は「佐賀県（10.6）」、「沖縄県（9.2）」、「鹿児島県（8.9）」。
年齢調整罹患率上位 10 位のうち、青森県以外は西日本の県で、九州に年齢調整罹患率が高い県が集中している。

図 106 都道府県別年齢調整罹患率-白血病、女性

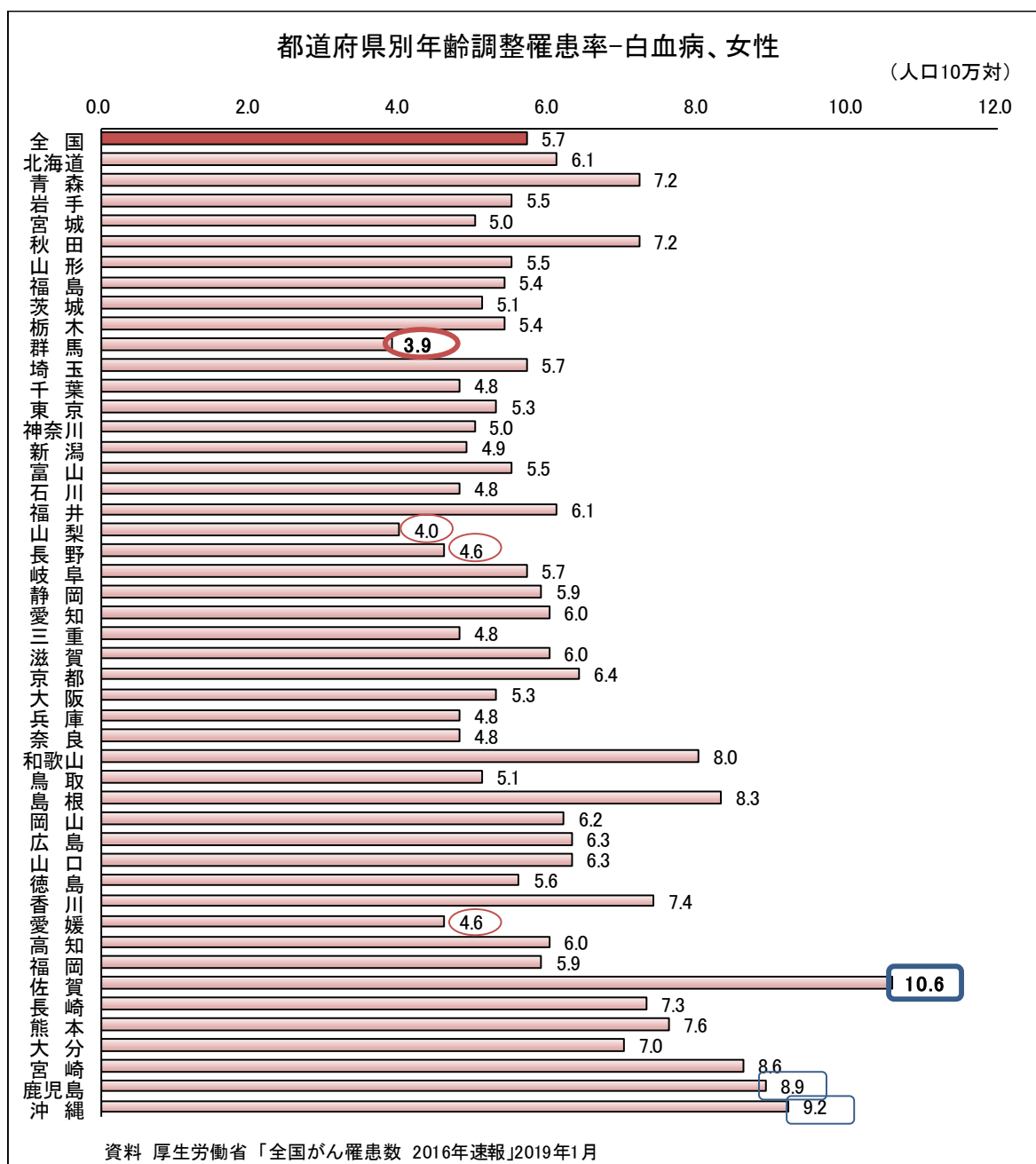
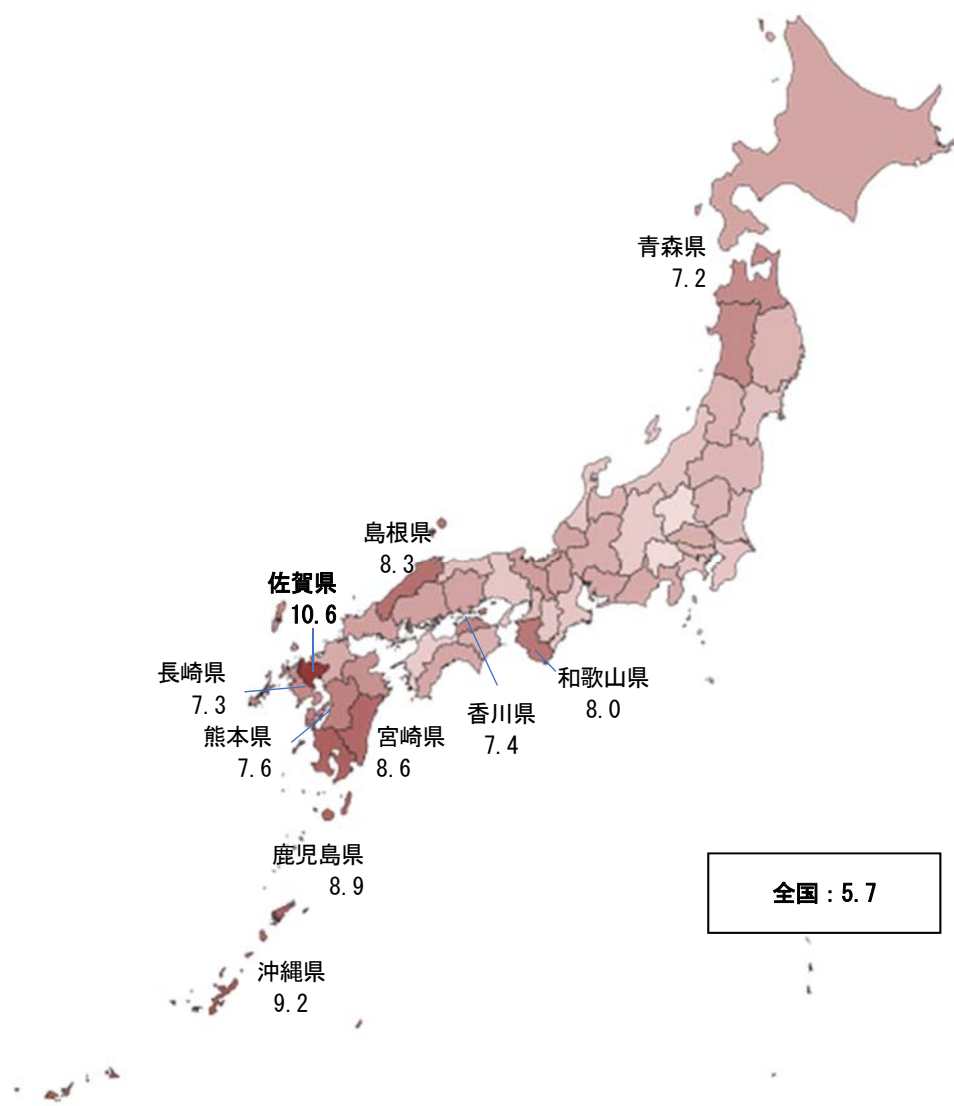


図 107 白血病の都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位の分布-女性



Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, Wikipedia

4.18 胆のうおよび胆管がん（総数 18 位、男性 14 位、女性 14 位）

全国の胆のうおよび胆管がんの総数の年齢調整罹患率（人口 10 万対）は「6.8」。年齢調整罹患率が低い都道府県は「岡山県（5.9）」、「和歌山県（6.0）」、「愛知県（6.0）」。年齢調整罹患率が高い都道府県は「青森県（9.7）」、「秋田県（9.7）」、「岩手県（9.3）」、「福井県（9.3）」。東北地方で年齢調整罹患率が高い。

図 108 都道府県別年齢調整罹患率-胆のうおよび胆管がん、総数

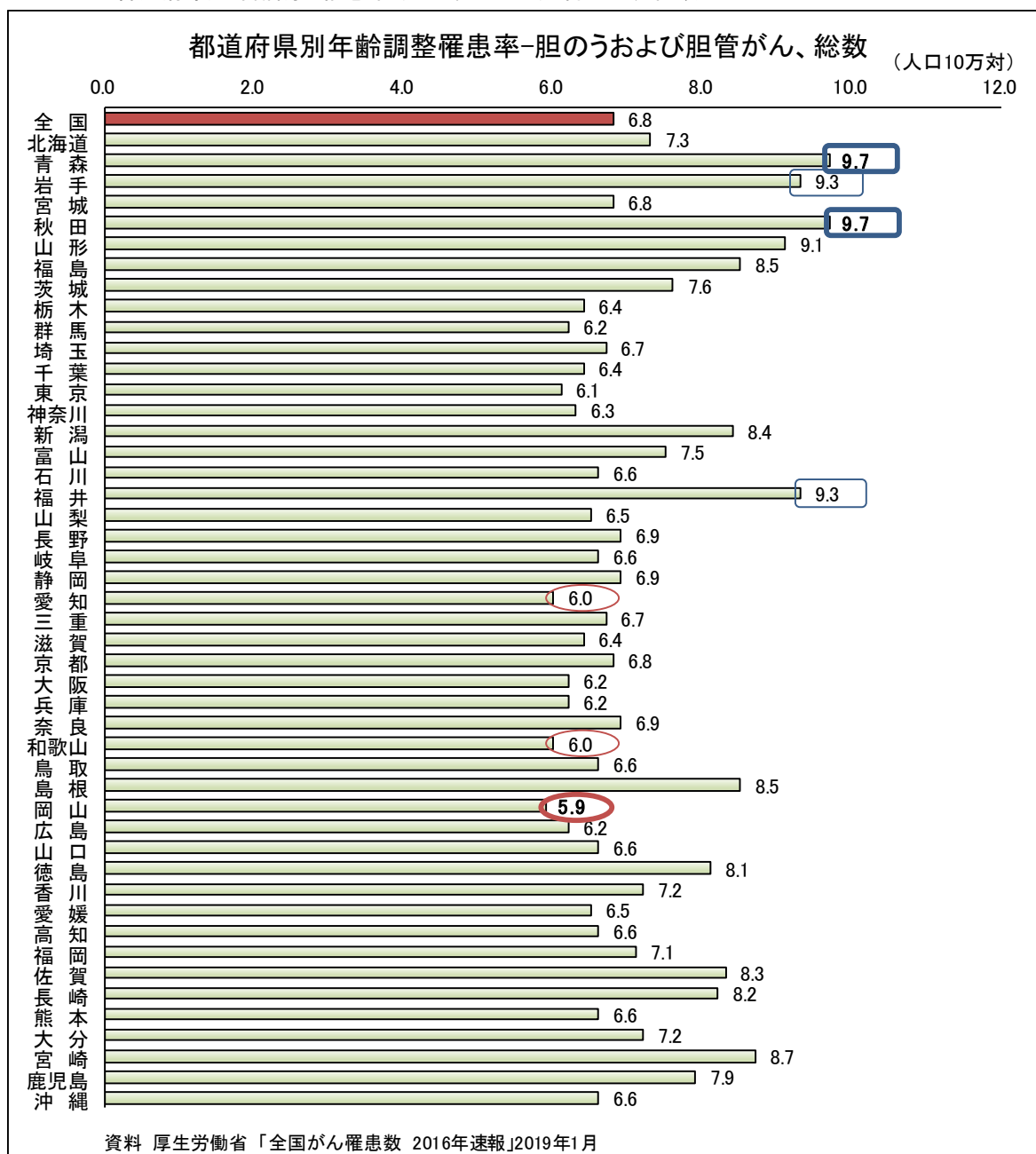
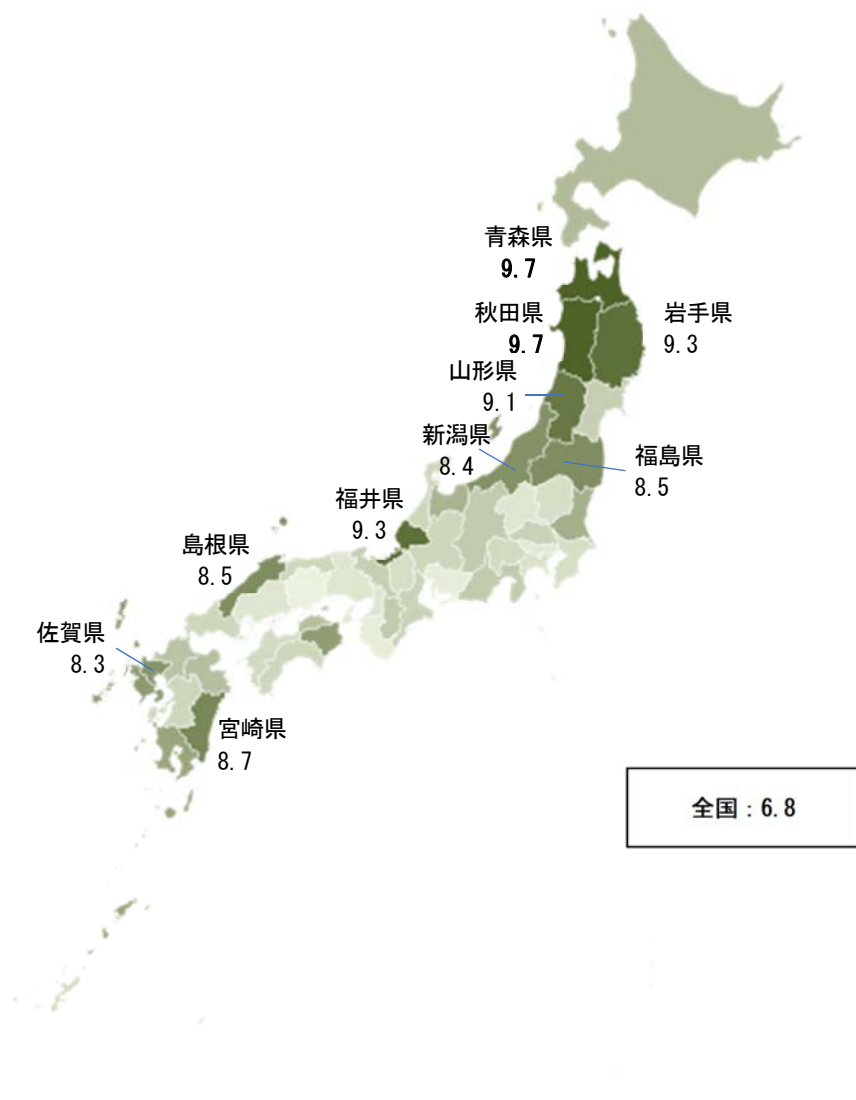
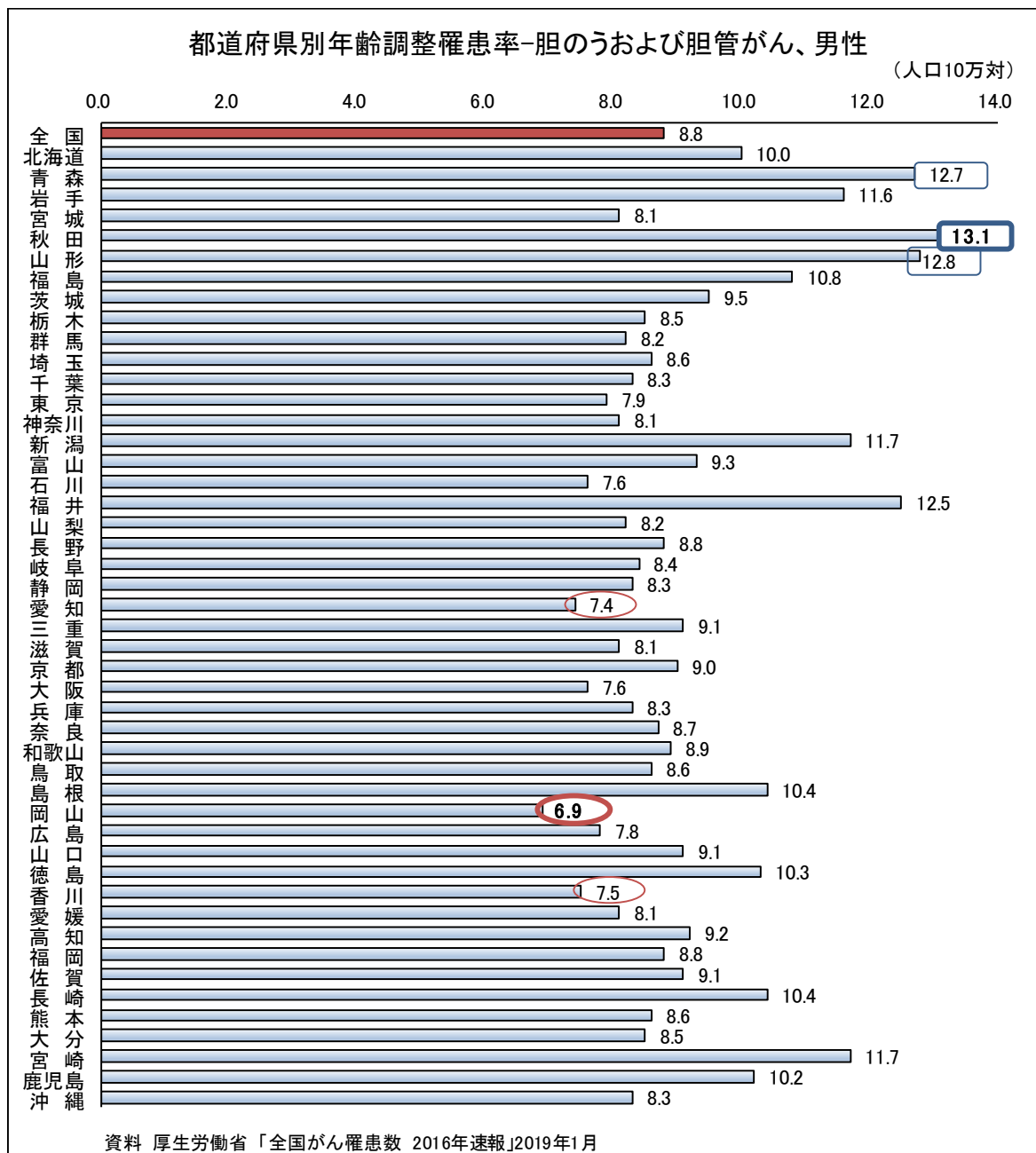


図 109 胆のうおよび胆管がんの都道府県別年齢調整罹患率上位 10 位の分布-総数



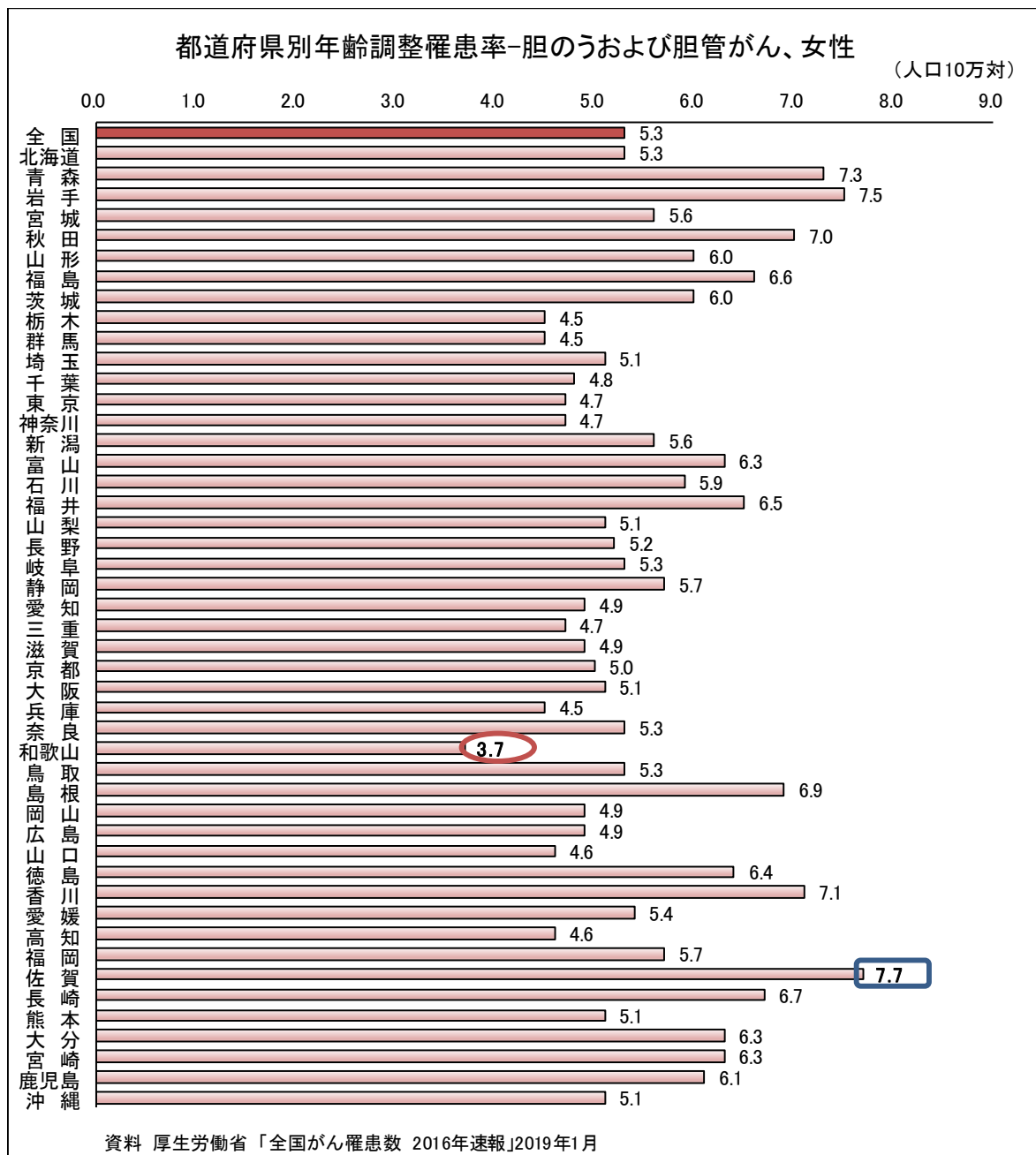
全国の男性の胆のうおよび胆管がんの年齢調整罹患率（人口10万対）は「8.8」。罹患率が低い都道府県は「岡山県（6.9）」、「愛知県（7.4）」、「香川県（7.5）」。罹患率が高い都道府県は「秋田県（13.1）」、「山形県（12.8）」、「青森県（12.7）」。

図 110 都道府県別年齢調整罹患率-胆のうおよび胆管がん、男性



全国の女性の胆のうおよび胆管がんの年齢調整罹患率（人口10万対）は「5.3」。罹患率が最も低い都道府県は「和歌山県（3.7）」。罹患率が最も高い都道府県は「佐賀県（7.7）」。

図 111 都道府県別年齢調整罹患率-胆のうおよび胆管がん、女性



5. がん検診受診率、飲酒、喫煙等と都道府県別がん年齢調整罹患率の 相関

「がん年齢調整罹患率」の「総数」上位 15 位以内の部位のがんを対象に、総数・男女別に都道府県ごとの「がん検診受診率」や、「飲酒率」、「喫煙率」との相関をみた。

「飲酒率」、「喫煙率」との相関については、国立がん研究センター提供の「がん情報サービス」で「がん発生原因に「飲酒」または「喫煙」が指摘されている」、または同センターの「社会と健康研究センター 予防研究グループ」のコホート研究で、「「飲酒」または「喫煙」との関連が指摘されている」がんを対象とした。

対象となるがんを表 1、変数に用いたデータの定義を表 2 に示す。

表 1 相関をみる対象となる部位のがん

大腸がん(総数、男性、女性)
乳がん(総数、女性)
胃がん(総数、男性、女性)
肺がん(総数、男性、女性)
前立腺がん(総数、男性)
子宮がん(総数、女性)
(子宮頸がん)(総数、女性)※
肝および肝内胆管がん(総数、男性、女性)
膵臓がん(総数、男性、女性)
腎・尿路がん(総数、男性、女性)
食道がん(総数、男性、女性)

※子宮がん検診は子宮頸部の細胞診を行うため、子宮がん検診との相関をみるために追加

表 2 「がん検診受診率」、「飲酒」、「喫煙」に使用したデータの定義

【がん検診受診率】※熊本県は熊本地震の影響でデータなし

厚生労働省「国民生活基礎調査健康票（2016年）」→「健康票第4巻 第10表世帯人員（20歳以上），がん検診受診状況（複数回答）・性・年齢（5歳階級）・都道府県－21大都市（再掲）別」

→20歳以上で、過去1年間に「大腸がん検診」、「胃がん検診」、「肺がん検診」を、過去1年間あるいは過去2年間に「乳がん検診」、「子宮がん（子宮頸がん）検診」を受診した割合

【週3日以上、または毎日飲酒している割合】※熊本県は熊本地震の影響でデータなし

厚生労働省「国民生活基礎調査健康票 健康票第6表 世帯人員（20歳以上），飲酒の程度・都道府県－21大都市（再掲）・性・年齢（5歳階級）別（2016年）」

→週3日以上：酒を「週3～4日」、「週5～6日」、「毎日」飲むと回答した割合の合計

→毎日：酒を「毎日」飲むと回答した割合

【喫煙する割合（毎日吸う+時々吸う）、毎日喫煙している割合】※熊本県は熊本地震の影響でデータなし

厚生労働省「国民生活基礎調査健康票（2016年）」→「健康票第7表世帯人員（20歳以上），喫煙の有無・都道府県－21大都市（再掲）・性・年齢（5歳階級）別」

→喫煙する割合（毎日吸う+時々吸う）：たばこを「時々吸う日がある」「毎日吸っている」と回答した割合の合計

→毎日喫煙している割合：たばこを「毎日吸っている」と回答した割合

「がん検診受診率」、「飲酒」、「喫煙」のいずれかと「都道府県別がん年齢調整罹患率」との間に相関がみられたものを表 3 に示す。前立腺がん、子宮がん（子宮頸がん）、肝および肝内胆管がん、腎・尿路がんはいずれの変数とも相関はみられなかった。

表 3 がん年齢調整罹患率と検診受診率、飲酒、喫煙の相関

①がん検診受診率との相関

がん年齢調整罹患率	がん検診受診率
胃がん年齢調整罹患率(総数)	弱い正の相関
胃がん年齢調整罹患率(男性)	弱い正の相関
胃がん年齢調整罹患率(女性)	弱い正の相関
肺がん年齢調整罹患率(総数)	弱い負の相関
肺がん年齢調整罹患率(女性)	弱い負の相関

②飲酒との相関

がん年齢調整罹患率	週3日以上飲酒する割合
大腸がん年齢調整罹患率(総数)	弱い正の相関
大腸がん年齢調整罹患率(男性)	弱い正の相関
大腸がん年齢調整罹患率(女性)	弱い正の相関
乳がん年齢調整罹患率(女性)	弱い正の相関
膵臓がん年齢調整罹患率(総数)	弱い正の相関
膵臓がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(総数)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(男性)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関

がん年齢調整罹患率	毎日飲酒する割合
膵臓がん年齢調整罹患率(総数)	弱い正の相関
膵臓がん年齢調整罹患率(男性)	弱い正の相関
膵臓がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(総数)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(男性)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関

③喫煙との相関

がん年齢調整罹患率	喫煙する割合 (毎日+時々)
大腸がん年齢調整罹患率(総数)	弱い正の相関
大腸がん年齢調整罹患率(男性)	弱い正の相関
大腸がん年齢調整罹患率(女性)	弱い正の相関
膵臓がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関

がん年齢調整罹患率	毎日喫煙する割合
大腸がん年齢調整罹患率(総数)	弱い正の相関
大腸がん年齢調整罹患率(男性)	弱い正の相関
大腸がん年齢調整罹患率(女性)	弱い正の相関
膵臓がん年齢調整罹患率(総数)	弱い正の相関
膵臓がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関
食道がん年齢調整罹患率(女性)	正の相関

部位ごとの結果を次頁以降に示す。

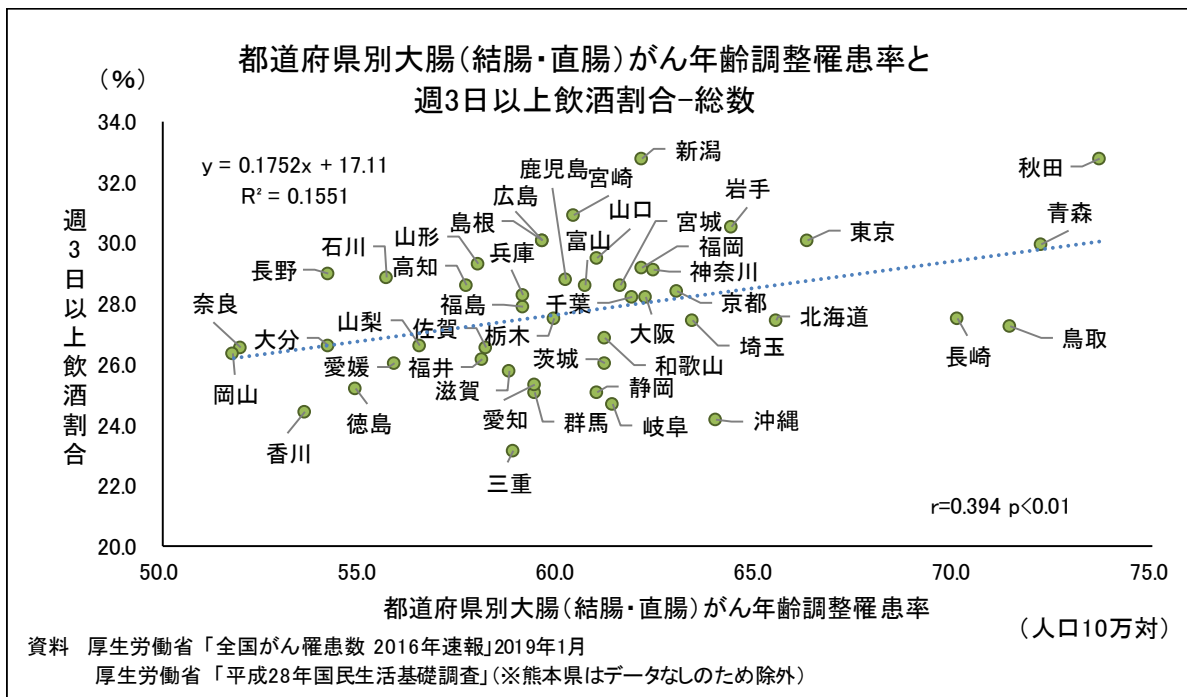
5.1 大腸がん

飲酒と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率は、総数、男性、女性とも「週3日以上飲酒する割合」との間に弱い正の相関あり。喫煙と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率は、総数、男性、女性とも「毎日吸う+時々吸う」、「毎日吸う」共に弱い正の相関あり。

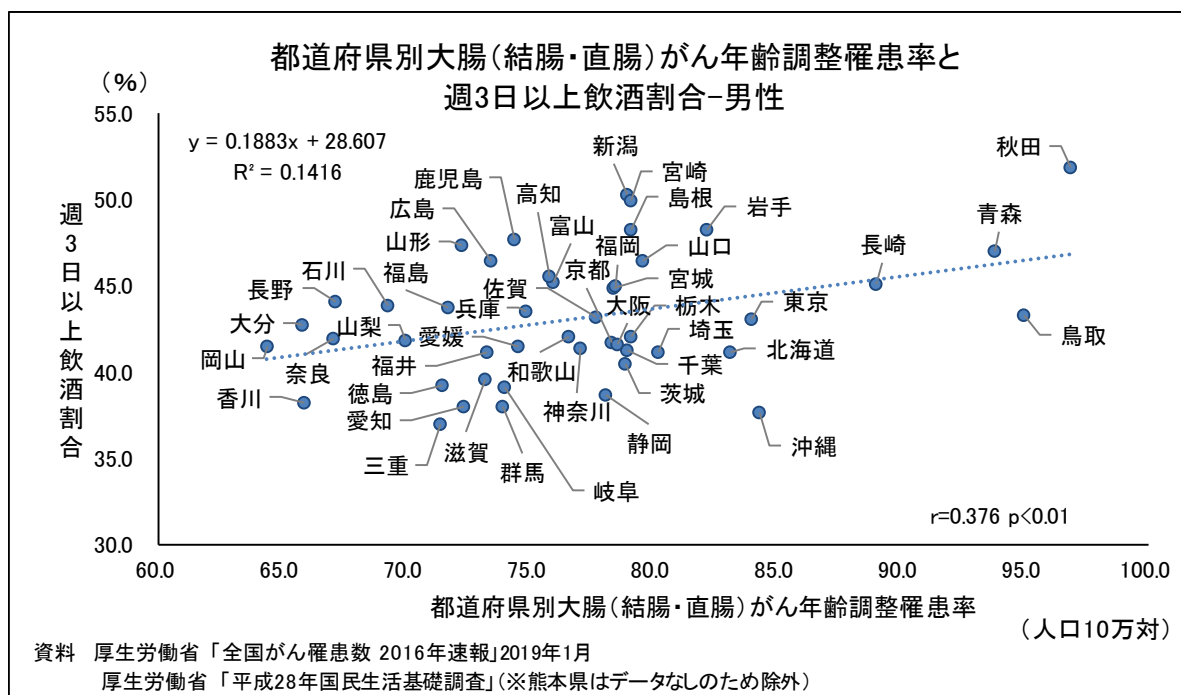
5.1.1 週3日以上飲酒する割合と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率の相関

図 112 都道府県別大腸（結腸・直腸）がん年齢調整罹患率と週3日以上飲酒する割合の相関

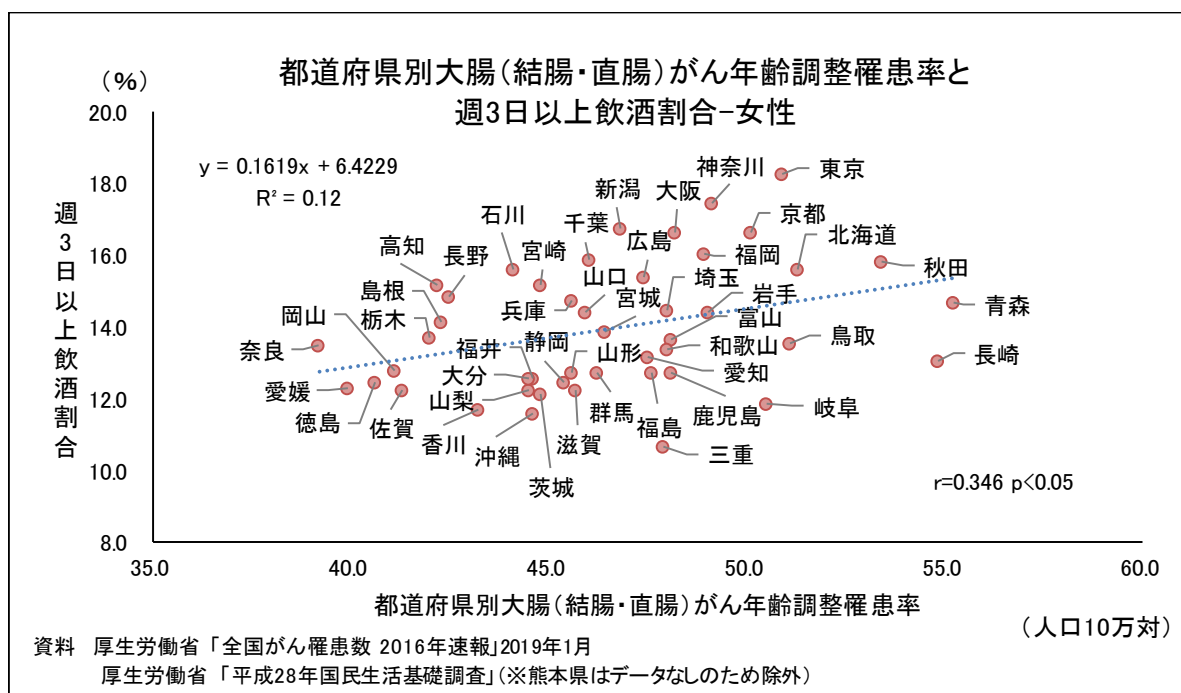
①総数



②男性



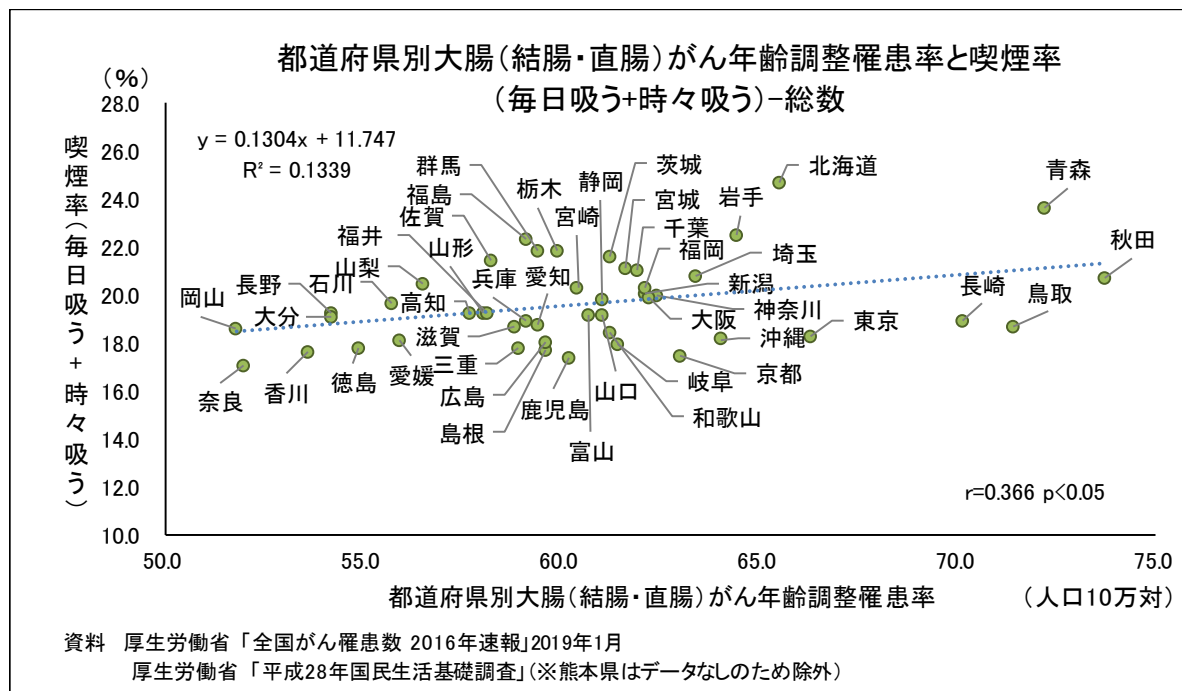
③女性



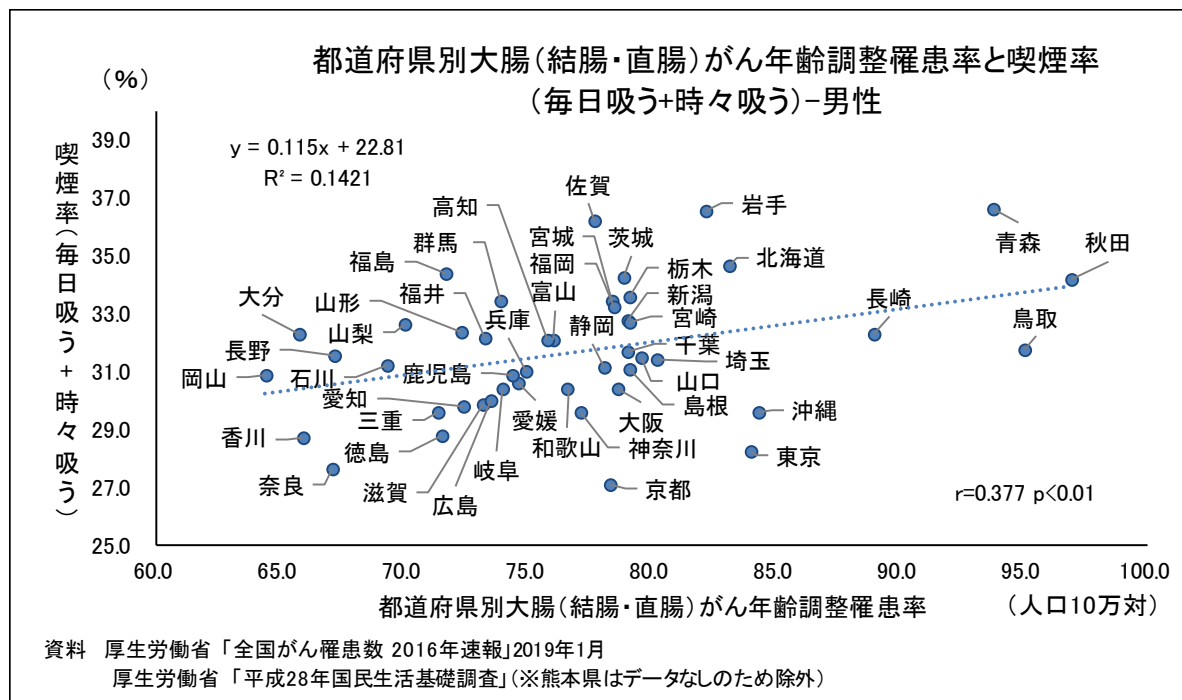
5.1.2 喫煙する割合（毎日+時々）と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率の相関

図 113 都道府県別大腸（結腸・直腸）がん年齢調整罹患率と喫煙する割合（毎日+時々）の相関

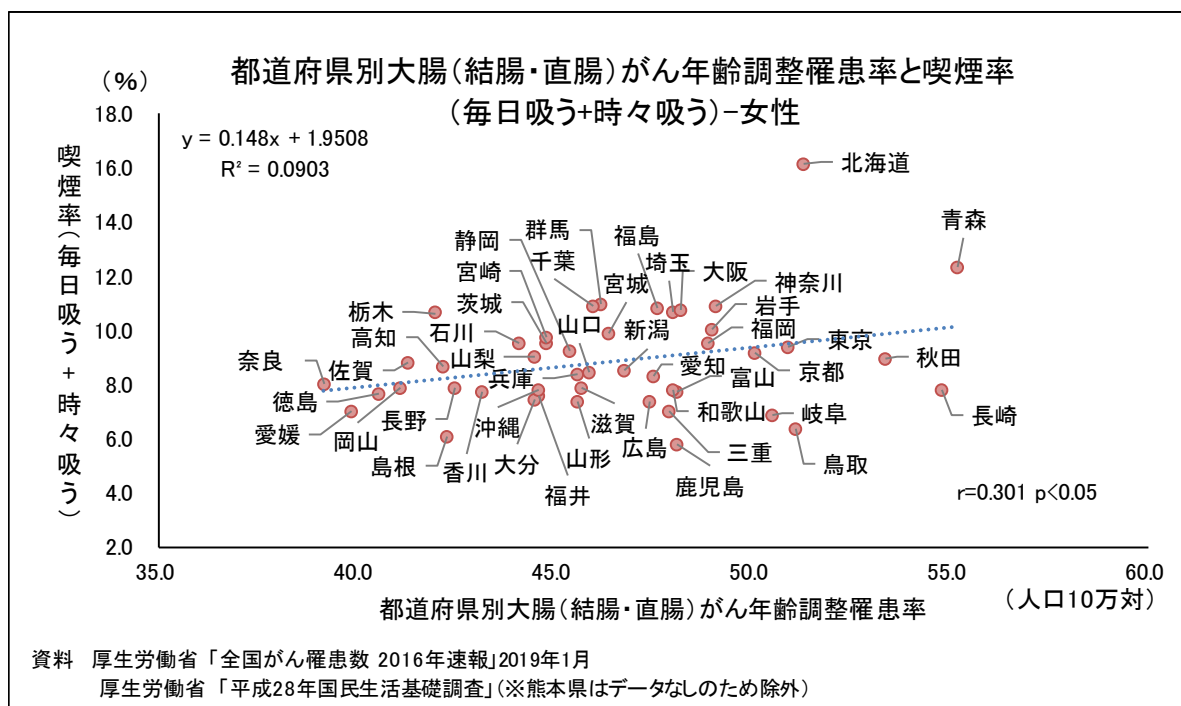
①総数



②男性



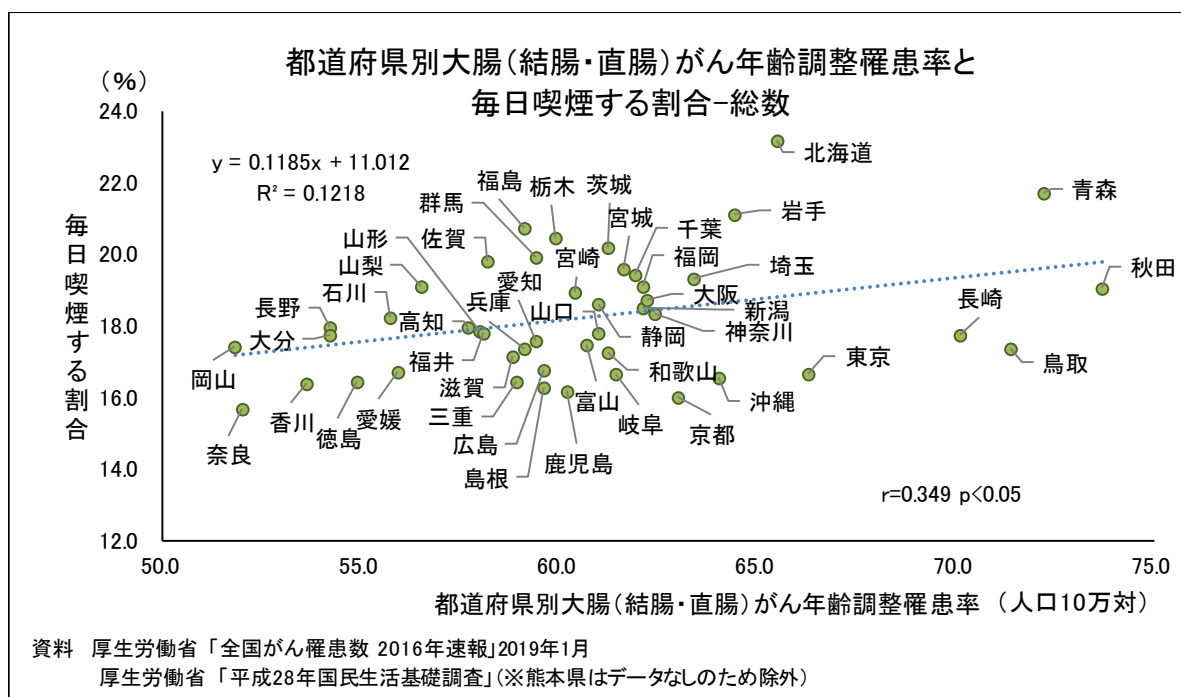
③女性



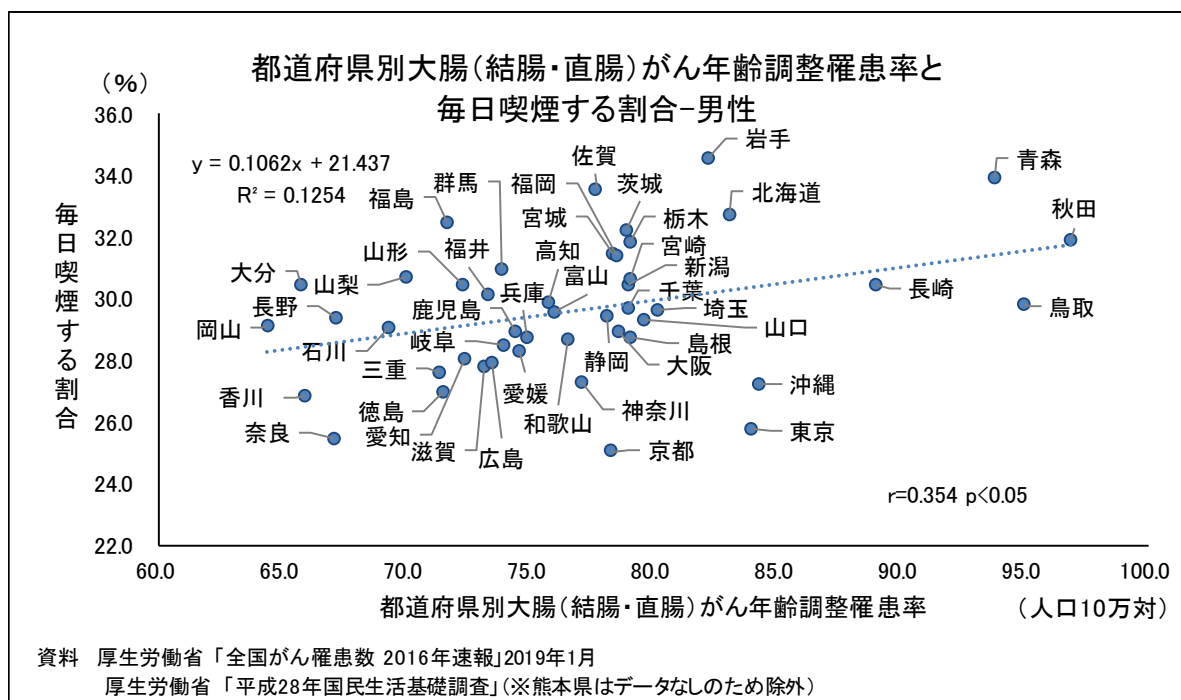
5. 1. 3 毎日喫煙する割合と都道府県別大腸がん年齢調整罹患率の相関

図 114 都道府県別大腸（結腸・直腸）がん年齢調整罹患率と毎日喫煙する割合

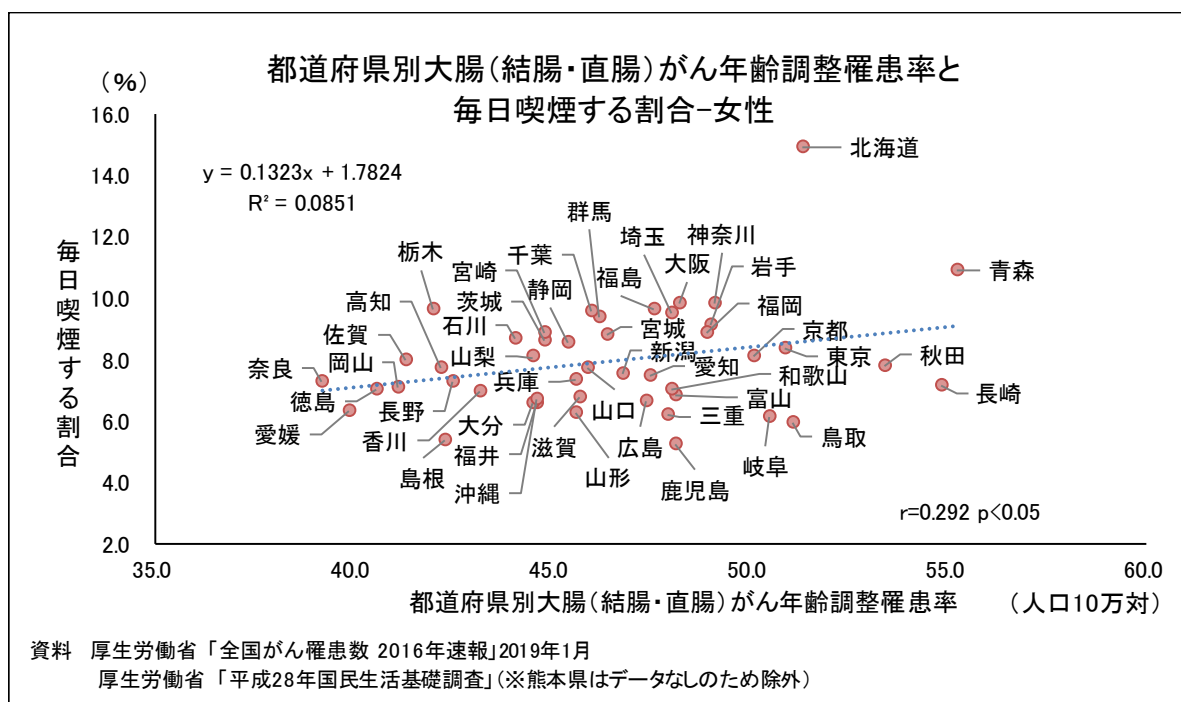
①総数



②男性



③女性

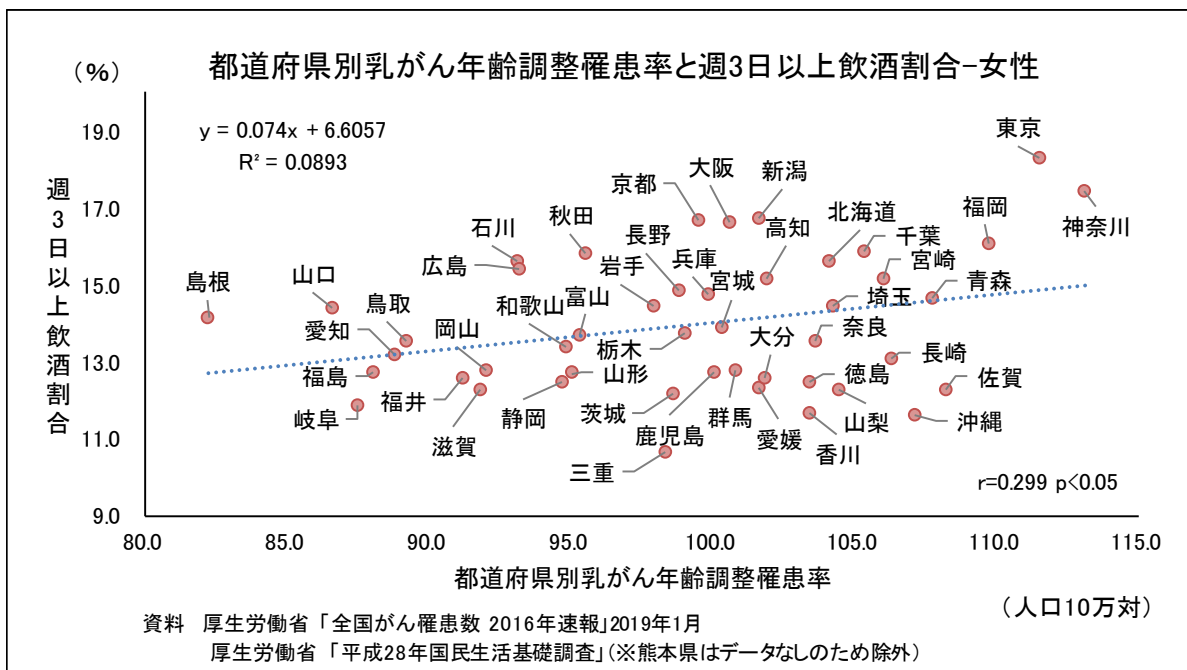


5.2 乳がん

飲酒と都道府県別乳がん年齢調整罹患率は、女性の「週3日以上飲酒する割合」に弱い正の相関あり。

5.2.1 週3日以上飲酒する割合と都道府県別乳がん年齢調整罹患率との相関

図 115 都道府県別乳がん年齢調整罹患率と週3日以上飲酒割合-女性



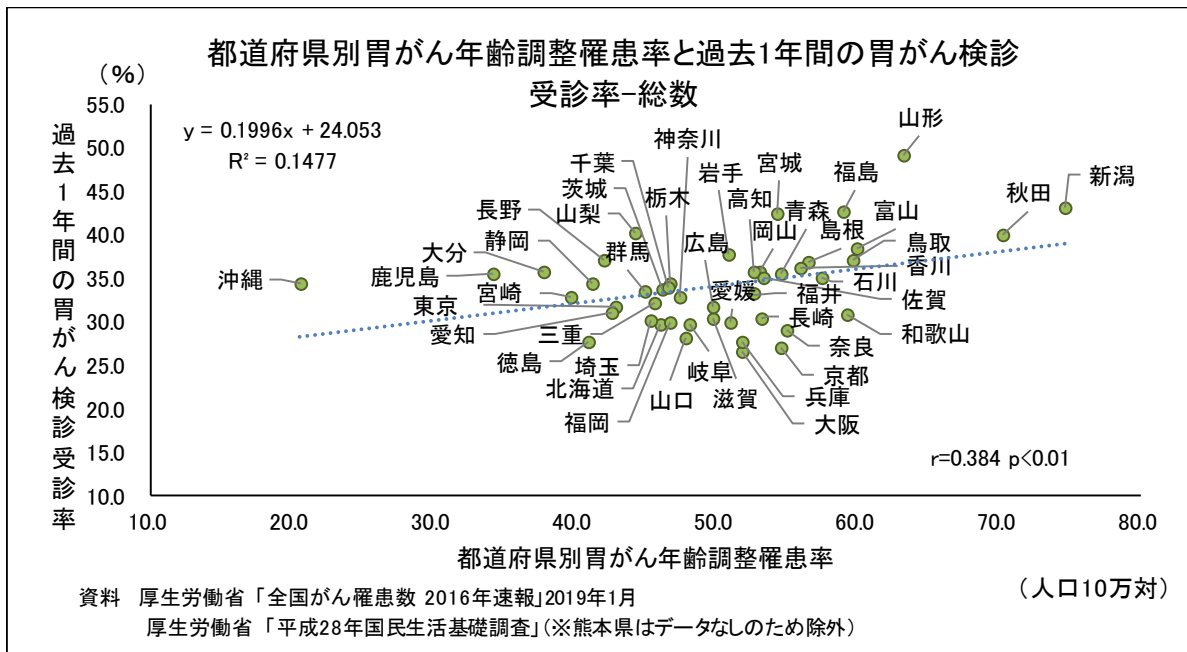
5.3 胃がん

胃がん検診受診率と都道府県別胃がん年齢調整罹患率は、総数、男性、女性とも弱い正の相関あり。

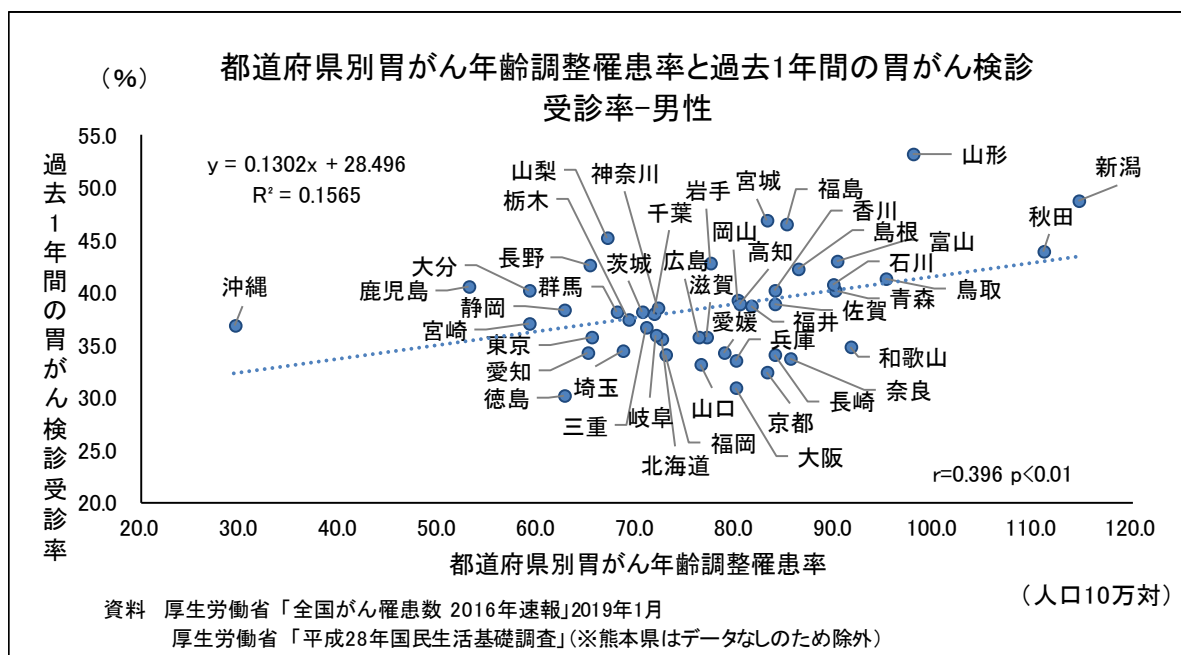
5.3.1 胃がん検診受診率と都道府県別胃がん年齢調整罹患率の相関

図 116 都道府県別胃がん年齢調整罹患率と過去1年間の胃がん検診受診率

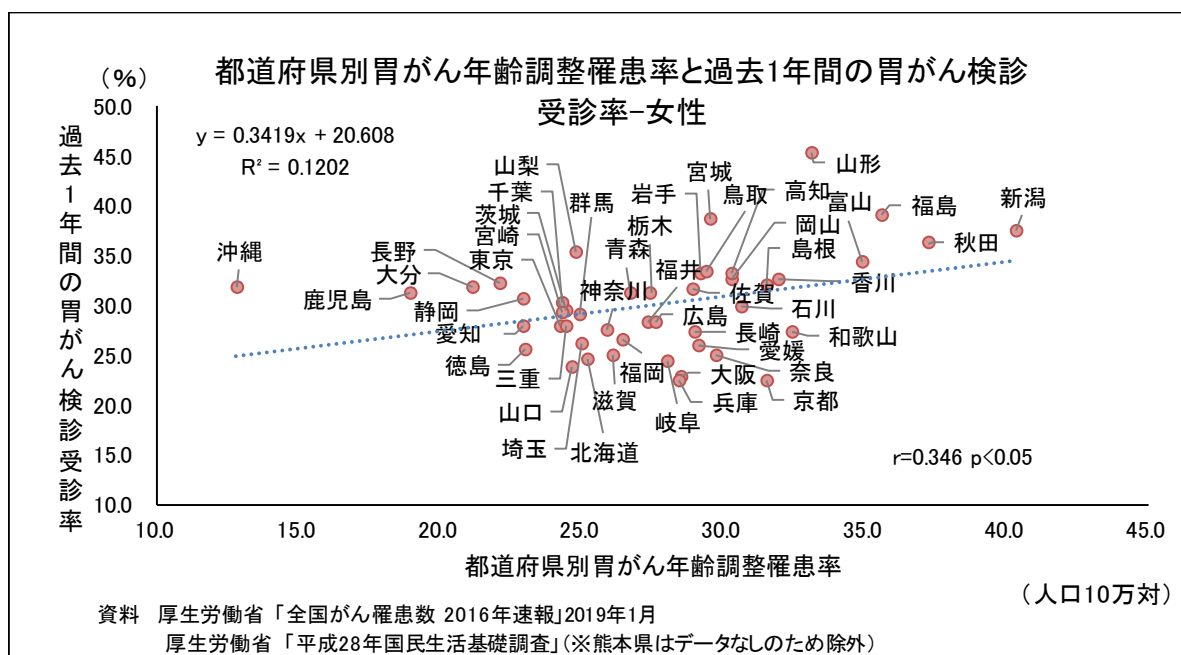
①総数



② 男性



③女性



5.4 肺がん

肺がん検診受診率と都道府県別肺がん年齢調整罹患率は、「総数」と「女性」で弱い負の相関あり。

5.4.1 肺がん検診受診率と都道府県別肺がん年齢調整罹患率の相関

図 117 都道府県別年齢調整罹患率（肺がん）と過去1年間の肺がん検診受診率-総数

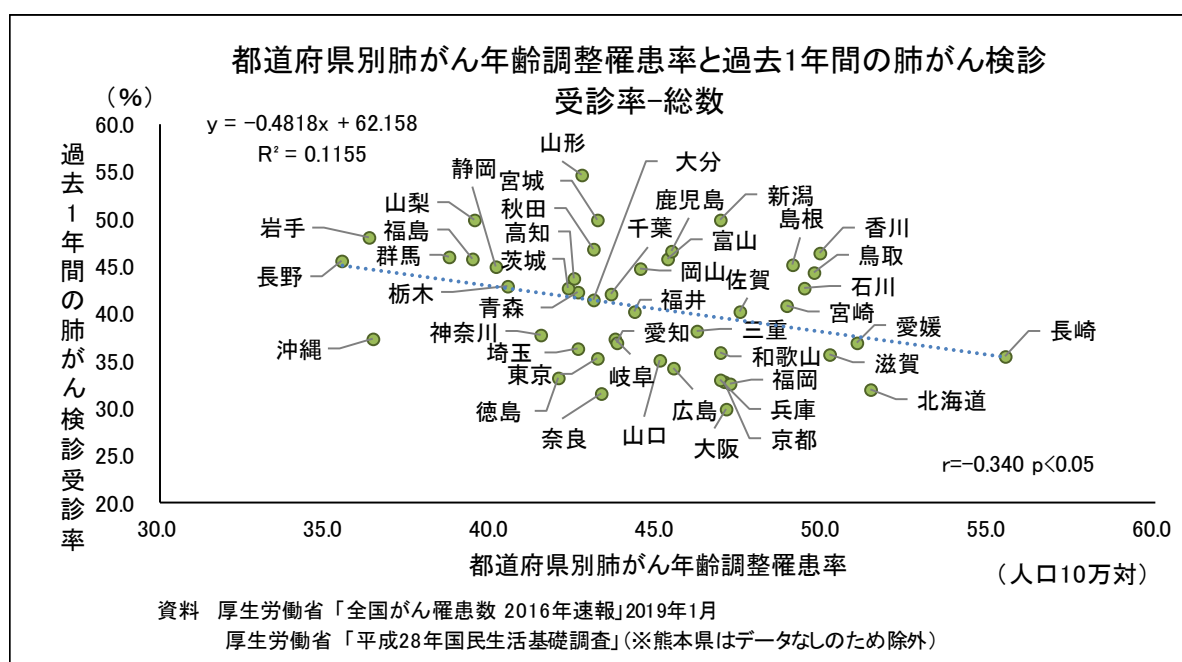
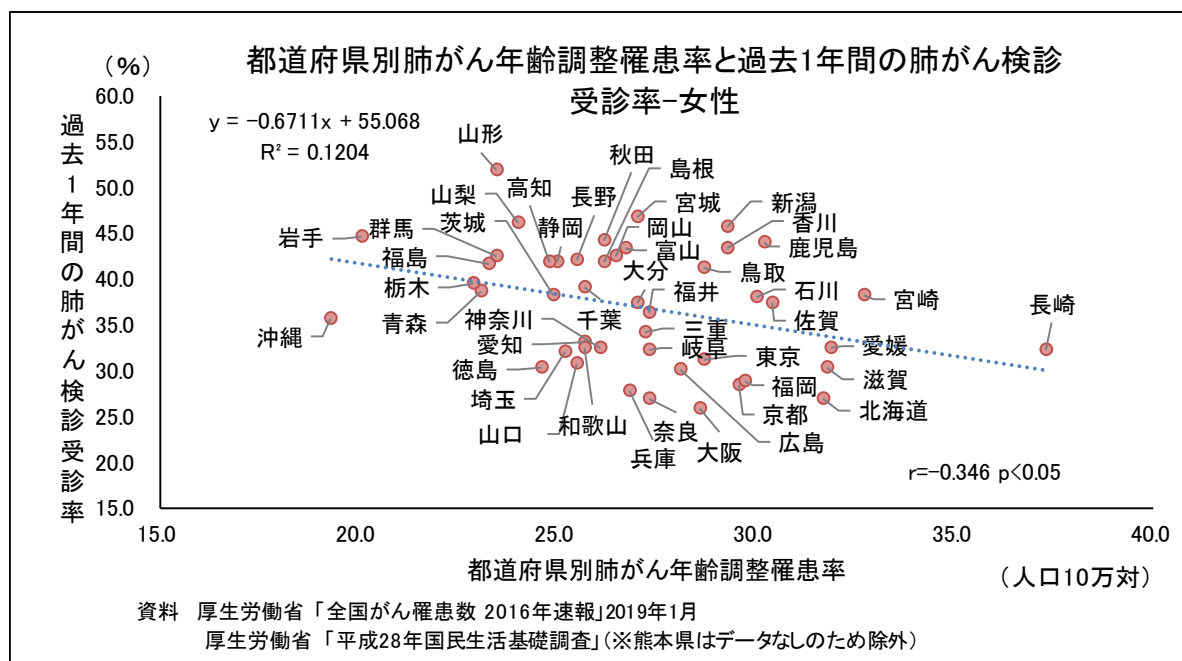


図 118 年齢調整罹患率（肺がん）と過去1年間の肺がん検診受診率-女性



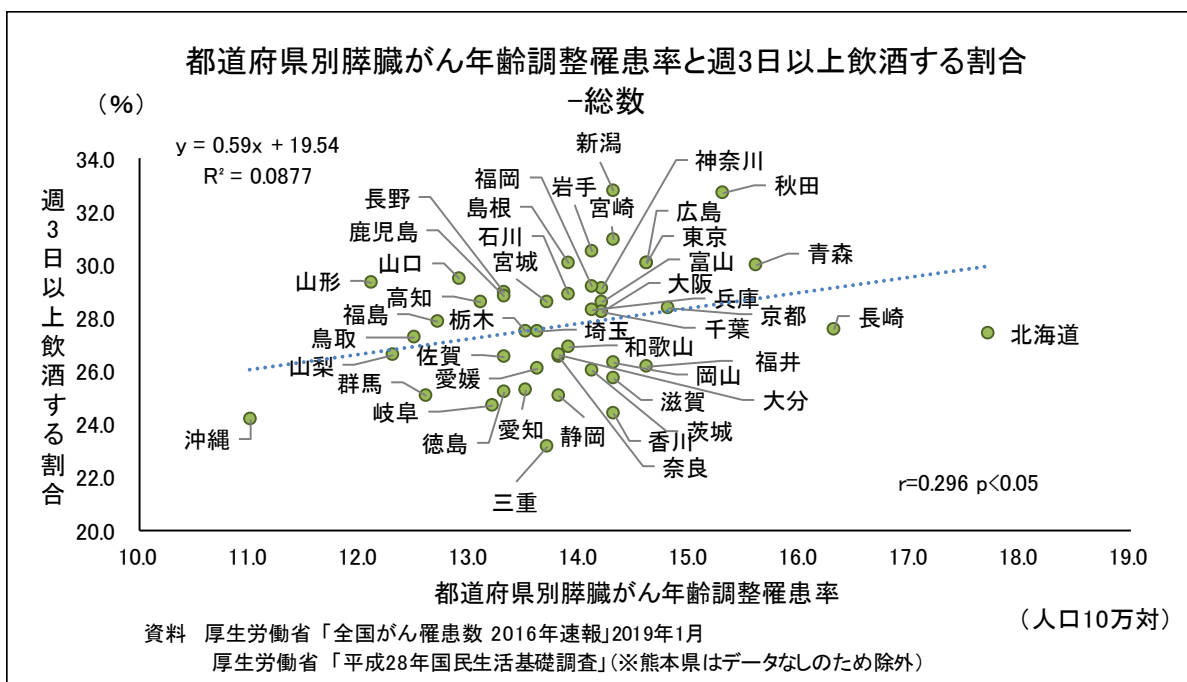
5.5 膵臓がん

飲酒と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率は、「週3日以上飲酒する」総数で弱い正の相関、女性で正の相関、「毎日飲酒する」総数、男性で弱い正の相関、女性で正の相関あり。
喫煙と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率は、「毎日吸う+時々吸う」女性で正の相関、「毎日吸う」総数で弱い正の相関、女性で正の相関あり。

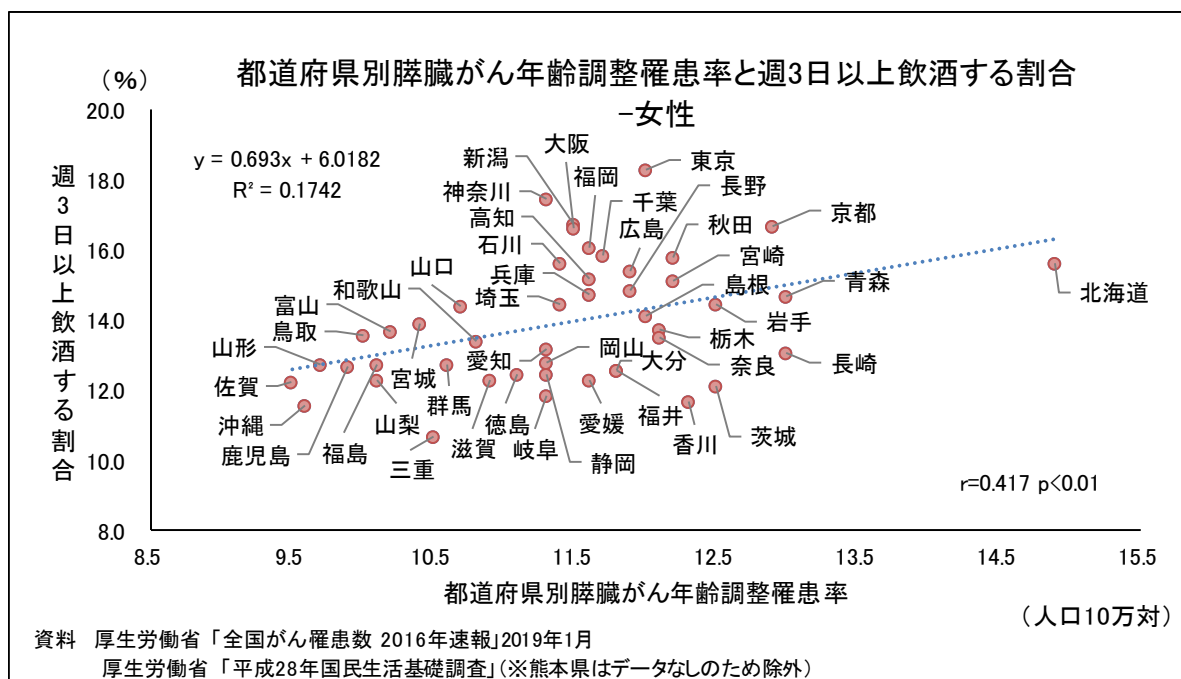
5.5.1 週3日以上飲酒する割合と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関

図 119 都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率と週3日以上飲酒する割合

①総数



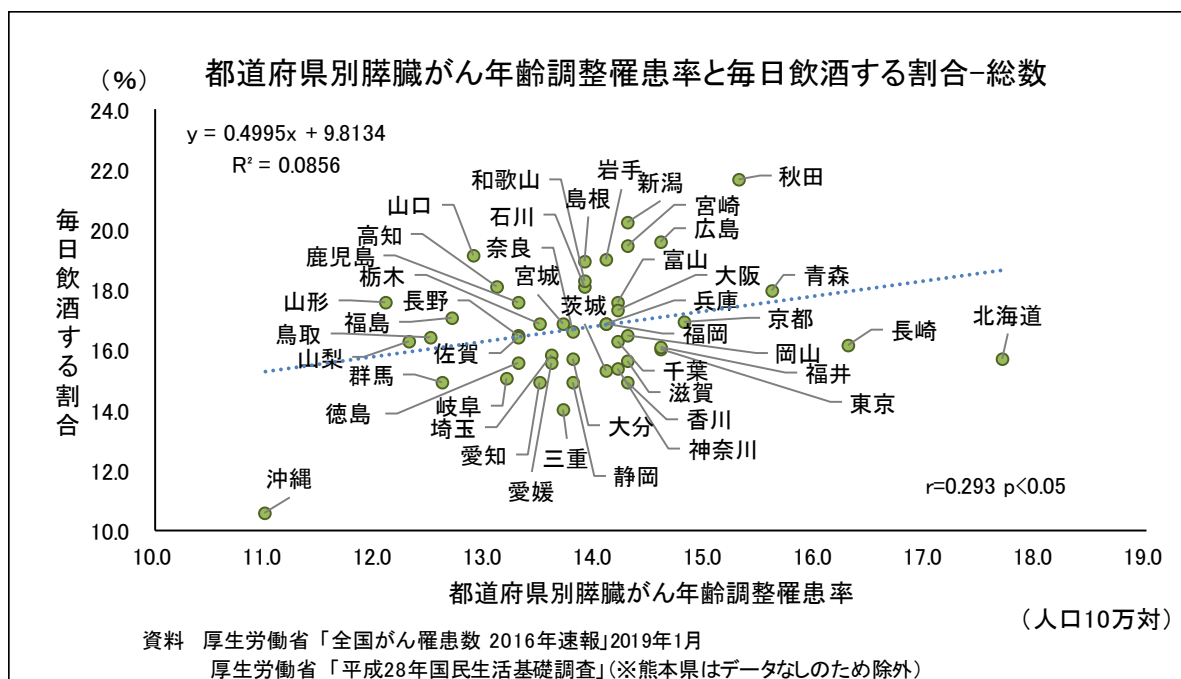
②女性



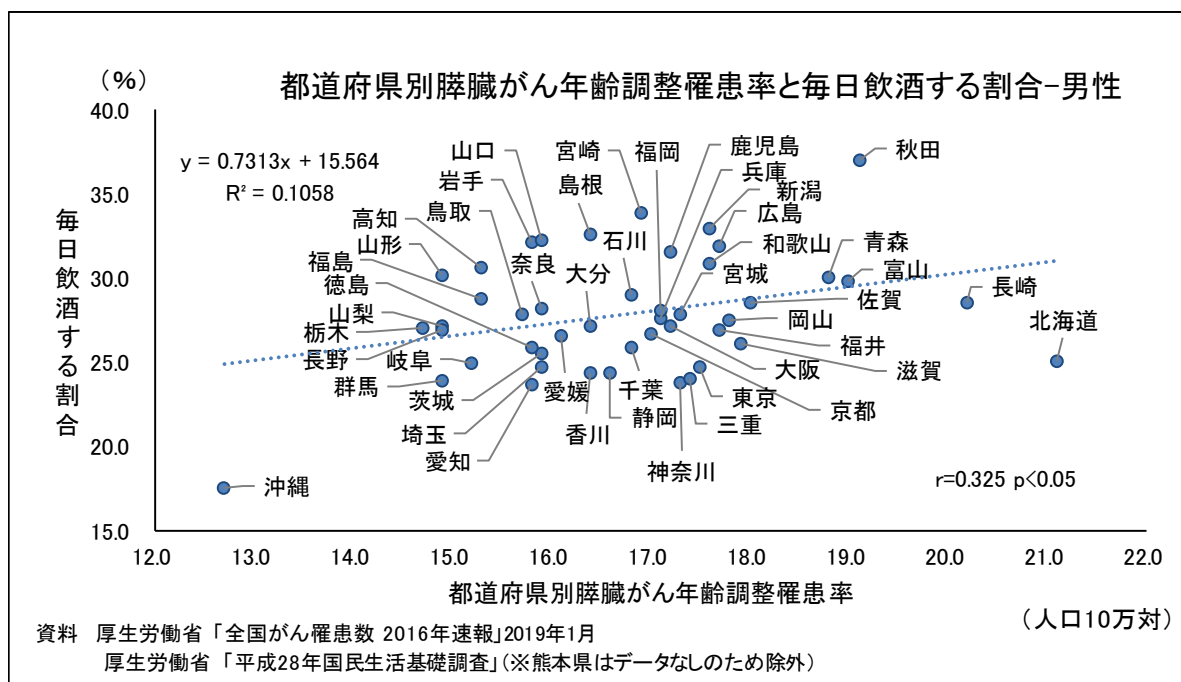
5.5.2 毎日飲酒する割合と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関

図 120 都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率と毎日飲酒する割合-総数

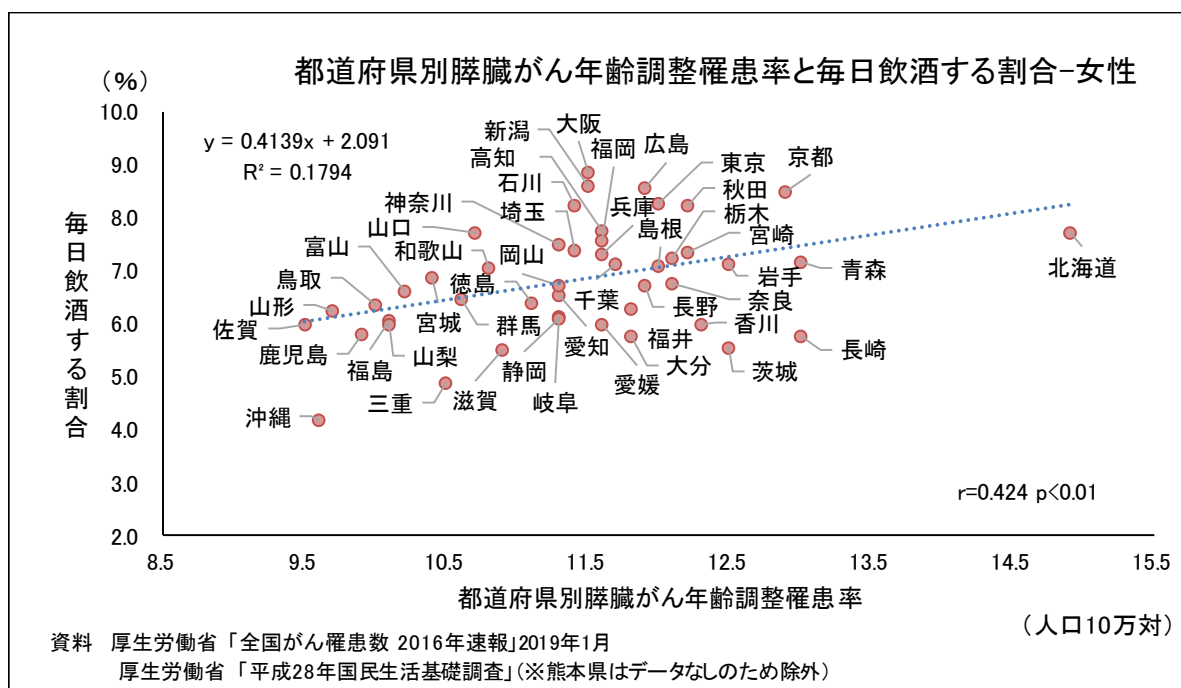
①総数



②男性

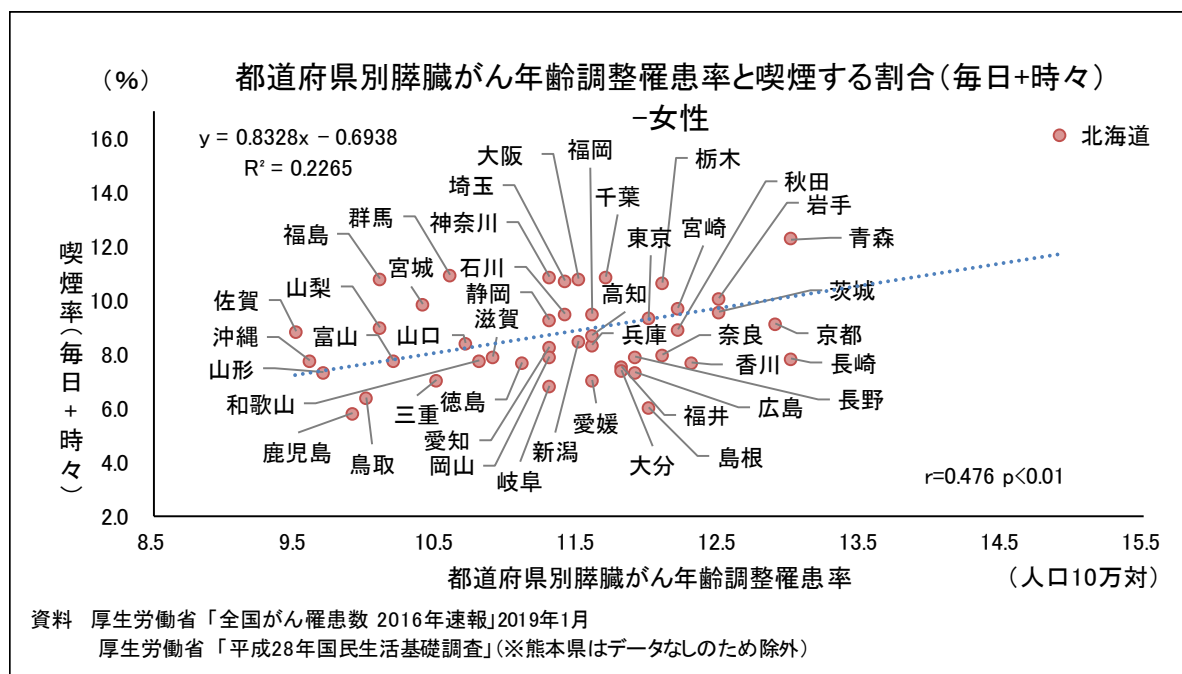


③女性



5.5.3 喫煙する割合（毎日+時々）と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関

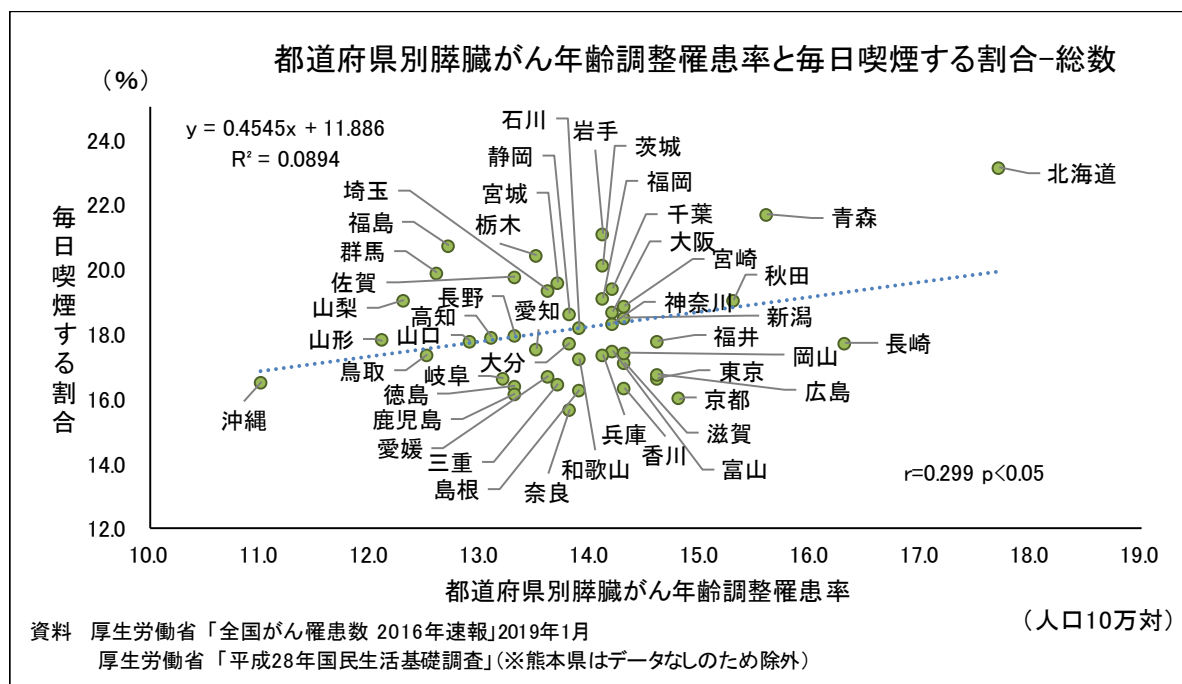
図 121 都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率と喫煙率（毎日吸う+時々吸う）-女性



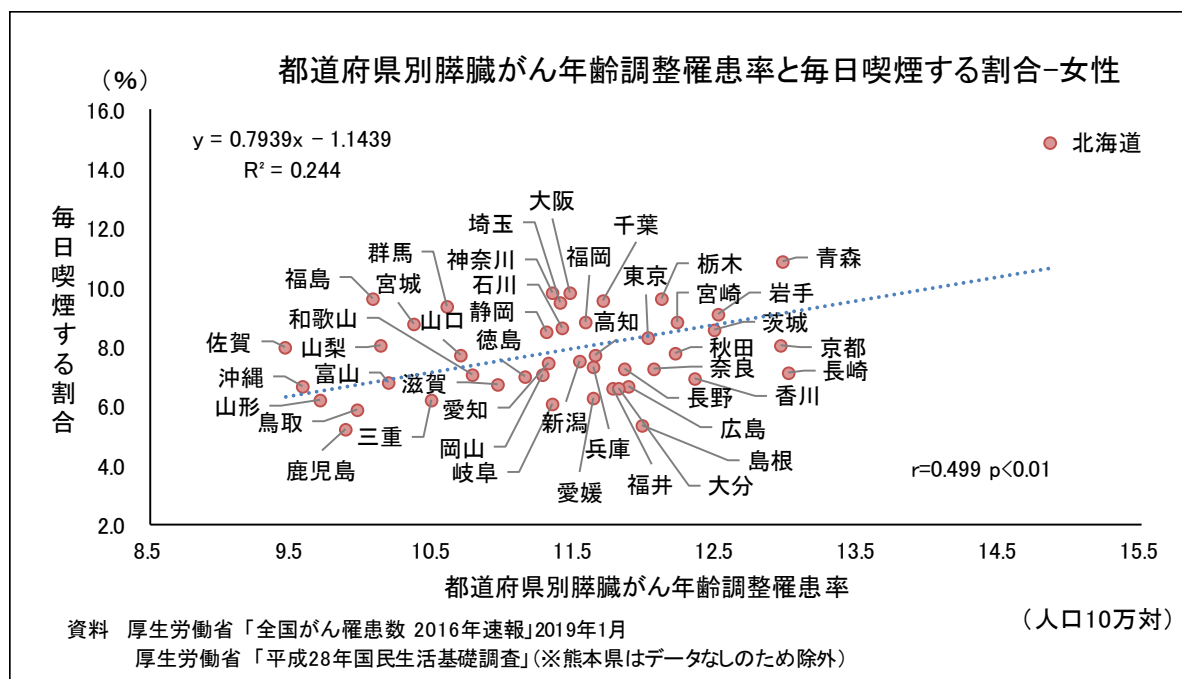
5.5.4 毎日喫煙する割合と都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率の相関

図 122 都道府県別膵臓がん年齢調整罹患率と毎日喫煙する割合

①総数



②女性



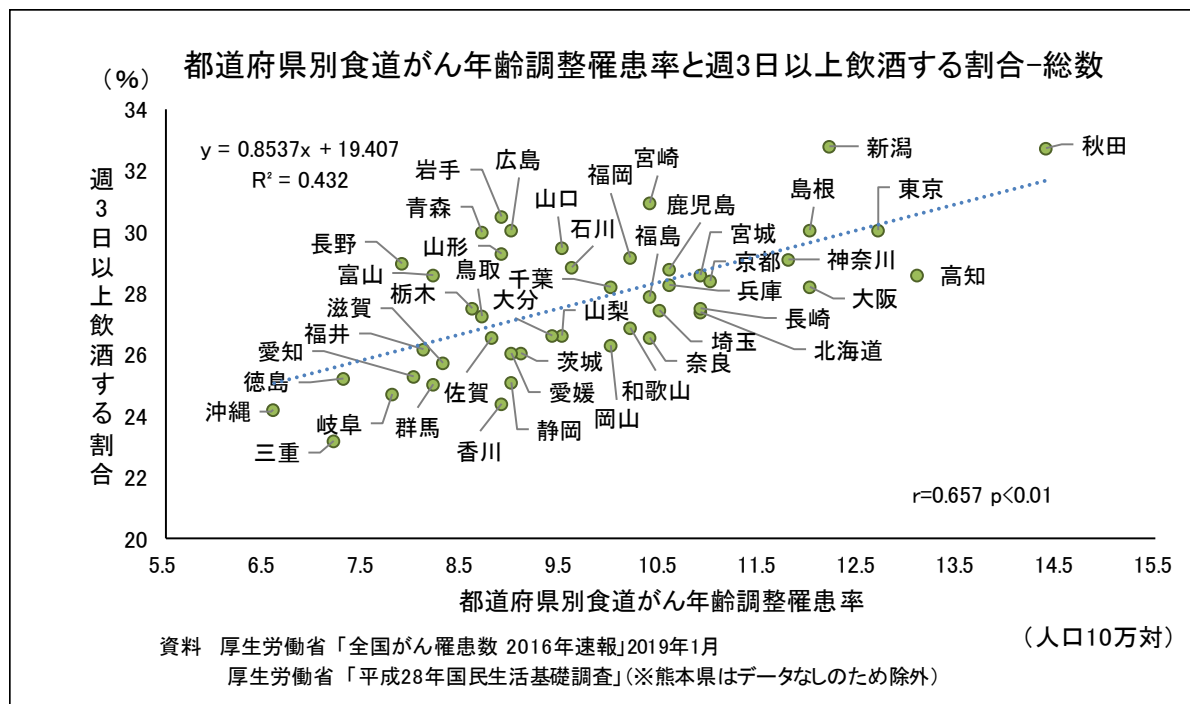
5.6 食道がん

飲酒と都道府県別食道がん年齢調整罹患率は、「週3日以上飲酒する」、「毎日飲酒する」とも、総数、男性、女性のいずれも正の相関あり。喫煙と都道府県別食道がん年齢調整罹患率は、「毎日吸う+時々吸う」、「毎日吸う」女性で正の相関あり。

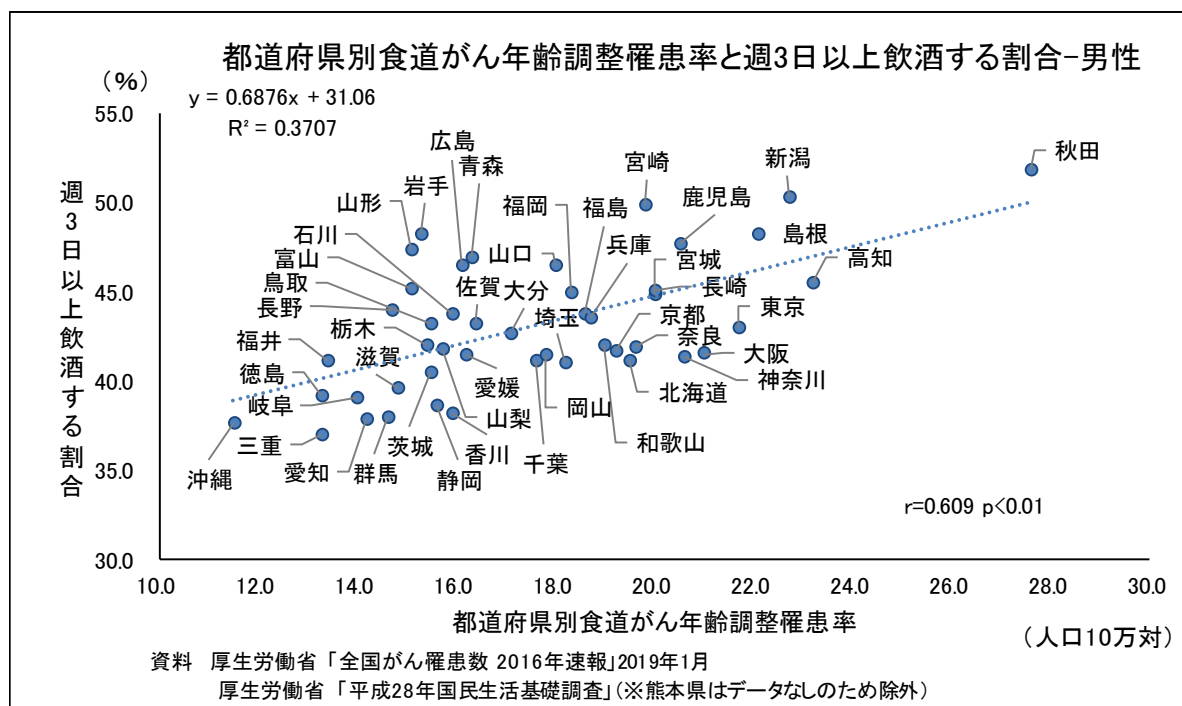
5.6.1 週3日以上飲酒する割合と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関

図 123 都道府県別食道がん年齢調整罹患率と週3日以上飲酒する割合

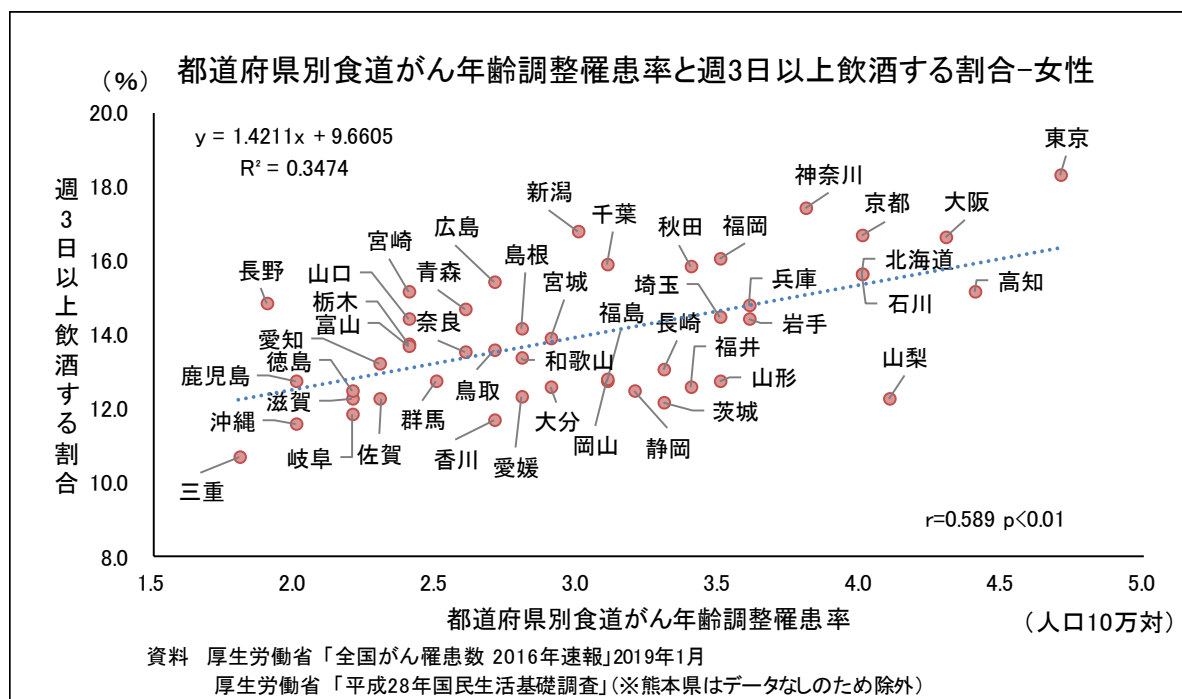
①総数



②男性



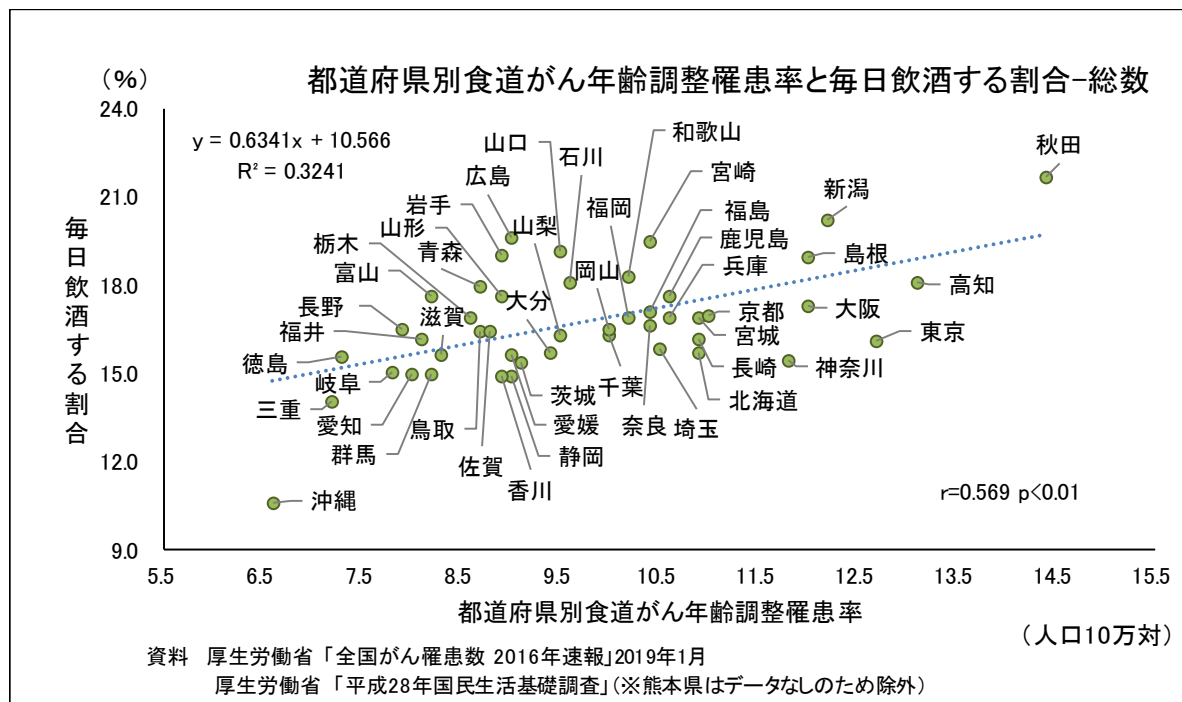
③女性



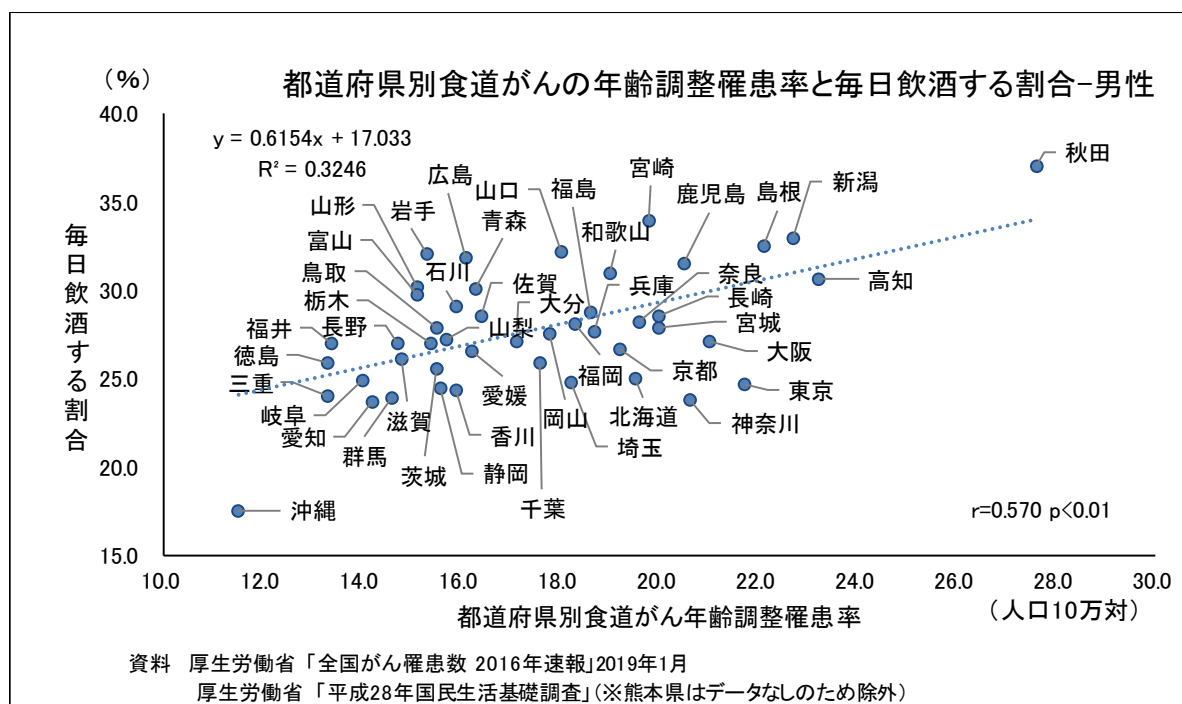
5.6.2 毎日飲酒する割合と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関

図 124 都道府県別食道がん年齢調整罹患率と毎日飲酒する割合

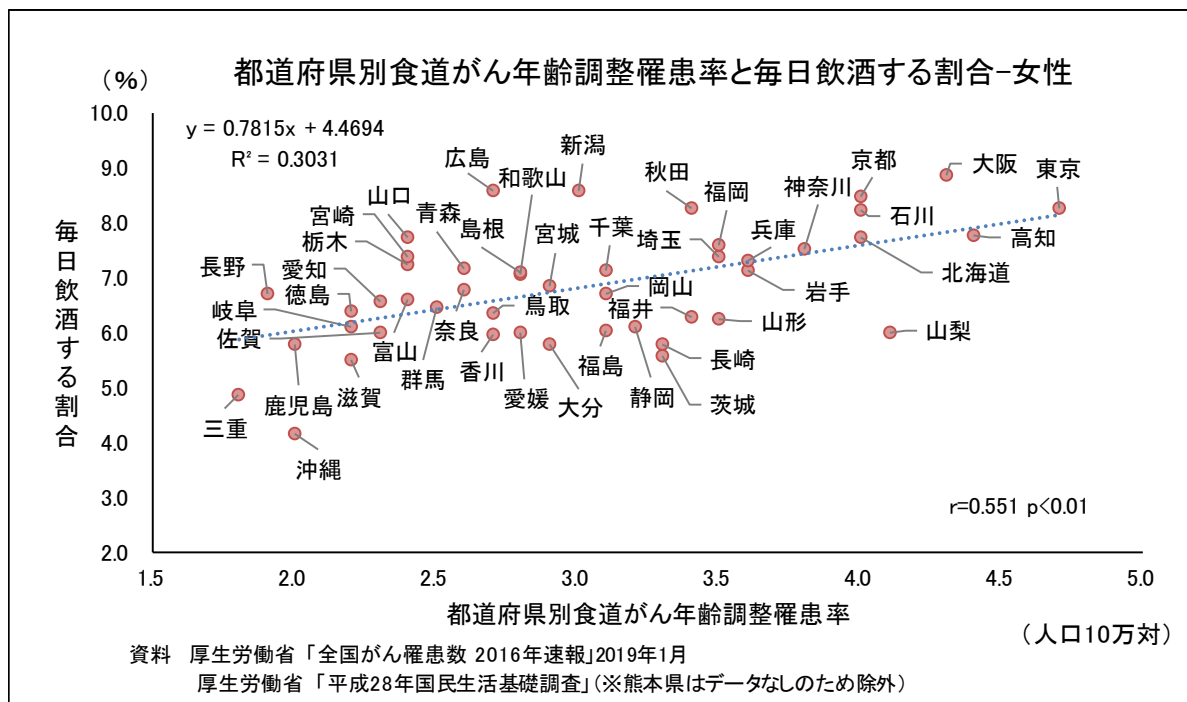
①総数



②男性

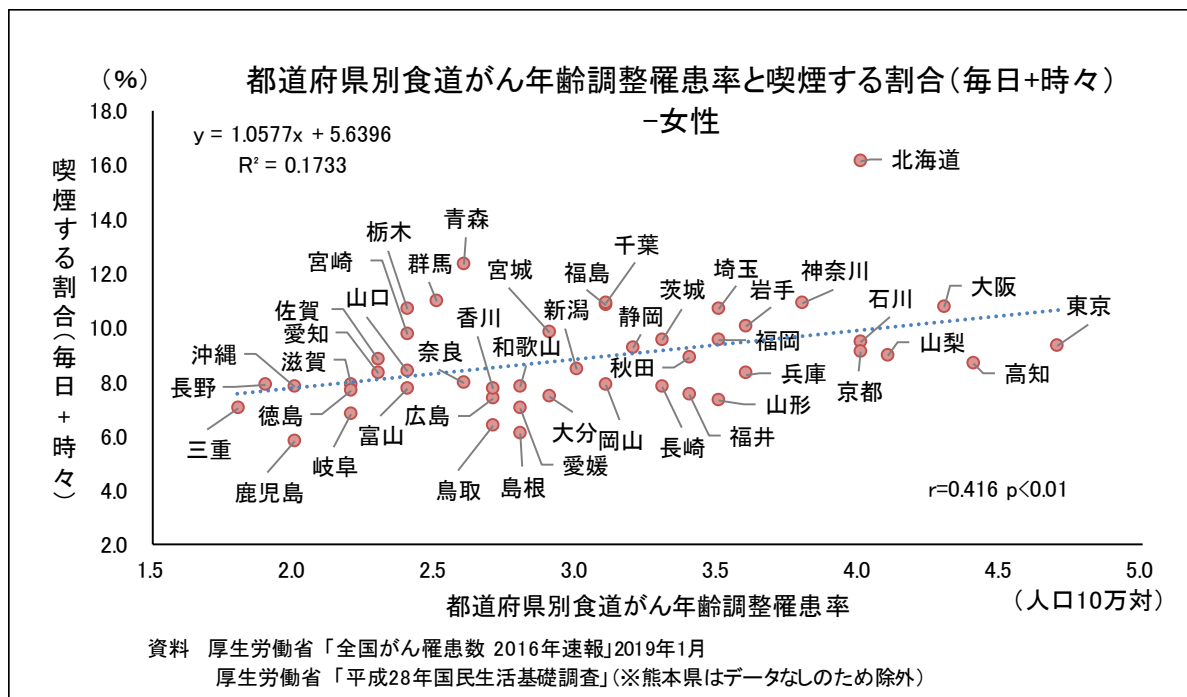


③女性



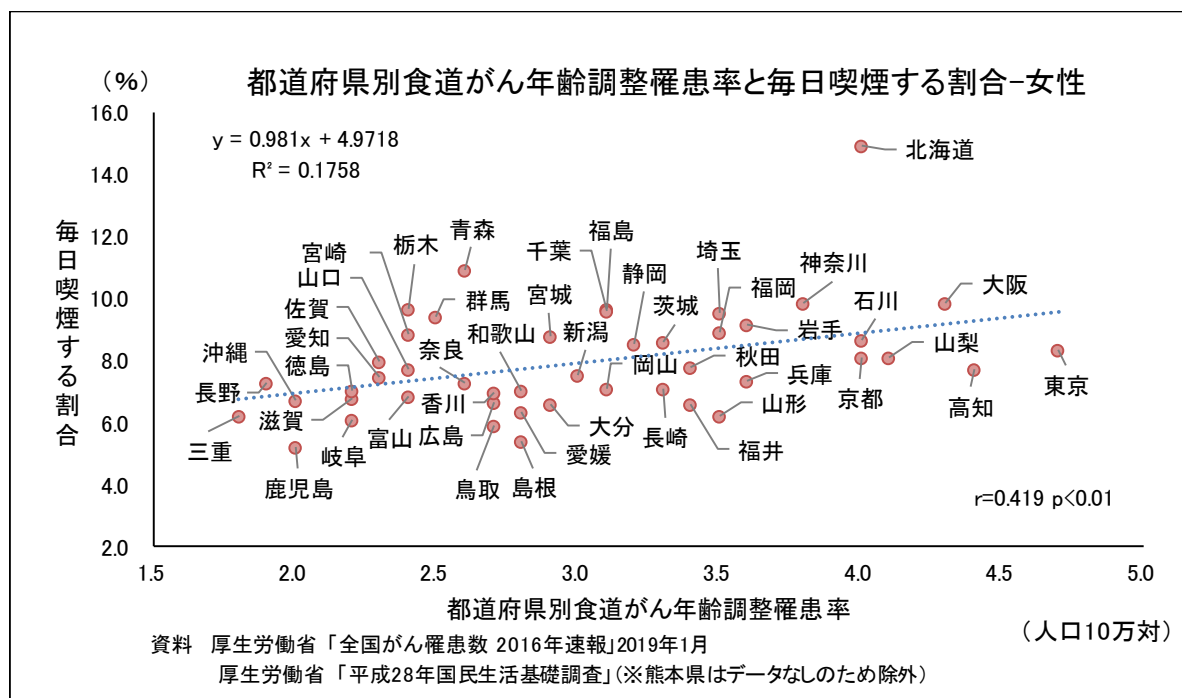
5. 6. 3 喫煙する割合（毎日+時々）と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関

図 125 都道府県別食道がん年齢調整罹患率と喫煙する割合（毎日+時々）-女性



5.6.4 毎日喫煙する割合と都道府県別食道がん年齢調整罹患率の相関

図 126 都道府県別食道がん年齢調整罹患率と毎日喫煙する割合の相関-女性



6. まとめと考察

2016年に施行された「がん登録等の推進に関する法律」で、全ての病院および都道府県から指定された診療所によるがん患者の報告が義務化された。本報告結果は、この法律の施行後初めての集計によるものである。

2016年のがん罹患数は995,132人と過去最高値であり、新たにがんと診断される人が年間約100万人いることが明らかとなった。義務化前の2015年のがん罹患数は891,445人（男性510,926人、女性380,519人）であるため、前年から罹患数が約10万人増加したことになる。これは、報告の義務化により正確な実態に基づく罹患数が把握できるようになったことが大きい。特に、これまでは比較的死亡率が低く報告漏れが多かった前立腺がんや甲状腺がんなどの報告⁹や、経過観察中であつたり検診で発見・切除されたりしたケースなどの届出数が増加¹⁰したことが一因とみられる。年間約100万人という数値は、これまでも厚生労働省が推計をしていたが⁹、より実態に近いものとなった。

また、がんの罹患部位ごとの年齢調整罹患率を都道府県別にみたものでは、部位によって地域ごとの特徴があることも示された。その中には、喫煙率や飲酒率との相関がみられるものや（喫煙率との相関あり；大腸がん、膵臓がん、食道がん 飲酒率との相関あり；大腸がん、乳がん、膵臓がん、食道がん）、ある特定のウイルスの感染率が高い都道府県で、罹患率が高いがん（肝および肝内胆管がん、白血病）があることも示された。

これらの要素とがんの発生との因果関係については、さらなる検証が必要であるが、都道府県は、自分の地域で罹患率が高いがんの特徴を把握することがこれまでよりも可能となった。今後、正確なデータが蓄積されることにより、地域の特性に沿ったより精緻で効果的ながん予防対策が進められていくことが期待される。

⁹ 「がん患者 最多99万人 全国登録データ 16年分析」東京新聞 朝刊 2019年1月17日

¹⁰ 「がん診断 16年99万人 初の「全国登録」集計」毎日新聞 朝刊 2019年1月17日